



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
- 3. IM-Repositoryについて
 - 3.1. IM-Repositoryとは
 - 3.2. IM-Repositoryの提供する機能と画面一覧
- 4. 型テンプレート
 - 4.1. 型テンプレート一覧画面
 - 4.1.1. 「型テンプレート一覧」画面を表示する
 - 4.1.2. 型テンプレート一覧の詳細
 - 4.2. カテゴリ
 - 4.2.1. カテゴリを新規登録する
 - 4.2.2. カテゴリを確認する
 - 4.2.3. カテゴリを編集する
 - 4.3. テンプレート
 - 4.3.1. テンプレートを新規登録する
 - 4.3.2. テンプレートを確認する
 - 4.3.3. テンプレートを編集する
- 5. 辞書項目
 - 5.1. 辞書項目一覧画面
 - 5.1.1. ツリー形式で表示する
 - 5.1.2. リスト形式で表示する
 - 5.2. カテゴリ
 - 5.2.1. カテゴリを新規登録する
 - 5.2.2. カテゴリを確認する
 - 5.2.3. カテゴリを編集する
 - 5.3. 辞書項目
 - 5.3.1. 辞書項目を新規登録する
 - 5.3.2. 辞書項目を確認する
 - 5.3.3. 辞書項目を編集する
 - 5.4. エイリアス
 - 5.4.1. エイリアスを新規登録する
 - 5.4.2. エイリアスを確認する
 - 5.4.3. エイリアスを編集する
 - 5.5. 辞書項目の制約
- 6. 列挙
 - 6.1. 列挙型一覧画面
 - 6.1.1. 「列挙型一覧」画面を表示する
 - 6.1.2. 列挙型一覧の詳細
 - 6.2. カテゴリ
 - 6.2.1. カテゴリを新規登録する
 - 6.2.2. カテゴリを確認する
 - 6.2.3. カテゴリを編集する
 - 6.3. 列挙
 - 6.3.1. 列挙を新規登録する
 - 6.3.2. 列挙を確認する
 - 6.3.3. 列挙を編集する
- 7. エンティティ

- 7.1. エンティティ一覧画面
 - 7.1.1. ツリー形式で表示する
 - 7.1.2. 関連図形式で表示する
- 7.2. カテゴリ
 - 7.2.1. カテゴリを新規登録する
 - 7.2.2. カテゴリを確認する
 - 7.2.3. カテゴリを編集する
- 7.3. エンティティ
 - 7.3.1. エンティティを新規登録する
 - 7.3.2. エンティティを確認する
 - 7.3.3. エンティティを編集する
- 7.4. エンティティ項目
 - 7.4.1. エンティティ項目を確認する
 - 7.4.2. エンティティ項目を編集する
- 7.5. 関連項目
 - 7.5.1. 関連項目を新規登録する
 - 7.5.2. 関連項目を確認する
 - 7.5.3. 関連項目を編集する
- 7.6. データ定義
 - 7.6.1. データ定義を新規登録する
 - 7.6.2. データ定義を確認する
 - 7.6.3. データ定義を編集する
 - 7.6.4. 参照項目設定
 - 7.6.5. データ型を変更する
- 8. エンティティ操作ログ
 - 8.1. エンティティ操作ログ一覧を確認する
 - 8.1.1. エンティティ操作ログを検索する
 - 8.2. エンティティ操作ログの詳細を確認する
 - 8.2.1. ログ詳細を確認する
 - 8.3. エンティティ操作ログのログ出力設定を確認する
 - 8.3.1. ログ出力設定を確認する
 - 8.3.2. ログ出力設定を変更する
 - 8.4. エンティティ操作ログをエクスポートする。
 - 8.4.1. 選択した エンティティの操作ログをエクスポートする。
- 9. テーブルからのエンティティ作成
 - 9.1. テーブルから エンティティを作成する
 - 9.1.1. テーブル選択
 - 9.1.2. エンティティ情報の設定
 - 9.1.3. エンティティ作成結果
- 10. 影響範囲
 - 10.1. 影響範囲一覧の確認
 - 10.2. 影響範囲の適用
 - 10.3. 影響範囲グループ
 - 10.3.1. エイリアスの影響範囲情報
 - 10.3.2. エンティティ の影響範囲情報
 - 10.3.3. IM-BloomMakerの影響範囲情報
 - 10.3.4. IM-LogicDesignerの影響範囲情報
 - 10.3.5. Accel Studioの影響範囲情報
- 11. タスク
 - 11.1. タスクを確認する
 - 11.1.1. タスク一覧を確認する
 - 11.1.2. タスクを検索する

- 11.2. タスクを新規追加する
- 11.3. タスクを処理する
 - 11.3.1. タスクを適用する
 - 11.3.2. タスクを無視する
 - 11.3.3. タスクを削除する
- 12. 履歴
 - 12.1. 履歴一覧
 - 12.1.1. 辞書項目一覧
 - 12.1.2. エンティティ一覧
 - 12.2. 差分
 - 12.2.1. 辞書項目一覧
 - 12.2.2. エンティティ一覧
- 13. インポート/エクスポート
 - 13.1. インポートを行う
 - 13.1.1. 辞書のインポートを行う
 - 13.1.2. 列挙のインポートを行う
 - 13.1.3. エンティティのインポートを行う
 - 13.2. エクスポートを行う
 - 13.2.1. 辞書のエクスポートを行う
 - 13.2.2. 列挙のエクスポートを行う
 - 13.2.3. エンティティのエクスポートを行う
 - 13.3. ファイルフォーマット (列挙)
 - 13.4. ファイルフォーマット (エンティティ)

変更年月日	変更内容
2017-12-01	初版
2018-04-01	第2版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 「カテゴリを新規登録する」にコラムを追加。 「カテゴリを編集する」にコラムを追加。 「辞書項目を新規登録する」にコラムを追加。 「辞書項目を編集する」にコラムを追加。 「エイリアスを新規登録する」にコラムを追加。 「エイリアスを編集する」にコラムを追加。 「インポートを行う」にコラムを追加。 「列挙」を追加
2018-12-01	第3版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 「列挙のインポートを行う」を追加 「列挙のエクスポートを行う」を追加
2019-04-01	第4版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 「エンティティ」を追加
2021-04-01	第5版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 「エンティティのインポートを行う」を追加 「エンティティのエクスポートを行う」を追加
2022-12-01	第6版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 全体的なレイアウト見直しによる説明の追加・修正 「IM-Repositoryについて」に「データ定義」に関する説明を追加 「辞書項目の制約」に列挙型制約を追加 「エンティティ」 - 「関連項目」に「サブエンティティ」に関する説明を追加 「エンティティ」 - 「データ定義」を追加 「影響範囲グループ」を追加 「ファイルフォーマット (エンティティ)」を更新
2023-04-01	第7版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> エンティティ変更時の抽出条件の説明を更新 <ul style="list-style-type: none"> 「IM-BloomMakerの影響範囲情報」 「IM-LogicDesignerの影響範囲情報」 「Accel Studioの影響範囲情報」 「データ定義を新規登録する」の「コラム：テーブルカラム作成時にデータベース製品別に採用されるデータ型」を更新 「エンティティ操作ログ」を追加

変更年月日	変更内容
2023-10-01	<p>第8版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none">▪ 「エンティティ」 - 「データ定義」に「参照項目設定」に関する説明を追加▪ 「データ型を変更する」を追加▪ 「ファイルフォーマット (エンティティ)」を更新▪ 「Accel Studioの影響範囲情報」を更新▪ 「履歴一覧」を更新▪ 「差分」を更新
2024-04-01	<p>第9版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none">▪ 「テーブルからのエンティティ作成」を追加▪ 「データ定義を新規登録する」を更新▪ 「データ定義を編集する」を更新▪ 「データ定義を確認する」を更新▪ 「参照項目設定」に IM-共通マスタとの連携に関する説明を追加▪ 「ファイルフォーマット (エンティティ)」を更新

本書の目的

本書は、IM-Repositoryを利用する皆様の支援を目的としたガイドです。

対象読者

本書では次のユーザを対象としています。

- IM-Repositoryの操作方法を知りたい。
- IM-Repositoryの詳細な画面仕様を知りたい。

- IM-Repositoryとは
- IM-Repositoryの提供する機能と画面一覧

IM-Repositoryとは

IM-Repositoryは、intra-mart Accel Platform上で利用される様々な用語およびそのメタデータを管理できるアプリケーションです。

IM-Repositoryの特徴は以下の通りです。

- アプリケーションが利用する用語の管理
- 用語に対する属性情報（メタデータ）の管理
- 拡張可能な属性情報
- 用語と、その用語を利用しているアプリケーションとの間の依存関係の管理
- 属性情報（メタデータ）の変更に対する影響範囲の算出
- 影響範囲を元としたアプリケーションの修正を行うためのタスク管理
- エンティティ情報を元としたデータ管理

例えば、「ユーザコード」や、「取引先コード」といった用語と共に、論理名、物理名、桁数、データ型、制約といった属性情報（メタデータ）を統合的に管理できます。

また、用語の属性情報を変更した際に、その用語を参照しているものを列挙できます。

例えば、取引先コードの桁数を変更した場合、影響の出るアプリケーションを列挙する、といった事が可能です。

用語の情報はAPIを通じて様々なアプリケーションから参照可能です。

例えば入力チェック等のバリデーション機構に組み込んだり、用語を利用した画面項目の自動生成といった用途に利用できます。

2022 Winter(Freesia)より追加されたエンティティの「[データ定義](#)」機能では、以下の機能を提供します。

1. エンティティ情報を元にデータベースのテーブルを管理する機能
2. エンティティ情報をIM-BloomMaker やIM-LogicDesigner のプロパティ（項目）として管理する機能
3. エンティティ情報を元にデータの取得・更新を行う機能

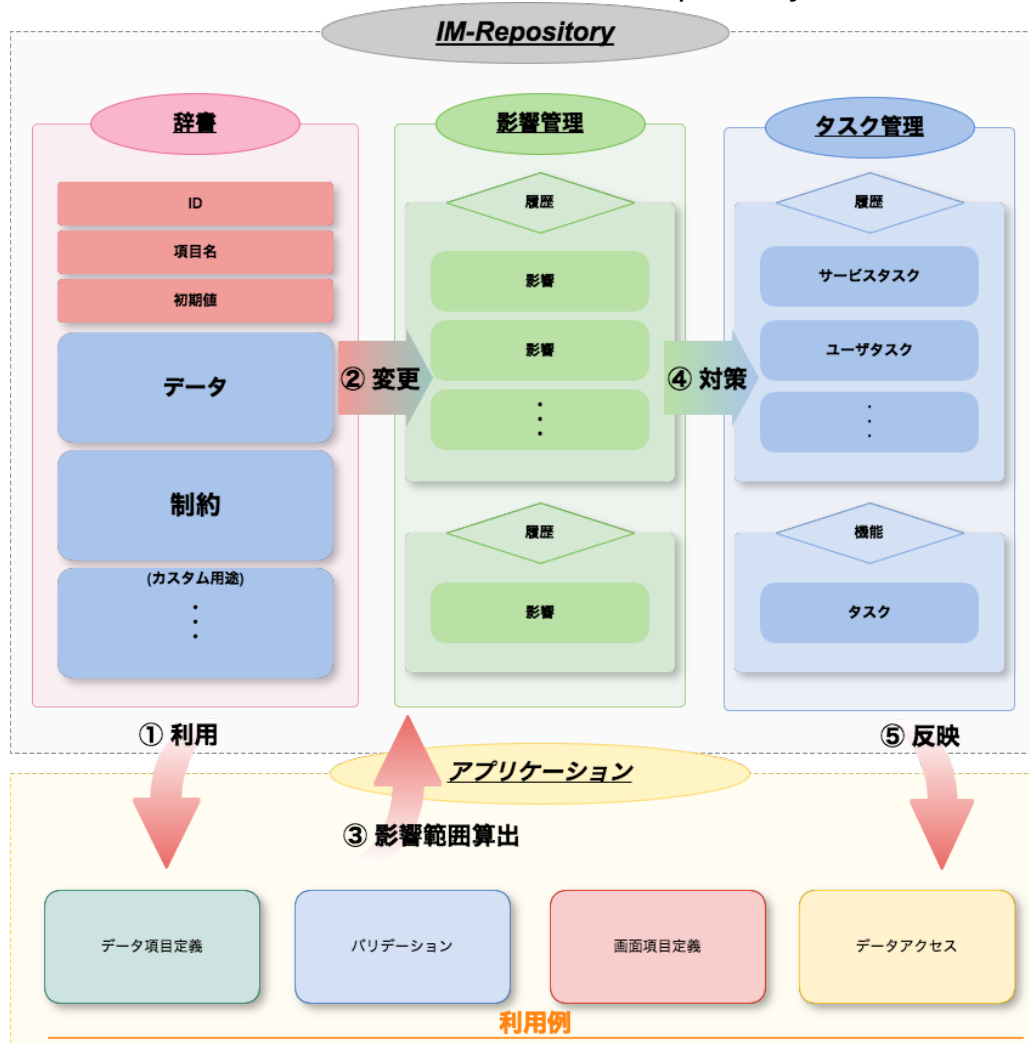
コラム

intra-mart Accel Platformが利用している様々な用語（辞書データ）は、プロダクトファイルダウンロードサイトから入手し、取り込むことが可能です。

<https://www.intra-mart.jp/download/library/>

IM-Repositoryの提供する機能と画面一覧

IM-Repositoryの提供する各機能と画面一覧は以下の通りです。



<機能と画面>

機能	対応画面
型テンプレート	<ul style="list-style-type: none"> 「型テンプレート」 - 「型テンプレート一覧画面」 「型テンプレート」 - 「カテゴリ」 「型テンプレート」 - 「テンプレート」
辞書	<ul style="list-style-type: none"> 「辞書項目」 - 「辞書項目一覧画面」 「辞書項目」 - 「カテゴリ」 「辞書項目」 - 「辞書項目」 「辞書項目」 - 「エイリアス」
列挙	<ul style="list-style-type: none"> 「列挙」 - 「列挙型一覧画面」 「列挙」 - 「カテゴリ」 「列挙」 - 「列挙」
エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> 「エンティティ」 - 「エンティティ一覧画面」 「エンティティ」 - 「カテゴリ」 「エンティティ」 - 「エンティティ」 「エンティティ」 - 「エンティティ項目」 「エンティティ」 - 「関連項目」 「エンティティ」 - 「データ定義」

機能	対応画面
影響範囲	<ul style="list-style-type: none">▪ 「影響範囲」 - 「影響範囲一覧の確認」▪ 「影響範囲」 - 「影響範囲の適用」▪ 「影響範囲」 - 「影響範囲グループ」
タスク	<ul style="list-style-type: none">▪ 「タスク」
履歴	<ul style="list-style-type: none">▪ 「履歴」 - 「履歴一覧」▪ 「履歴」 - 「差分」
その他 (IM-Repository全般)	<ul style="list-style-type: none">▪ 「インポート/エクスポート」

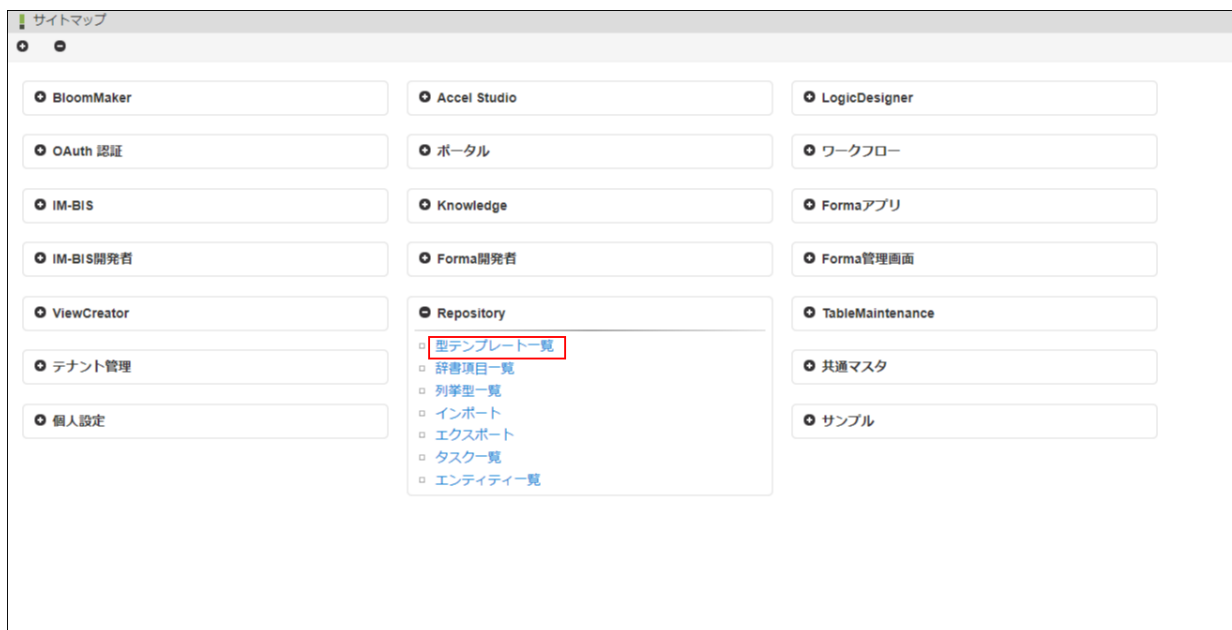
ここではIM-Repositoryで型テンプレートを扱う画面の機能について説明します。

型テンプレート一覧画面

- 「型テンプレート一覧」画面を表示する
- 型テンプレート一覧の詳細

「型テンプレート一覧」画面を表示する

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「型テンプレート一覧」をクリックします。



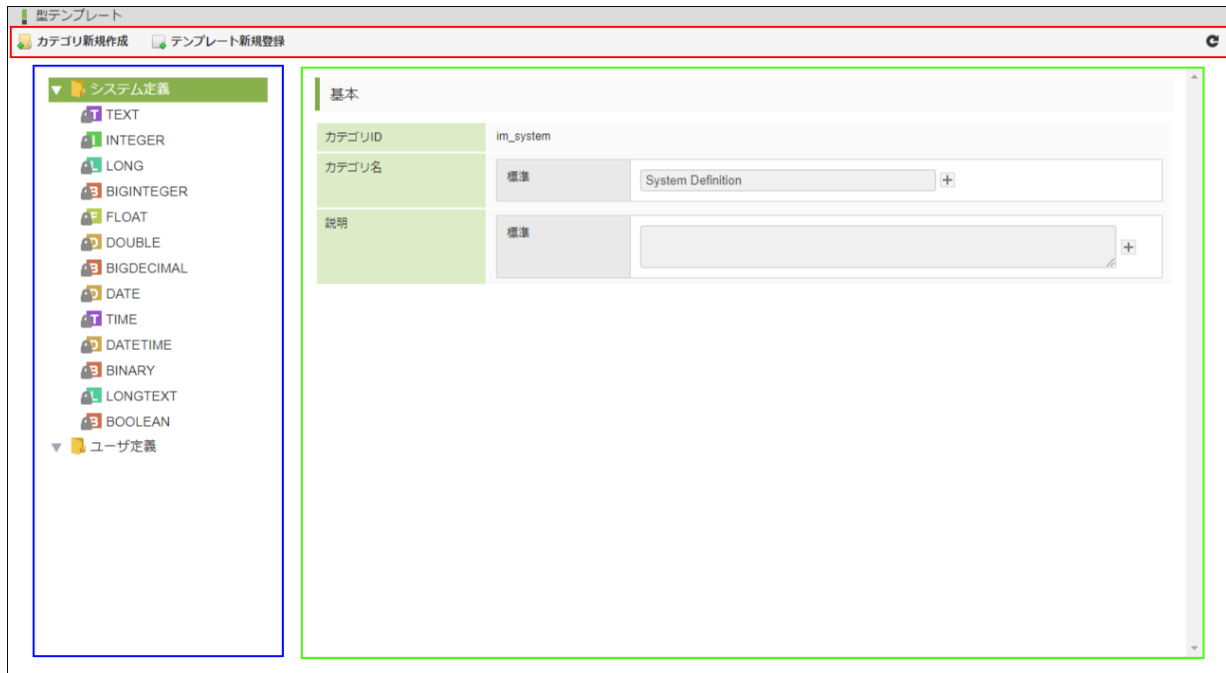
2. 「型テンプレート一覧」画面が表示されます。



型テンプレート一覧の詳細

「型テンプレート一覧」画面は、用途に応じて複数のペイン（区画）に分かれています。

各ペインの詳細は以下の通りです。



<画面項目>

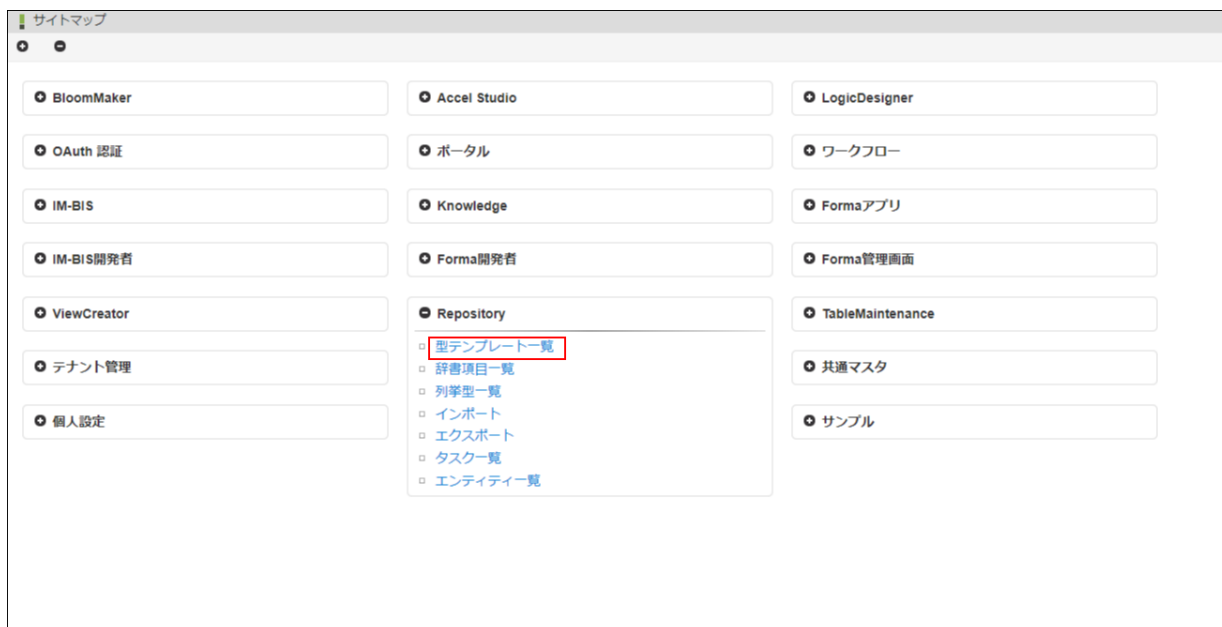
項目	説明
ツールバー	テンプレート一覧ツリーの操作を提供するツールバーです。 <ul style="list-style-type: none"> カテゴリ追加 テンプレート一覧ツリーにカテゴリを追加します。 テンプレート追加 テンプレート一覧ツリーにテンプレートを追加します。 「更新」アイコン このページを再読み込みします。
テンプレート一覧ツリー	登録されているテンプレート一覧をツリー形式で表示します。 テンプレート一覧のカテゴリ、または、テンプレートをクリックすると選択した項目の詳細情報を表示します。 カテゴリ、または、テンプレートの移動が行えます。
テンプレート情報	選択されたカテゴリ、または、テンプレートの情報を表示します。

カテゴリ

型テンプレートのカテゴリを扱う画面の機能について説明します。

カテゴリを新規登録する

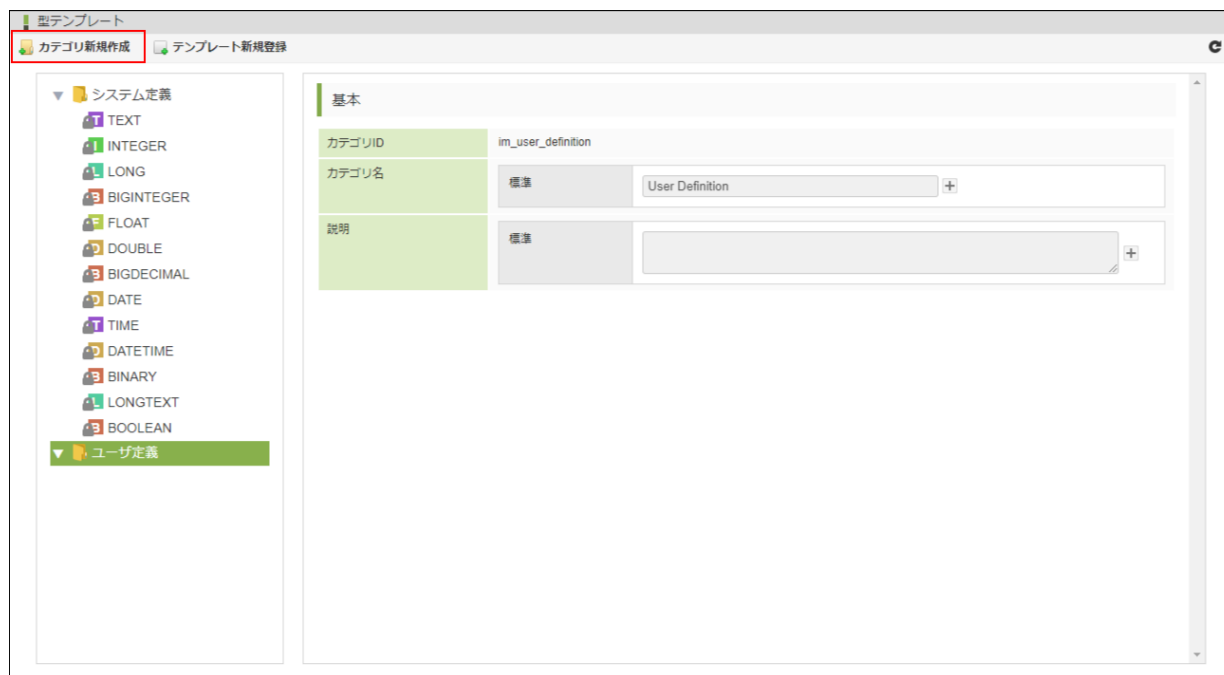
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



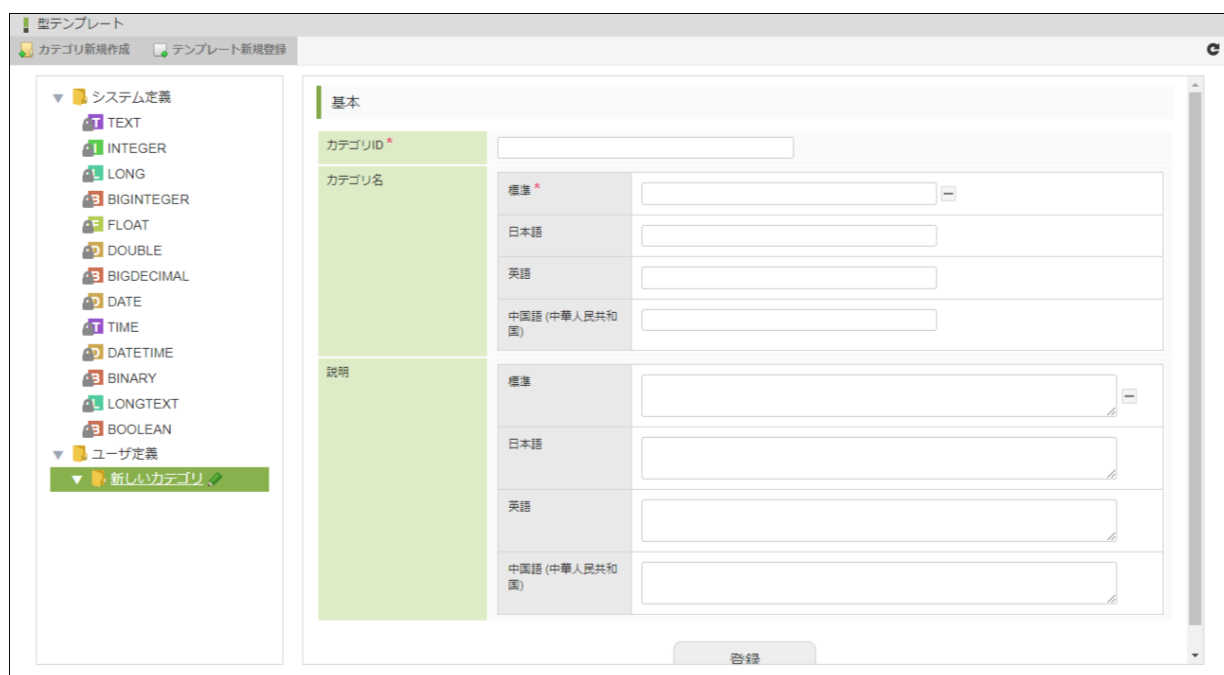
2. テンプレート一覧ツリーのカテゴリを追加したい1つ上の項目をクリックします。



3. ツールバーの「カテゴリ追加」をクリックします。



4. カテゴリの基本情報が表示されます。



<画面項目>

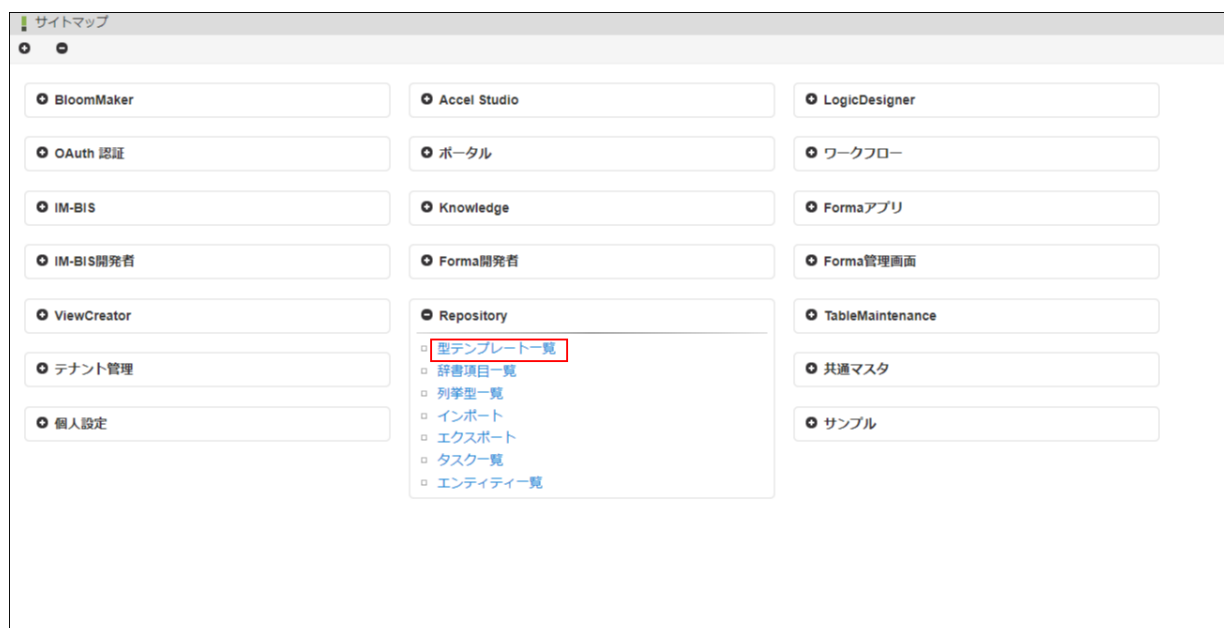
項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
「登録」ボタン	カテゴリを登録します。

5. 必要項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

6. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを確認する

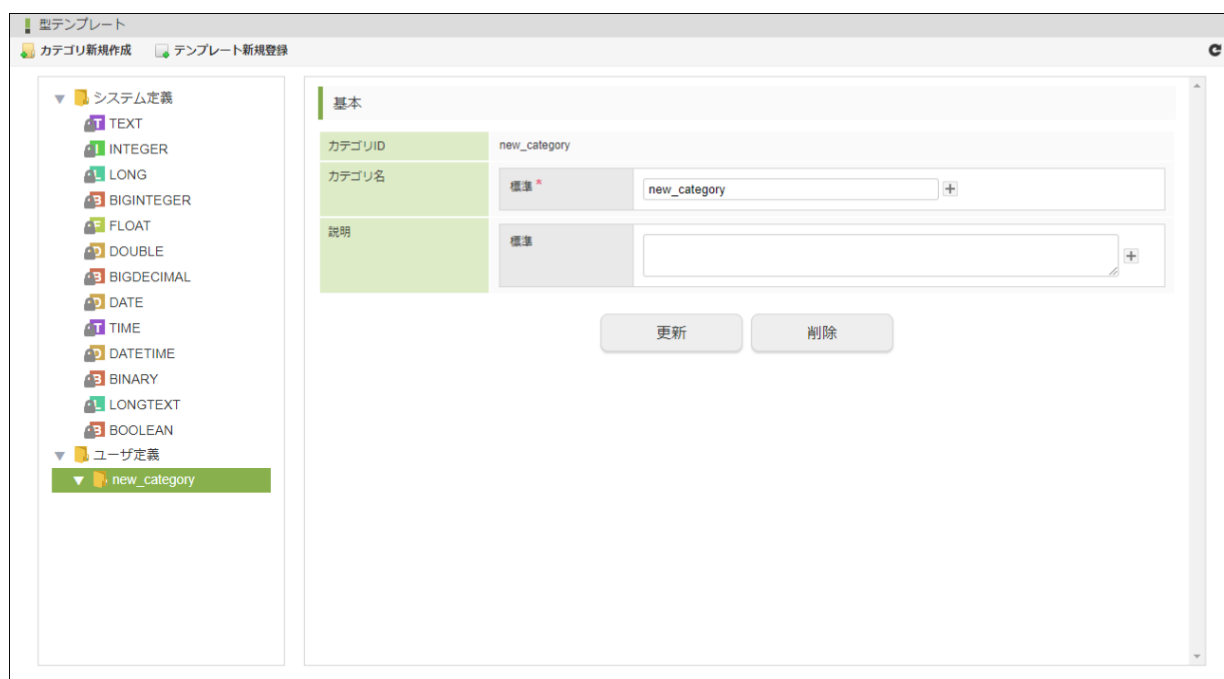
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



2. テンプレート一覧ツリーから確認を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。



カテゴリを編集する

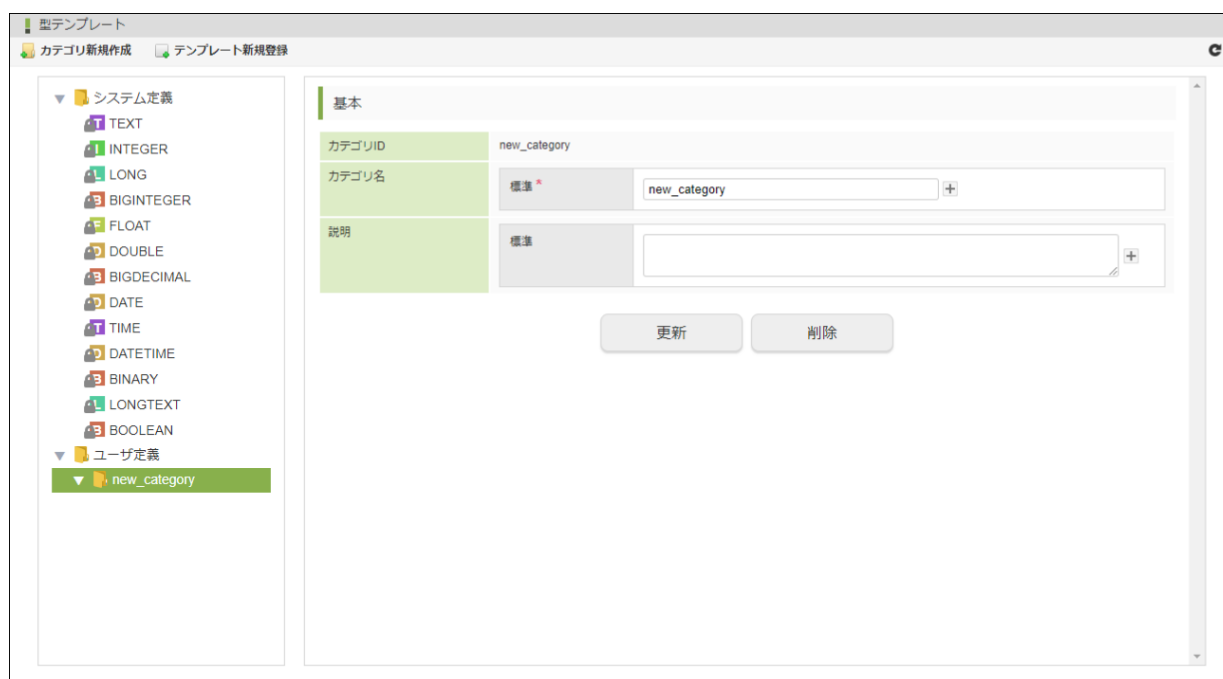
- カテゴリを更新する
- カテゴリを削除する

カテゴリを更新する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。
2. テンプレート一覧ツリーから更新を行うカテゴリをクリックします。



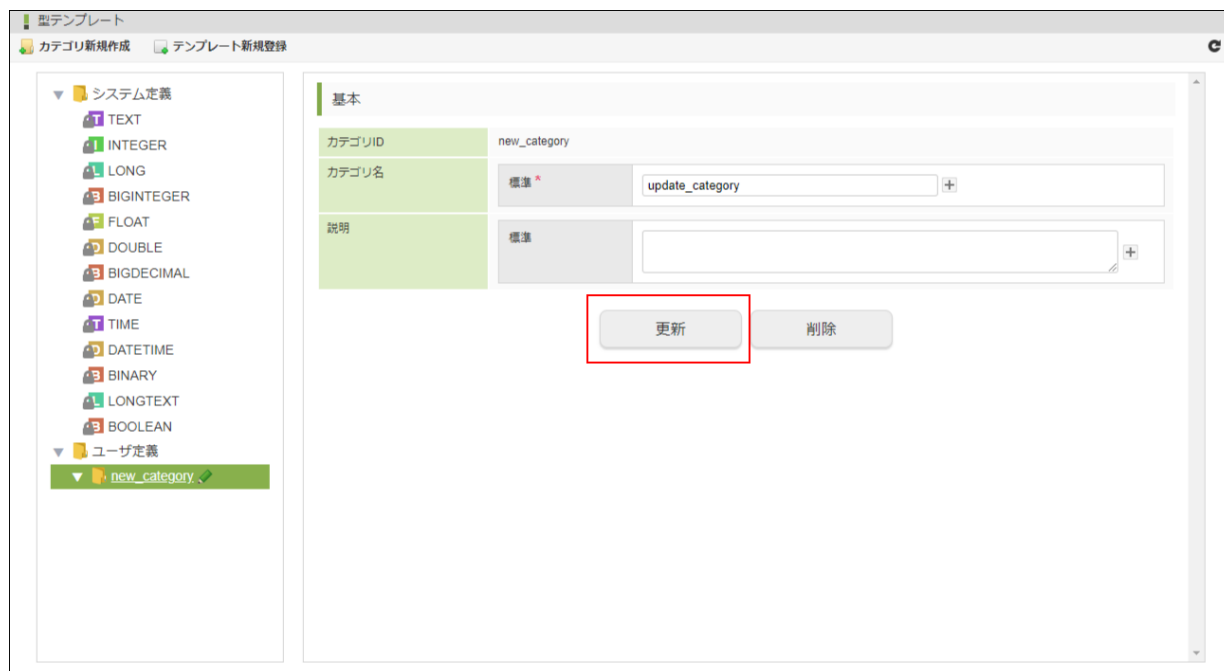
3. カテゴリの基本情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列を入力します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

4. 更新内容を入力し、「更新」ボタンをクリックします。



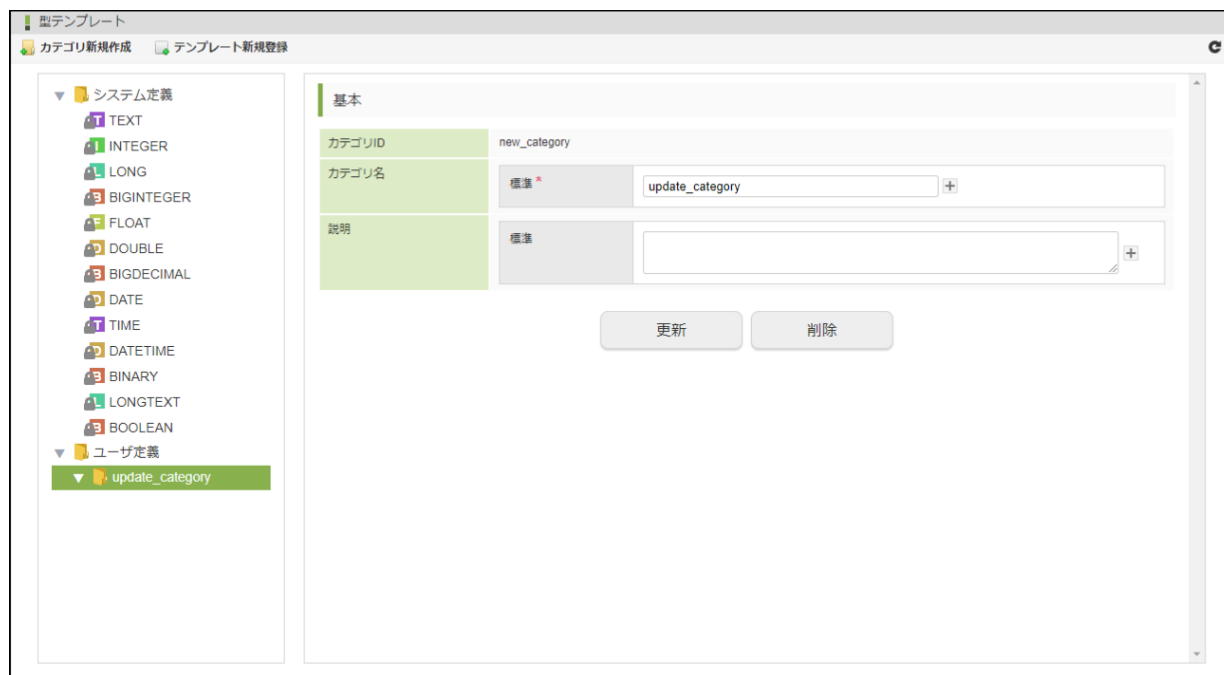
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを削除する

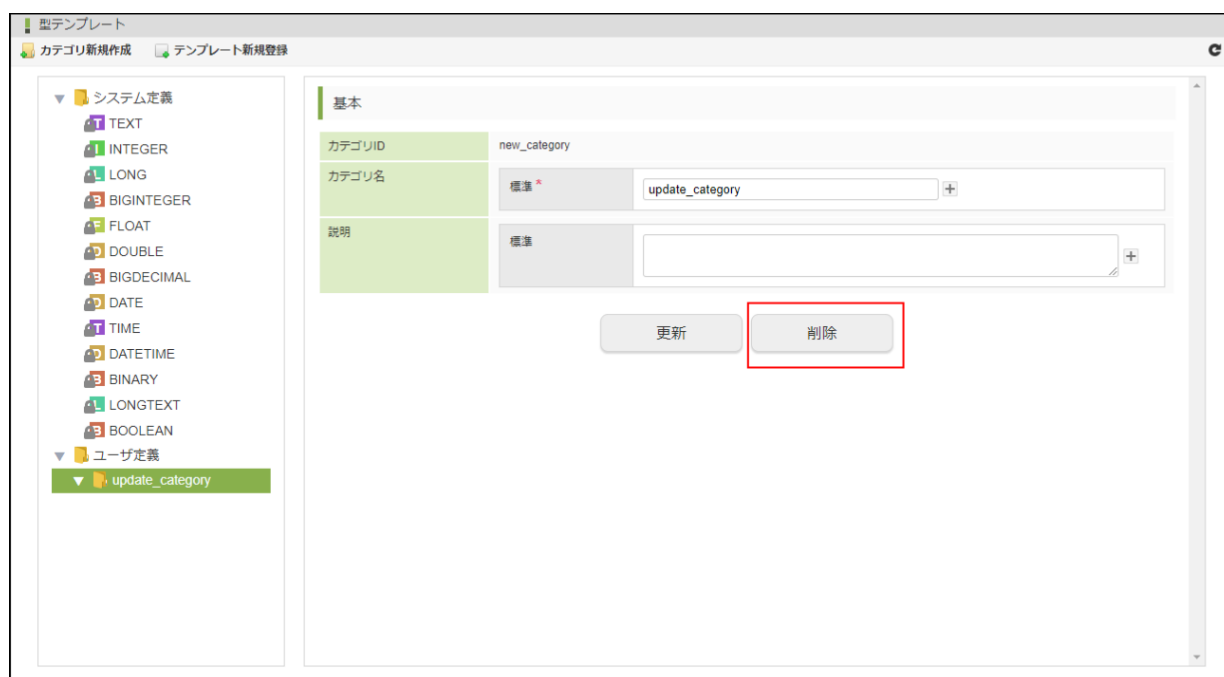
1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。
2. テンプレート一覧ツリーから削除を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。



4. 「削除」ボタンをクリックします。



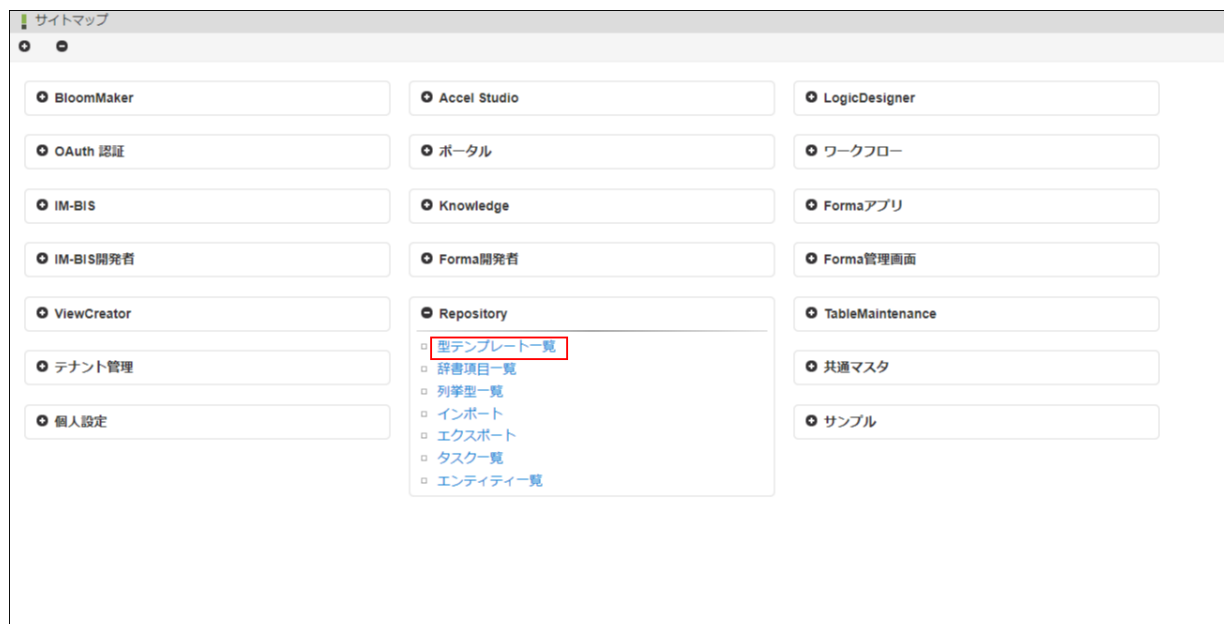
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

テンプレート

テンプレートを扱う画面の機能について説明します。

テンプレートを新規登録する

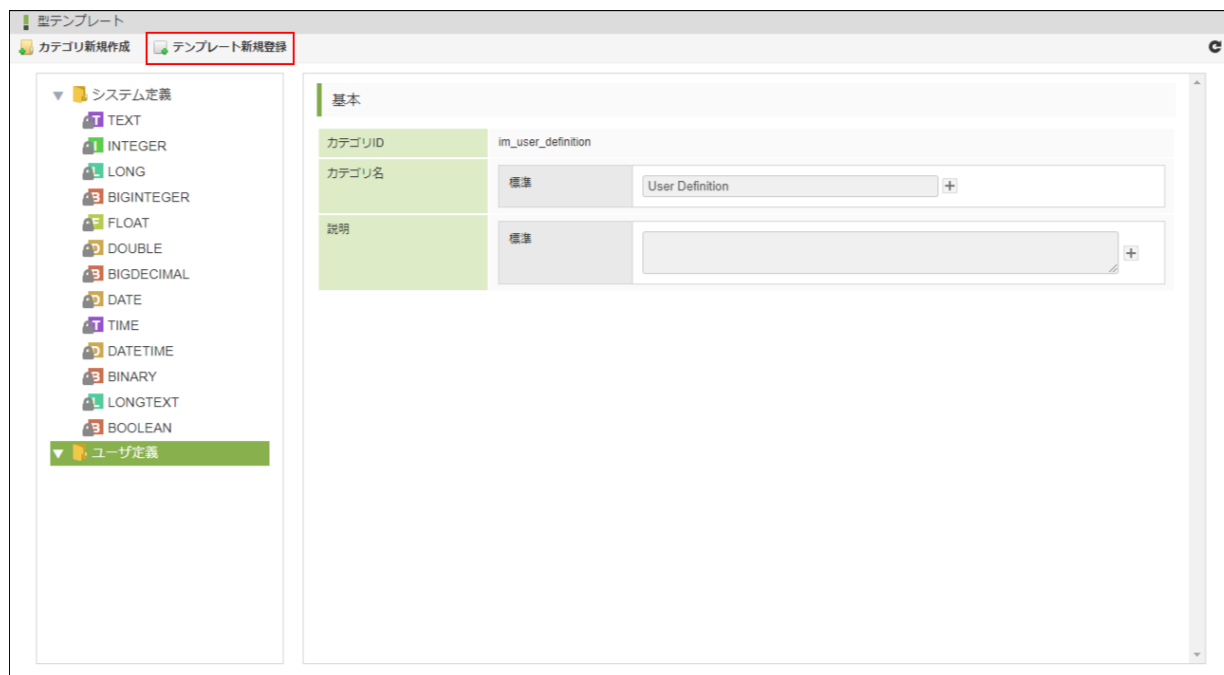
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



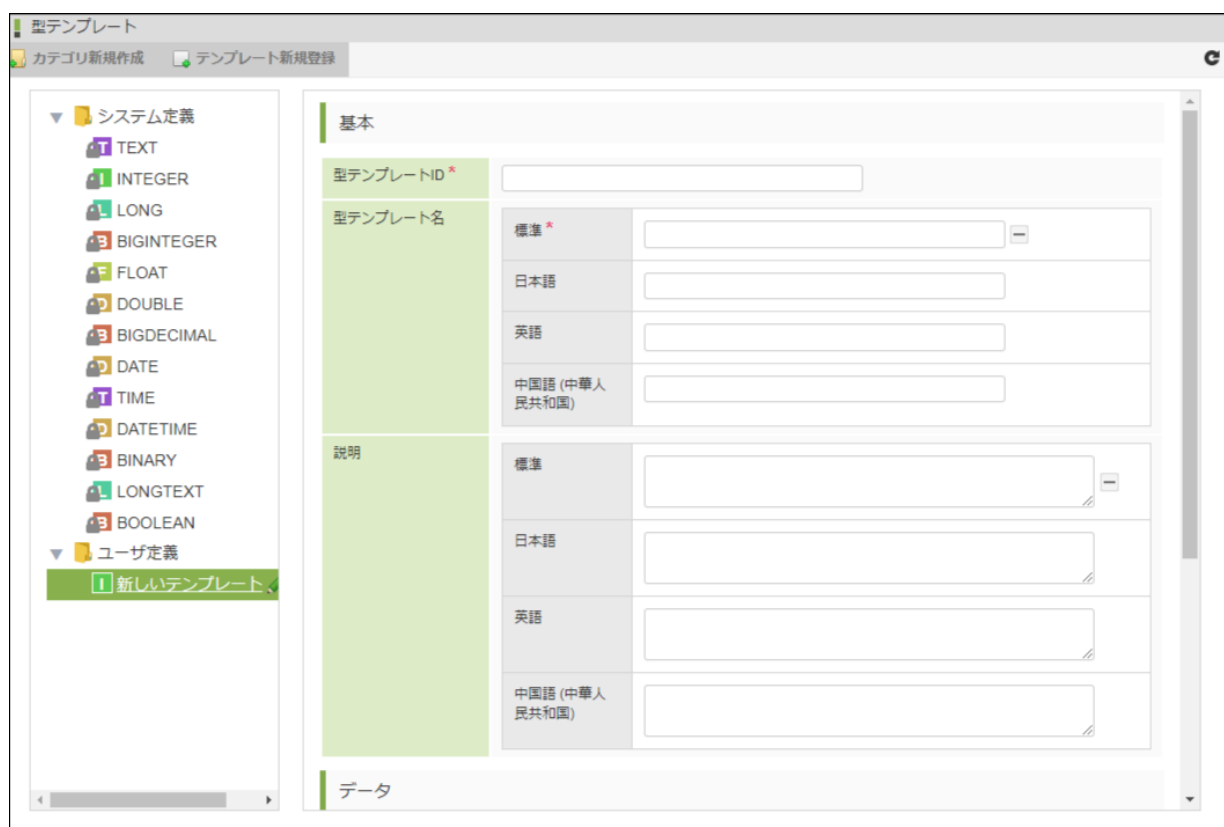
2. テンプレート一覧ツリーのテンプレートを追加したい1つ上の項目をクリックします。



3. ツールバーの「テンプレート追加」をクリックします。



4. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。



<画面項目（基本）>

項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。

項目	説明
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
Java	Javaで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
JavaScript	JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
IM-LogicDesigner	IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。



<画面項目（データ）>

項目	説明
Database	データベースの以下の項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。
「登録」ボタン	型テンプレートを登録します。

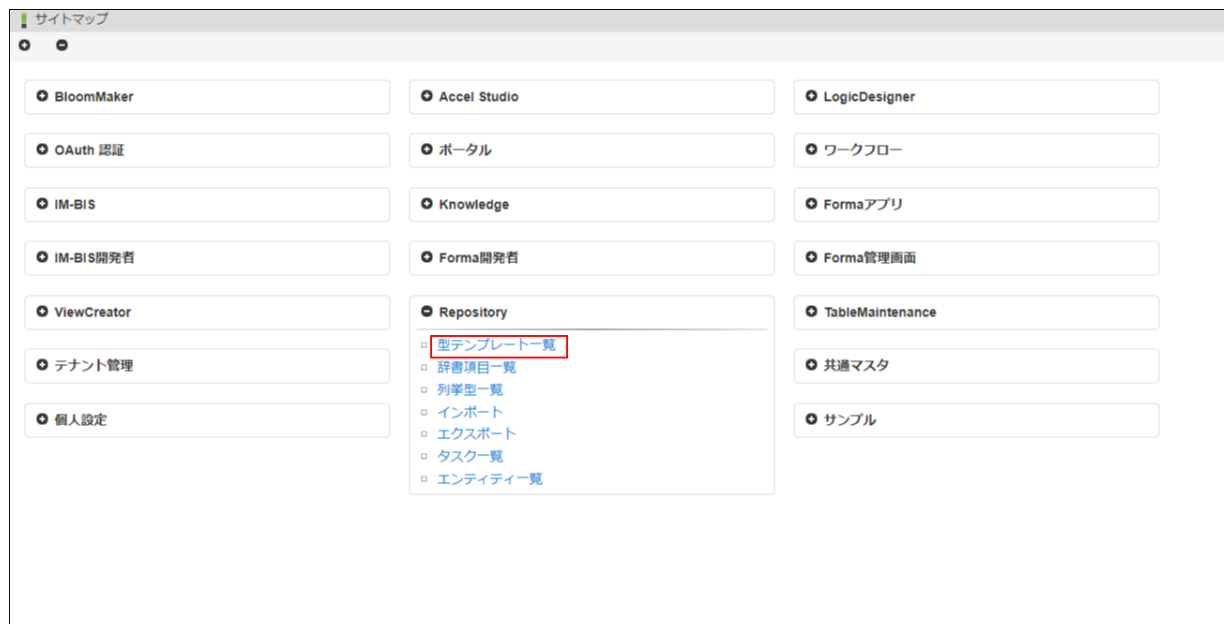
5. 必要項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the '型テンプレート' (Type Template) registration interface. On the left, there is a sidebar with a tree view containing 'システム定義' (System Definition) and 'ユーザ定義' (User Definition) categories. The main area is divided into two sections: a table for language definitions and a 'データ' (Data) section. The language table has columns for language names and input fields for each. The 'データ' section lists various data types with corresponding dropdown menus: Java (String), JavaScript (String), IM-LogicDesigner (string), and Database (文字列). A red rectangular box highlights the '登録' (Register) button located at the bottom right of the form.

6. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

テンプレートを確認する

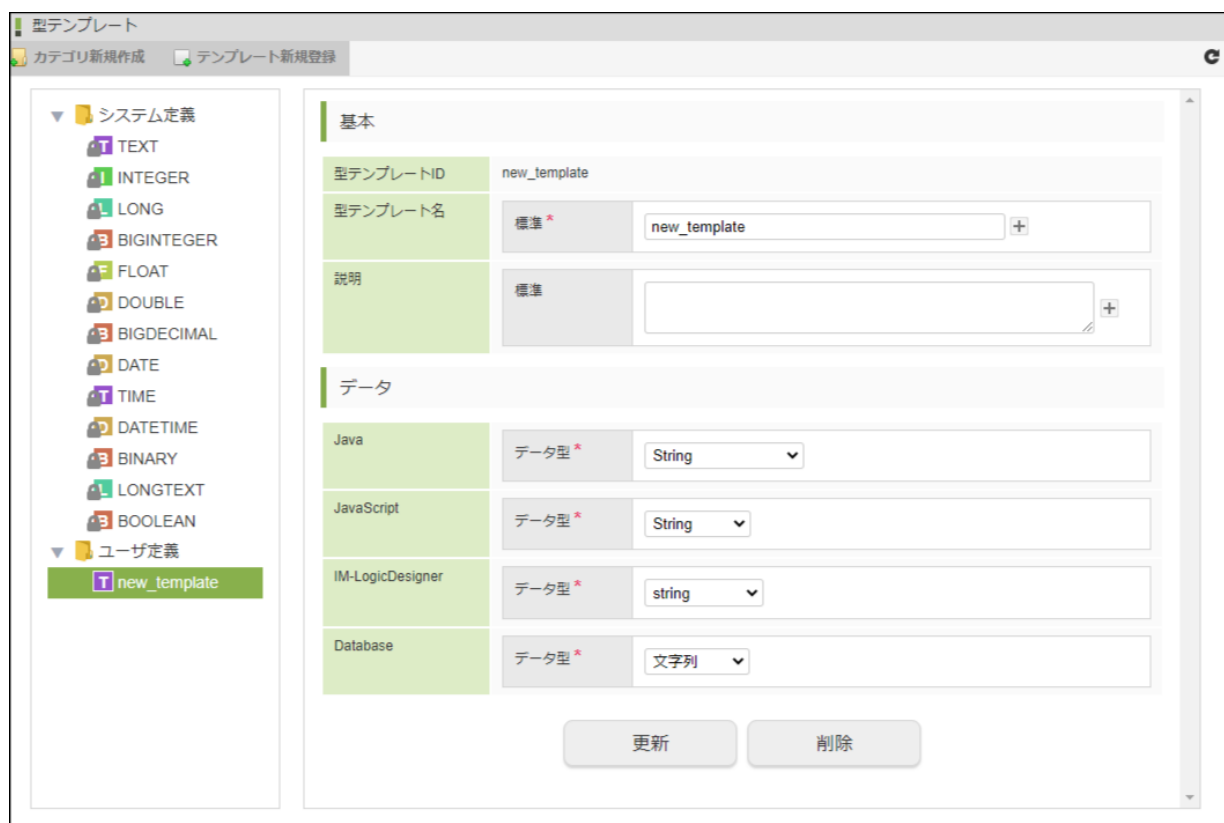
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



2. テンプレート一覧ツリーから確認を行うテンプレートをクリックします。



3. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。



テンプレートを編集する

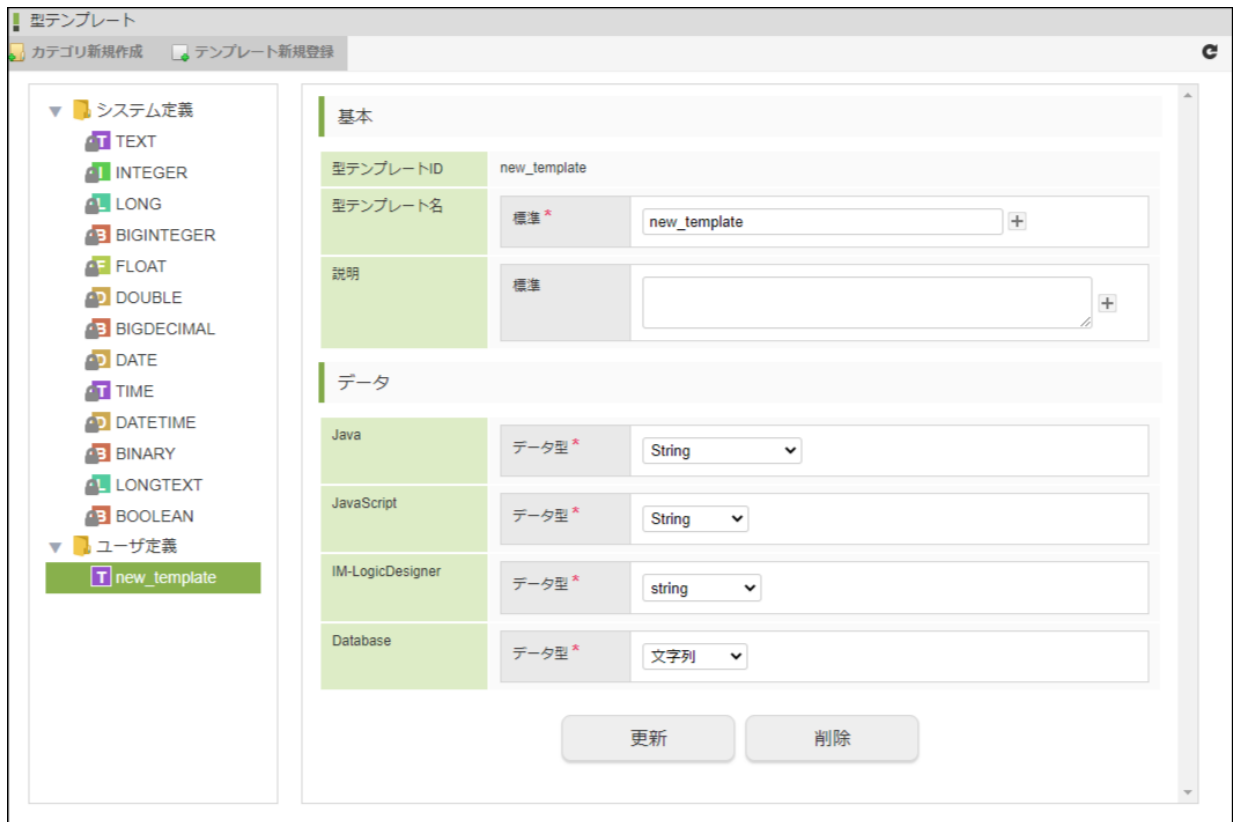
- テンプレートを更新する
- テンプレートを削除する

テンプレートを更新する

1. 「[テンプレートを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。
2. テンプレート一覧ツリーから更新を行うテンプレートをクリックします。



3. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列が表示されます。 更新時にはこの項目は編集不可です。

項目	説明
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
Java	Javaで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
JavaScript	JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
IM-LogicDesigner	IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
Database	データベースの以下の項目を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。
「更新」ボタン	型テンプレートを更新します。
「削除」ボタン	型テンプレートを削除します。

4. 更新内容を入力し、「更新」ボタンをクリックします。

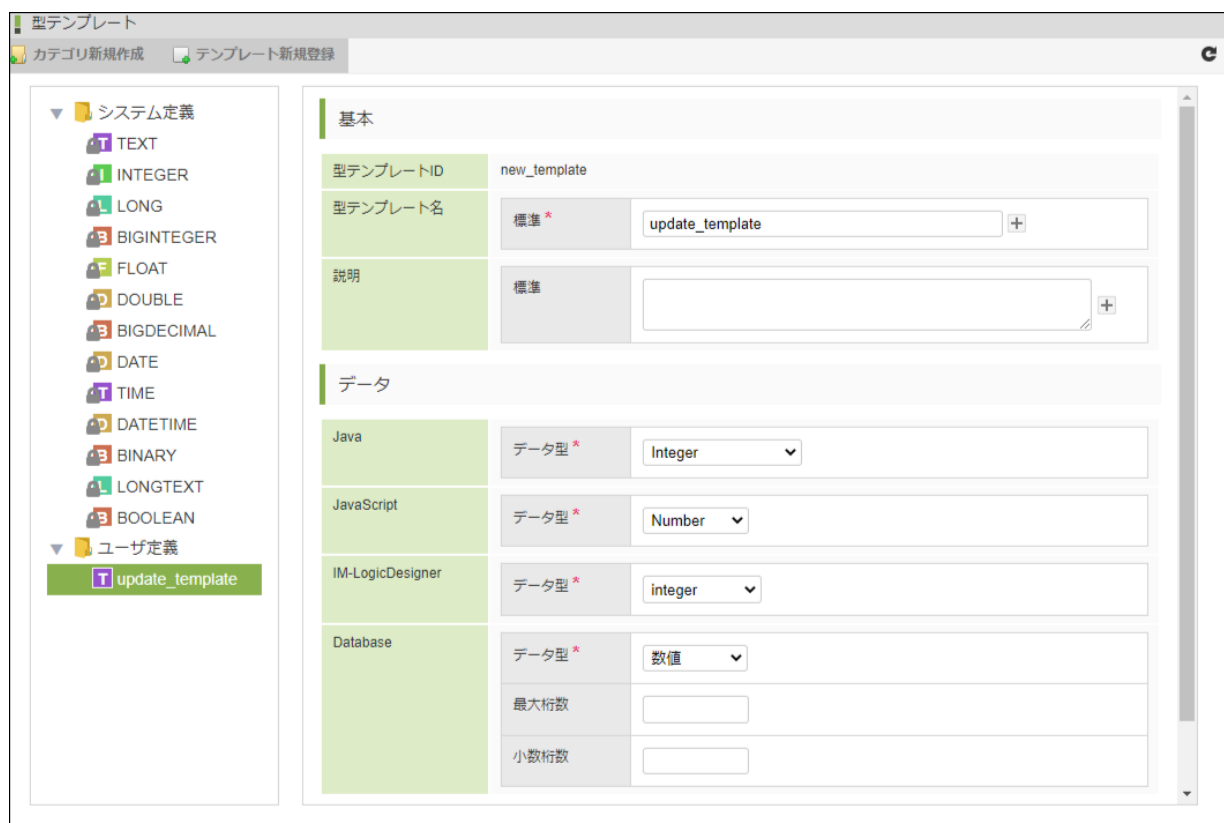
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

テンプレートを削除する

1. 「[テンプレートを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。
2. テンプレート一覧から削除を行うテンプレートをクリックします。



3. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。



4. 「削除」ボタンをクリックします。

型テンプレート

カテゴリ新規作成 テンプレート新規登録

▼ システム定義

- TEXT
- INTEGER
- LONG
- BIGINTEGER
- FLOAT
- DOUBLE
- BIGDECIMAL
- DATE
- TIME
- DATETIME
- BINARY
- LONGTEXT
- BOOLEAN

▼ ユーザ定義

- update_template

型テンプレートID new_template

型テンプレート名 標準* update_template +

説明 標準 +

データ

Java データ型* Integer

JavaScript データ型* Number

IM-LogicDesigner データ型* integer

Database データ型* 数値

最大桁数

小数桁数

更新 削除

5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

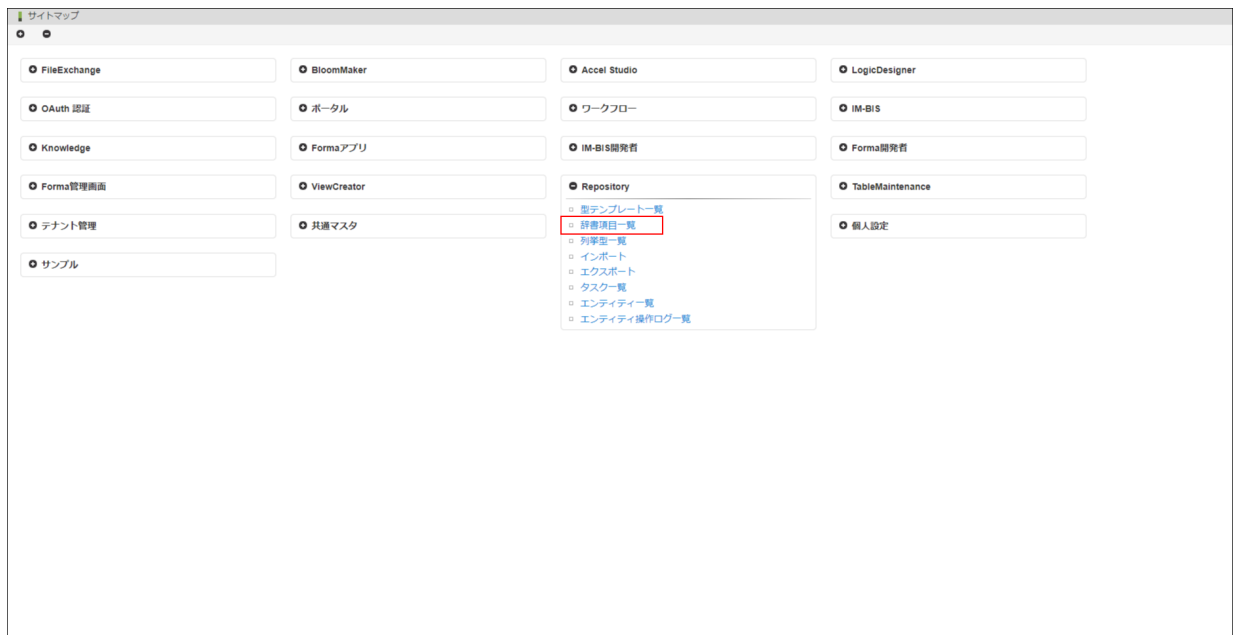
ここではIM-Repositoryで辞書項目を扱う画面の機能について説明します。

辞書項目一覧画面

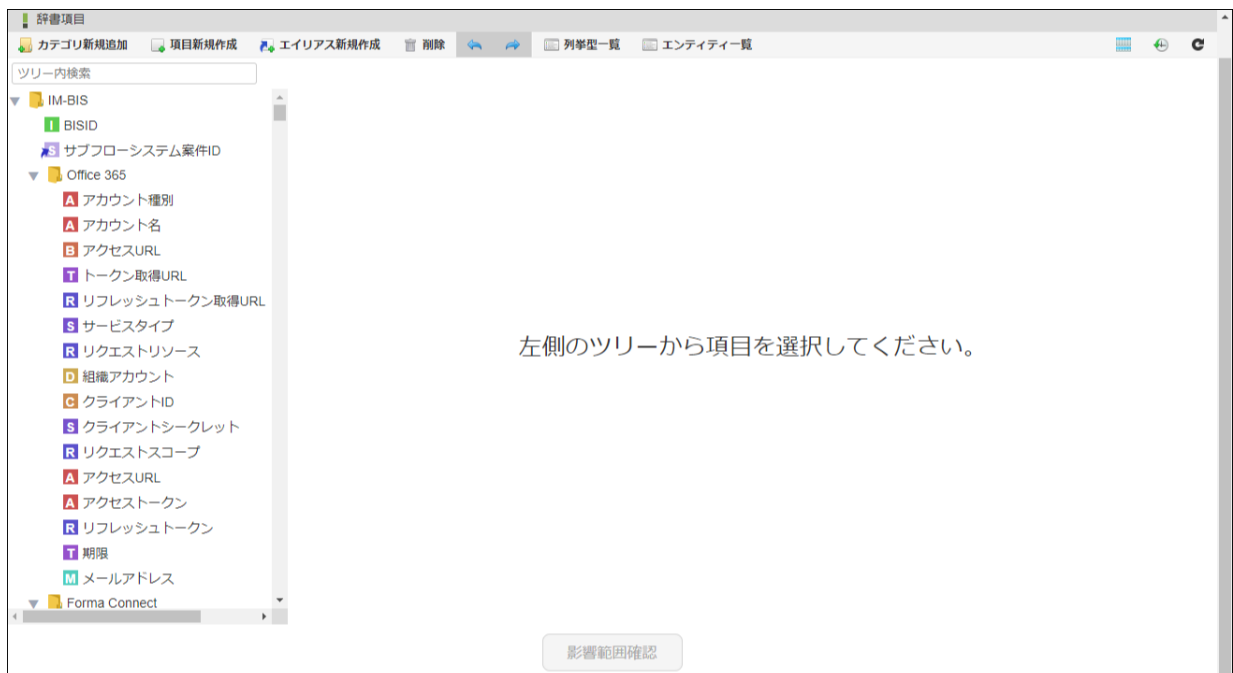
- ツリー形式で表示する
- リスト形式で表示する

ツリー形式で表示する

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツリー形式の「辞書項目一覧」画面が表示されます。



<画面項目>

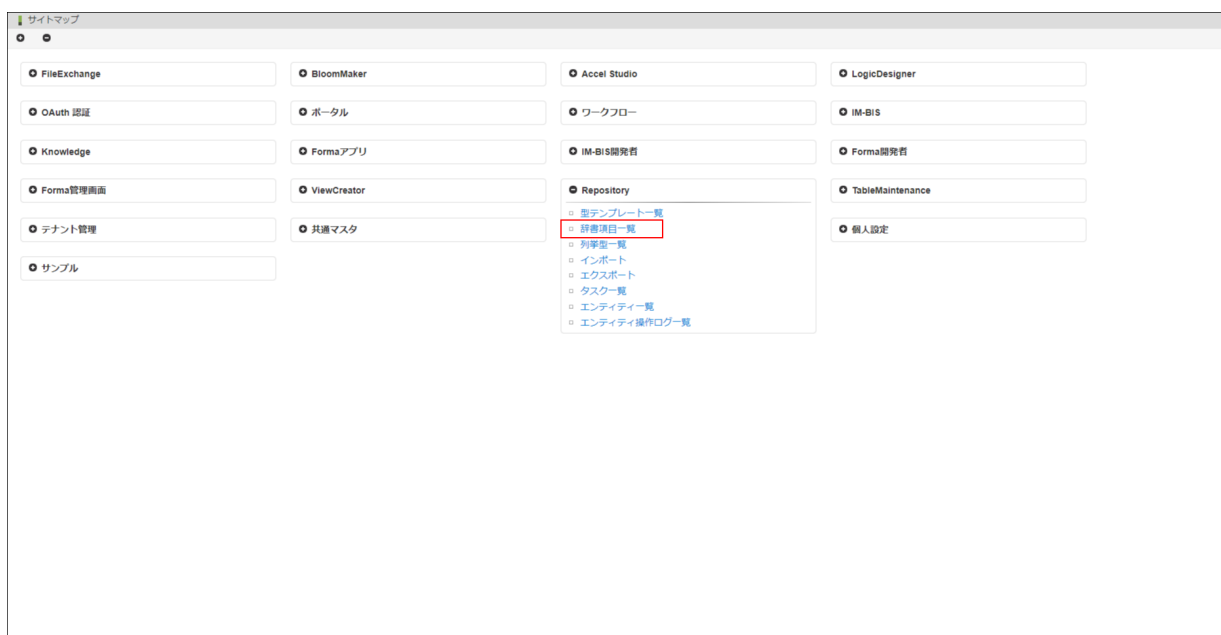
項目	説明
カテゴリ新規追加	項目一覧ツリーにカテゴリを追加します。
項目新規作成	項目一覧ツリーに辞書項目を追加します。
エイリアス新規作成	項目一覧ツリーに辞書項目のエイリアスを追加します。
削除	項目一覧ツリーの選択された項目を削除します。
「UNDO」アイコン	1つ前の状態に戻します。
「REDO」アイコン	1つ後の状態に戻します。
「列挙型一覧」アイコン	「列挙型一覧」画面に遷移します。
「エンティティ一覧」アイコン	「エンティティ一覧」画面に遷移します。
「表示方式切替」アイコン	画面表示をリスト形式に変更します。
「履歴」アイコン	「履歴一覧」画面を表示します。
「更新」アイコン	このページを再読み込みします。
ツリー内検索	検索するツリーの表示名を表す文字列（の一部）を入力します。
項目一覧ツリー	登録されているカテゴリ、辞書項目、または、エイリアスをツリー形式で表示します。
辞書項目	項目一覧ツリーで選択された項目の情報を表示します。
「影響範囲確認」ボタン	「影響範囲確認」画面を表示します。

コラム

ツリー内検索で絞込を行っている場合には、ドラッグ&ドロップによる移動等は行えません。

リスト形式で表示する

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「表示方式切替」アイコンをクリックします。



3. リスト形式の「辞書項目一覧」画面が表示されます。



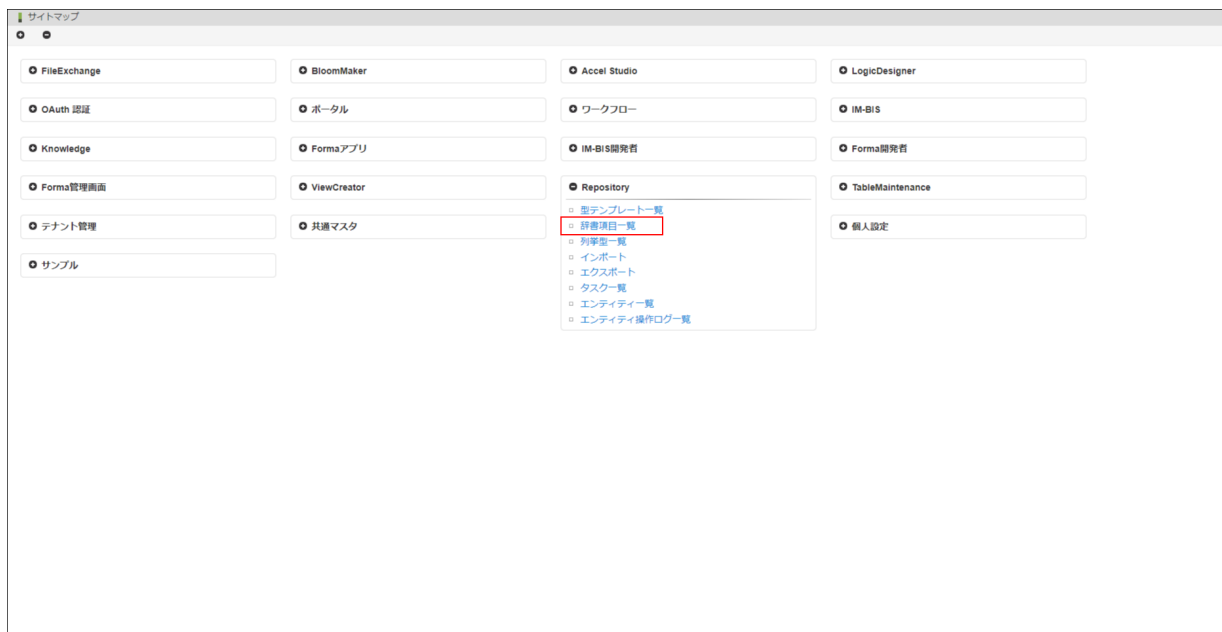
<画面項目>

項目	説明
「更新」アイコン	このページを再読み込みします。
「履歴」アイコン	「履歴一覧」画面を表示します。
「表示方式切替」アイコン	画面表示をツリー形式に変更します。
表示リスト	一覧に表示する項目を選択します。
検索条件	カテゴリ一覧、辞書項目一覧、または、エイリアス一覧のいずれかの要素を表す文字列（の一部）を入力します。
カテゴリ一覧	登録されているカテゴリを表示します。
辞書項目一覧	登録されている辞書項目一覧を表示します。
エイリアス一覧	登録されているエイリアス一覧を表示します。

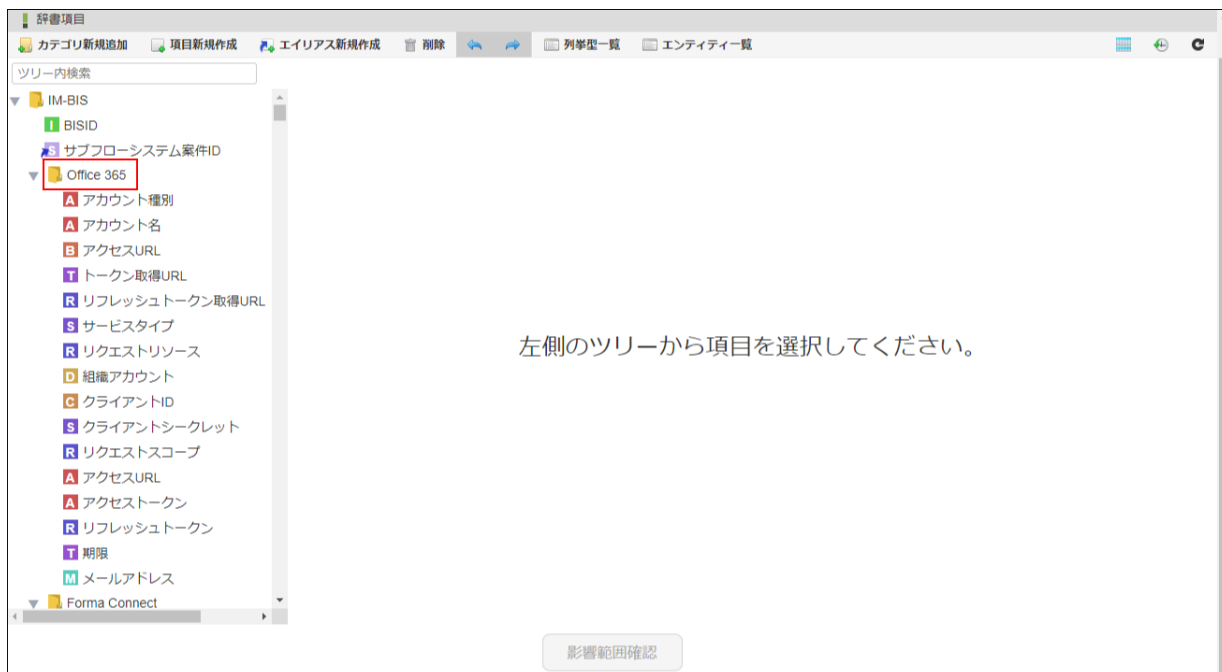
辞書項目のカテゴリを扱う画面の機能について説明します。

カテゴリを新規登録する

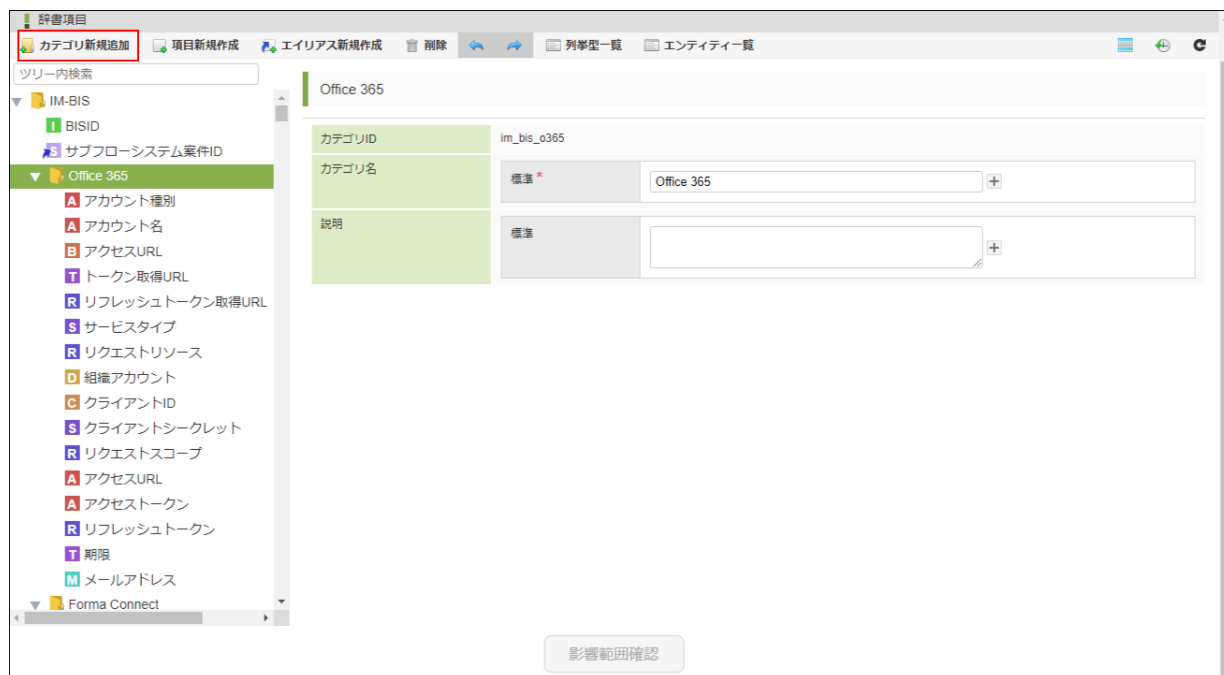
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



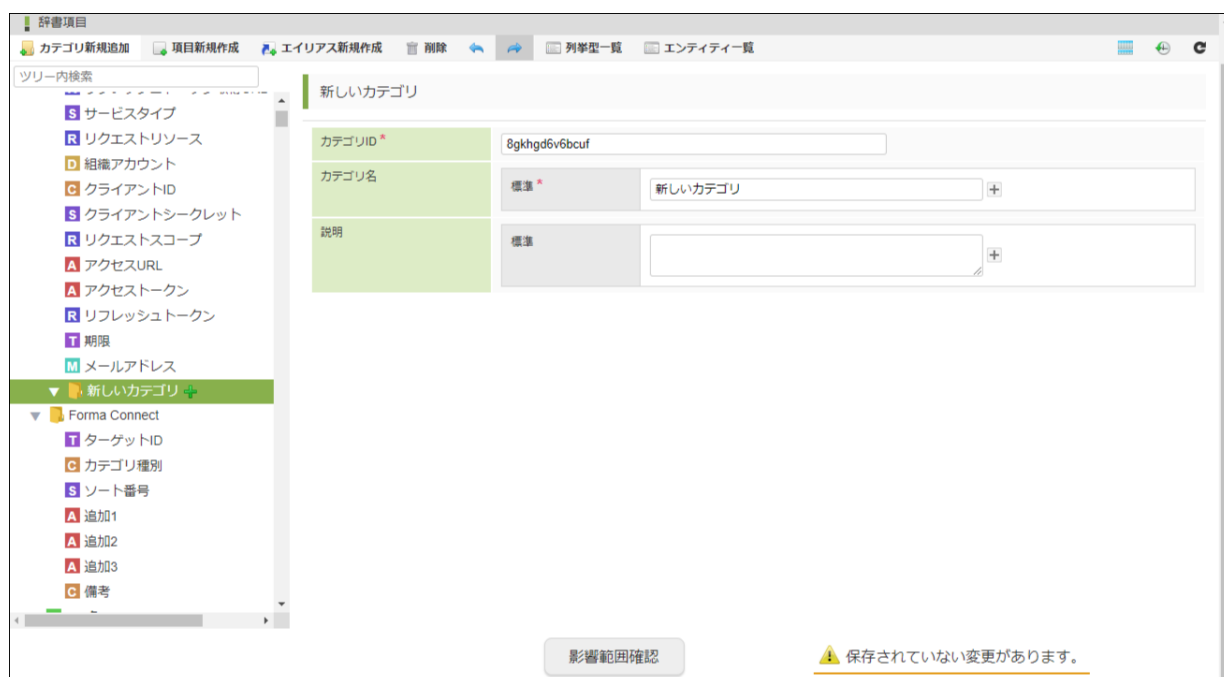
2. 項目一覧ツリーで新規カテゴリを追加したいカテゴリをクリックします。



3. ツールバーの「カテゴリ新規追加」をクリックします。



4. カテゴリ情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

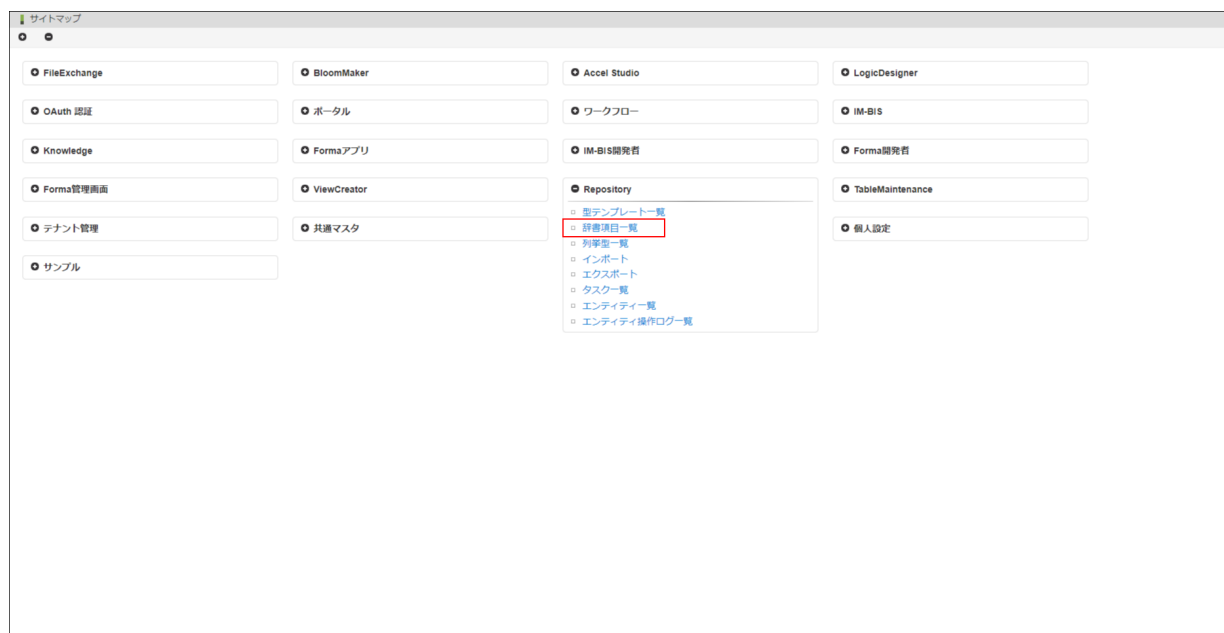
5. 必要項目を入力します。

i コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

カテゴリを確認する

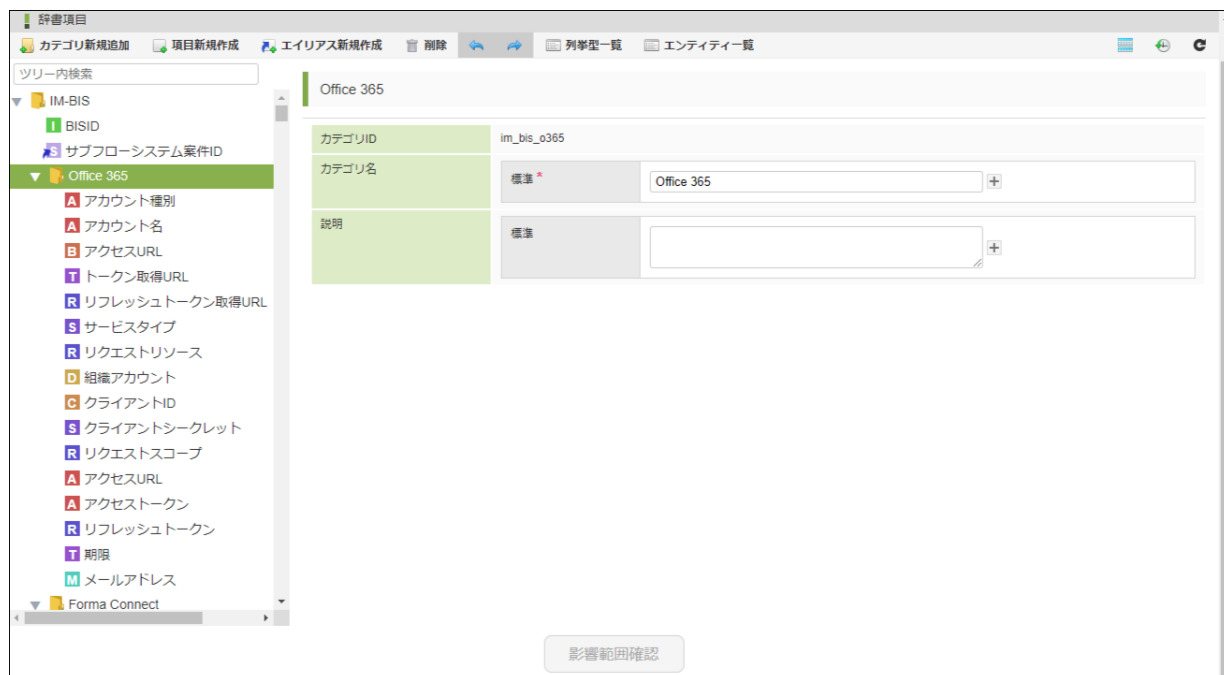
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーから確認を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。



カテゴリを編集する

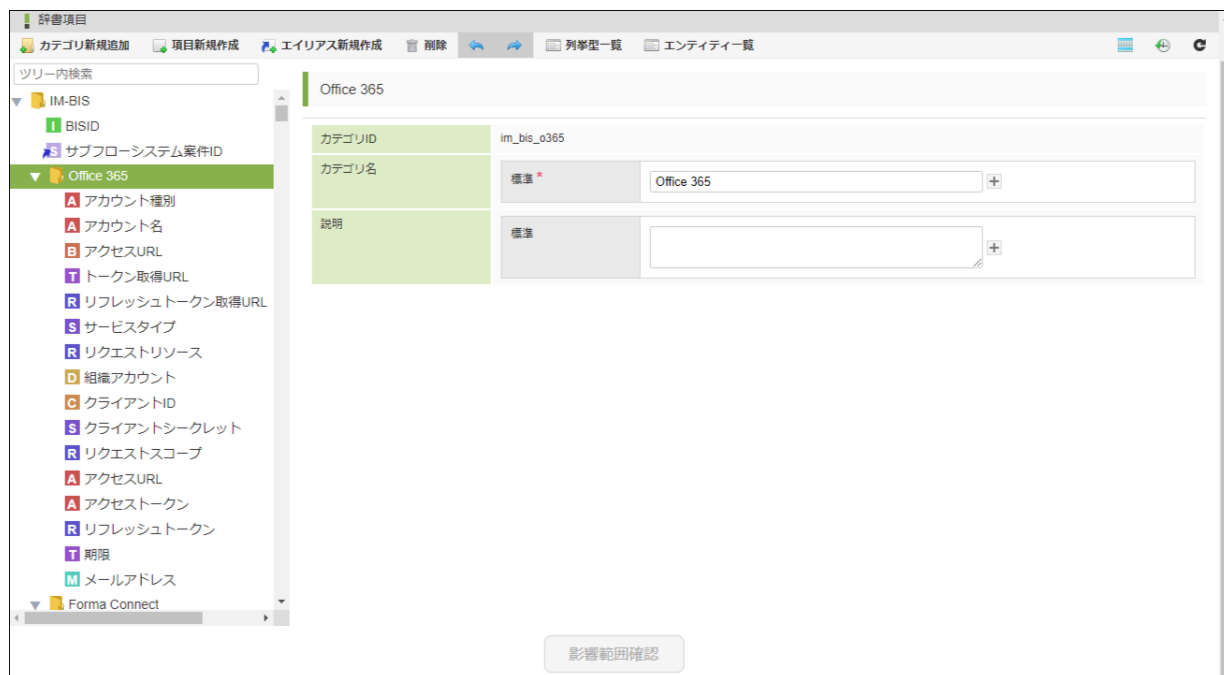
- [カテゴリを更新する](#)
- [カテゴリを削除する](#)

カテゴリを更新する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから更新を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を表示します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

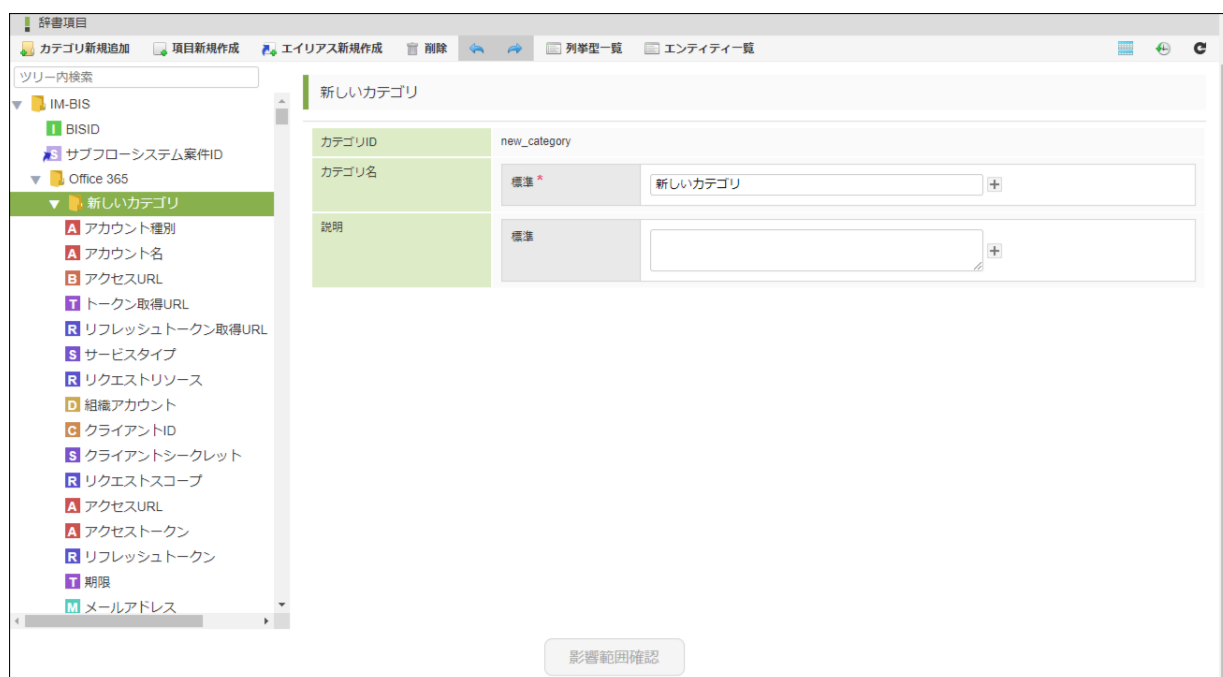
4. 更新内容を入力します。

カテゴリを削除する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから削除を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。



コラム

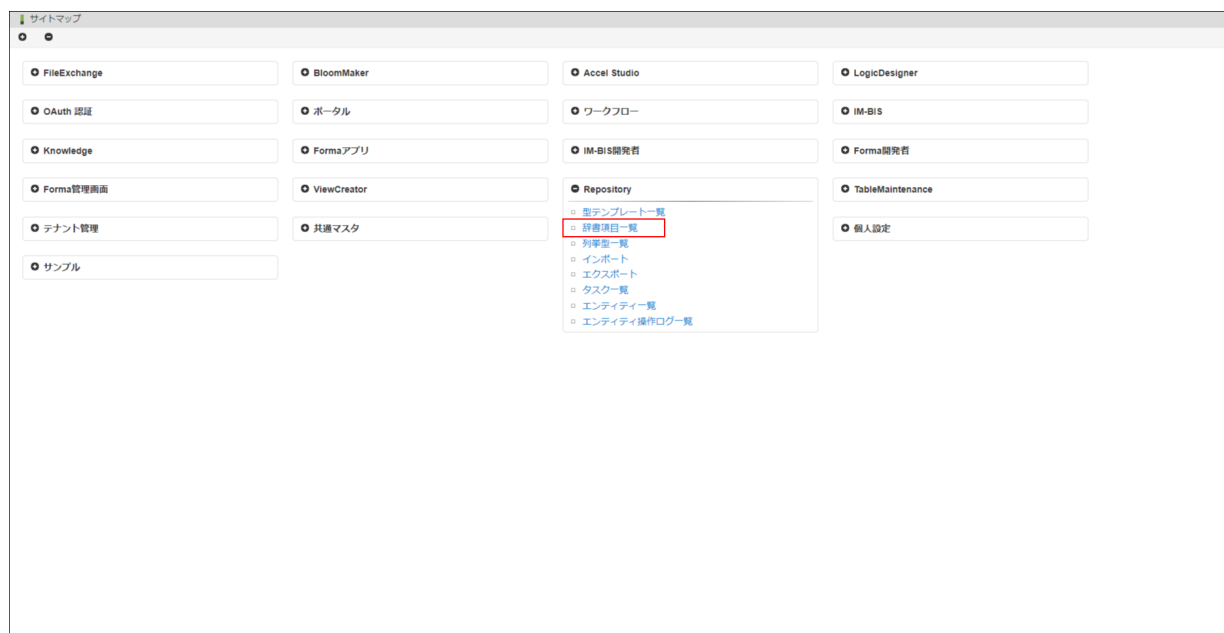
編集した内容は **影響範囲一覧の確認** 後に、 **影響範囲の適用** を行うことにより保存されます。

辞書項目

辞書項目を扱う画面の機能について説明します。

辞書項目を新規登録する

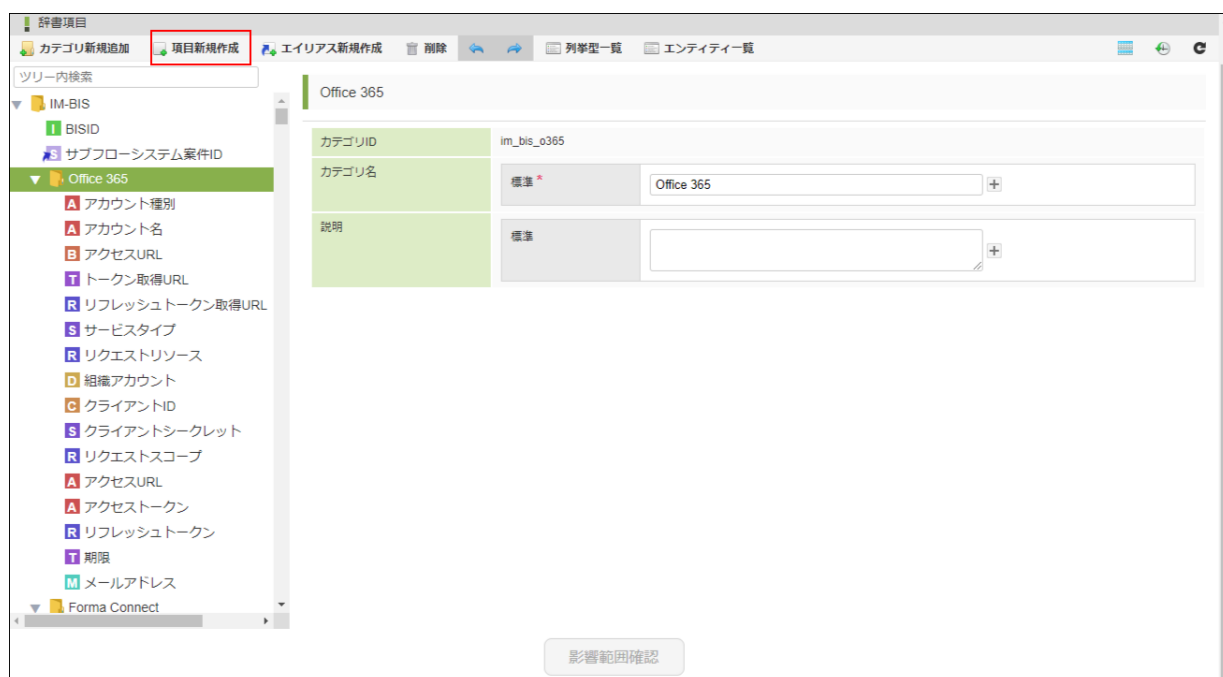
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



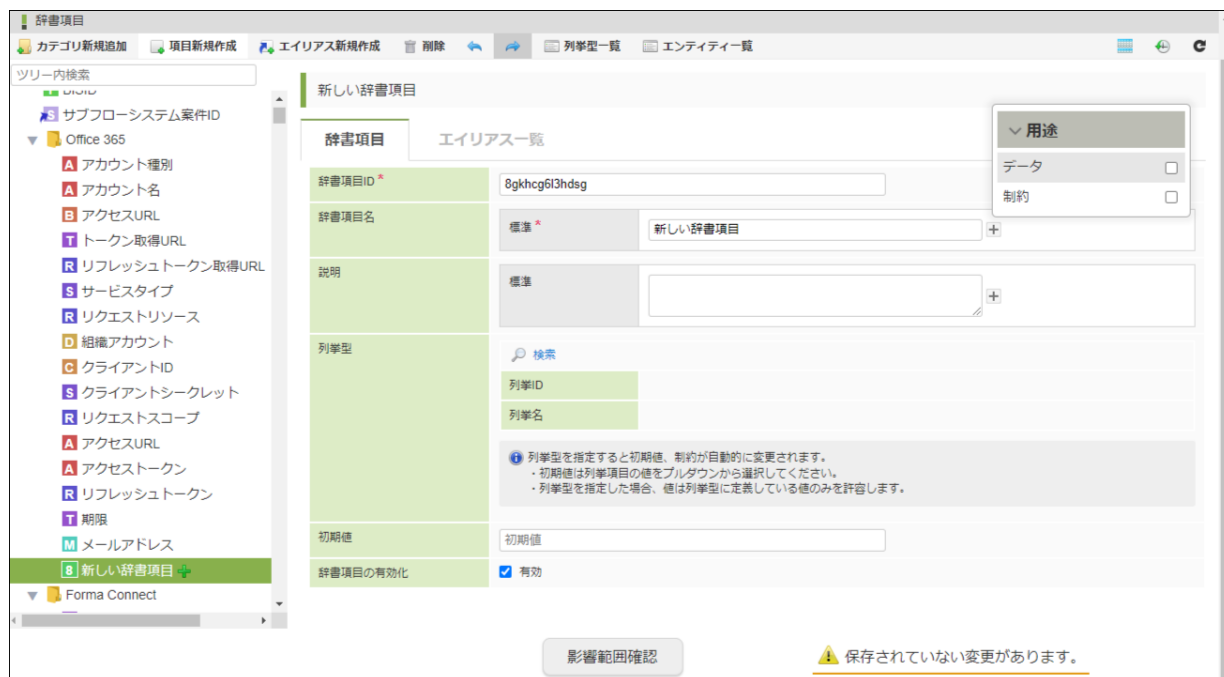
2. 項目一覧ツリーで新規辞書項目を追加したいカテゴリをクリックします。



3. ツールバーの「項目新規作成」をクリックします。

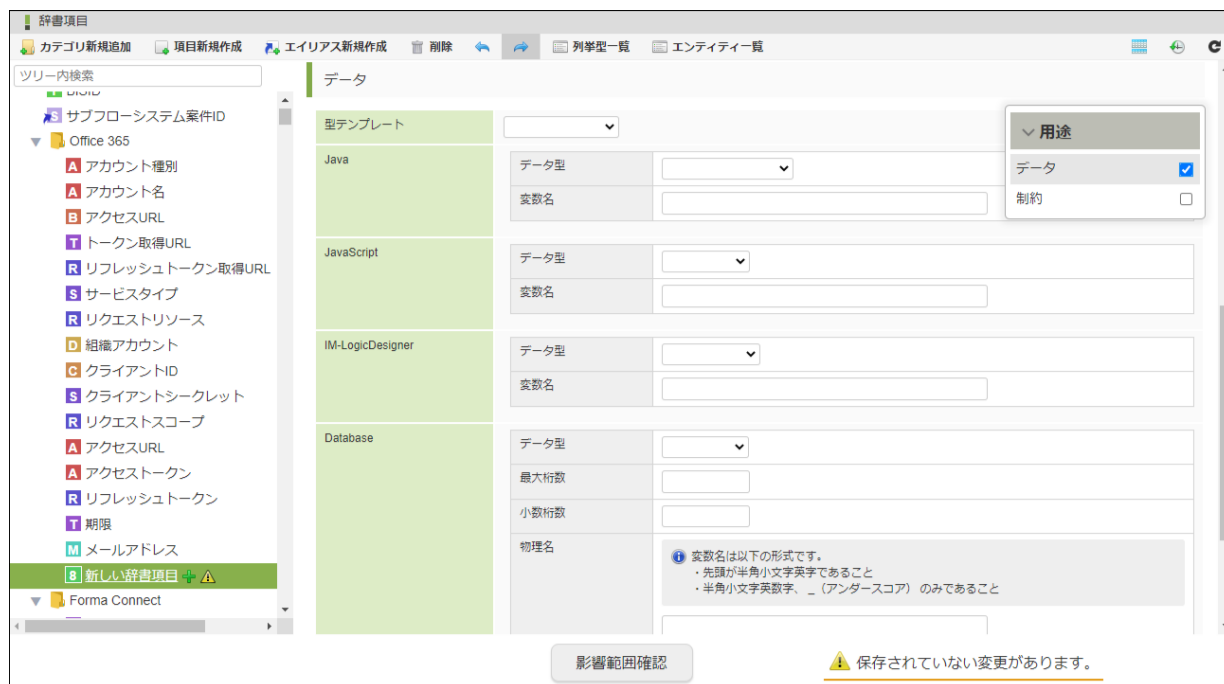


4. 辞書項目情報が表示されます。



<画面項目（辞書項目）>

項目	説明
辞書項目ID	辞書項目を一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
辞書項目名	辞書項目を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	辞書項目の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
列挙型	辞書項目が列挙値の場合に設定します。 列挙型を指定すると制約は「列挙型」、初期値は列挙値のプルダウンに変更します。 制約「列挙型」は、列挙型に定義している値のみを許容する制約です。
初期値	辞書項目の初期値を入力します。 列挙型以外の初期値は固定値のみが入力可能です。 列挙型の初期値はプルダウンから選択してください。
辞書項目の有効化	辞書項目の有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は、外部のアプリケーションで定義の追加ができません。
用途	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ 辞書項目をデータ型として利用する場合に設定します。 この用途は主に、データベースやアプリケーション等から利用される事を想定した用途の場合に指定します。 ■ 制約 辞書項目に対する制約を設定します。 この用途は主に入力内容に対するバリデーション等で利用される事を想定しています。



<画面項目（データ）>

項目	説明
型テンプレート	使用する型テンプレートを設定します。
Java	<ul style="list-style-type: none"> データ型 Javaで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 Javaコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
JavaScript	<ul style="list-style-type: none"> データ型 JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 JavaScriptコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
IM-LogicDesigner	<ul style="list-style-type: none"> データ型 IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 IM-LogicDesignerから利用される場合の変数名を設定します。

項目	説明
Database	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 ■ 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 ■ 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。 ■ 物理名 データベースで使用された時の物理名を入力します。 ■ 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 ■ コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

<画面項目（制約）>

この設定項目の詳細については以下を参照してください。

- [辞書項目の制約](#)

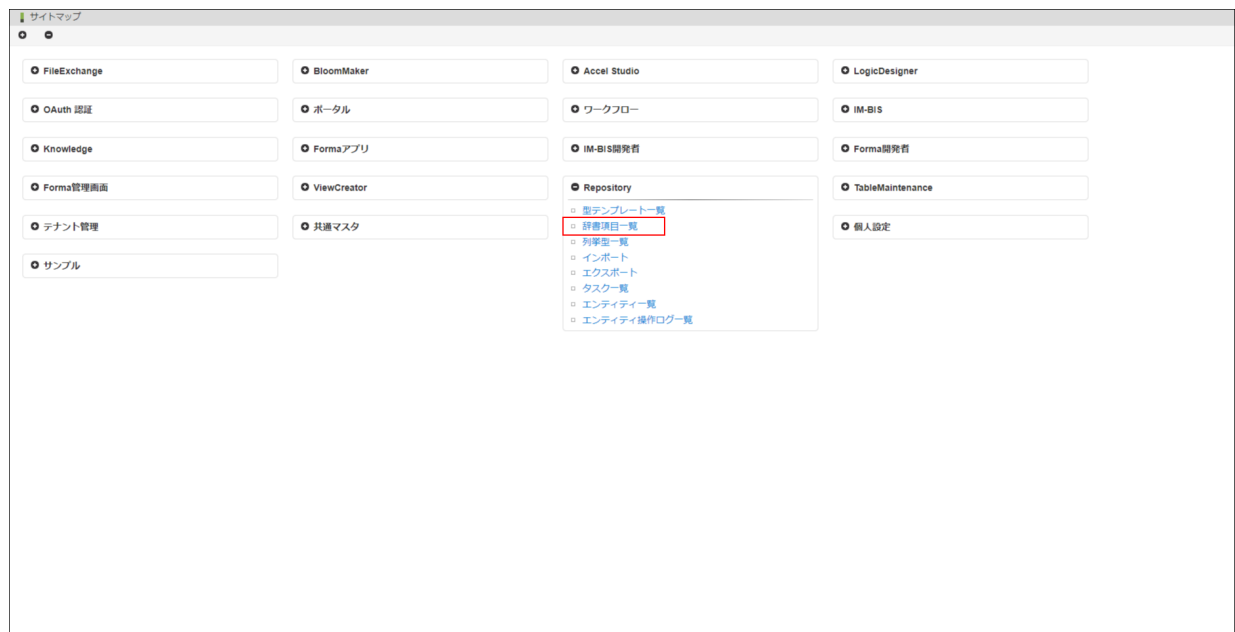
5. 必要項目を入力します。

コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

辞書項目を確認する

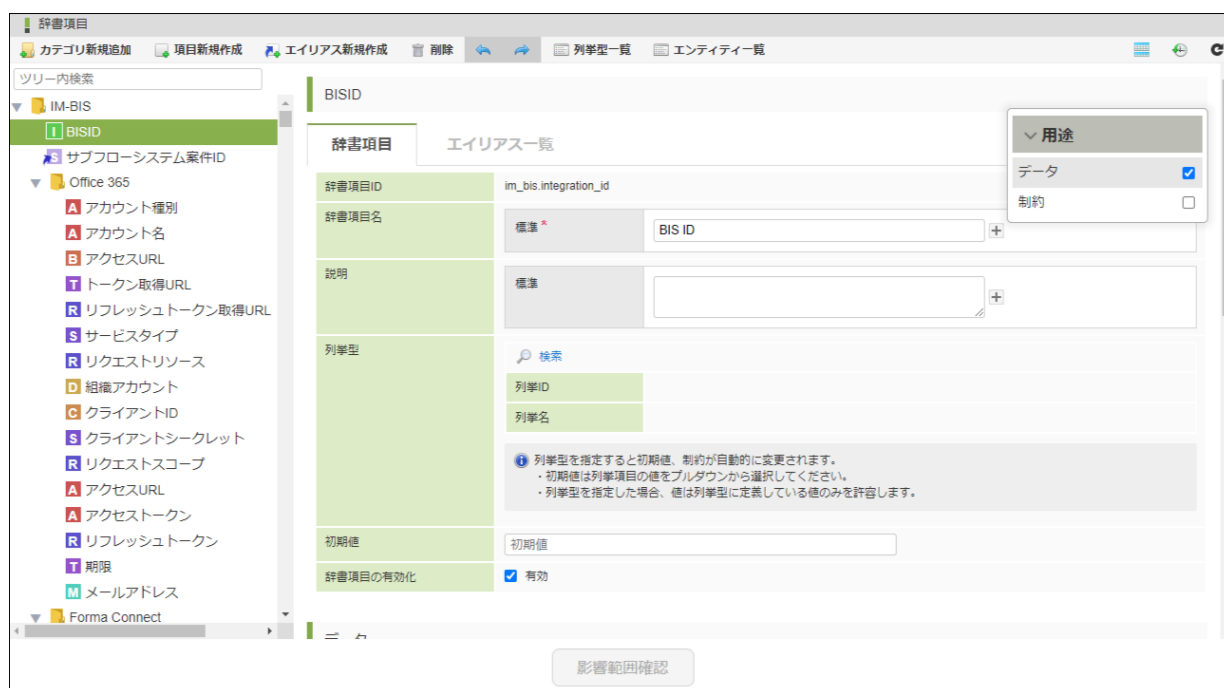
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーから確認を行う辞書項目をクリックします。



3. 辞書項目情報が表示されます。



辞書項目を編集する

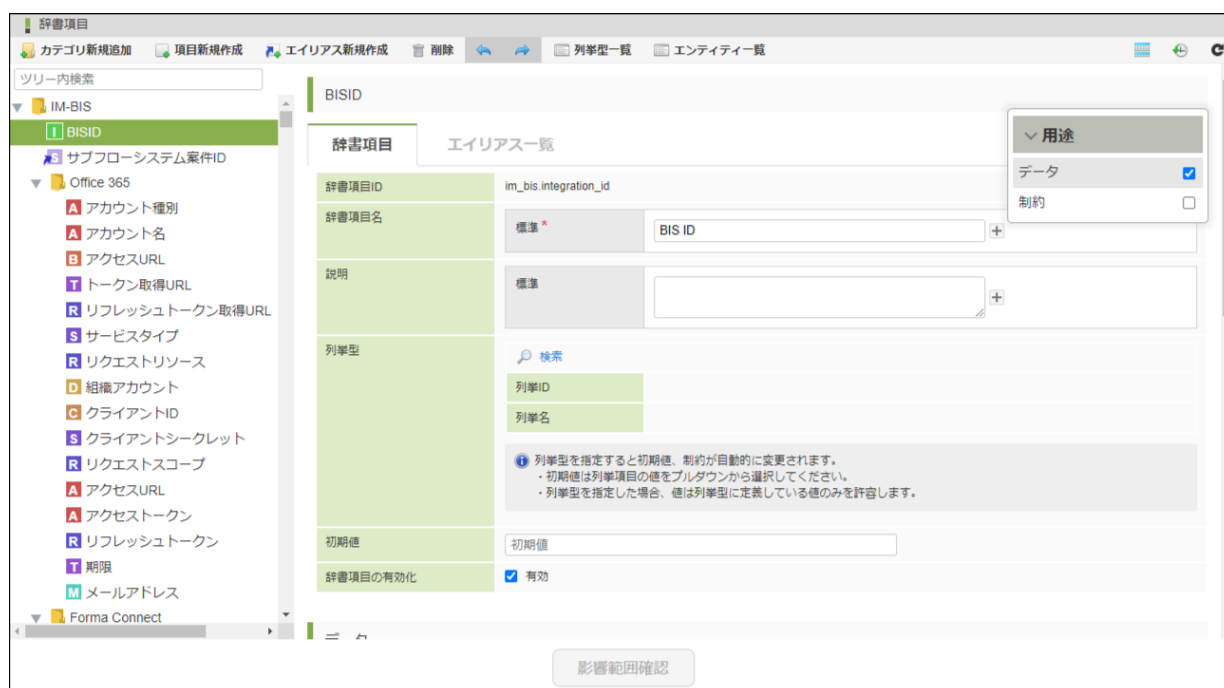
- 辞書項目を更新する
- 辞書項目を削除する

辞書項目を更新する

1. 「辞書項目を確認する」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから更新を行う辞書項目をクリックします。



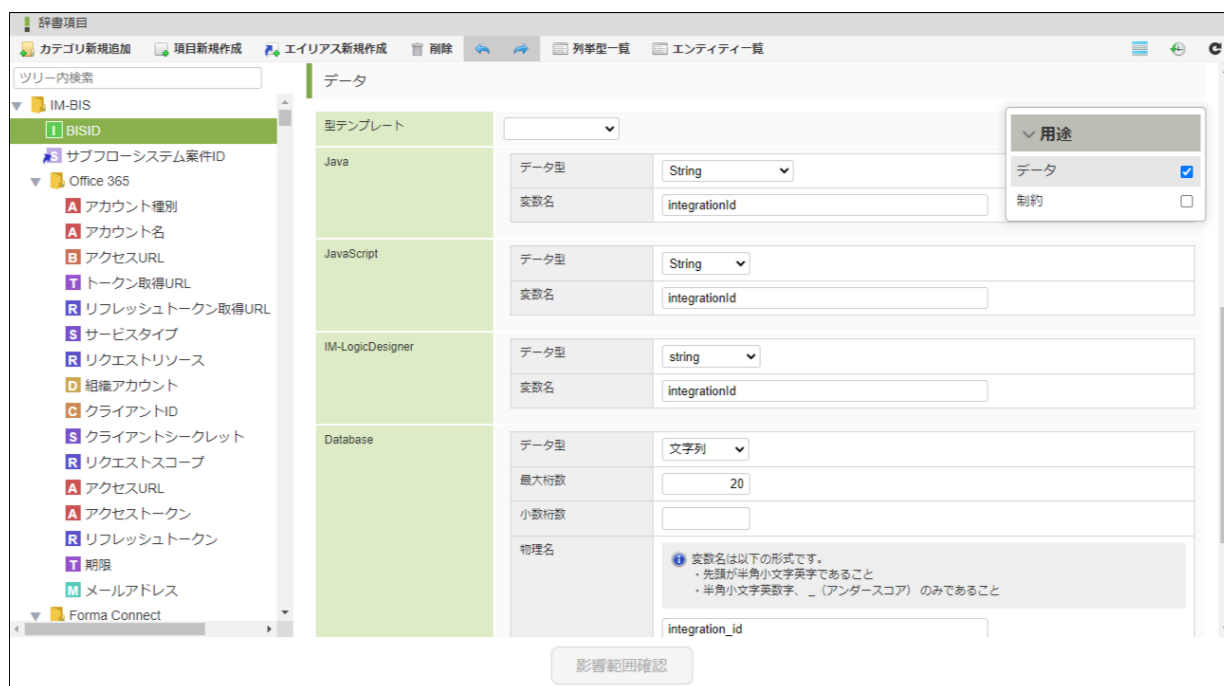
3. 辞書項目情報が表示されます。



<画面項目（辞書項目）>

項目	説明
辞書項目ID	辞書項目を一意に表す文字列を表示します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
辞書項目名	辞書項目を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	辞書項目の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

項目	説明
列挙型	辞書項目が列挙値の場合に設定します。 列挙型を指定すると制約は「列挙型」、初期値は列挙値のプルダウンに変更します。 制約「列挙型」は、列挙型に定義している値のみを許容する制約です。
初期値	辞書項目の初期値を入力します。 列挙型以外の初期値は固定値のみが入力可能です。 列挙型の初期値はプルダウンから選択してください。
辞書項目の有効化	辞書項目の有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は、外部のアプリケーションで定義の追加ができません。
用途	<ul style="list-style-type: none"> データ 辞書項目をデータ型として利用する場合に設定します。 この用途は主に、データベースやアプリケーション等から利用される事を想定した用途の場合に指定します。 制約 辞書項目に対する制約を設定します。 この用途は主に入力内容に対するバリデーション等で利用される事を想定しています。



<画面項目 (データ) >

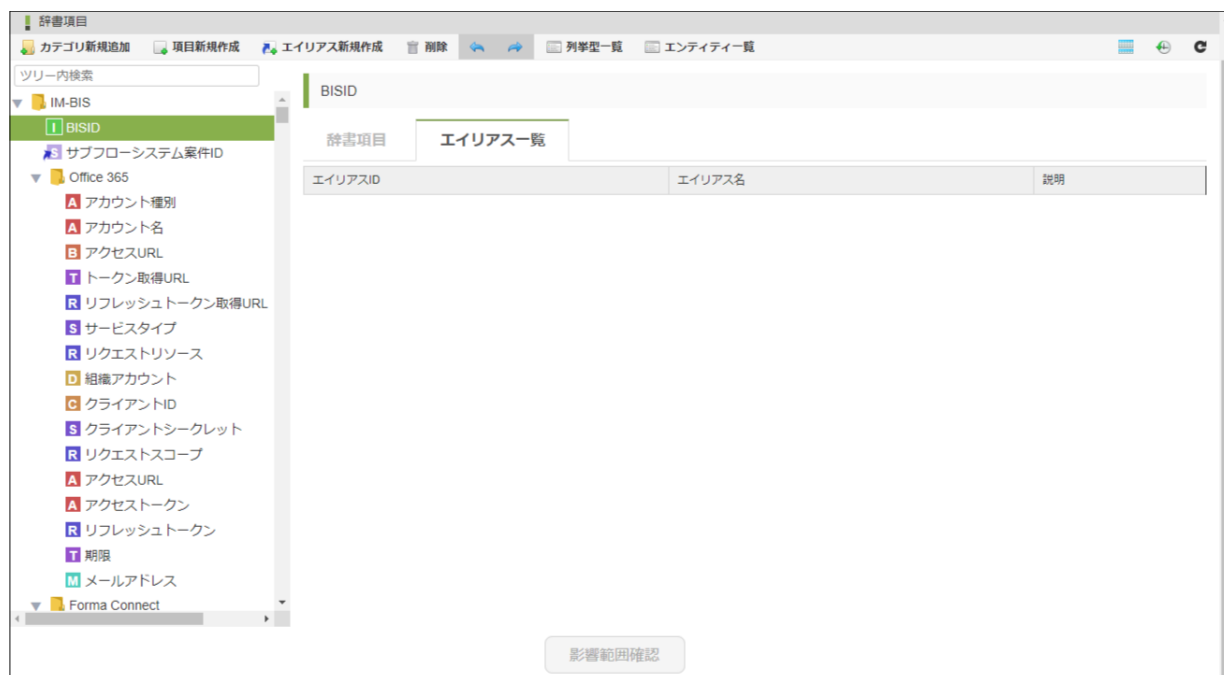
項目	説明
型テンプレート	使用する型テンプレートを設定します。
Java	<ul style="list-style-type: none"> データ型 Javaで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 Javaコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。

項目	説明
JavaScript	<ul style="list-style-type: none"> データ型 JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 JavaScriptコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
IM-LogicDesigner	<ul style="list-style-type: none"> データ型 IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 変数名 IM-LogicDesignerから利用される場合の変数名を設定します。
Database	<ul style="list-style-type: none"> データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。 物理名 データベースで使用された時の物理名を入力します。 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

<画面項目（制約）>

この設定項目の詳細については以下を参照してください。

■ 辞書項目の制約



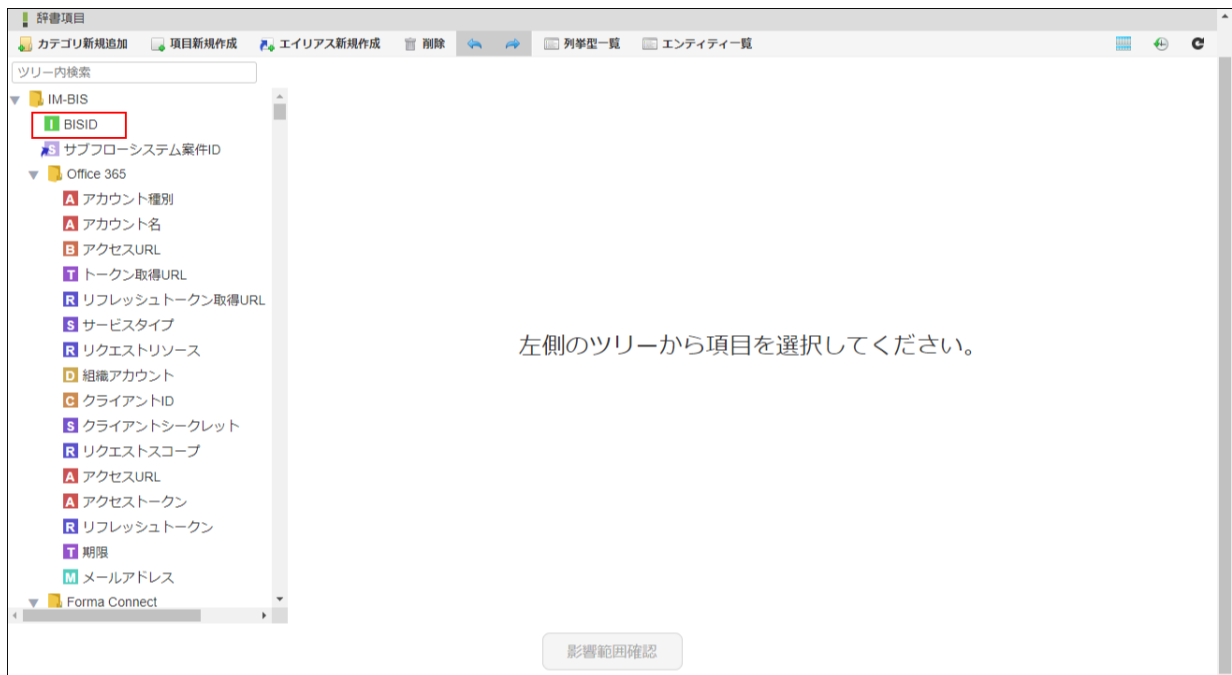
<画面項目（エイリアス一覧）>

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を表示します。 エイリアスIDをクリックすると参照元のエイリアスの情報を表示します。
エイリアス名	エイリアスを表す名称を表示します。 エイリアス名をクリックすると参照元のエイリアスの情報を表示します。
説明	エイリアスの説明を表示します。

4. 更新内容を入力します。

辞書項目を削除する

- 「辞書項目を確認する」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
- 項目一覧ツリーから削除を行う辞書項目をクリックします。



3. 辞書項目情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。



コラム

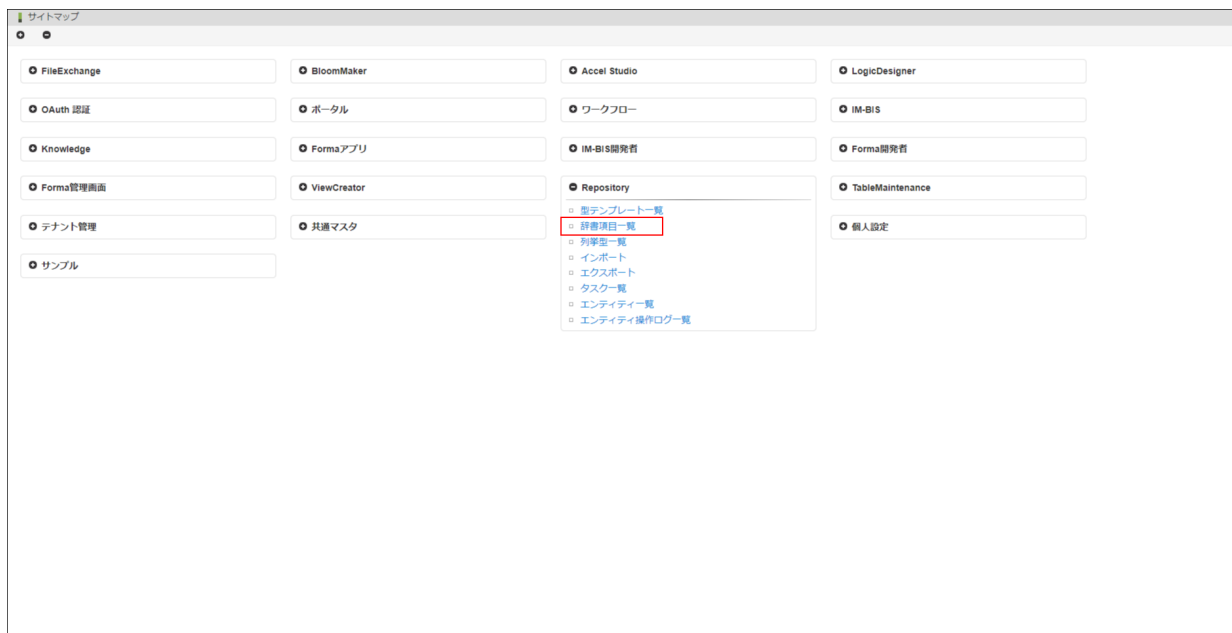
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

エイリアス

エイリアスを扱う画面の機能について説明します。

エイリアスを新規登録する

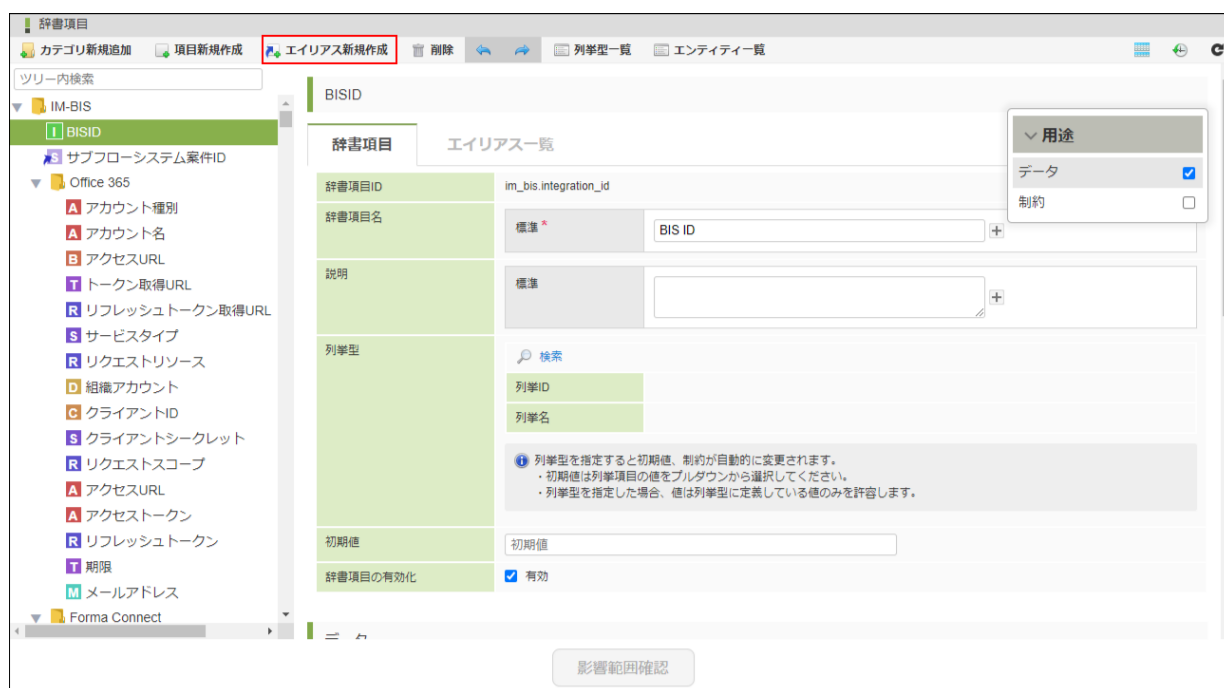
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



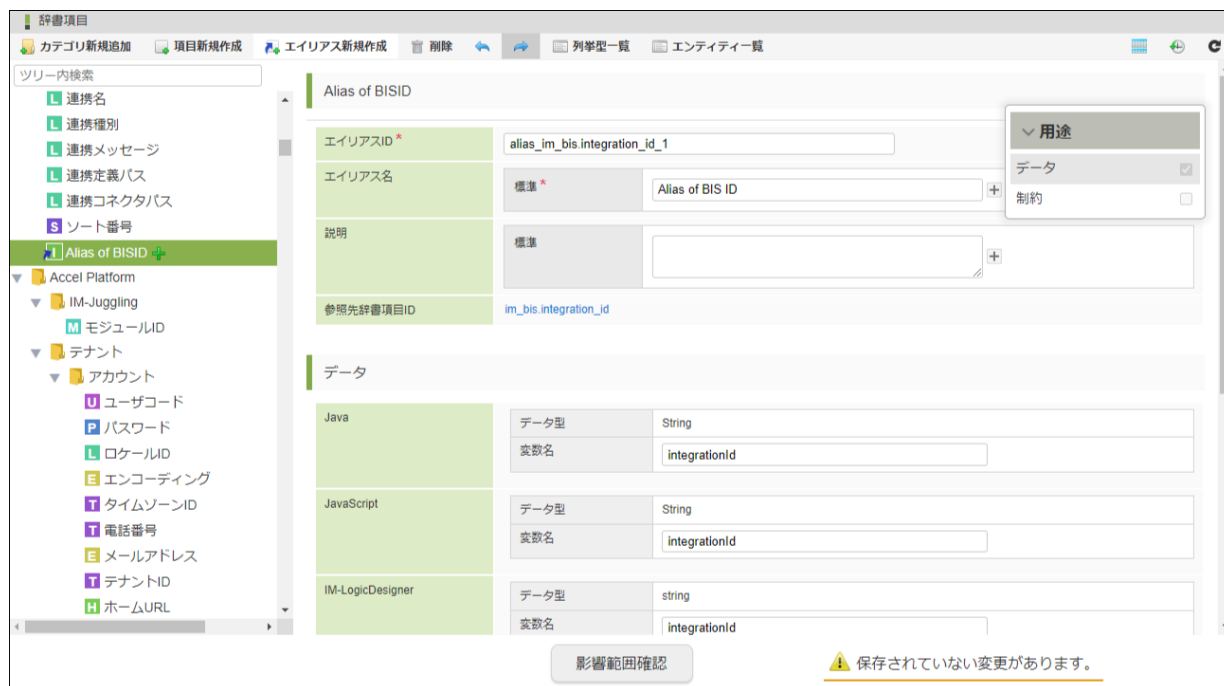
2. 項目一覧ツリーでエイリアス化したい辞書項目をクリックします。



3. ツールバーの「エイリアス新規作成」をクリックします。

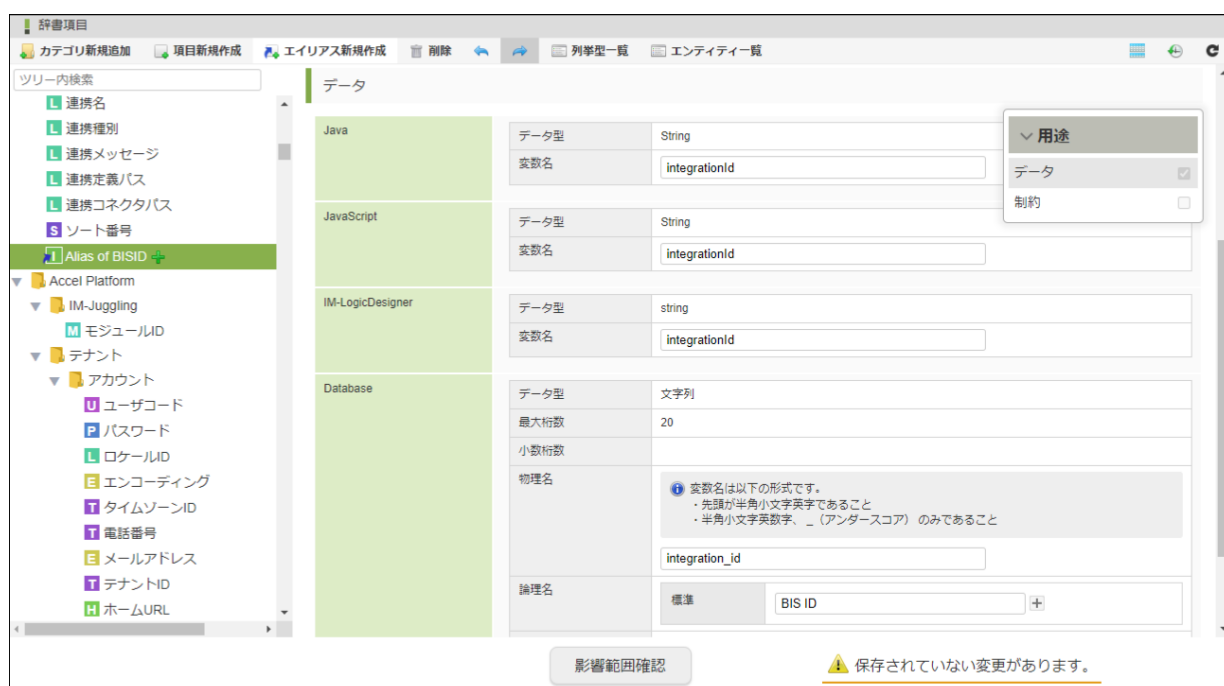


4. エイリアス情報が表示されます。



<画面項目 (エイリアス) >

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
エイリアス名	エイリアスを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	エイリアスの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
参照先辞書項目ID	エイリアスの元になった辞書項目IDを表示します。 辞書項目IDをクリックすると参照先の辞書項目の情報を表示します。



<画面項目 (データ) >

参照先の辞書項目と同じ設定が表示されます。

項目	説明
Java	<ul style="list-style-type: none"> データ型 参照先の辞書項目のJavaで使用された時のデータ型を表示します。 変数名 Javaコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
JavaScript	<ul style="list-style-type: none"> データ型 参照先の辞書項目のJavaScriptで使用された時のデータ型を表示します。 変数名 JavaScriptコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
IM-LogicDesigner	<ul style="list-style-type: none"> データ型 参照先の辞書項目のIM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を表示します。 変数名 IM-LogicDesignerから利用される場合の変数名を設定します。
Database	<ul style="list-style-type: none"> データ型 参照先の辞書項目のデータベースで使用された時のデータ型を表示します。 最大桁数 参照先の辞書項目のデータベースで使用された時の最大桁数を表示します。 小数桁数 参照先の辞書項目のデータベースで使用された時の小数桁数を表示します。 物理名 データベースで使用された時の物理名を入力します。 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

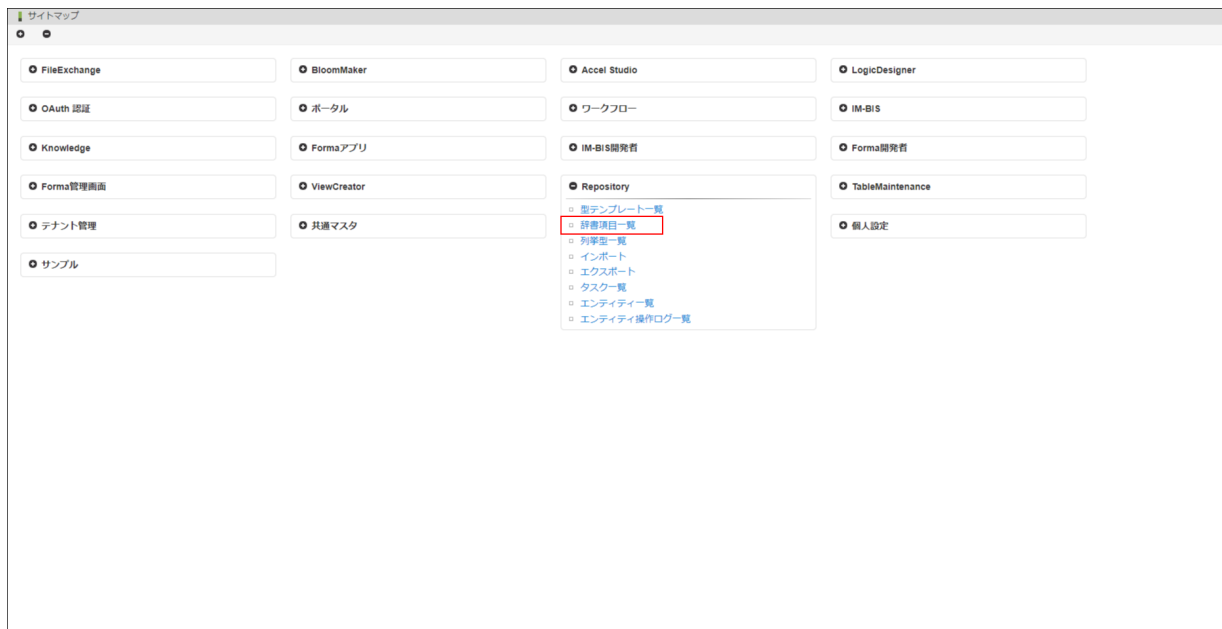
5. 必要項目を入力します。

コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

エイリアスを確認する

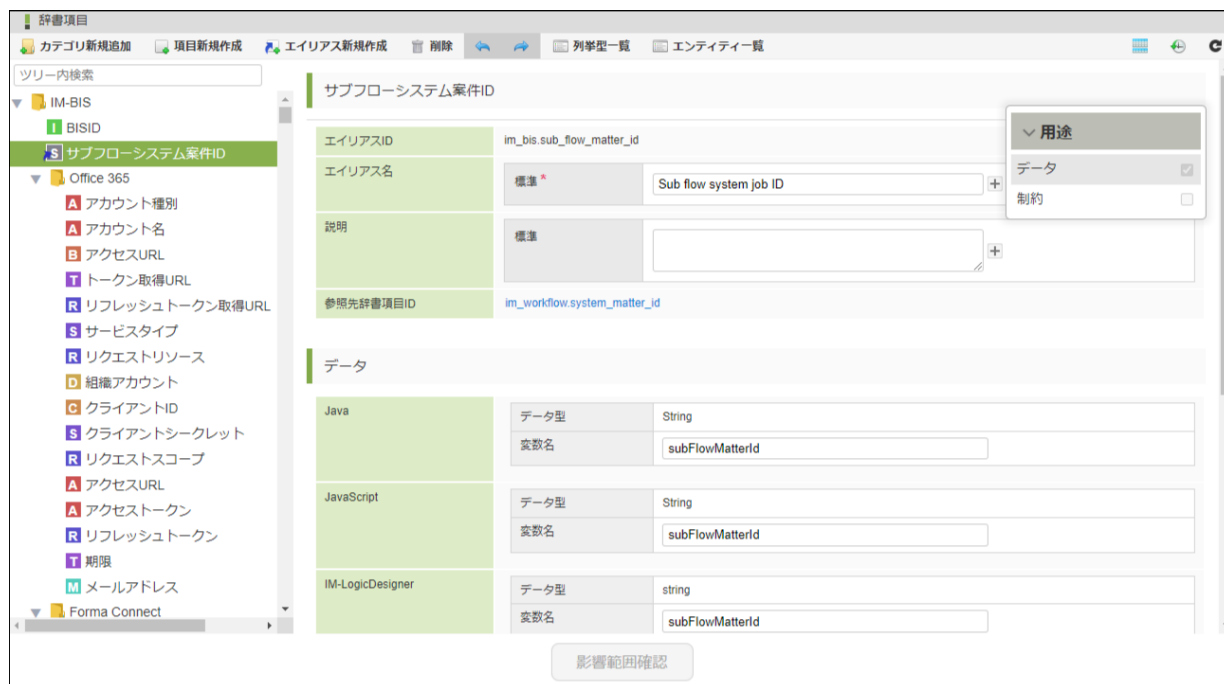
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーから確認を行うエイリアスをクリックします。



3. エイリアス情報が表示されます。



エイリアスを編集する

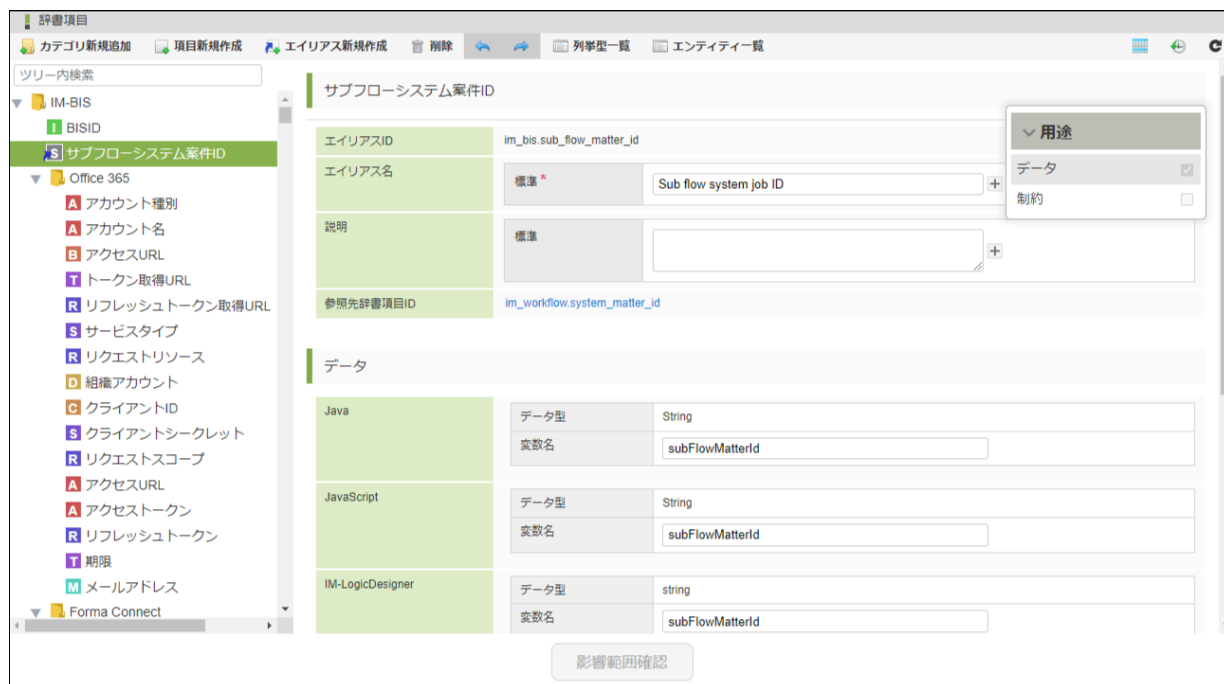
- エイリアスを更新する
- エイリアスを削除する

エイリアスを更新する

1. 「エイリアスを確認する」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから更新を行うエイリアスをクリックします。

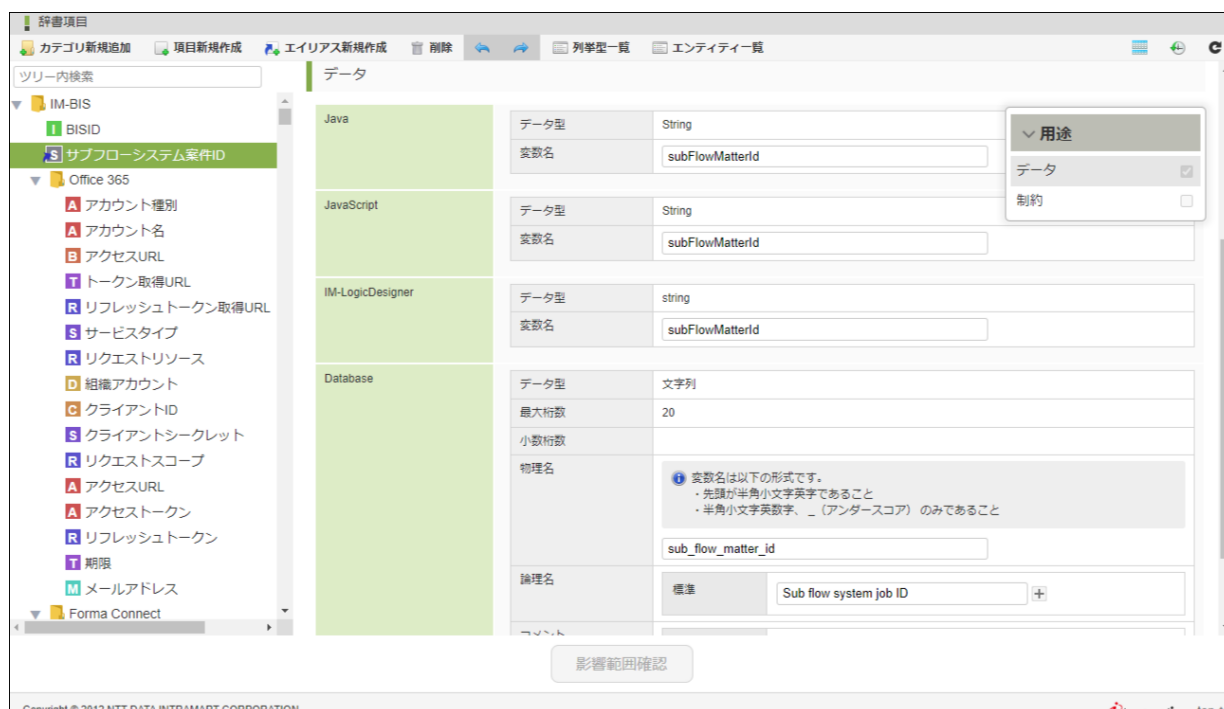


3. エイリアス情報が表示されます。



<画面項目 (エイリアス) >

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を表示します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
エイリアス名	エイリアスを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	エイリアスの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
参照先辞書項目ID	エイリアスの元になった辞書項目IDを表示します。 辞書項目IDをクリックすると参照先の辞書項目の情報を表示します。



参照先の辞書項目と同じ設定が表示されます。

項目	説明
Java	<ul style="list-style-type: none">データ型 Javaで使用された時のデータ型を設定します。変数名 Javaコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
JavaScript	<ul style="list-style-type: none">データ型 JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。変数名 JavaScriptコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
IM-LogicDesigner	<ul style="list-style-type: none">データ型 IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。変数名 IM-LogicDesignerから利用される場合の変数名を設定します。
Database	<ul style="list-style-type: none">データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。物理名 データベースで使用された時の物理名を入力します。論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

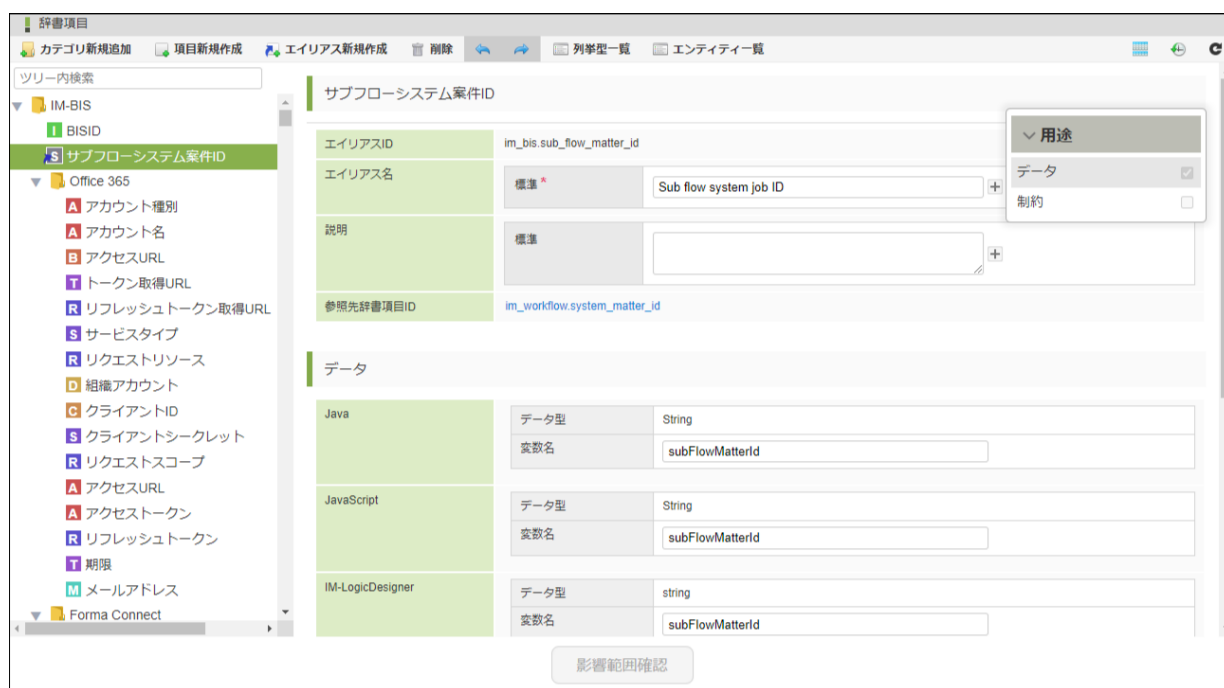
4. 更新内容を入力します。

エイリアスを削除する

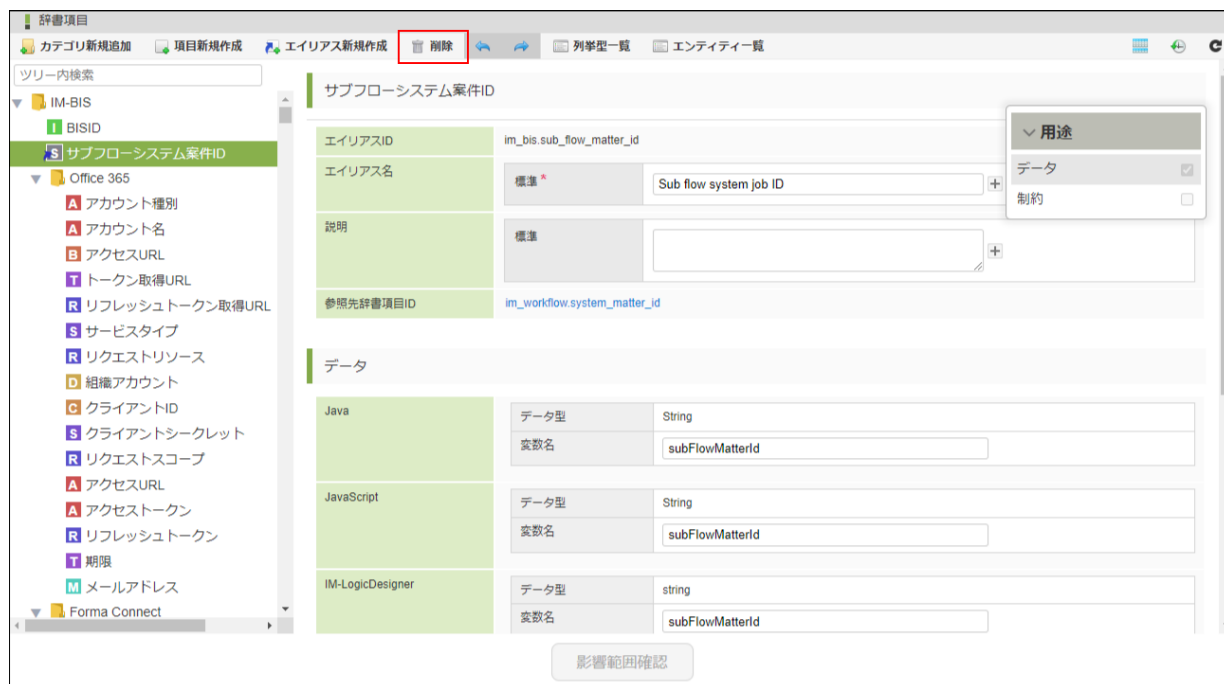
- 「[エイリアスを確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
- 項目一覧ツリーから削除を行うエイリアスをクリックします。



3. エイリアス情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。



コラム

編集した内容は **影響範囲一覧の確認** 後に、**影響範囲の適用** を行うことにより保存されます。

辞書項目の制約

辞書項目に対する制約を設定します。

設定内容の詳細は以下の通りです。



<画面項目>

項目	説明
制約の種類	辞書項目に追加する制約を選択します。
「制約を追加」ボタン	選択した制約を追加します。
「削除」ボタン	制約を削除します。

制約		> 用途
種類	桁数 <input type="button" value="削除"/>	
オプション	最小桁数: <input type="text"/>	最大桁数: <input type="text"/>
種類	バイト数 <input type="button" value="削除"/>	
オプション	最小バイト数: <input type="text"/>	最大バイト数: <input type="text"/>
種類	数値 <input type="button" value="削除"/>	
オプション	最小値: <input type="text"/>	最大値: <input type="text"/>
	<input type="radio"/> 整数値	最大整数桁: <input type="text"/>
	<input type="radio"/> 小数値	最大小数桁: <input type="text"/>
種類	アルファベット <input type="button" value="削除"/>	
オプション	<input type="radio"/> 小文字アルファベット <input type="radio"/> 大文字アルファベット	
	入力可能な記号: <input type="text"/>	
種類	数字 <input type="button" value="削除"/>	
オプション	入力可能な記号: <input type="text"/>	
種類	アルファベットと数字 <input type="button" value="削除"/>	
オプション	<input type="radio"/> 小文字のみ <input type="radio"/> 大文字のみ <input checked="" type="radio"/> どちらでも	
	入力可能な記号: <input type="text"/>	
種類	メールアドレス <input type="button" value="削除"/>	
種類	URL <input type="button" value="削除"/>	
種類	正規表現 <input type="button" value="削除"/>	
正規表現	<input type="text"/>	
種類	日付時刻 <input type="button" value="削除"/>	
オプション	<input checked="" type="radio"/> アカウントコンテキストの「日付 (入力)」と同じフォーマットである <input type="radio"/> アカウントコンテキストの「時刻 (入力)」と同じフォーマットである <input type="radio"/> アカウントコンテキストの「日付 (入力)」 + 「時刻 (入力)」と同じフォーマットである	
種類	ID <input type="button" value="削除"/>	
種類	UserCd <input type="button" value="削除"/>	
種類	列挙型	

<制約の種類>

種類	説明
桁数	辞書項目の最小桁数、および、最大桁数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 最小桁数 最小桁数を入力します。 最大桁数 最大桁数を入力します。
バイト数	辞書項目の最小バイト数、および、最大バイト数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 最小バイト数 最小バイト数を入力します。 最大バイト数 最大バイト数を入力します。

種類	説明
数値	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最小値 辞書項目の最小値を設定します。 ■ 最大値 辞書項目の最大値を設定します。 ■ 整数値 辞書項目が整数値の場合に設定します。 ■ 最大整数桁 辞書項目の最大整数桁を設定します。 ■ 小数值 辞書項目が小数を含む場合に設定します。 ■ 最大小数桁 辞書項目の小数桁数を設定します。
アルファベット	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小文字アルファベット a-zまでの小文字アルファベットのみで構成される場合に設定します。 ■ 大文字アルファベット A-Zまでの大文字アルファベットのみで構成される場合に設定します。 ■ 入力可能な記号 アルファベット以外に許容する記号がある場合に設定します。
数字	<ul style="list-style-type: none"> ■ 入力可能な記号 0-9までの数字のみで構成される場合に設定します。 ■ 入力可能な記号 数字以外に許容する記号がある場合に設定します。
アルファベットと数字	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小文字のみ a-zおよび0-9までの英数字のみで構成される場合に設定します。 ■ 大文字のみ A-Zおよび0-9までの英数字のみで構成される場合に設定します。 ■ どちらでも 大文字、小文字を含んだ英数字で構成される場合に設定します。 ■ 入力可能な記号 英数字以外に許容する記号がある場合に設定します。
メールアドレス	辞書項目がメールアドレス形式の場合に設定します。
URL	辞書項目がURL形式の場合に設定します。
正規表現	<ul style="list-style-type: none"> ■ 正規表現 この制約は正規表現による設定が可能です。 辞書項目を表現する正規表現を設定してください。
日付時刻	<ul style="list-style-type: none"> ■ アカウントコンテキストの「日付（入力）」と同じフォーマットである場合に設定します。 ■ アカウントコンテキストの「時刻（入力）」と同じフォーマットである場合に設定します。 ■ アカウントコンテキストの「日付（入力）」+「時刻（入力）」と同じフォーマットである場合に設定します。
ID	Identifier APIにより発行されたID形式である場合に設定します。
UserCd	辞書項目がユーザコードを表す項目である場合に設定します。
列挙型	辞書項目の列挙型に設定がある場合にのみ自動的に設定されます。

列挙

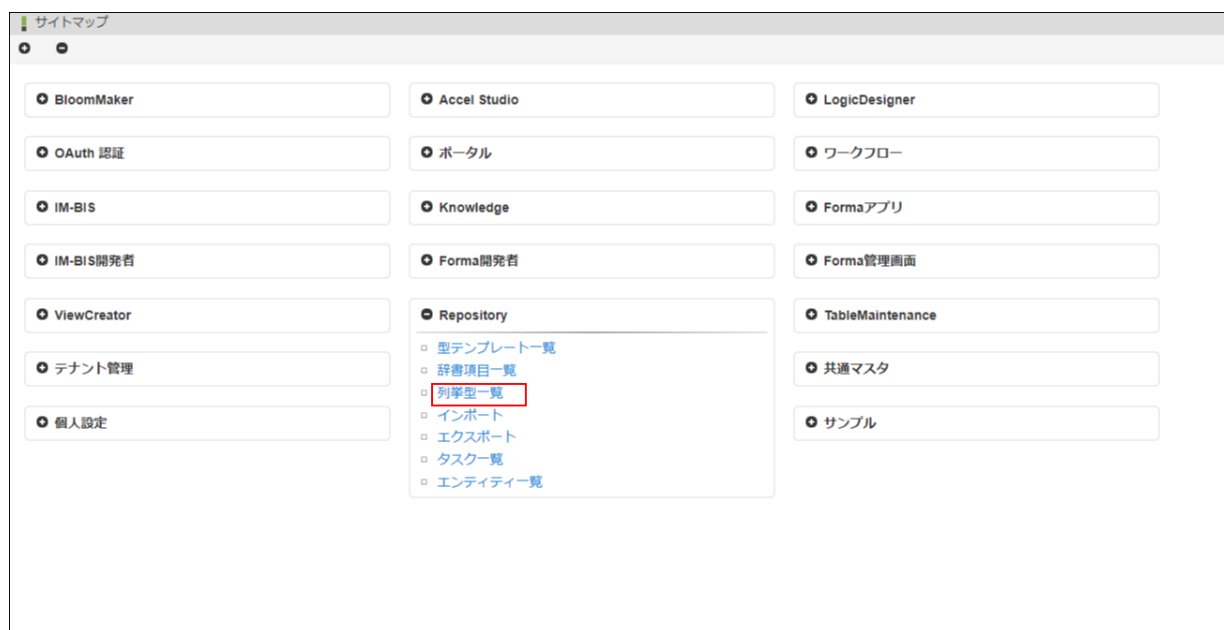
ここではIM-Repositoryで列挙を扱う画面の機能について説明します。

列挙型一覧画面

- 「列挙型一覧」画面を表示する
- 列挙型一覧の詳細

「列挙型一覧」画面を表示する

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「列挙型一覧」をクリックします。



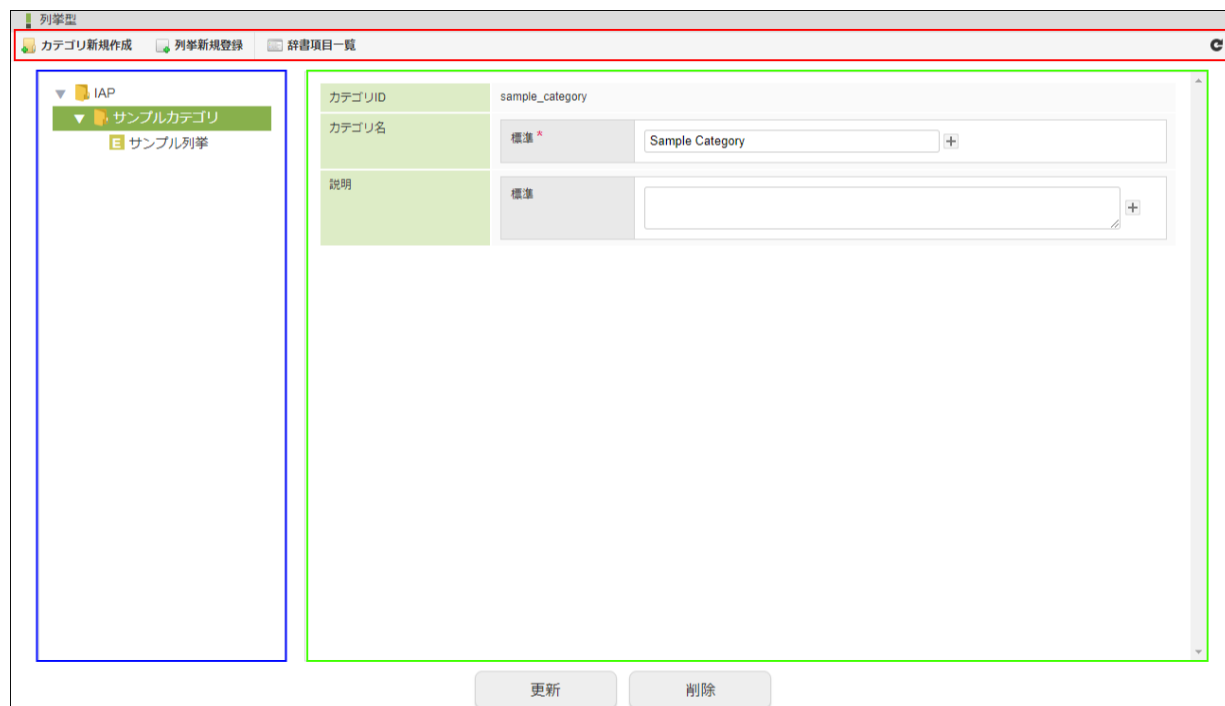
2. 「列挙型一覧」画面が表示されます。



列挙型一覧の詳細

「列挙型一覧」画面は、用途に応じて複数のペイン（区画）に分かれています。

各ペインの詳細は以下の通りです。



<画面項目>

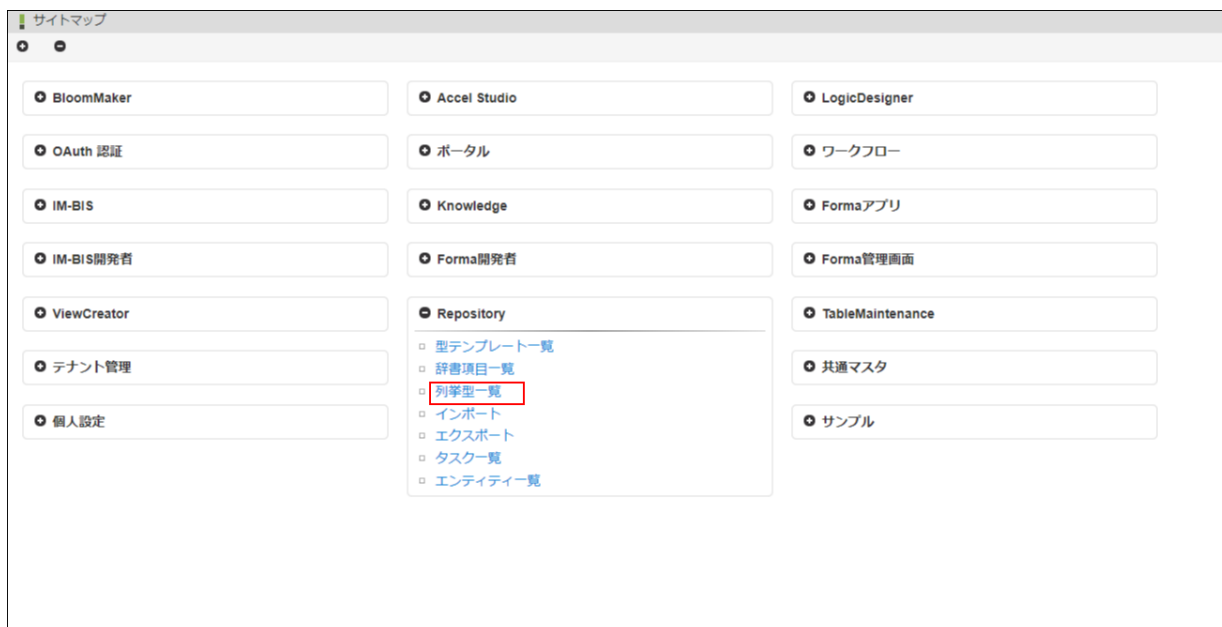
項目	説明
ツールバー	<p>列举一覧ツリーの操作を提供するツールバーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ カテゴリ新規作成 列举一覧ツリーにカテゴリを追加します。 ■ 列举新規登録 列举一覧ツリーに列举を追加します。 ■ 辞書項目一覧 「辞書項目一覧」画面に遷移します。 ■ 「更新」アイコン このページを再読み込みします。
列举一覧ツリー	<p>登録されている列举一覧をツリー形式で表示します。 列举一覧のカテゴリ、または、列举をクリックすると選択した項目の詳細情報を表示します。 カテゴリ、または、列举の移動が行えます。</p>
列举情報	<p>選択されたカテゴリ、または、列举の情報を表示します。</p>

カテゴリ

列举のカテゴリを扱う画面の機能について説明します。

カテゴリを新規登録する

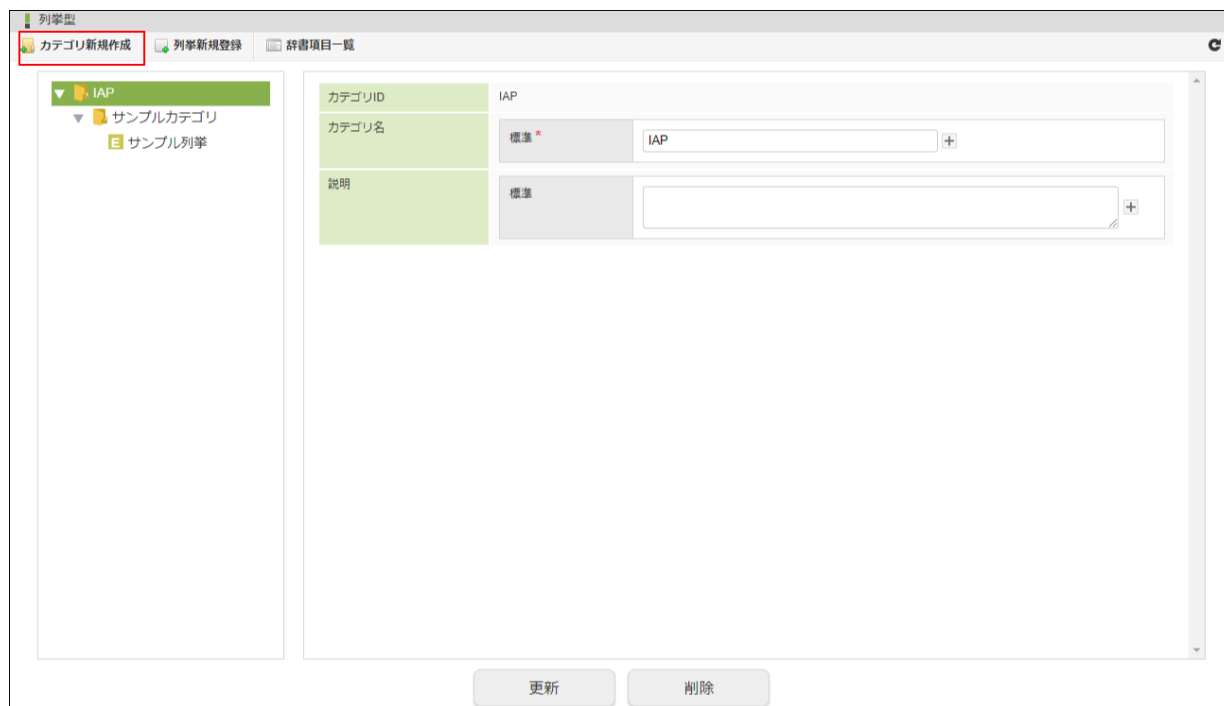
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「列举型一覧」をクリックし、「列举型一覧」画面を表示します。



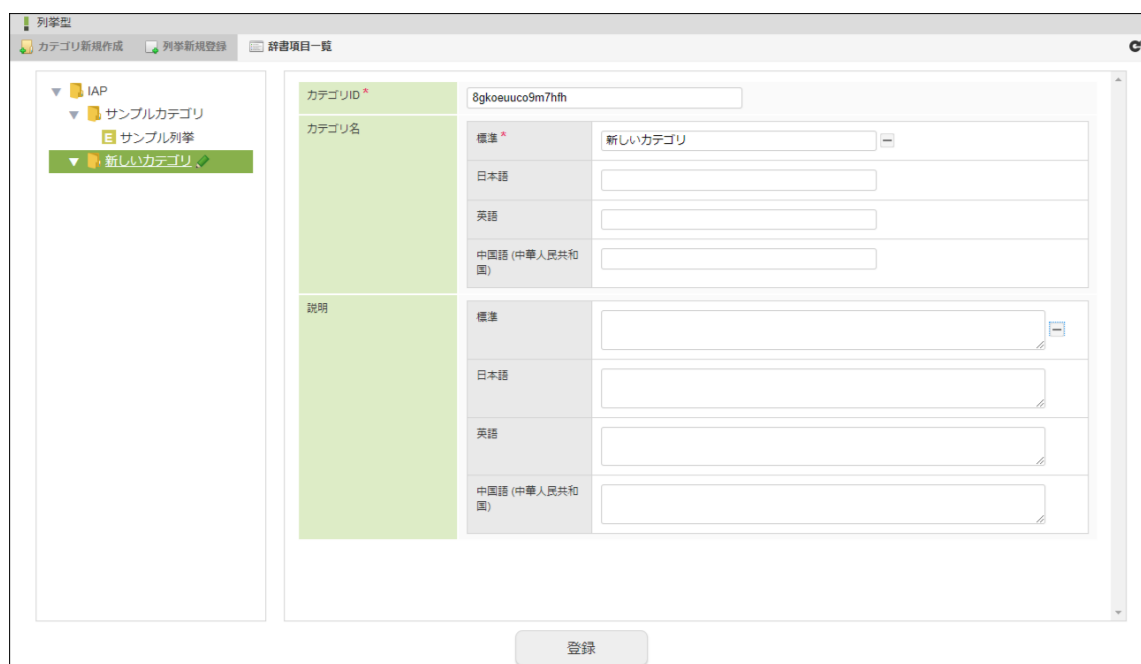
2. 列挙一覧ツリーのカテゴリを追加したい1つ上の項目をクリックします。



3. ツールバーの「カテゴリ新規作成」をクリックします。



4. カテゴリの基本情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
「登録」ボタン	カテゴリを登録します。

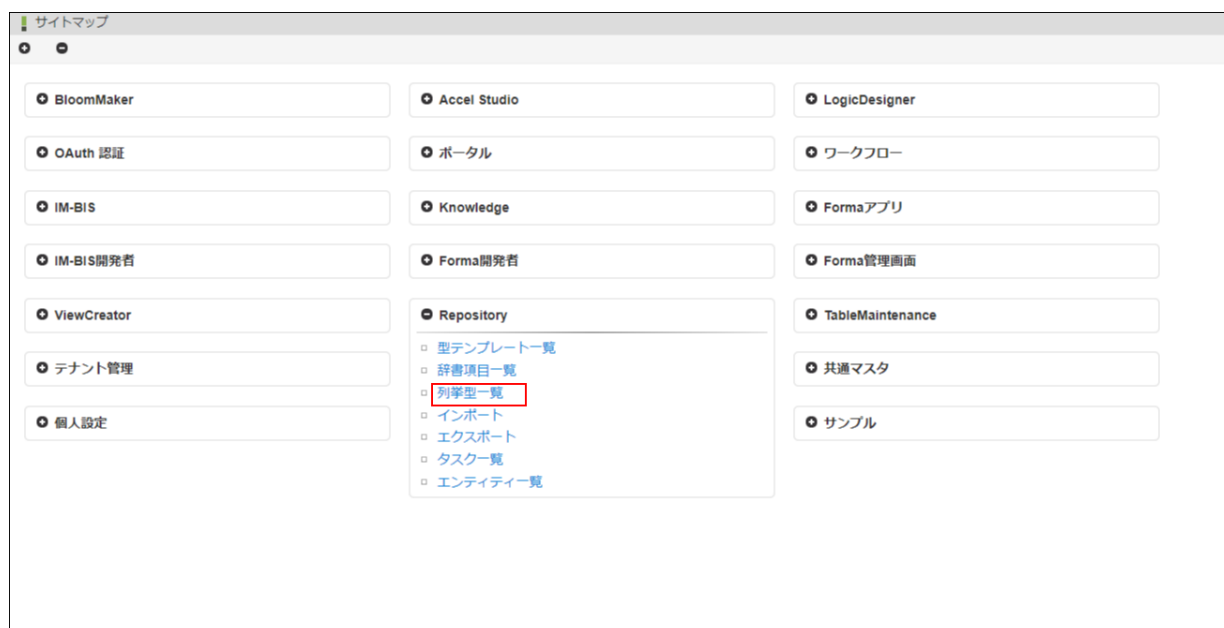
5. 必要項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a web form for creating a new category. On the left, a navigation tree shows '新しいカテゴリ' (New Category) selected. The main form has two sections: 'カテゴリ名' (Category Name) and '説明' (Description). Each section has a '標準' (Standard) field and four language-specific fields: '日本語' (Japanese), '英語' (English), and '中国語 (中華人民共和國)' (Chinese). The '登録' (Register) button is located at the bottom center and is highlighted with a red rectangular box.

6. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを確認する

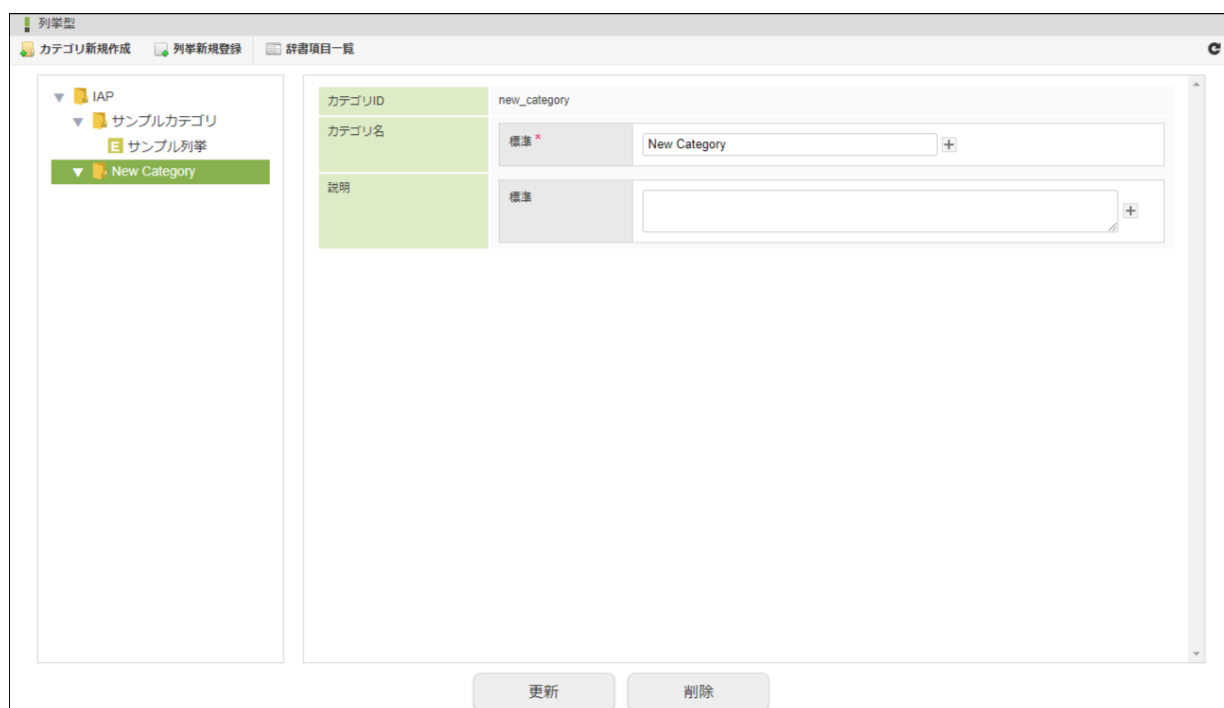
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「列挙型一覧」をクリックし、「列挙型一覧」画面を表示します。



2. 列挙一覧ツリーから確認を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。



カテゴリを編集する

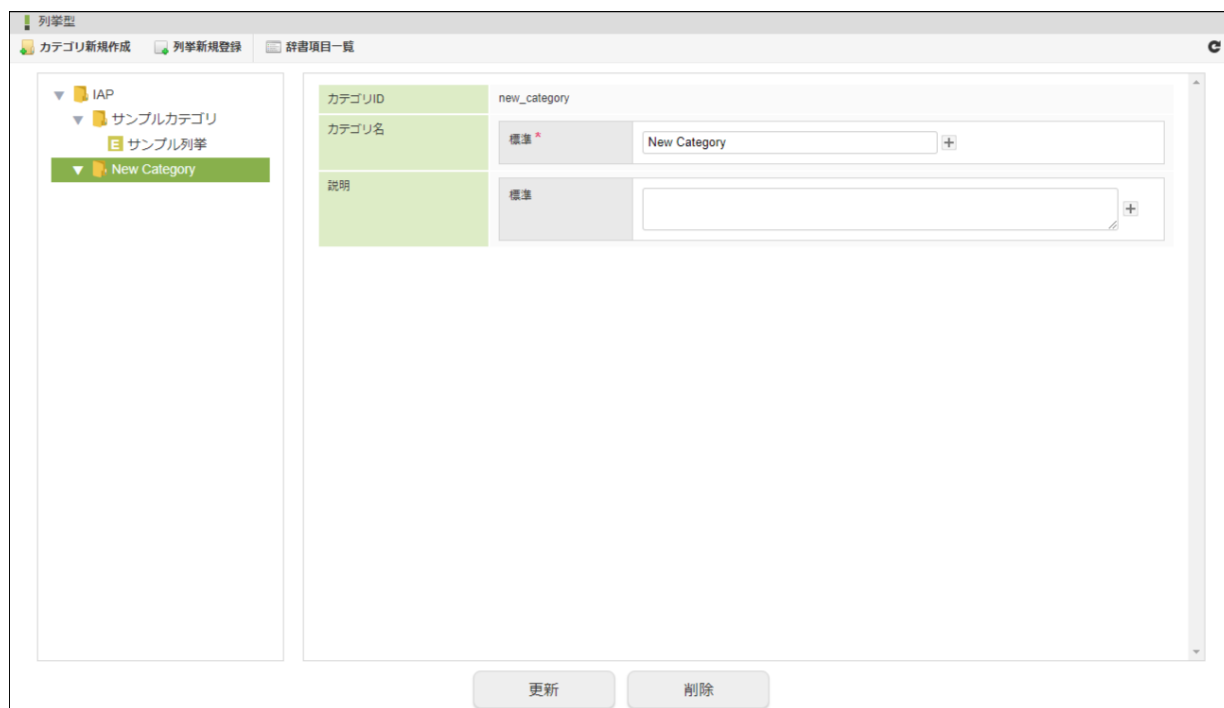
- [カテゴリを更新する](#)
- [カテゴリを削除する](#)

カテゴリを更新する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「列挙型一覧」画面を表示します。
2. 列挙一覧ツリーから更新を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を入力します。 更新時はこの項目は編集不可です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

4. 更新内容を入力し、「更新」ボタンをクリックします。

このスクリーンショットは、カテゴリの新規登録画面を示しています。左側のツリービューで「New_Category」が選択されています。右側のフォームには、カテゴリID（new_category）、カテゴリ名（標準 *）、および説明（標準）の入力欄があります。更新ボタンが赤い枠で囲まれています。

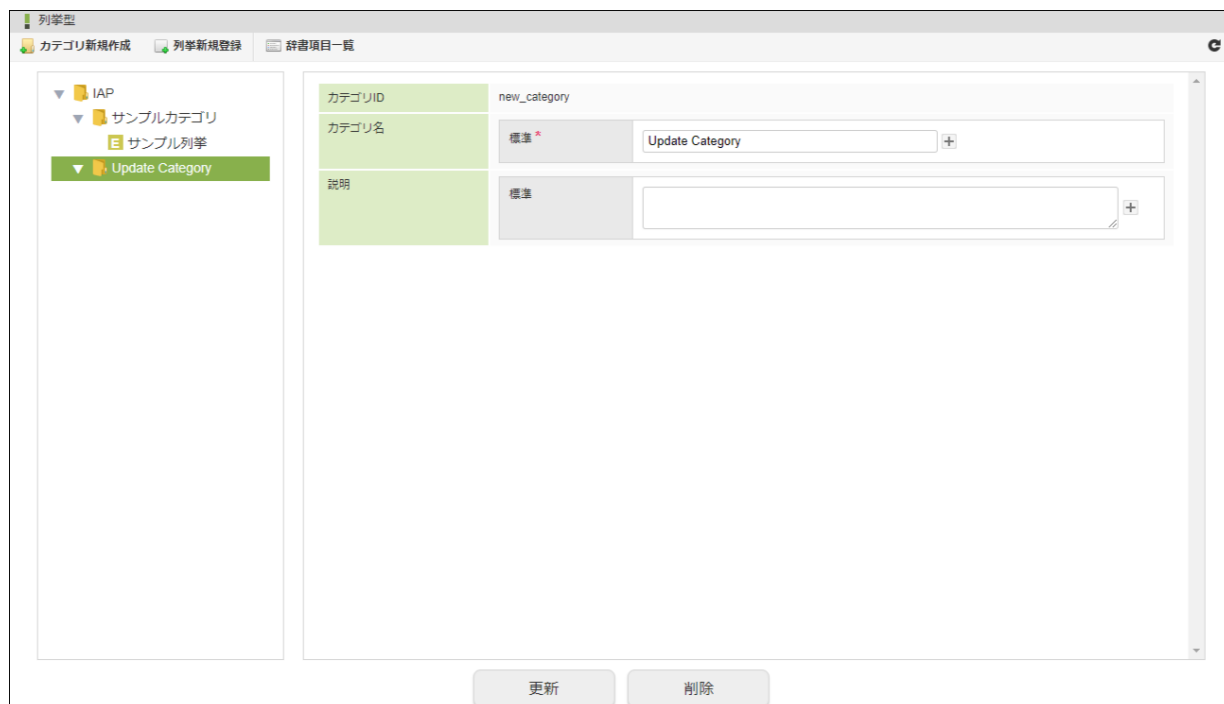
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを削除する

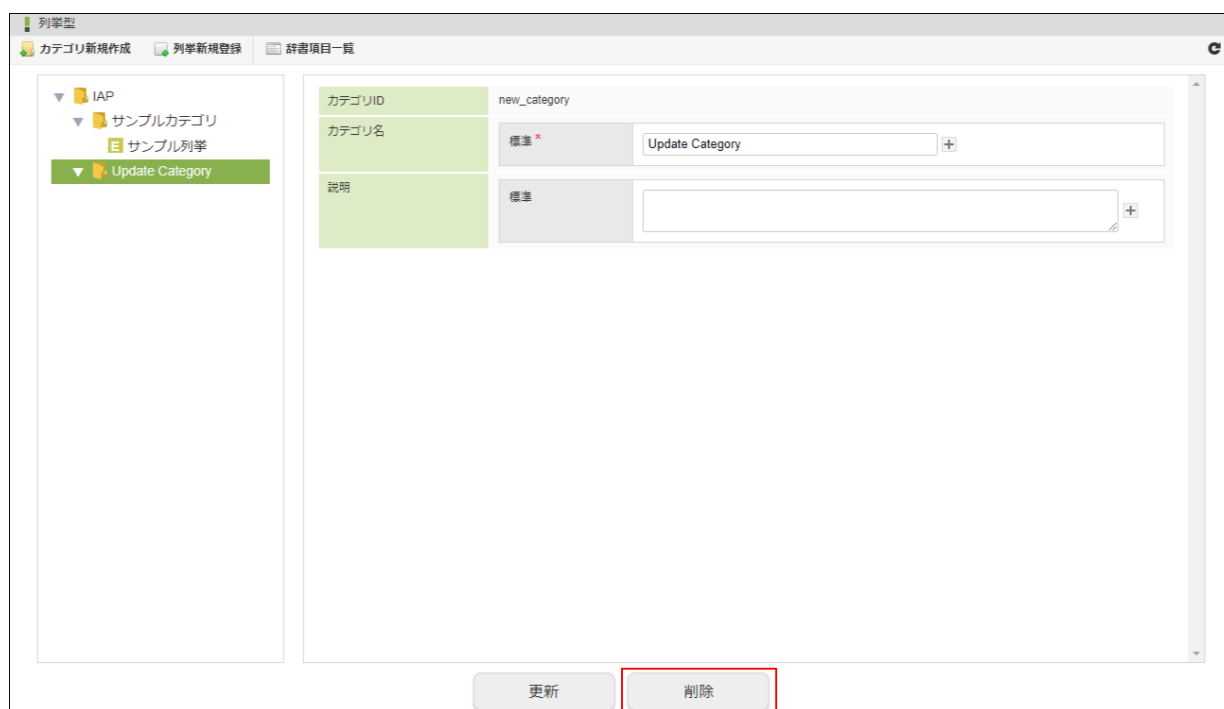
1. 「カテゴリを確認する」の手順をもとに、「列挙型一覧」画面を表示します。
2. 列挙一覧ツリーから削除を行うカテゴリをクリックします。

このスクリーンショットは、列挙型一覧画面を示しています。左側のツリービューで「Update Category」が選択されています。右側のメイン領域には「左側のツリーから項目を選択してください。」というメッセージが表示されています。

3. カテゴリの基本情報が表示されます。



4. 「削除」ボタンをクリックします。



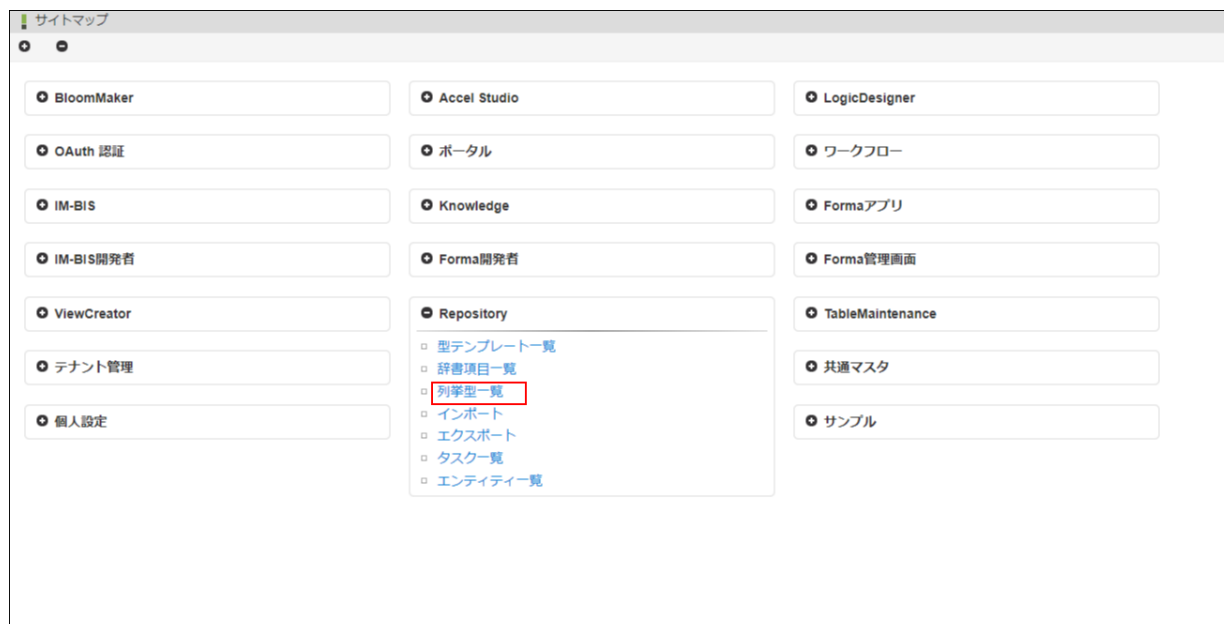
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

列举

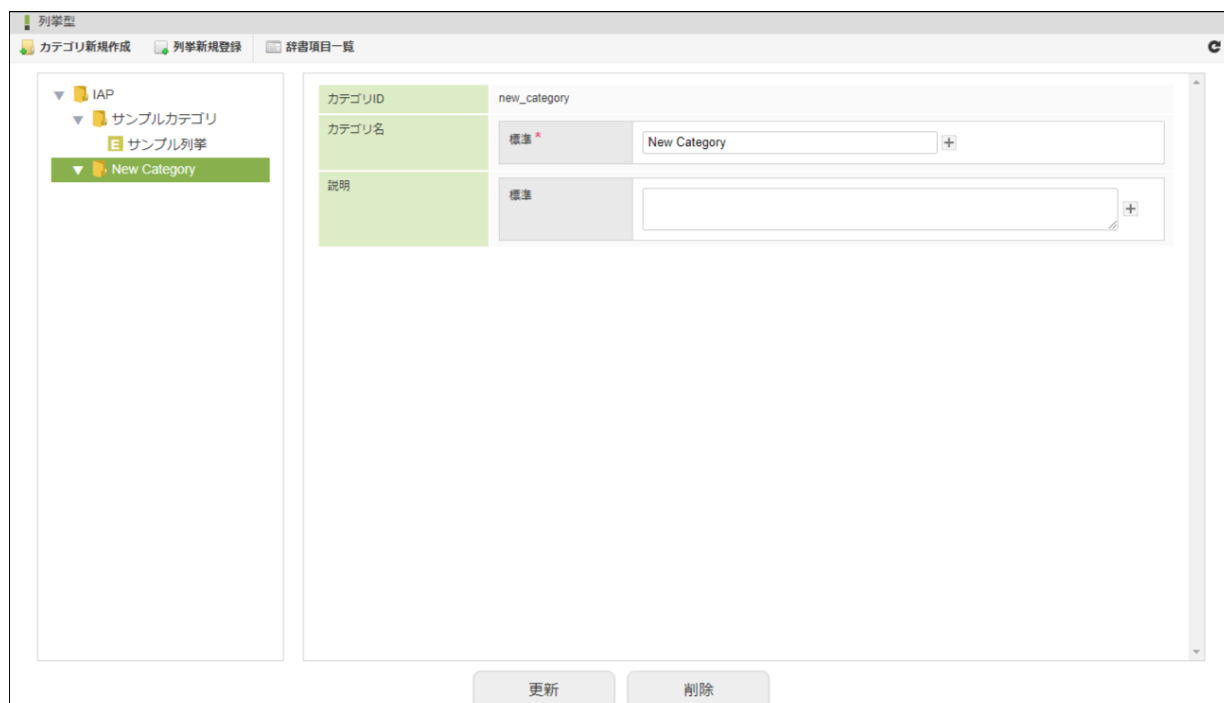
列举の列举を扱う画面の機能について説明します。

列举を新規登録する

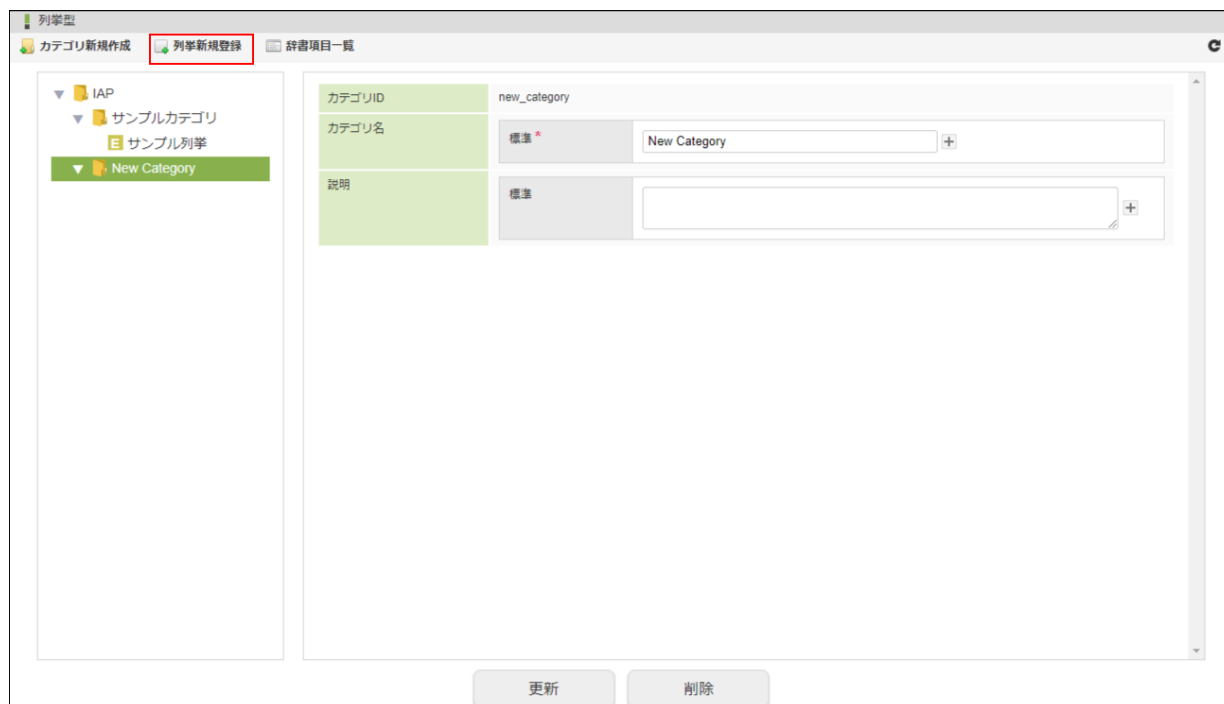
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「列举型一覧」をクリックし、「列举型一覧」画面を表示します。



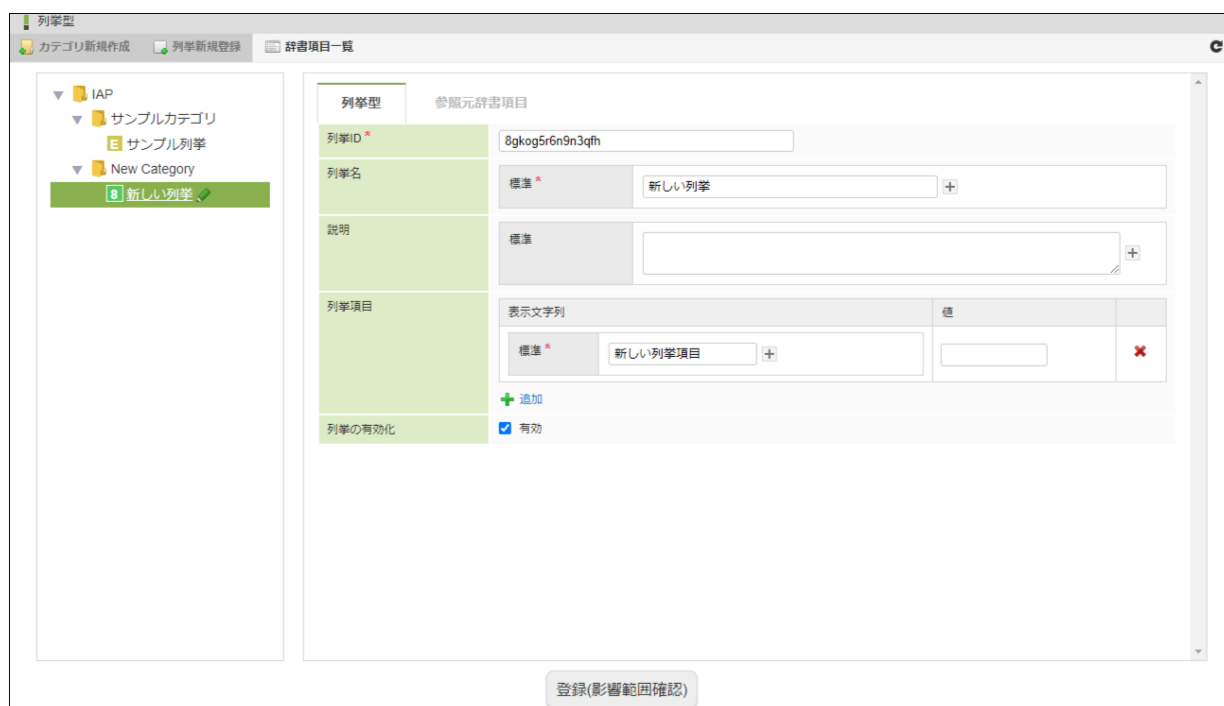
2. 列挙一覧ツリーのカテゴリを追加したい1つ上の項目をクリックします。



3. ツールバーの「列挙新規登録」をクリックします。



4. 列举情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
列举ID	列举を一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
列举名	列举を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	列举の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

項目	説明
列挙項目	<ul style="list-style-type: none"> 表示文字列 列挙項目を表す名称を入力します。 表示文字列には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。 値 列挙項目の値を入力します。
列挙項目削除リンク	列挙項目を削除します。
追加リンク	列挙項目を追加します。
列挙の有効化	列挙の有効、無効を設定します。 無効と設定された列挙は、外部のアプリケーションで定義の追加ができません。
「登録（影響範囲確認）」ボタン	影響範囲画面へ遷移します。

5. 必要項目を入力し、「登録（影響範囲確認）」ボタンをクリックします。

6. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

i コラム

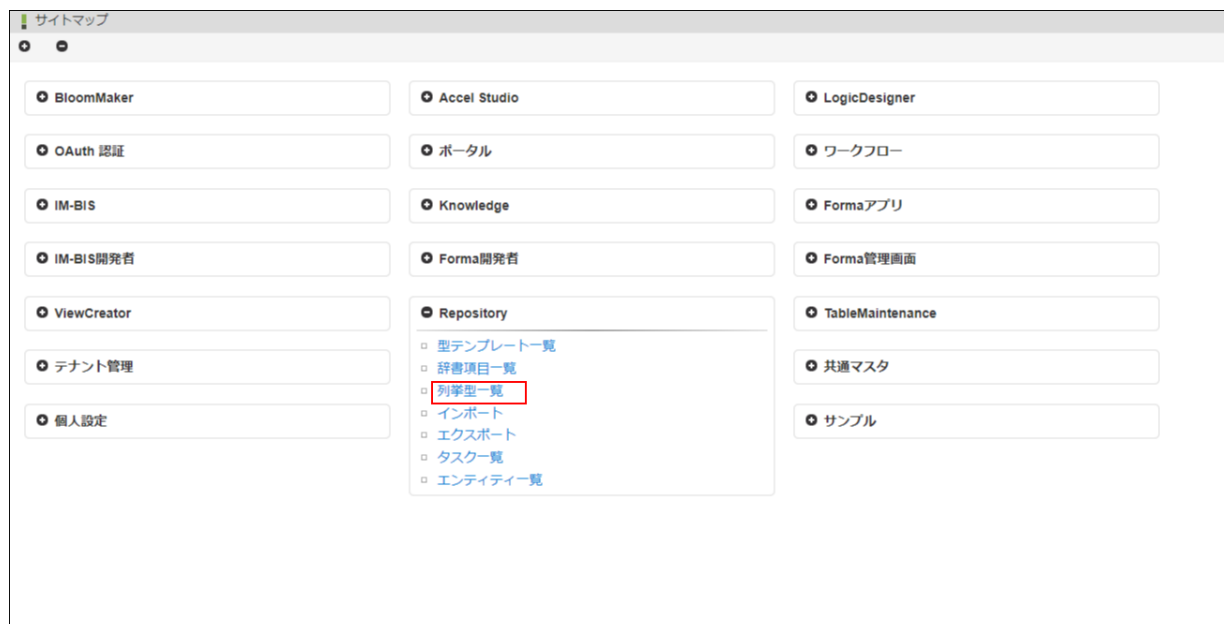
列挙項目が存在する場合は、表示文字列が必須項目です。
また、列挙項目が0個でも登録可能です。

i コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

列挙を確認する

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「列挙型一覧」をクリックし、「列挙型一覧」画面を表示します。



2. 列挙一覧ツリーから確認を行う列挙をクリックします。



3. 列挙の基本情報が表示されます。

The screenshot shows the '列挙型' (Enumeration Type) management screen. The left sidebar contains a tree view with the following structure:

- IAP
 - サンプルカテゴリ
 - サンプル列挙
 - New Category
 - New Enumeration (highlighted)

The main content area is titled '列挙型 参照元辞書項目' and contains the following fields:

- 列挙ID: new_enumeration
- 列挙名: 標準 * New Enumeration
- 説明: 標準
- 列挙項目:

表示文字列	値
標準 * enumeration_item1	value1
標準 * enumeration_item2	value2
- 列挙の有効化: 有効

Buttons at the bottom include '更新(影響範囲確認)' and '削除(影響範囲確認)'.

列挙を編集する

- 列挙を更新する
- 列挙を削除する

列挙を更新する

1. 「[列挙を確認する](#)」の手順をもとに、「列挙一覧」画面を表示します。
2. 列挙一覧ツリーから更新を行う列挙をクリックします。



3. 列挙情報が表示されます。

<画面項目>

項目	説明
列挙ID	列挙を一意に表す文字列を入力します。 更新時はこの項目は編集不可です。
列挙名	列挙を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	列挙の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
列挙項目	<ul style="list-style-type: none"> 表示文字列 列挙項目を表す名称を入力します。 表示文字列には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。 値 列挙項目の値を入力します。
列挙項目削除リンク	列挙項目を削除します。
追加リンク	列挙項目を追加します。
列挙の有効化	列挙の有効、無効を設定します。 無効と設定された列挙は、外部のアプリケーションで定義の追加ができません。
「更新（影響範囲確認）」ボタン	影響範囲画面へ遷移します。
「削除（影響範囲確認）」ボタン	影響範囲画面へ遷移します。

4. 更新内容を入力し、「更新（影響範囲確認）」ボタンをクリックします。

5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

i コラム

列挙項目が存在する場合は、表示文字列が必須項目です。

i コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

列挙を削除する

1. 「[列挙を確認する](#)」の手順をもとに、「列挙一覧」画面を表示します。
2. 列挙一覧ツリーから更新を行う列挙をクリックします。

3. 列挙情報が表示されます。

このスクリーンショットは、システム内の「列挙型」管理画面の「更新(影響範囲確認)」操作を示しています。画面には、左側のナビゲーションメニューと、右側の編集フォームがあります。フォームには、列挙ID、列挙名、説明、列挙項目の登録/削除、および列挙の有効化/無効化のチェックボックスが含まれています。列挙項目は、表示文字列、値、および削除アイコンの列で構成されています。

4. 「削除（影響範囲確認）」ボタンをクリックします。

このスクリーンショットは、システム内の「列挙型」管理画面の「更新(影響範囲確認)」操作を示しています。画面には、左側のナビゲーションメニューと、右側の編集フォームがあります。フォームには、列挙ID、列挙名、説明、列挙項目の登録/削除、および列挙の有効化/無効化のチェックボックスが含まれています。列挙項目は、表示文字列、値、および削除アイコンの列で構成されています。この画面では、下部にある「削除(影響範囲確認)」ボタンが赤い枠で強調されています。

i コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

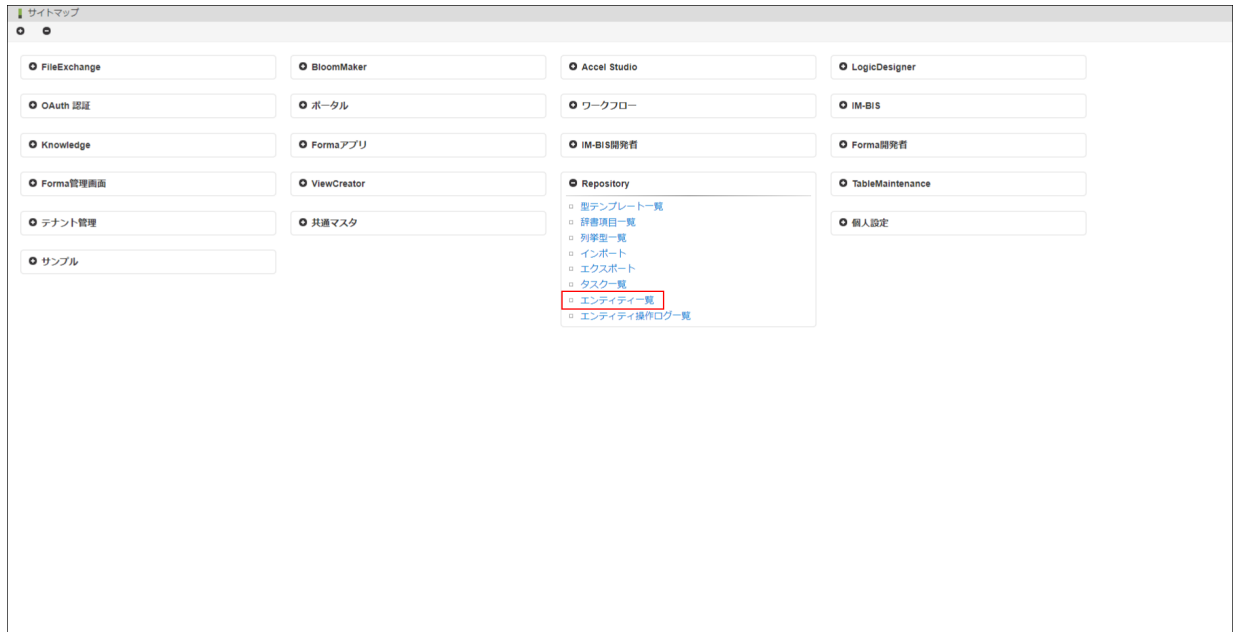
ここではIM-Repositoryでエンティティを扱う画面の機能について説明します。

エンティティ一覧画面

- ツリー形式で表示する
- 関連図形式で表示する

ツリー形式で表示する

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



2. ツリー形式の「エンティティ一覧」画面が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリ新規追加	エンティティツリーにカテゴリを追加します。

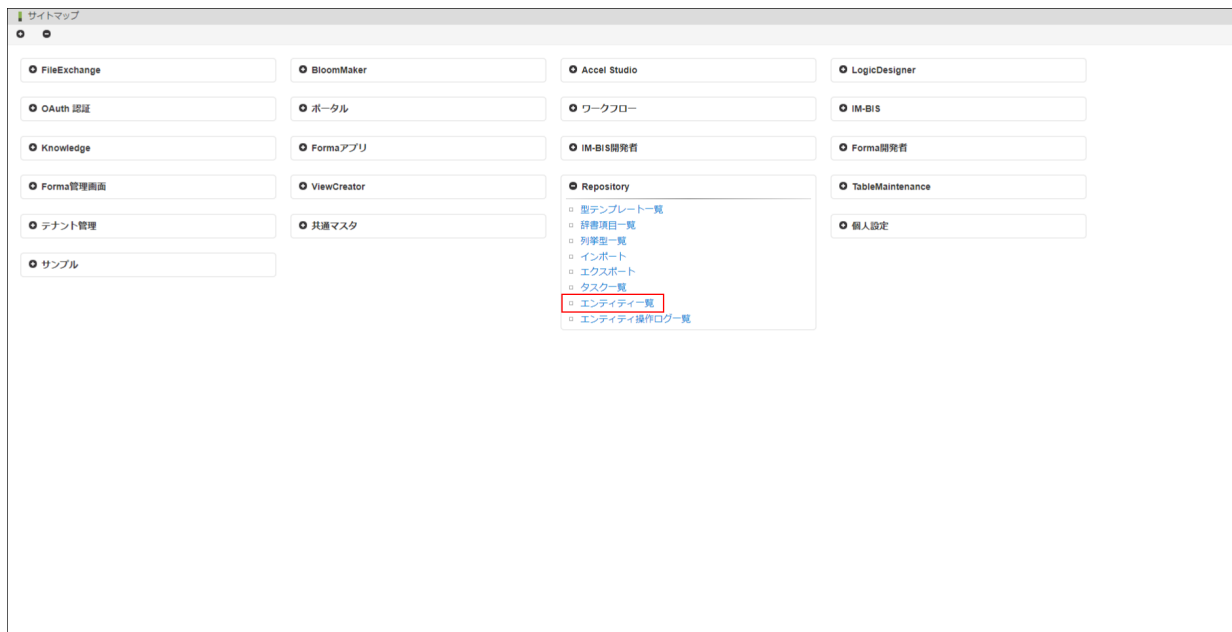
項目	説明
エンティティ新規作成	エンティティツリーにエンティティを追加します。
エンティティコピー作成	エンティティツリーで選択された エンティティ情報のコピーを追加します。
削除	エンティティツリーの選択された項目を削除します。
辞書項目一覧	「辞書項目一覧」画面に遷移します。
「表示方式切替」アイコン	画面表示を 関連図に変更します。
「更新」アイコン	このページを再読み込みします。
ツリー内検索	検索するツリーの表示名を表す文字列（の一部）を入力します。
エンティティツリー	登録されているカテゴリ、エンティティをツリー形式で表示します。
「影響範囲確認」ボタン	「影響範囲確認」画面を表示します。

コラム

ツリー内検索で絞込を行っている場合には、ドラッグ&ドロップによる移動等は行えません。

関連図形式で表示する

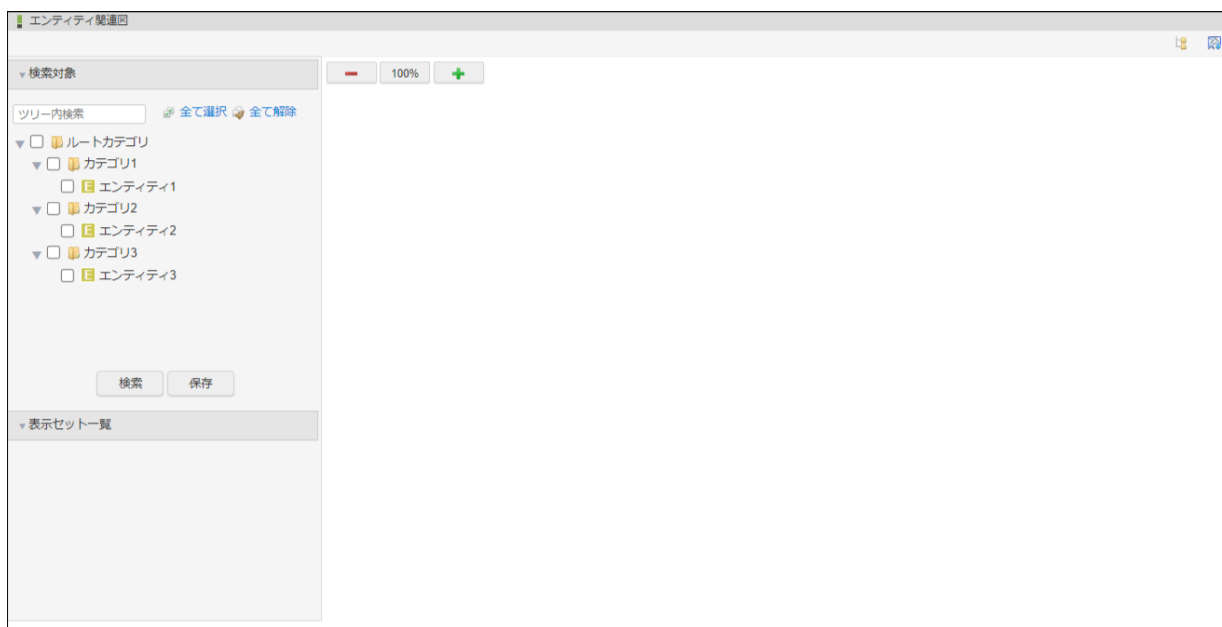
- 「サイトマップ」→「Repository」→「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



- ツールバーの表示切替アイコンをクリックします。



3. 関連図画面が表示されます。

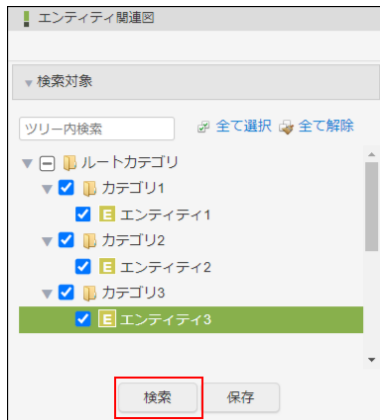


<画面項目>

項目	説明
画像出力	画面に表示されている情報を画像（PNG形式）で出力します。
「表示方式切替」アイコン	画面表示をツリー形式に変更します。
「-（マイナス）」ボタン	表示倍率を小さくします。
「100%」ボタン	初期表示時の倍率にリセットします。
「+（プラス）」ボタン	表示倍率を大きくします。

項目	説明
検索対象	<ul style="list-style-type: none"> ■ ツリー内検索 検索するツリーの表示名を表す文字列（の一部）を入力します。 ■ エンティティツリー 登録されているカテゴリ、エンティティをツリー形式で表示します。 検索対象とする場合はチェックボックスをクリックします。 ■ 全て選択 全エンティティを選択状態にします。 絞り込み検索中は表示されません。 ■ 全て解除 選択状態を解除します。 ■ 検索 選択された情報をもとに 関連図の再描画を行います。 ■ 保存 選択された情報を表示セットとして保存します。
表示セット一覧	<p>保存されている表示セットを表示します。</p> <p>表示セット名クリックにより保存されている情報を復元します。</p>

4. 表示したいエンティティを選択し、「検索」ボタンをクリックします。



i コラム

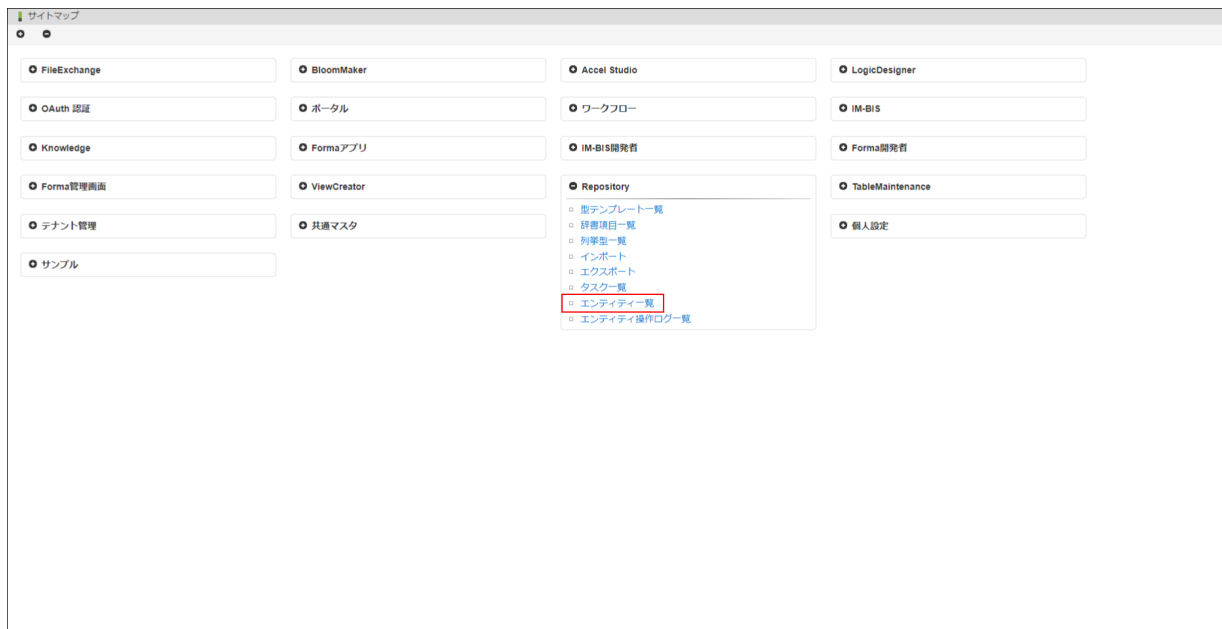
エンティティツリーに表示されているカテゴリを選択した場合は、カテゴリ直下のエンティティを選択状態、または非選択状態にします。

カテゴリ

エンティティのカテゴリを扱う画面の機能について説明します。

カテゴリを新規登録する

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



2. エンティティツリーで新規カテゴリを追加したいカテゴリをクリックします。



3. ツールバーの「カテゴリ新規追加」をクリックします。



4. カテゴリ情報が表示されます。

<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

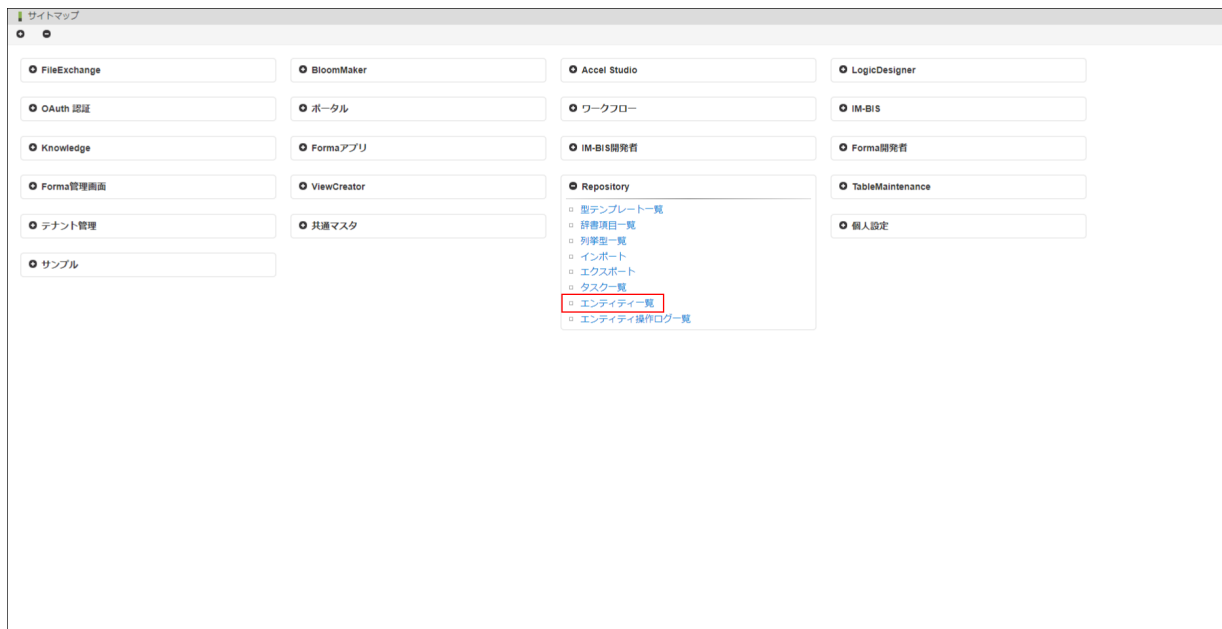
5. 必要項目を入力します。

コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

カテゴリを確認する

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



2. エンティティツリーから確認を行うカテゴリをクリックします。



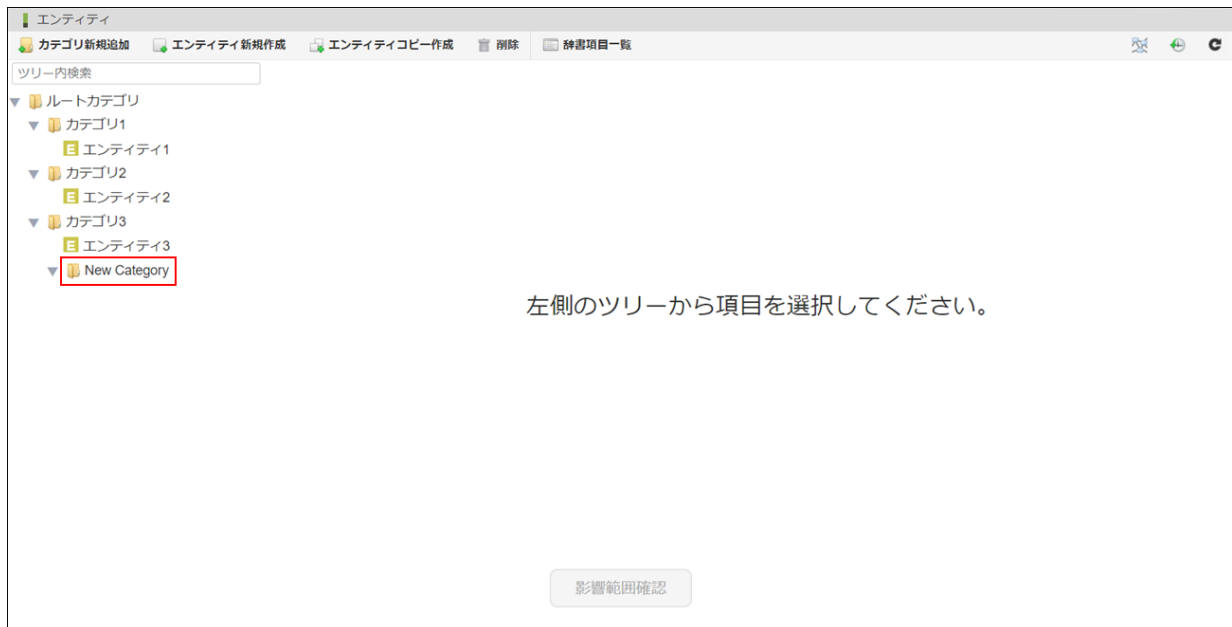
3. カテゴリ情報が表示されます。



- カテゴリを更新する
- カテゴリを削除する

カテゴリを更新する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「エンティティ一覧」画面を表示します。
2. エンティティツリーから更新を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を表示します。 更新時にはこの項目は編集不可です。

項目	説明
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

4. 更新内容を入力します。

カテゴリを削除する

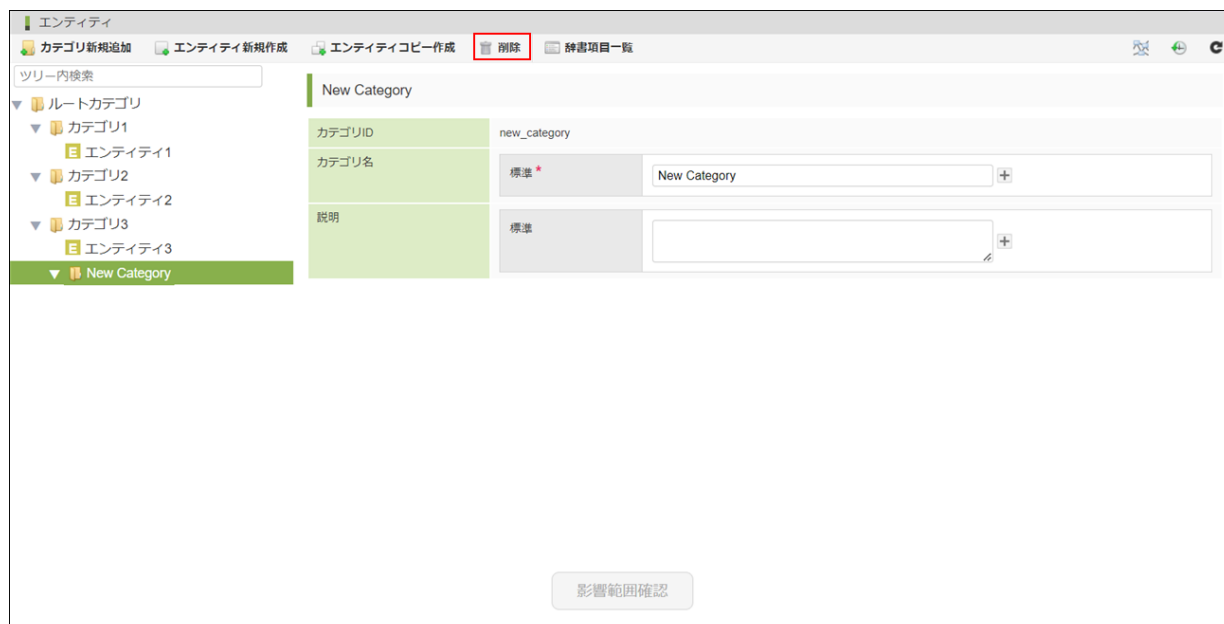
1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「エンティティ一覧」画面を表示します。
2. エンティティツリーから削除を行うカテゴリをクリックします。



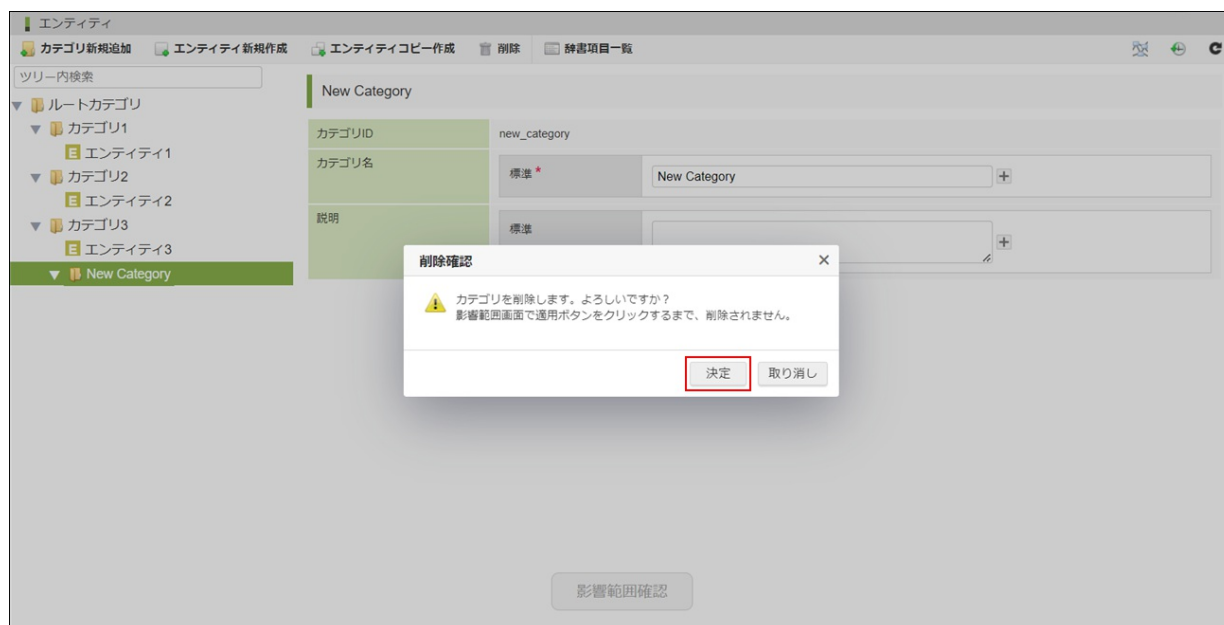
3. カテゴリ情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。



5. 削除確認画面で「決定」をクリックします。



i コラム

カテゴリ配下に エンティティが存在する場合は削除できません。

i コラム

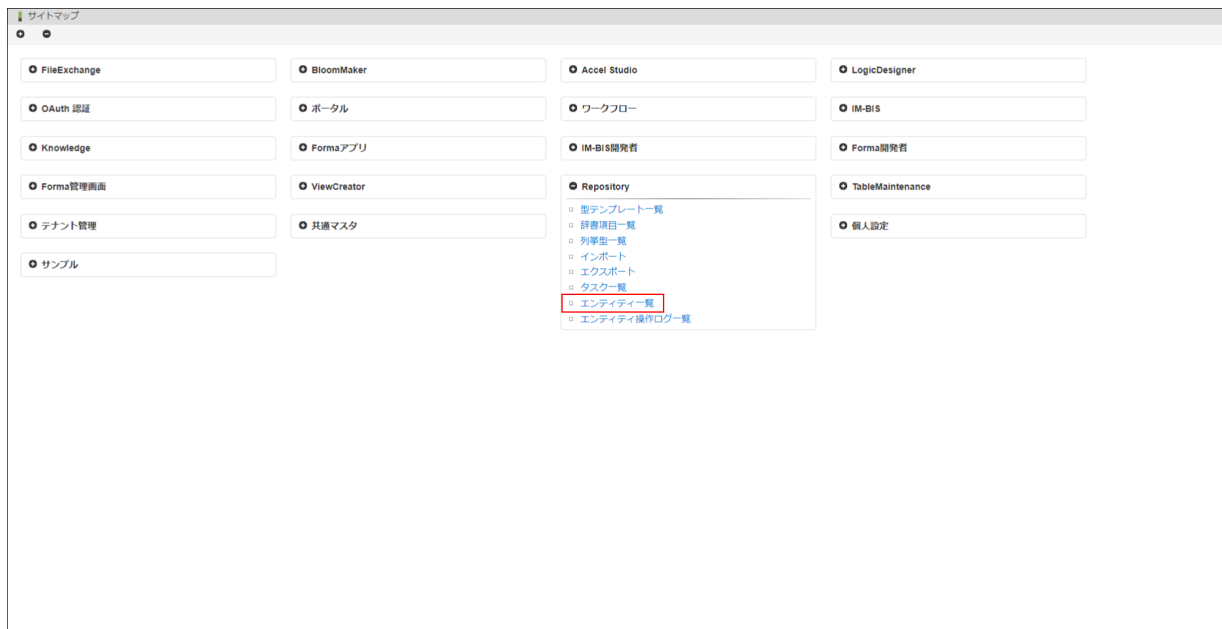
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

エンティティ

エンティティを扱う画面の機能について説明します。

エンティティを新規登録する

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



2. エンティティツリーで新規エンティティを追加したいカテゴリをクリックします。



3. ツールバーの「項目新規作成」をクリックします。



4. エンティティ情報が表示されます。



<画面項目 (エンティティ) >

項目	説明
エンティティID	エンティティを一意的に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
エンティティ名	エンティティを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	エンティティの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
エンティティの有効化	エンティティの有効、無効を設定します。 無効と設定されたエンティティは、外部のアプリケーションで定義の追加ができません。
エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主キー エンティティ項目を主キー(Primary Key)として扱う場合に指定します。 ■ 必須 エンティティ項目を必須(Not Null)として扱う場合に指定します。 ■ ID エンティティ項目IDを表示します。 ■ エンティティ項目 エンティティ項目名を表示します。 ■ ファイルアイコン エンティティ項目の詳細を表示します。 ■ 削除アイコン エンティティ項目を削除します。



コラム

主キーに設定した項目は必須項目として扱われます。

1. 必要項目を入力します。
2. 「エンティティ項目」の手順をもとに、エンティティ項目を追加します。

- 「[関連項目](#)」の手順をもとに、関連情報を追加します。
- 「[データ定義](#)」の手順をもとに、データ定義情報を追加します。

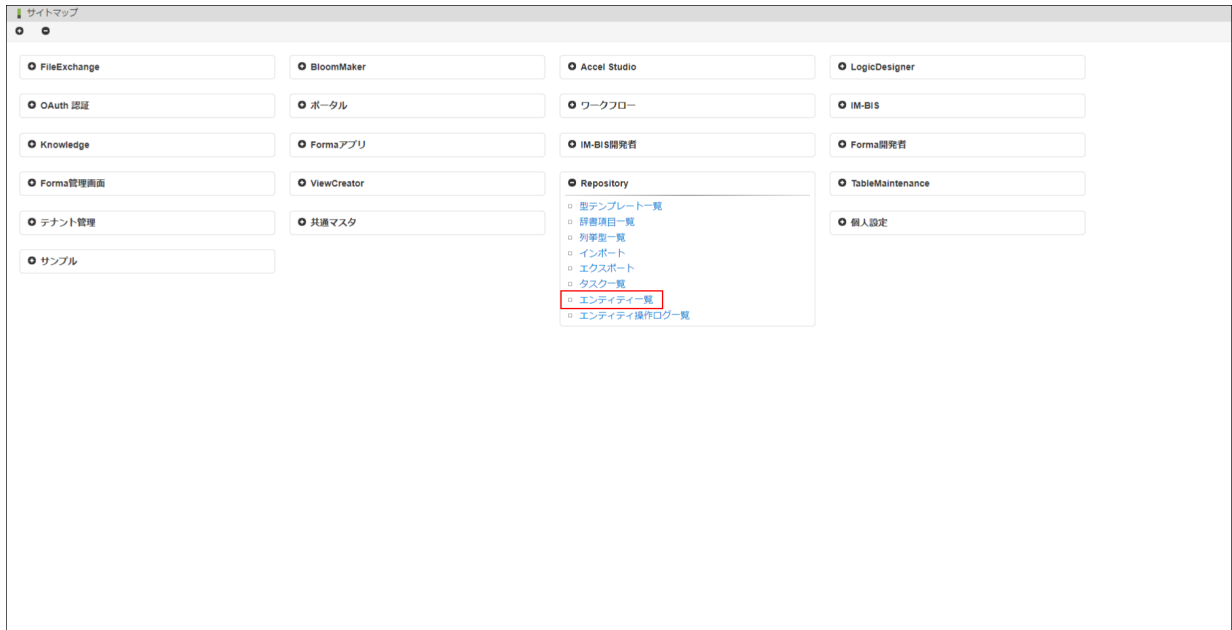
コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

エンティティを確認する

ツリー上で確認する

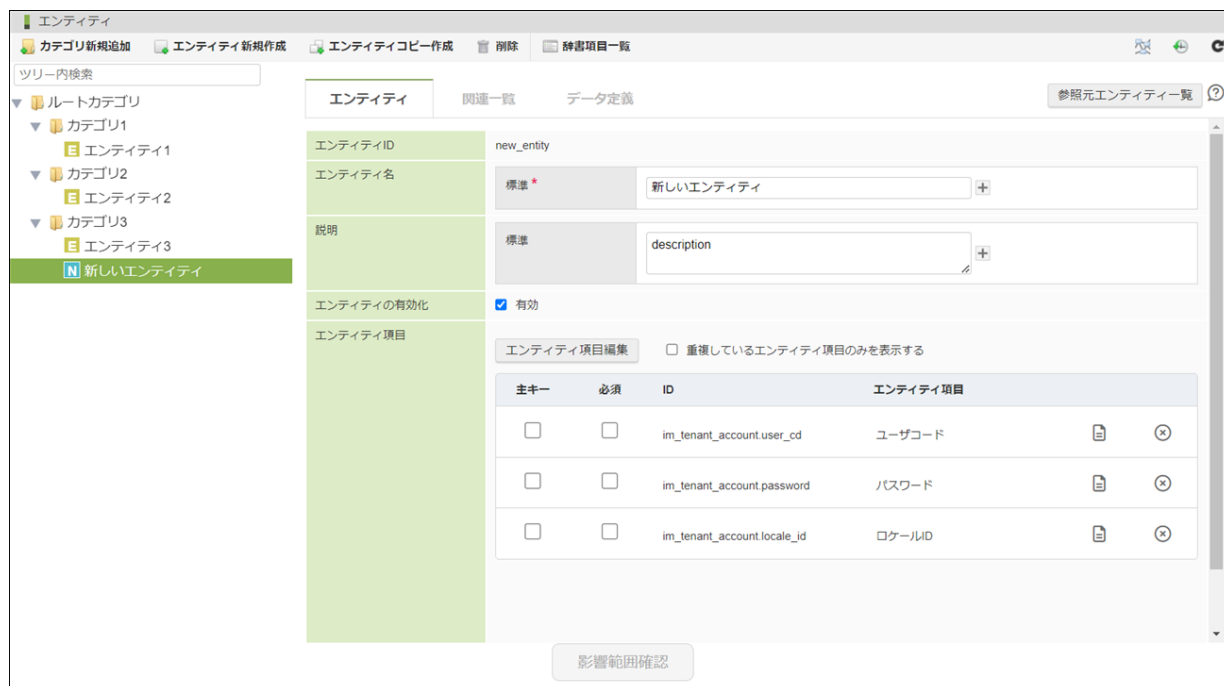
- 「[サイトマップ](#)」→「Repository」→「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



- エンティティツリーから確認を行うエンティティをクリックします。

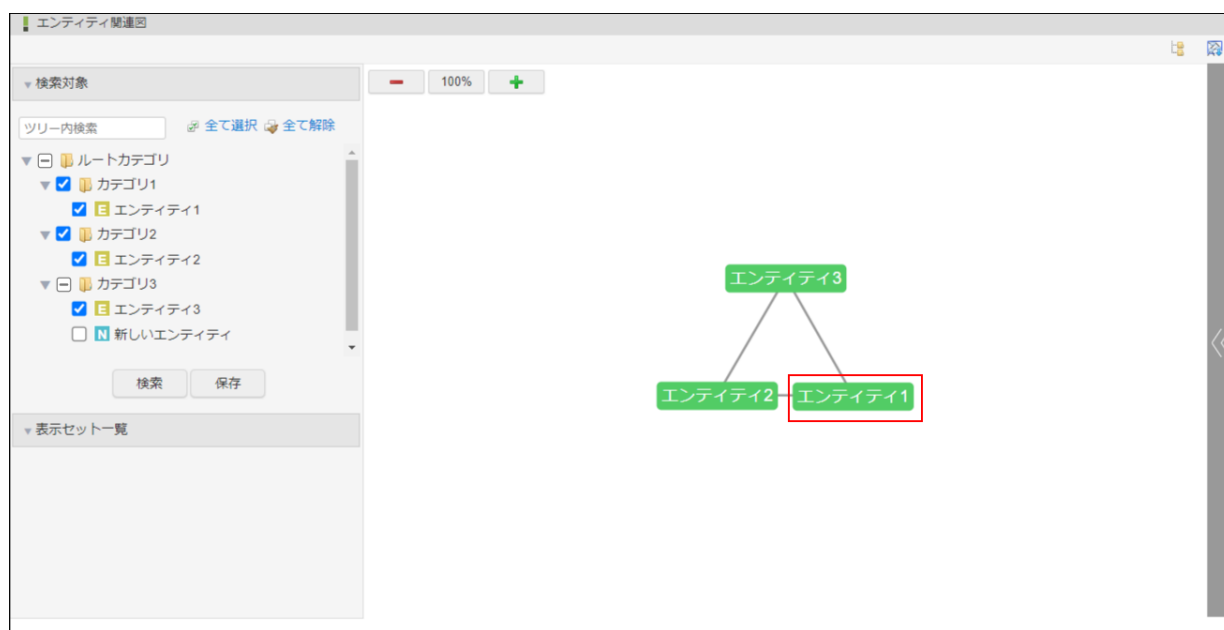


- エンティティ情報が表示されます。

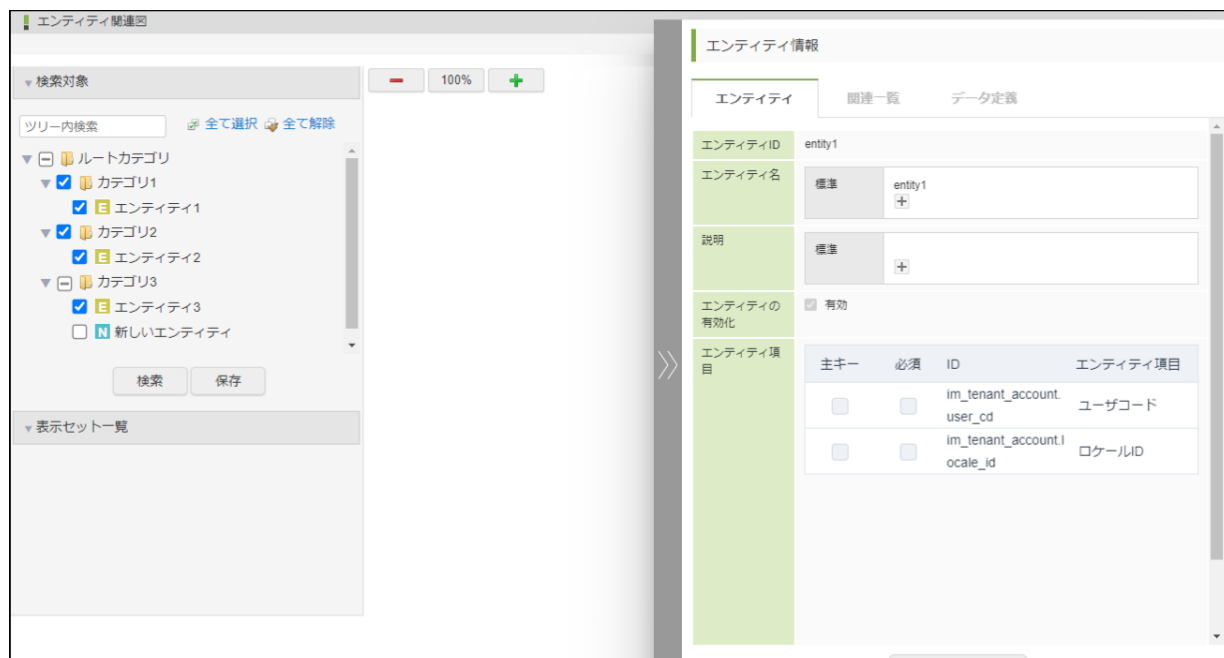


関連図上で確認する

1. 「[エンティティ一覧画面](#)」の手順をもとに、関連図形式で表示します。
2. 関連図に表示されている「エンティティ」をダブルクリックします。



3. エンティティ情報が表示されます。



<画面項目（エンティティ情報 - エンティティタブ）>

項目	説明
ID	選択された エンティティのIDを表示します。
名前	選択された エンティティの名称を表示します。
種別	選択された エンティティの種別を表示します。
名前	<ul style="list-style-type: none"> ■ 標準 選択された エンティティの名称（標準）を表示します。 ■ 日本語 選択された エンティティの名称（日本語）を表示します。 ■ 英語 選択された エンティティの名称（英語）を表示します。 ■ 中国語（中華人民共和国） 選択された エンティティの名称（中国語（中華人民共和国））を表示します。
説明	<ul style="list-style-type: none"> ■ 標準 選択された エンティティの説明（標準）を表示します。 ■ 日本語 選択された エンティティの説明（日本語）を表示します。 ■ 英語 選択された エンティティの説明（英語）を表示します。 ■ 中国語（中華人民共和国） 選択された エンティティの説明（中国語（中華人民共和国））を表示します。
エンティティの有効化	選択された エンティティの有効、無効を表示します。
エンティティ項目	選択された エンティティの エンティティ項目を表示します。

<画面項目（エンティティ情報 - 関連一覧タブ）>

項目	説明
関連ID	関連を一意に表す文字列を表示します。
エンティティ名	関連元となる エンティティ名を表示します。

項目	説明
エンティティ項目	関連先となる エンティティ項目を表示します。
多重度	多重度を表示します。
エンティティ名	関連先となる エンティティ名を表示します。
エンティティ項目	関連先となるエンティティ項目を表示します。
サブエンティティ変数名	エンティティ項目が サブエンティティの場合に変数名を表示しません。
コメント	コメントを表示します。

<画面項目 (エンティティ情報 - データ定義タブ) >

選択された エンティティのデータ定義情報を表示します。表示内容の詳細は「[データ定義を確認する](#)」を参照してください。

エンティティを編集する

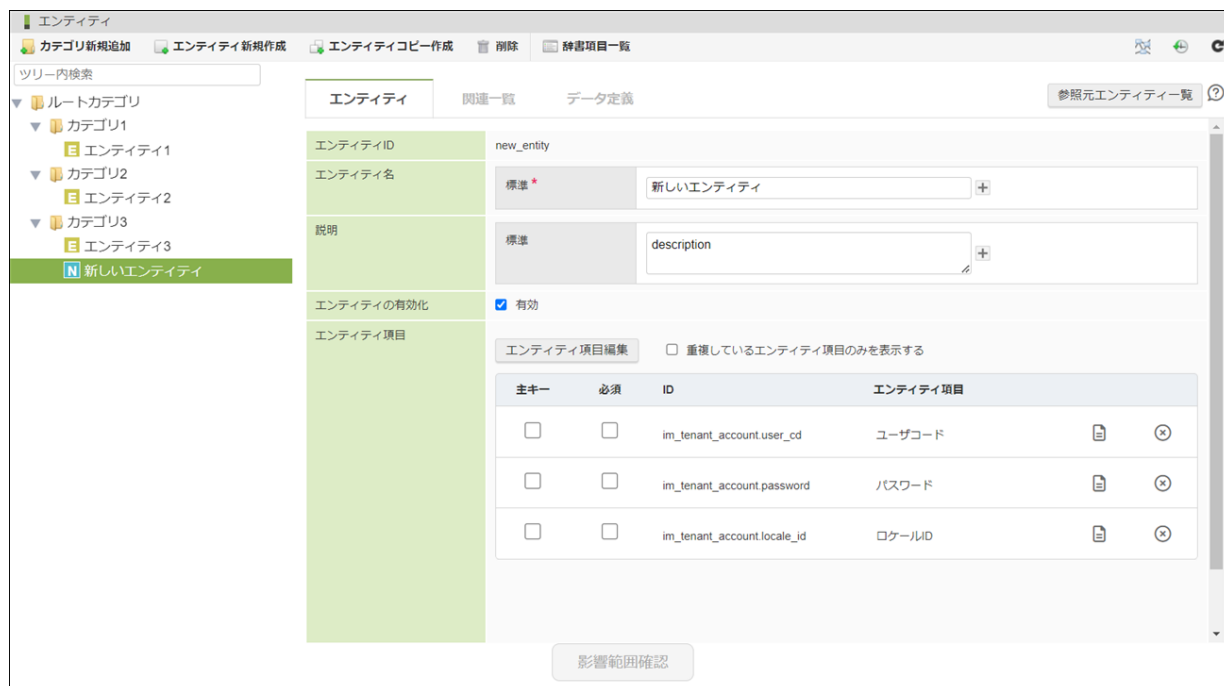
- [エンティティを更新する](#)
- [エンティティを削除する](#)

エンティティを更新する

1. 「[エンティティ一覧画面](#)」の手順をもとに、「エンティティ一覧」画面を表示します。
2. エンティティツリーから更新を行うエンティティをクリックします。



3. エンティティ情報が表示されます。



<画面項目（エンティティ）>

項目	説明
エンティティID	エンティティを一意に表す文字列を入力します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
エンティティ名	エンティティを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	エンティティの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
エンティティの有効化	エンティティの有効、無効を設定します。 無効と設定されたエンティティは、外部のアプリケーションで定義の追加ができません。
エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主キー エンティティ項目を主キー(Primary Key)として扱う場合に指定します。 ■ 必須 エンティティ項目を必須(Not Null)として扱う場合に指定します。 ■ ID エンティティ項目IDを表示します。 サブエンティティの場合はサブエンティティの変数名を表示します。 ■ エンティティ項目 エンティティ項目名を表示します。 サブエンティティの場合はリンク形式で表示します。クリックすると対象のエンティティ情報を表示します。 ■ ファイルアイコン エンティティ項目の詳細を表示します。 ■ 削除アイコン エンティティ項目を削除します。

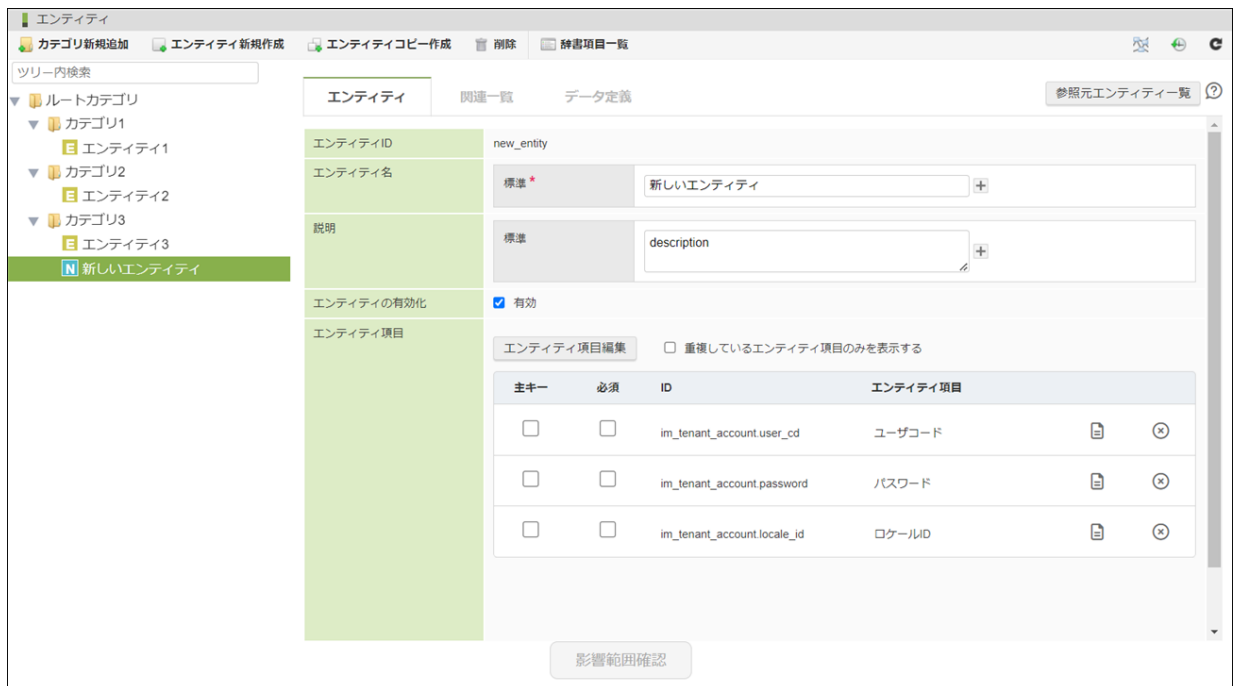
4. 更新内容を入力します。

エンティティを削除する

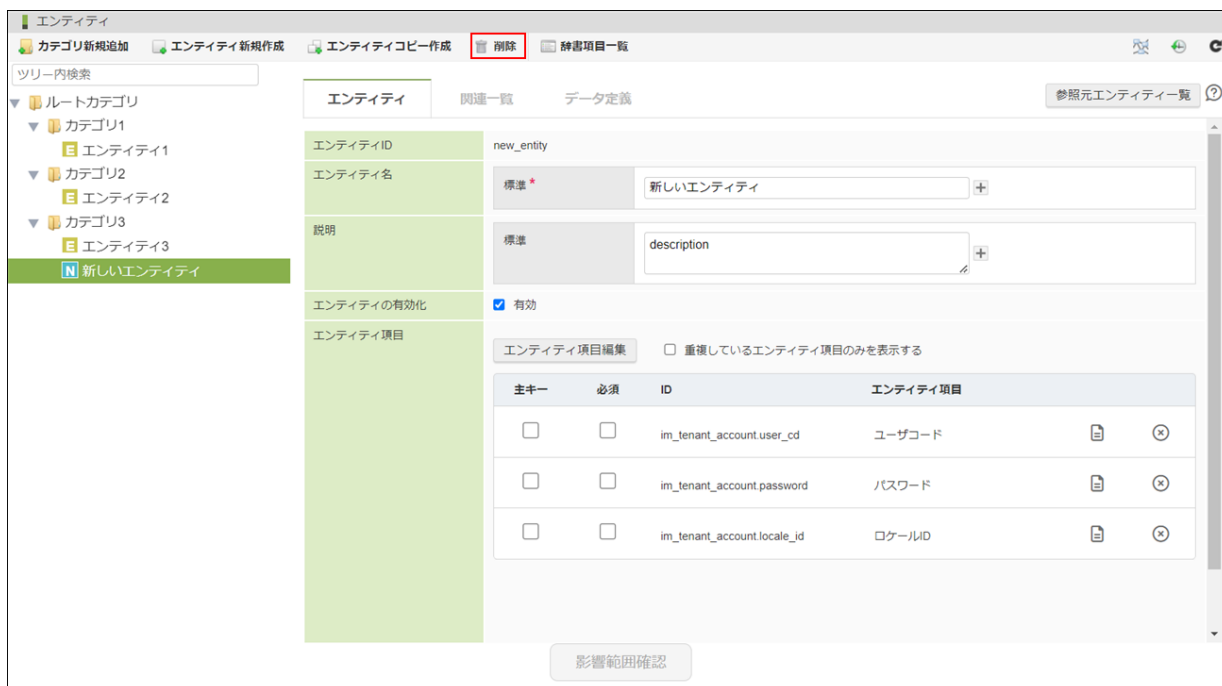
1. 「[エンティティ一覧画面](#)」の手順をもとに、「エンティティ一覧」画面を表示します。
2. エンティティツリーから削除を行うエンティティをクリックします。



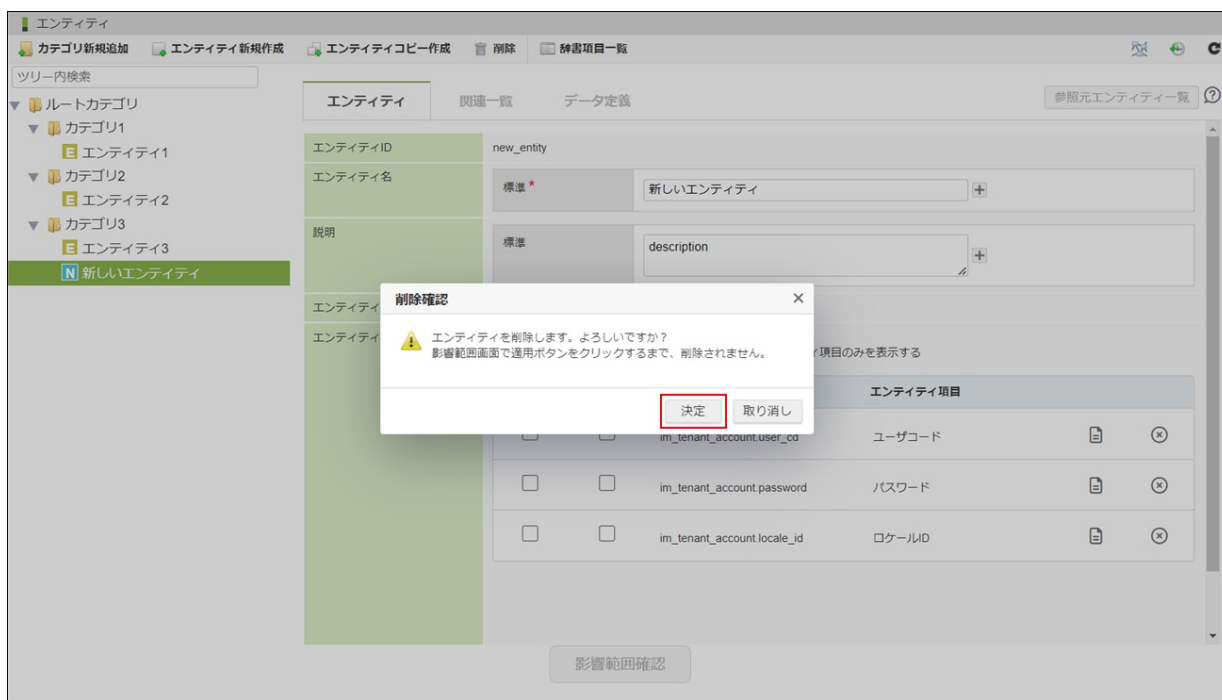
3. エンティティ情報が表示されます。



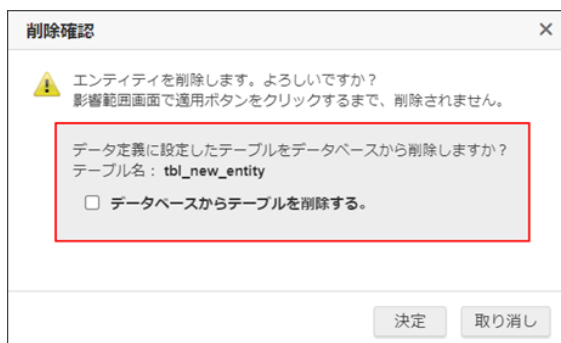
4. ツールバーの「削除」をクリックします。



5. 削除確認画面で「決定」をクリックします。



データ定義の設定を行っている場合は、ダイアログにデータベースからテーブルを削除するかどうかのチェックボックスが表示されます。同時にデータベースのテーブルを削除する場合は、チェックを入れます。



i コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

エンティティ項目

エンティティ項目を扱う画面の機能について説明します。

エンティティ項目を確認する

- 「[エンティティを確認する](#)」の手順をもとに、エンティティ情報を表示します。
- 「エンティティ項目編集」ボタンをクリックし、辞書項目/エイリアス検索画面を開きます。

エンティティ項目編集

主キー	必須	ID	エンティティ項目		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	im_tenant_account.user_cd	ユーザコード	📄	⊗
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	im_master_user.user_name	ユーザ名	📄	⊗
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	im_tenant_account.password	パスワード	📄	⊗
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	im_tenant_account.locale_id	ロケールID	📄	⊗
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	im_tenant_account.telephone_num	電話番号	📄	⊗

- 「辞書項目/エイリアス検索」画面の選択済み項目に選択されている項目が表示されます。

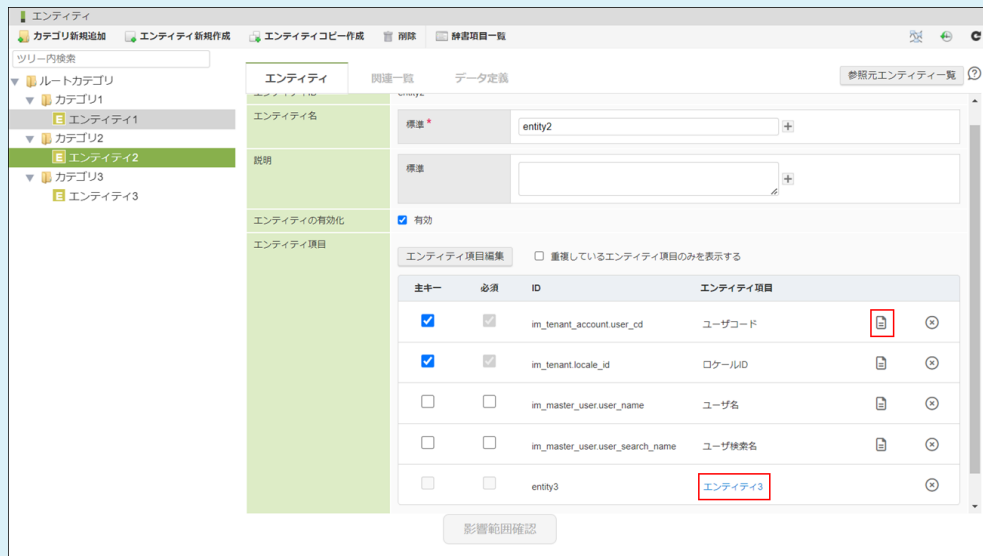
選択済み項目

- ユーザコード
- パスワード
- ロケールID
- エンコーディング
- タイムゾーンID
- 電話番号
- メールアドレス
- テナントID
- ホームURL
- アカウントロック回数
- アカウントロック期間(分)
- 備考
- 有効開始日
- ロック日付
- ログイン失敗回数
- 属性名
- 属性値

クリア
決定

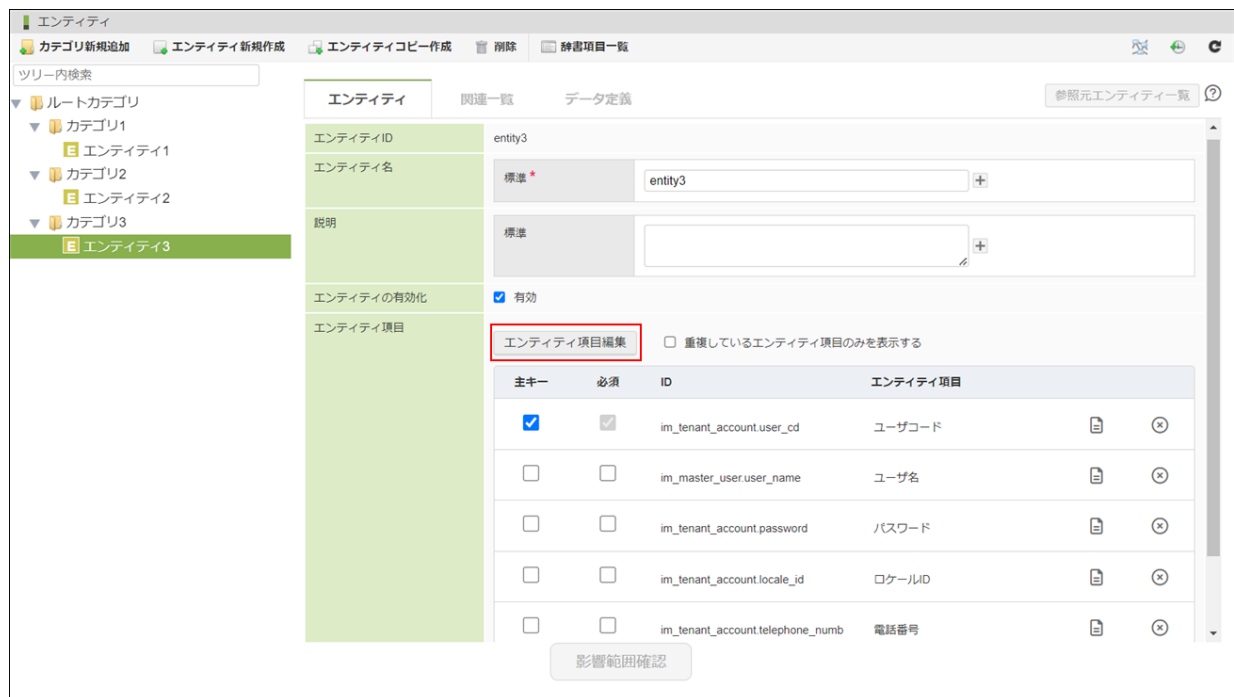
i コラム

エンティティ情報画面のファイルアイコンクリックにより、エンティティ項目の詳細を確認できます。
また、エンティティ項目がサブエンティティの場合は、エンティティ項目のリンククリックにより、対象のエンティティ情報の詳細を確認できます。

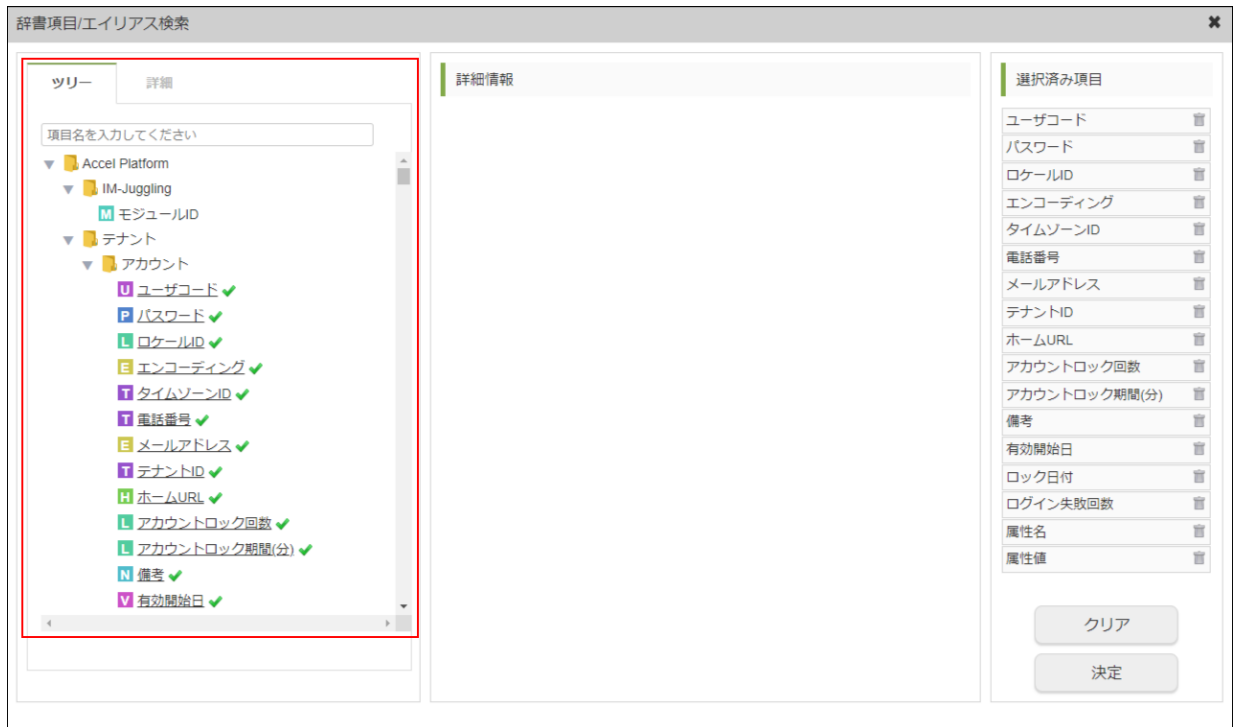


エンティティ項目を編集する

1. 「エンティティを確認する」の手順をもとに、エンティティ情報を表示します。
2. 「エンティティ項目編集」ボタンをクリックし、辞書項目/エイリアス検索画面を開きます。



<画面項目（辞書項目/エイリアス検索 ツリー）>



項目	説明
ツリー内検索	検索するツリーの表示名を表す文字列（の一部）を入力します。
項目一覧ツリー	登録されている カテゴリ、辞書項目、または、エイリアスをツリー形式で表示します。 辞書項目/エイリアスクリックにより、選択済み項目に追加します。

<画面項目（辞書項目/エイリアス検索 詳細）>



項目	説明
ID	検索したい項目のID（の一部）を入力します。
名前	登録されている カテゴリ、辞書項目、または、エイリアスをツリー形式で表示します。

項目	説明
Java	<ul style="list-style-type: none"> データ型 Javaで使用された時のデータ型を設定します。
JavaScript	<ul style="list-style-type: none"> データ型 JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。
IM-LogicDesigner	<ul style="list-style-type: none"> データ型 IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。
データベース	<ul style="list-style-type: none"> データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。

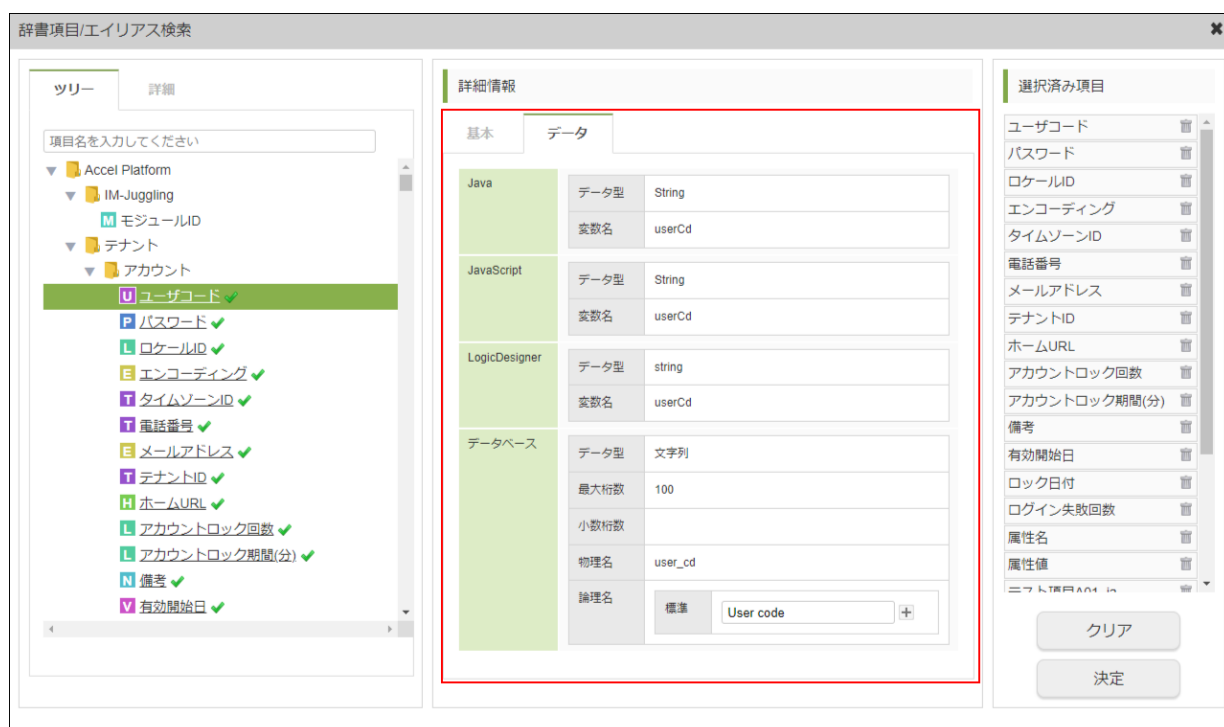
<画面項目（辞書項目/エイリアス検索 詳細情報 - 基本）>



項目	説明
ID	選択された 辞書項目、または、エイリアスのIDを表示します。
名前	選択された 辞書項目、または、エイリアスの名称を表示します。
種別	選択された 辞書項目、または、エイリアスの種別を表示します。
名前	<ul style="list-style-type: none"> 標準 選択された 辞書項目、または、エイリアスの名称（標準）を表示します。 日本語 選択された 辞書項目、または、エイリアスの名称（日本語）を表示します。 英語 選択された 辞書項目、または、エイリアスの名称（英語）を表示します。 中国語（中華人民共和国） 選択された 辞書項目、または、エイリアスの名称（中国語（中華人民共和国））を表示します。

項目	説明
説明	<ul style="list-style-type: none"> 標準 選択された 辞書項目、または、エイリアスの説明（標準）を表示します。 日本語 選択された 辞書項目、または、エイリアスの説明（日本語）を表示します。 英語 選択された 辞書項目、または、エイリアスの説明（英語）を表示します。 中国語（中華人民共和国） 選択された 辞書項目、または、エイリアスの説明（中国語（中華人民共和国））を表示します。
初期値	選択された 辞書項目、または、エイリアスの初期値を表示します。

<画面項目（辞書項目/エイリアス検索 詳細情報 - データ）>



項目	説明
Java	<ul style="list-style-type: none"> データ型 選択された 辞書項目、または、エイリアスが Javaで使用された時のデータ型を表示します。
JavaScript	<ul style="list-style-type: none"> データ型 選択された 辞書項目、または、エイリアスが JavaScriptで使用された時のデータ型を表示します。
IM-LogicDesigner	<ul style="list-style-type: none"> データ型 選択された 辞書項目、または、エイリアスが IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を表示します。

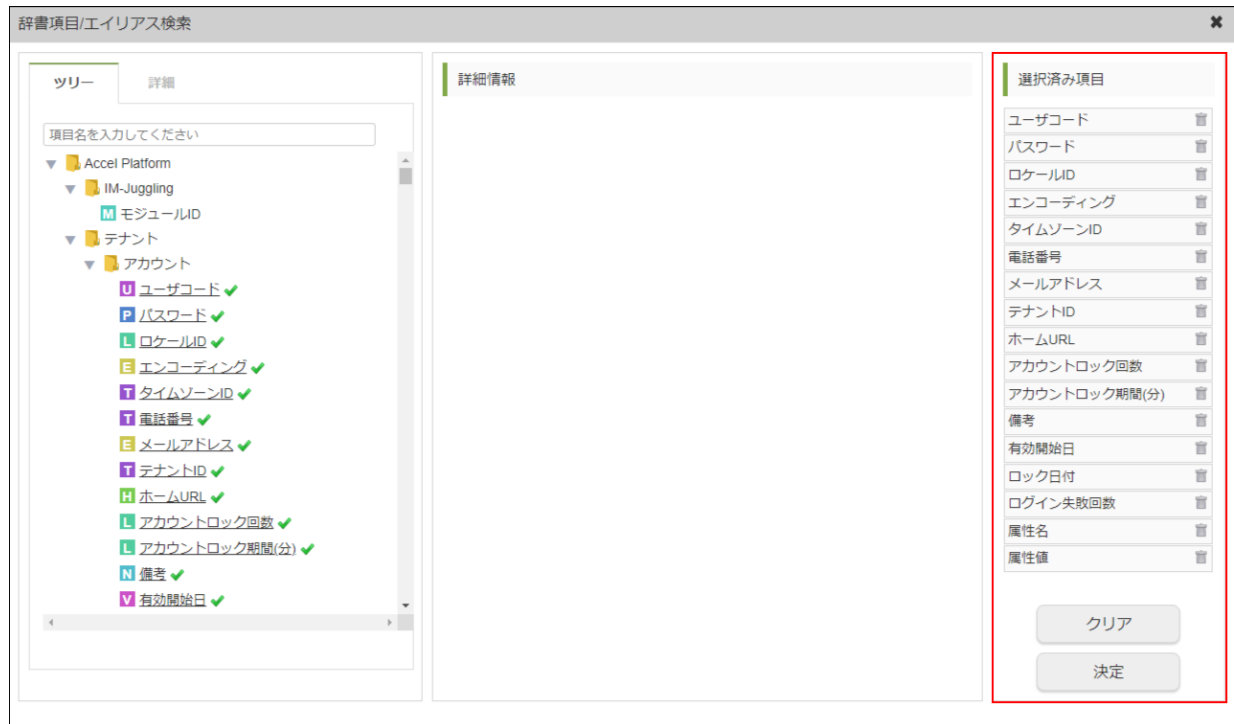
項目	説明
データベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ型 選択された 辞書項目、または、エイリアスが データベースで使用された時のデータ型を表示します。 ■ 最大桁数 選択された 辞書項目、または、エイリアスの最大桁数を表示します。 ■ 小数桁数 選択された 辞書項目、または、エイリアスの小数桁数を表示します。 ■ 物理名 選択された 辞書項目、または、エイリアスの物理名を表示します。 ■ 論理名 <ul style="list-style-type: none"> ■ 標準 選択された 辞書項目、または、エイリアスの論理名（標準）を表示します。 ■ 日本語 選択された 辞書項目、または、エイリアスの論理名（日本語）を表示します。 ■ 英語 選択された 辞書項目、または、エイリアスの論理名（英語）を表示します。 ■ 中国語（中華人民共和国） 選択された 辞書項目、または、エイリアスの論理名（中国語（中華人民共和国））を表示します。

<画面項目（辞書項目/エイリアス検索 検索結果）>

項目	説明
ID	検索条件に合致する 辞書項目、または、エイリアスのIDを表示します。
名前	検索条件に合致する 辞書項目、または、エイリアスの名前を表示します。
説明	検索条件に合致する 辞書項目、または、エイリアスの説明を表示します。

項目	説明
追加	辞書項目、または、エイリアスを選択済み項目に追加します。 追加したい辞書項目、または、エイリアスのチェックボックスにチェックをいれ、「追加」ボタンをクリックしてください。

<画面項目（辞書項目/エイリアス検索 選択済み項目）>



項目	説明
名称	選択されている項目を表示します。
削除アイコン	選択されている項目を削除します。
クリアボタン	選択されている項目を全て削除します。
決定ボタン	表示されている項目を エンティティ項目として確定します。



コラム

ドラッグ & ドロップにて項目の順番を変更できます。

3. 辞書項目を選択し、「決定」ボタンをクリックします。

関連項目

関連項目を扱う画面の機能について説明します。

関連項目を新規登録する

1. 「[関連項目を確認する](#)」の手順をもとに、「関連項目一覧」画面を表示します。
2. 「関連項目一覧」画面の「関連登録」ボタンをクリックします。



3. 「関連項目」ダイアログが表示されるので値を入力していきます。

<画面項目（関連項目 - 基本情報の入力）>



項目	説明
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> 関連ID 関連を一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。

項目	説明
エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 関連元の エンティティを表示します。 関連元 エンティティは選択している エンティティとなり編集不可です。 ■ 多重度 関連元、関連先の多重度を設定します。 この項目は必須項目です。 ■ 関連先 関連先の エンティティを設定します。 この項目は必須項目です。

次へ 「関連項目 - エンティティ項目の指定」画面を表示します。

<画面項目（関連項目 - エンティティ項目の指定）>

1
基本情報の入力

2
エンティティ項目の指定

3
追加内容確認

基本情報

関連ID

選択済みエンティティ

関連元	多重度	関連先
エンティティ2	1:1	エンティティ3

エンティティ項目

+ 追加

No.	関連元	関連先	削除
1	<input type="text" value=""/>	<input type="text" value=""/>	🗑

サブエンティティ項目

サブエンティティを設定する

サブエンティティ	変数名
エンティティ3	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><small>① 変数名は以下の形式です。</small></p> <ul style="list-style-type: none"> ・先頭が半角英字、_（アンダースコア）であること ・半角英数字、_（アンダースコア）のみであること </div> <input type="text"/>

戻る

次へ

項目	説明
選択済み エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連元 エンティティを表示します。 ■ 多重度 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した多重度を表示します。 ■ 関連先 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連先 エンティティを表示します。

項目	説明
エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> 追加アイコン 関連項目を追加します。 関連元 関連元 エンティティの エンティティ項目を設定します。 関連先 関連先 エンティティの エンティティ項目を設定します。 削除アイコン 関連項目を削除します。
サブエンティティ項目	<p>チェックボックス：サブエンティティを設定する 以下の条件に該当する場合に表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連元 エンティティと関連先 エンティティが異なること 多重度が「1:1」または「1:n」であること <p>以下の条件に該当する場合は、サブエンティティを設定できないためチェックボックスは不活性状態で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連先 エンティティにサブエンティティが設定されている 関連元 エンティティがサブエンティティとして設定されている <p>関連先 エンティティを サブエンティティとする場合にチェックを入れます。</p> <p>以下の項目はチェックを入れた場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> サブエンティティ 関連先 エンティティを表示します。 変数名 サブエンティティを表す変数名を設定します。 ここで設定した変数名は、コードの自動生成などの用途で利用されます。 変数名の入力規則は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> 先頭が半角英字、_（アンダースコア）であること 半角英数字、_（アンダースコア）のみであること
戻る	「関連項目 - 基本情報の入力」画面を表示します。
次へ	「関連項目 - 追加内容確認」画面を表示します。



コラム

サブエンティティについて

関連先 エンティティをサブエンティティとして設定した場合、IM-LogicDesignerの IM-Repositoryタスクでの処理時に、関連項目に紐づく関連先 エンティティデータを含めた処理が可能です。

IM-Repositoryタスクの詳細は「[IM-LogicDesigner仕様書](#)」 - 「[IM-Repository タスク](#)」を参照してください。

<画面項目（関連項目 - 追加内容確認）>

✔
基本情報の入力

✔
エンティティ項目の指定

3
追加内容確認

基本情報

関連ID	relation2
------	-----------

選択済みエンティティ

関連元	多重度	関連先
エンティティ2	1:1	エンティティ3

選択済みエンティティ項目

No.	関連元	関連先
1	ユーザコード	ユーザコード

選択済みサブエンティティ項目

サブエンティティ	変数名
エンティティ3	sub_entity

コメント

戻る

追加

項目	説明
選択済み エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連元 エンティティを表示します。 ■ 多重度 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した多重度を表示します。 ■ 関連先 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連先 エンティティを表示します。
選択済み エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 「関連項目 - エンティティ項目の指定」で設定した関連元 エンティティのエンティティ項目を表示します。 ■ 関連先 「関連項目 - エンティティ項目の指定」で設定した関連先 エンティティのエンティティ項目を表示します。
選択済み サブエンティティ項目	<p>「関連項目 - エンティティ項目の指定」でサブエンティティを設定するにチェックを入れた場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ サブエンティティ 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連先 エンティティを表示します。 ■ 変数名 「関連項目 - エンティティ項目の指定」で設定したサブエンティティの変数名を表示します。
コメント	コメントを入力します。
戻る	「エンティティ項目の指定」画面を表示します。
追加	関連項目を追加します。

コラム

関連項目の追加後に、[影響範囲一覧の確認](#)と[影響範囲の適用](#)を行うことで登録内容が保存されます。

関連項目を確認する

1. 「[エンティティを確認する](#)」の手順をもとに、エンティティ情報を表示します。
2. 「関連一覧」タブをクリックし、「関連一覧」画面を開きます。



編集	関連ID	関連元エンティティ	エンティティ項目	多重度	関連先エンティティ	エンティティ項目	サブエンティティ変数名	コメント	削除
	relation1	エンティティ1	1. ユーザコード	1:1	エンティティ2	1. ユーザコード			
	relation2	エンティティ2	1. ユーザコード	1:1	エンティティ3	1. ユーザコード	entity3		

<画面項目（関連項目一覧）>

項目	説明
編集アイコン	「関連項目」ダイアログを表示します。
関連ID	関連を一意に表す文字列を表示します。
エンティティ名	関連元となる エンティティ名を表示します。
エンティティ項目	関連元となる エンティティ項目を表示します。
多重度	多重度を表示します。
エンティティ名	関連先となる エンティティ名を表示します。
エンティティ項目	関連先となるエンティティ項目を表示します。
サブエンティティ変数名	関連先のエンティティがサブエンティティの場合に変数名を表示します。
コメント	コメントを表示します。
削除アイコン	関連情報を削除します。

コラム

編集、削除アイコンは、選択している エンティティが 関連元 エンティティと同一の場合に表示されます。

関連項目を編集する

- [関連を更新する](#)
- [関連を削除する](#)

関連を更新する

1. 「[関連項目を確認する](#)」の手順をもとに、関連項目一覧を表示します。
2. 関連項目一覧 から更新を行う関連項目の編集アイコンをクリックします。



「関連項目」ダイアログが表示されます。



<画面項目（関連項目 - 基本情報の入力）>

項目	説明
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連ID 関連を一意に表す文字列です。 この項目は編集不可です。

項目	説明
エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 関連元の エンティティを表示します。 この項目は編集不可です。 ■ 多重度 関連元、関連先の多重度を設定します。 この項目は必須項目です。 ■ 関連先 関連先の エンティティを設定します。 この項目は必須項目です。
次へ	「関連項目 - エンティティ項目の指定」画面を表示します。

<画面項目（関連項目 - エンティティ項目の指定）>

1
基本情報の入力

2
エンティティ項目の指定

3
更新内容確認

基本情報

関連ID

選択済みエンティティ

関連元	多重度	関連先
エンティティ2	1:1	エンティティ3

エンティティ項目

+ 追加

No.	関連元	関連先	削除
1	<input type="text" value="ユーザコード"/> ▼	<input type="text" value="ユーザコード"/> ▼	🗑

サブエンティティ項目

サブエンティティを設定する

サブエンティティ	変数名
エンティティ3	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>i 変数名は以下の形式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先頭が半角英字、_ (アンダースコア) であること 半角英数字、_ (アンダースコア) のみであること </div> <input type="text" value="sub_entity"/>

戻る
次へ

項目	説明
選択済み エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連元 エンティティを表示します。 ■ 多重度 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した多重度を表示します。 ■ 関連先 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連先 エンティティを表示します。

項目	説明
エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 追加アイコン 関連項目を追加します。 ■ 関連元 関連元 エンティティの エンティティ項目を設定します。 ■ 関連先 関連先 エンティティの エンティティ項目を設定します。 ■ 削除アイコン 関連項目を削除します。
サブエンティティ項目	<p>チェックボックス：サブエンティティを設定する 以下の条件に該当する場合に表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 エンティティと関連先 エンティティが異なること ■ 多重度が「1:1」または「1:n」であること <p>以下の条件に該当する場合は、サブエンティティを設定できないためチェックボックスは不活性状態で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 関連先 エンティティにサブエンティティが設定されている ■ 関連元 エンティティがサブエンティティとして設定されている <p>関連先 エンティティを サブエンティティとする場合にチェックを入れます。</p> <p>以下の項目はチェックを入れた場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ サブエンティティ 関連先 エンティティを表示します。 ■ 変数名 サブエンティティを表す変数名を設定します。 ここで設定した変数名は、コードの自動生成などの用途で利用されます。 変数名の入力規則は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 先頭が半角英字、_（アンダースコア）であること ■ 半角英数字、_（アンダースコア）のみであること ■ 変数名 サブエンティティを表す変数名を設定します。 ここで設定した変数名は、コードの自動生成などの用途で利用されます。 変数名の入力規則は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 先頭が半角英字、_（アンダースコア）であること ■ 半角英数字、_（アンダースコア）のみであること
戻る	「関連項目 - 基本情報の入力」画面を表示します。
次へ	「関連項目 - 更新内容確認」画面を表示します。

<画面項目（関連項目 - 更新内容確認）>

基本情報の入力
 エンティティ項目の指定
3

基本情報

関連ID	relation2
------	-----------

選択済みエンティティ

関連元	多重度	関連先
エンティティ2	1:1	エンティティ3

選択済みエンティティ項目

No.	関連元	関連先
1	ユーザコード	ユーザコード

サブエンティティ項目

サブエンティティ	変数名
エンティティ3	sub_entity

コメント

戻る
更新

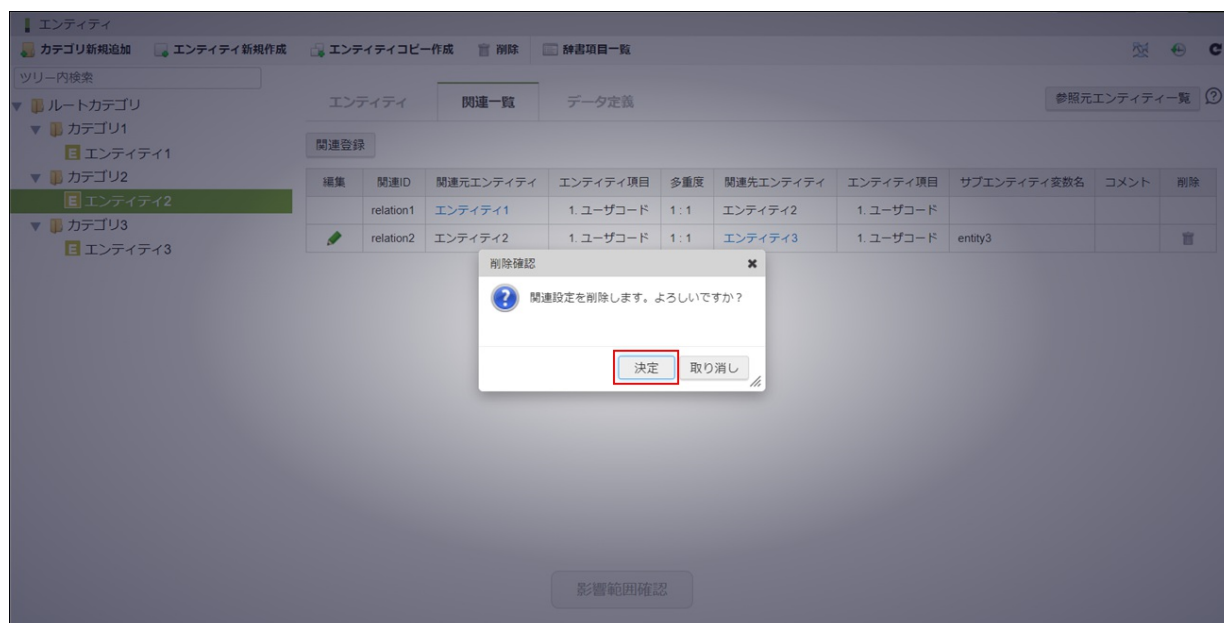
項目	説明
選択済み エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連元 エンティティを表示します。 ■ 多重度 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した多重度を表示します。 ■ 関連先 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連先 エンティティを表示します。
選択済み エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連元 「関連項目 - エンティティ項目の指定」で設定した関連元 エンティティのエンティティ項目を表示します。 ■ 関連先 「関連項目 - エンティティ項目の指定」で設定した関連先 エンティティのエンティティ項目を表示します。
選択済み サブエンティティ項目	<p>「関連項目 - エンティティ項目の指定」でサブエンティティを設定するにチェックを入れた場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ サブエンティティ 「関連項目 - 基本情報の入力」で設定した関連先 エンティティを表示します。 ■ 変数名 「関連項目 - エンティティ項目の指定」で設定したサブエンティティの変数名を表示します。
コメント	コメントを入力します。
戻る	「エンティティ項目の指定」画面を表示します。
更新	関連を更新します。

[関連を削除する](#)

1. 「[関連項目を確認する](#)」の手順をもとに、関連項目一覧を表示します。
2. 関連項目一覧 から削除を行う関連項目の削除アイコンをクリックします。



3. 削除確認ダイアログで「決定」をクリックします。



コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

データ定義

データ定義を扱う画面の機能について説明します。

データ定義を新規登録する

1. 「[データ定義を確認する](#)」の手順をもとに、「データ定義」画面を表示します。
2. 「データ定義」画面の「データ定義の追加」ボタンをクリックします。



3. 「データ定義」ダイアログが表示されるので値を入力していきます。

<画面項目（データ定義- テーブルの設定）>



項目	説明
----	----

項目	説明
テーブル情報	<p>エンティティに紐づけるテーブル情報を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ チェックボックス：既存のテーブルを利用する 新規にテーブルを作成せずに、既存のテーブルを利用する場合にチェックを入れます。 ■ データベース種別 テナントデータベース・シェアードデータベースのどちらを利用するかを選択します。この項目は必須項目です。 ■ 接続ID データベース種別でシェアードデータベースを選択した場合に表示されます。プルダウンから利用するデータベースの接続IDを選択します。シェアードデータベースを選択した場合、この項目は必須項目です。 ■ テーブル名 新規でテーブルを作成する場合は、テーブル名を入力します。テーブル名の入力規則は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ■ データベースに存在しないテーブル名であること ■ 先頭が半角小文字英字であること ■ 半角小文字英数字、_（アンダースコア）のみであること 既存のテーブルを利用する場合は、プルダウンから該当テーブルを選択します。 この項目は必須項目です。
キャンセル	操作をキャンセルして画面をクローズします。
次へ	「データ定義- テーブル定義の設定」画面を表示します。

<画面項目（データ定義- テーブル定義の設定）>

項目	説明
----	----

項目	説明
カラム設定	<p>テーブルに紐づくカラムを設定します。</p> <p>カラムとして利用可能な以下の条件を満たしているエンティティ項目を一覧に表示します。</p> <p>既存のテーブルを利用する場合は、エンティティ項目とテーブルカラムとの差分情報を合わせて表示します。</p> <ul style="list-style-type: none">辞書項目の用途（データ）のデータベースが設定されていることデータベースのデータ型と物理名が設定されていること <p><一覧表示項目></p> <ul style="list-style-type: none">エンティティ項目 エンティティ項目名を表示します。物理名 エンティティ項目の物理名を表示します。データ型 データ型を表示します。 既存のテーブルを利用してエンティティ項目とテーブルカラム間で差分がある場合は、それぞれの情報を表示します。最大桁数 最大桁数を表示します。 既存のテーブルを利用してエンティティ項目とテーブルカラム間で差分がある場合は、それぞれの情報を表示します。小数桁数 小数桁数を表示します。 既存のテーブルを利用してエンティティ項目とテーブルカラム間で差分がある場合は、それぞれの情報を表示します。主キー 主キーであるかどうかを表示します。 既存のテーブルを利用してエンティティ項目とテーブルカラム間で差分がある場合は、それぞれの情報を表示します。必須 必須であるかどうかを表示します。 既存のテーブルを利用してエンティティ項目とテーブルカラム間で差分がある場合は、それぞれの情報を表示します。 <p>エンティティ項目の編集は、「辞書項目を編集する」または「エンティティ項目を確認する」の手順をもとに行ってください。</p>

項目	説明
参照項目設定	<p>エンティティ、テーブル、または、共通マスタを参照するエンティティ項目を設定します。</p> <p>「参照項目設定を追加」ボタンをクリックすると、「エンティティ項目参照設定」ダイアログが表示されます。</p> <p>設定については、「参照項目を設定する」を参照してください。</p> <p><一覧表示項目></p> <p>参照先種別に応じた内容を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 参照先 - 種別 エンティティ、テーブル、または、共通マスタ ■ 参照先 - 対象 エンティティ名、テーブル名、または、マスタ名 ■ 参照先 - 項目 エンティティ項目名、カラム名、または、マスタ項目 ■ エンティティ項目 参照元のエンティティ項目名を表示します。 ■ 設定 「エンティティ項目参照設定」ダイアログを表示します。 ■ 削除 参照項目設定を削除します。
戻る	「データ定義- テーブルの設定」画面を表示します。
キャンセル	操作をキャンセルして画面をクローズします。
次へ	「データ定義- 検索条件の設定」画面を表示します。

<画面項目（データ定義- 検索条件の設定）>

データ定義

1 2 3 4
 テーブルの設定 テーブル定義の設定 検索条件の設定 追加内容確認

検索条件の設定

① テーブルのレコードを絞り込むための検索条件を設定します。

条件を追加

No.	エンティティ項目	条件	削除
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="✕"/>

戻る キャンセル 次へ

項目	説明
----	----

項目	説明
検索条件	<p>「条件を追加」ボタンをクリックして、テーブルのレコードを絞り込むための検索条件を設定します。</p> <p>検索条件は複数設定が可能です。検索条件を複数設定した場合はAND検索です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ エンティティ項目 検索条件を設定するエンティティ項目 を選択します。 ■ 条件 プルダウンから条件を選択します。 選択可能な条件はエンティティ項目 のデータベースのデータ型によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 文字列 完全一致、前方一致、後方一致、部分一致、複数条件（いずれかの値と一致） ■ 長い文字列 前方一致、後方一致、部分一致 ■ 数値 完全一致、以上、以下、範囲指定 ■ 日付、日時、時刻 完全一致、以前、以降、範囲指定 ■ 真偽値 完全一致 ■ 削除 検索条件を削除します。
戻る	「データ定義- テーブル定義の設定」画面を表示します。
キャンセル	操作をキャンセルして画面をクローズします。
次へ	「データ定義- 追加内容確認」画面を表示します。

<画面項目（データ定義- 追加内容確認）>

データ定義
×

✔ テーブルの設定
 ✔ テーブル定義の設定
 ✔ 検索条件の設定
 4 追加内容確認

テーブル情報

データベース種別	テナントデータベース
テーブル名	tbl_entity3

テーブル定義

No.	エンティティ項目	物理名	データ型	最大桁数	小数桁数	主キー	必須
1	ユーザコード	user_cd	文字列	100		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	パスワード	password	文字列	255		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ロケールID	locale_id	文字列	10		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	電話番号	telephone_number	文字列	50		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	メールアドレス	email_address	文字列	256		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

参照項目設定

No.	参照先 種別	対象	項目	エンティティ項目	詳細
1	テーブル	imm_user	user_name	ユーザ名	

戻る
キャンセル
追加

項目	説明
----	----

項目	説明
テーブル情報	<ul style="list-style-type: none"> データベース種別 「データ定義- テーブルの設定」で設定したデータベース種別を表示します。 接続ID データベース種別がシェアードデータベースの場合に「データ定義- テーブルの設定」で設定した接続IDを表示します。 テーブル名 「データ定義- テーブルの設定」で設定したテーブル名を表示します。
テーブル定義	「データ定義- テーブル定義の設定」で設定したカラム設定を表示します。
参照項目設定	「データ定義- テーブル定義の設定」で設定した参照項目設定を表示します。
検索条件	<ul style="list-style-type: none"> エンティティ項目 「データ定義- 検索条件の設定」で設定したエンティティ項目を表示します。 条件 「データ定義- 検索条件の設定」で設定した条件を表示します。
戻る	「データ定義- 検索条件の設定」画面を表示します。
キャンセル	操作をキャンセルして画面をクローズします。
追加	データ定義を追加します。



コラム

- 「[影響範囲の適用](#)」実施中にエラーが発生した場合は作成されたテーブルが残ります。
「[影響範囲の適用](#)」を実施した際にエラーが発生すると、画面上で変更を行った エンティティ情報やデータ定義情報などは適用されません。
しかし、作成されたテーブルについては残ります。



コラム

テーブルカラム作成時にデータベース製品別に採用されるデータ型は以下の通りです。

データ型	Oracle	PostgreSQL	SQLServer
真偽値	NUMBER	BOOLEAN	BIT
数値	NUMBER	DECIMAL	DECIMAL
文字列	NVARCHAR2	VARCHAR	NVARCHAR
日付	DATE	DATE	DATE
時刻	DATE	TIME	TIME
日時	TIMESTAMP	TIMESTAMP	DATETIME2
長い文字列	CLOB	TEXT	NVARCHAR
バイナリ	BLOB	BYTEA	VARBINARY

- *1 SQLServerの「日付」、「時刻」のデータ型は 2023 Spring(Gerbera) から変更になりました。
- *2 2023 Autumn(Hollyhock) からデータ型の一部を標準から変更できるようになりました。詳細は「[データ型を変更する](#)」を参照してください。



コラム

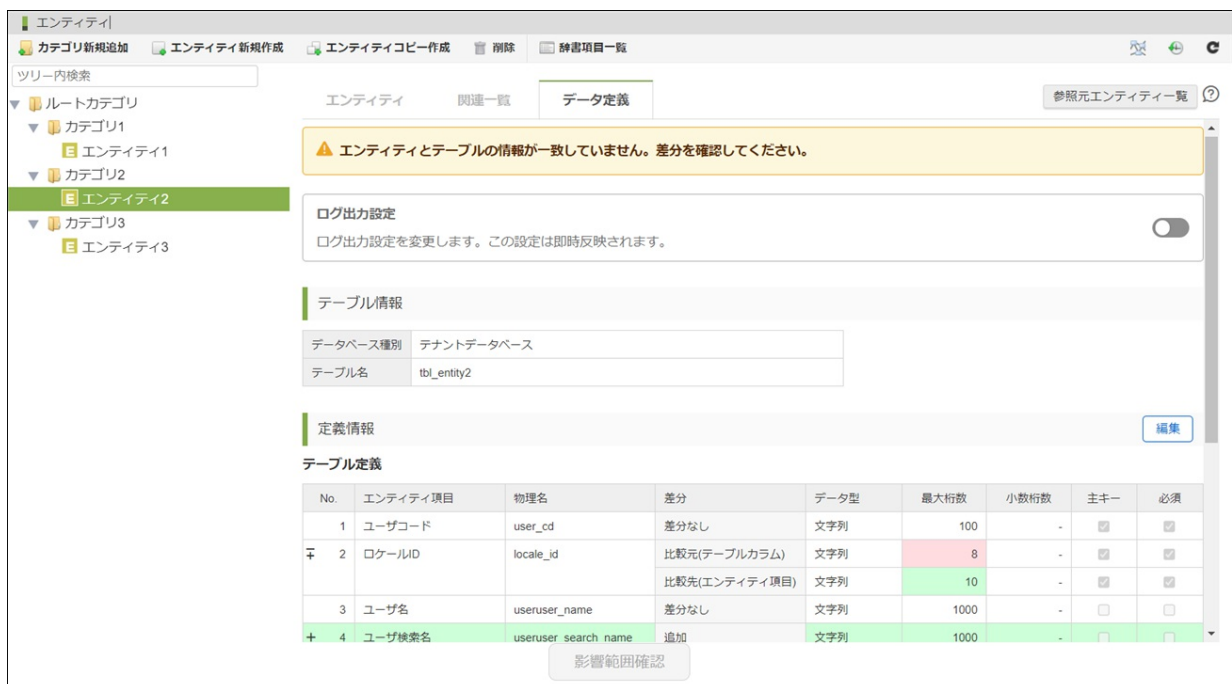
データ定義の追加後に、[影響範囲一覧の確認](#)と [影響範囲の適用](#) を行うことで登録内容が保存されます。

- 「エンティティを確認する」の手順をもとに、エンティティ情報を表示します。
- 「データ定義」タブをクリックし、「データ定義」画面を開きます。



- 表示されているメッセージからエンティティとテーブルの差分の有無を確認します。

- エンティティとテーブルの情報が一致している場合（上画像）
「エンティティとテーブルの情報は一致しています。」と表示されます。
- エンティティとテーブルの情報が一致していない場合（下画像）
「エンティティとテーブルの情報が一致していません。差分を確認してください。」と表示されます。



<画面項目（データ定義- テーブル情報）>

項目	説明
データベース種別	データベース種別を表示します。
接続ID	データベース種別がシェアードデータベースの場合に接続IDを表示します。
テーブル名	テーブル名 を表示します。

＜画面項目（データ定義- 定義情報 - テーブル定義）＞

カラム設定情報をエンティティ項目とテーブルカラムとの差分情報と合わせて一覧に表示します。
差分があるエンティティ項目は背景色付きで表示されます。

項目	説明
エンティティ項目	エンティティ項目名を表示します。
物理名	エンティティ項目の物理名を表示します。
差分	エンティティ項目とテーブルカラムの差分の状態を表示します。
データ型	データ型を表示します。 エンティティ項目とテーブルカラム間で差分がある場合は、それぞれの情報を表示します。
最大桁数	最大桁数を表示します。 エンティティ項目とテーブルカラム間で差分がある場合は、それぞれの情報を表示します。
小数桁数	小数桁数を表示します。 エンティティ項目とテーブルカラム間で差分がある場合は、それぞれの情報を表示します。
主キー	主キーであるかどうかを表示します。 エンティティ項目とテーブルカラム間で差分がある場合は、それぞれの情報を表示します。
必須	必須であるかどうかを表示します。 エンティティ項目とテーブルカラム間で差分がある場合は、それぞれの情報を表示します。

＜画面項目（データ定義- 参照項目設定）＞

各項目では参照先に応じた内容を表示します。

項目	説明
参照先	<ul style="list-style-type: none"> ■ 種別 エンティティ、テーブル、または、共通マスタ ■ 対象 参照先のエンティティ名、テーブル名、または、マスタ名を表示します。 ■ 項目 参照先のエンティティ項目名、カラム名、または、マスタ項目を表示します。
エンティティ項目	参照元のエンティティ項目
詳細	「エンティティ項目参照設定」ダイアログを表示します。

＜画面項目（データ定義- 参照項目設定 -エンティティ項目参照設定）＞

参照先種別に応じて表示内容は異なります。

エンティティ項目参照設定 ×

参照先 *

種別	テーブル
テーブル名	imm_user

参照項目 *

No.	参照元エンティティ項目	参照先カラム名
1	ユーザ名	user_name

結合条件 *

No.	参照元エンティティ項目	参照先カラム名	抽出方法
1	ユーザコード	user_cd	一致

絞り込み条件

No.	参照先カラム名	条件値	抽出方法
1	locale_id	ロケール	一致
2	start_date	実行日時	以下
3	end_date	実行日時	超過

項目	説明
参照先	<ul style="list-style-type: none"> ■ 種別 エンティティ、テーブル、または、共通マスタ ■ 名前 参照先のエンティティ名、テーブル名、または、マスタ名を表示します。
参照項目 [エンティティ]	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参照元エンティティ項目 参照元のエンティティ項目名を表示します。 ■ 参照先エンティティ項目 参照先のエンティティ項目を表示します。
参照項目 [テーブル]	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参照元エンティティ項目 参照元のエンティティ項目名を表示します。 ■ 参照先カラム名 参照先のテーブルのカラム名を表示します。
参照項目 [共通マスタ]	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参照元エンティティ項目 参照元のエンティティ項目名を表示します。 ■ ユーザマスタ項目 / 会社マスタ項目 / 組織マスタ項目 / 主所属組織項目 参照先のマスタ項目を表示します。
結合条件 [エンティティ] [テーブル]	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参照元エンティティ項目 結合条件に指定した参照元のエンティティ項目名を表示します。 ■ 参照先エンティティ項目 / カラム名 結合条件に指定した参照先のエンティティ項目、またはテーブルのカラム名を表示します。 ■ 抽出方法 抽出する範囲を表示します。

項目	説明
絞り込み条件 [エンティティ] [テーブル]	<ul style="list-style-type: none"> 参照先エンティティ項目 / カラム名 絞り込み条件に指定した参照先のエンティティ項目、またはテーブルのカラム名を表示します。 条件値 絞り込み条件の値を表示します。 抽出方法 抽出する範囲を表示します。
ユーザ / 会社 / 組織情報 [共通マスタ]	参照するマスタのキー項目と条件に指定した参照元のエンティティ項目名を表示します。
検索言語 [共通マスタ]	検索言語に関する条件値を表示します。
検索基準日 [共通マスタ]	検索基準日に関する条件値を表示します。
無効化された情報の参照 [共通マスタ]	無効化された情報の参照設定を表示します。
閉じる	ダイアログをクローズします。

<画面項目（データ定義- 定義情報 - 検索条件）>

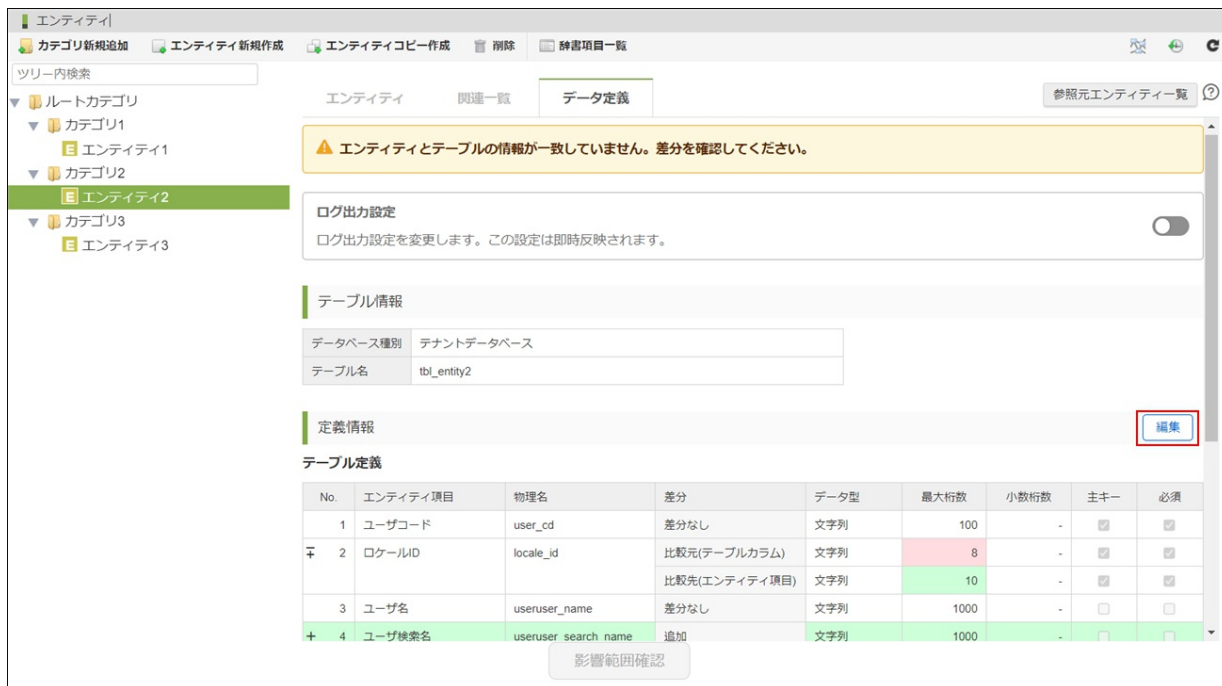
項目	説明
エンティティ項目	エンティティ項目を表示します。
条件	条件を表示します。

データ定義を編集する

- データ定義を更新する
- データ定義を削除する

データ定義を更新する

- 「[データ定義を確認する](#)」の手順をもとに、データ定義を表示します。
- 定義情報の編集ボタンをクリックします。



「データ定義」ダイアログが表示されます。

<画面項目（データ定義- テーブル定義の設定）>



項目	説明
----	----

項目	説明
カラム定義	<p>テーブルに紐づくカラムを設定します。 カラムとして利用可能な以下の条件を満たしている エンティティ項目をテーブルカラムとの差分情報とともに一覧に表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 辞書項目の用途（データ）のデータベースが設定されていること ■ データベースのデータ型と物理名が設定されていること ■ データベースの物理名と エンティティ項目のデータベースの物理名が同一であること <p>エンティティ項目の編集は、「辞書項目を編集する」または「エンティティ項目を確認する」の手順をもとに行ってください。</p> <p><一覧表示内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 適用チェックボックス チェックを入れた エンティティ項目の差分が更新時に適用されます。 ■ エンティティ項目 エンティティ項目名 を表示します。 ■ 物理名 辞書項目のデータベースの物理名を表示します。 ■ 差分 エンティティ項目とテーブルカラムとの差分の状態を表示します。 ■ データ型 辞書項目のデータベースのデータ型を表示します。 ■ 最大桁数 データ型が文字列・数値の場合に辞書項目のデータベースの最大桁数を表示します。 ■ 小数桁数 データ型が数値の場合に辞書項目のデータベースの小数桁数を表示します。 ■ 主キー エンティティ項目が主キーであるかどうかを表示します。 ■ 必須 エンティティ項目が必須であるかどうかを表示します。
参照項目設定	<p>エンティティ、テーブル、または、共通マスタを参照するエンティティ項目を設定します。 「参照項目設定を追加」ボタンをクリックすると、「エンティティ項目参照設定」ダイアログが表示されます。 設定については、「参照項目を設定する」を参照してください。</p> <p><一覧表示項目> 参照先種別に応じた内容を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 参照先 - 種別 エンティティ、テーブル、または、共通マスタ ■ 参照先 - 対象 エンティティ名、テーブル名、または、マスタ名を表示します。 ■ 参照先 - 項目 エンティティ項目名、カラム名、または、マスタ項目を表示します。 ■ エンティティ項目 参照元のエンティティ項目名を表示します。 ■ 設定 「エンティティ項目参照設定」ダイアログを表示します。 ■ 削除 参照項目設定を削除します。
キャンセル	操作をキャンセルして画面をクローズします。
次へ	「データ定義- 検索条件の設定」画面を表示します。

<画面項目（データ定義- 検索条件の設定）>

項目	説明
検索条件	<p>「条件を追加」ボタンをクリックして、テーブルのレコードを絞り込むための検索条件を設定します。</p> <p>検索条件は複数設定が可能です。検索条件を複数設定した場合はAND検索です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ エンティティ項目 検索条件を設定するエンティティ項目 を選択します。 ■ 条件 プルダウンから条件を選択します。 選択可能な条件はエンティティ項目 のデータ型によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 文字列 完全一致、前方一致、後方一致、部分一致、複数条件（いずれかの値と一致） ■ 長い文字列 前方一致、後方一致、部分一致 ■ 数値 完全一致、以上、以下、範囲指定 ■ 日付、日時、時刻 完全一致、以前、以降、範囲指定 ■ 真偽値 完全一致 ■ 削除 検索条件を削除します。
戻る	「データ定義- テーブル定義の設定」画面を表示します。
キャンセル	操作をキャンセルして画面をクローズします。
次へ	「データ定義- 更新内容確認」画面を表示します。

<画面項目（データ定義- 更新内容確認）>

✓
✓
3

テーブル定義の設定
検索条件の設定
更新内容確認

テーブル情報

データベース種別	テナントデータベース
テーブル名	tbl_entity2

テーブル定義

No.	操作	エンティティ項目	物理名	データ型	最大桁数	小数桁数	主キー	必須
1	操作なし	ユーザコード	user_cd	文字列	100	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	カラムをサイズを8から10に変更します	ロケールID	locale_id	文字列	10	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	テーブルにカラムを追加します	ユーザ検索名	useruser_search_name	文字列	1000	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	テーブルからカラムを削除します	ユーザ名	useruser_name	文字列	1000	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

参照項目設定

No.	参照先 種別	対象	項目	エンティティ項目	詳細
1	テーブル	imm_user	user_name	ユーザ名	

検索条件

戻る
キャンセル
反映

項目	説明
テーブル情報	<ul style="list-style-type: none"> ■ データベース種別 データベース種別を表示します。 ■ 接続ID データベース種別がシェアードデータベースの場合に接続IDを表示します。 ■ テーブル名 テーブル名を表示します。
テーブル定義	<p>カラムとして利用可能な条件を満たしているエンティティ項目が一覧に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 操作 差分の適用時に行われる操作内容を表示します。 ■ エンティティ項目 エンティティ項目名 を表示します。 ■ 物理名 辞書項目のデータベースの物理名を表示します。 ■ データ型 辞書項目のデータベースのデータ型を表示します。 ■ 最大桁数 データ型が文字列・数値の場合に辞書項目のデータベースの最大桁数を表示します。 ■ 小数桁数 データ型が数値の場合に辞書項目のデータベースの小数桁数を表示します。 ■ 主キー エンティティ項目が主キーであるかどうかを表示します。 ■ 必須 エンティティ項目が必須であるかどうかを表示します。
参照項目設定	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参照先 - 種別 「データ定義- 参照項目設定」で設定した参照先を表示します。 ■ 参照先 - 対象 「データ定義- 参照項目設定」で設定した参照先の対象を表示します。 ■ 参照先 - 項目 「データ定義- 参照項目設定」で設定した 参照先の項目を表示します。 ■ エンティティ項目 「データ定義- 参照項目設定」で設定したエンティティ項目を表示します。 ■ 詳細 「エンティティ項目参照設定」ダイアログを表示します。

項目	説明
----	----

検索条件	<ul style="list-style-type: none"> エンティティ項目 「データ定義- 検索条件の設定」で設定したエンティティ項目を表示します。 条件 「データ定義- 検索条件の設定」で設定した条件を表示します。
戻る	「データ定義- 検索条件の設定」画面を表示します。
キャンセル	操作をキャンセルして画面をクローズします。
反映	データ定義に編集内容を反映します。



コラム

- テーブル情報（データベース種別、接続ID、テーブル名）は変更できません。
内容を変更する場合は、データ定義を削除してから定義の再作成を行ってください。
- テーブルの主キーは変更できません。
エンティティ項目の主キー情報を変更した場合は差分として抽出されますが、変更を反映して影響範囲を適用しても主キーは変更されません。
主キーを変更する場合は、データ定義を削除してから定義の再作成を行ってください。
- 「[影響範囲の適用](#)」実施中にエラーが発生した場合はコラムへの差分適用した内容が巻き戻りません。
「[影響範囲の適用](#)」を実施した際にエラーが発生すると、画面上で変更を行ったエンティティ情報やデータ定義情報などは適用されません。
しかし、コラムへ行った差分適用した内容は巻き戻りません。



コラム

テーブルコラム作成時・テーブルコラム型変更時にデータベース製品別に採用されるデータ型は以下の通りです。

データ型	Oracle	PostgreSQL	SQLServer
真偽値	NUMBER	BOOLEAN	BIT
数値	NUMBER	DECIMAL	DECIMAL
文字列	NVARCHAR2	VARCHAR	NVARCHAR
日付	DATE	DATE	DATE
時刻	DATE	TIME	TIME
日時	TIMESTAMP	TIMESTAMP	DATETIME2
長い文字列	CLOB	TEXT	NVARCHAR
バイナリ	BLOB	BYTEA	VARBINARY

※1 SQLServerの「日付」、「時刻」のデータ型は 2023 Spring(Gerbera) から変更になりました。

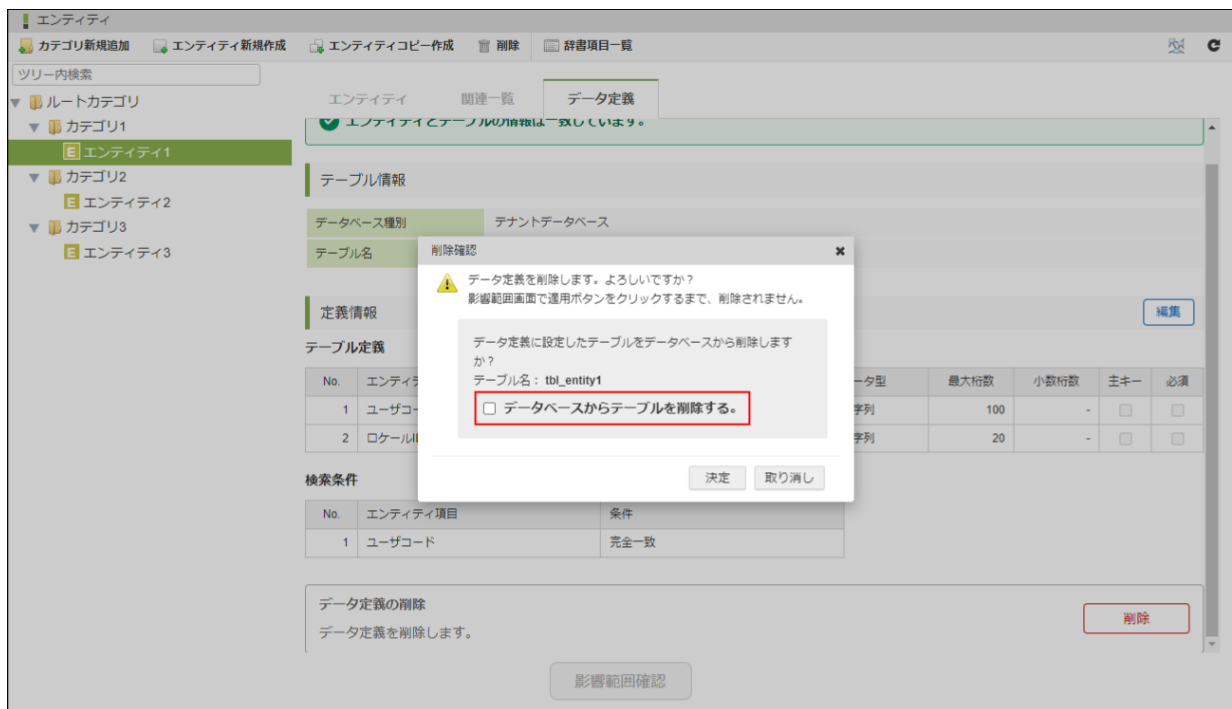
※2 2023 Autumn(Hollyhock) からデータ型の一部を標準から変更できるようになりました。詳細は「[データ型を変更する](#)」を参照してください。

データ定義を削除する

1. 「[データ定義を確認する](#)」の手順をもとに、データ定義を表示します。
2. データ定義の削除の削除ボタンをクリックします。



3. 削除確認ダイアログで「決定」をクリックします。同時にデータベースのテーブルを削除する場合は、「データベースからテーブルを削除する。」にチェックを入れます。



コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

参照項目設定

2023 Autumn(Hollyhock) から、主キー以外のエンティティ項目に対してデータ定義で設定されているテーブルとは別のテーブルから値を参照できるようになりました。

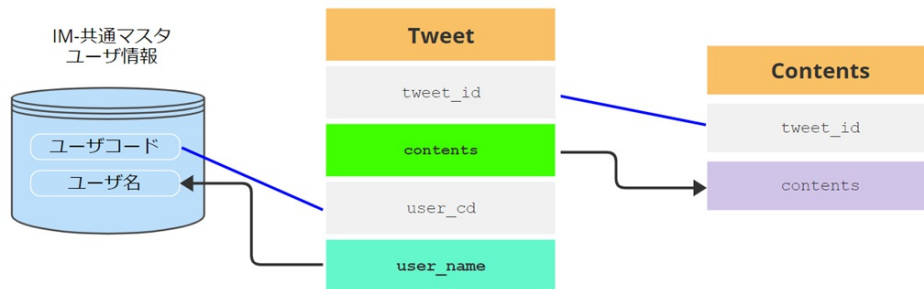
取得した値を利用してデータの絞り込みや並び替えも可能です。

2024 Spring(Iris)からはIM-共通マスタ との連携機能が追加されて、容易にユーザ情報や組織情報を参照できるようになりました。

- 参照項目設定の利用イメージ

下図の例では、エンティティTweet の項目を共通マスタと別テーブルからそれぞれ参照します。

- エンティティ項目「user_name」：共通マスタ ユーザ情報から「user_cd」をもとに参照
- エンティティ項目「contents」：別テーブル Contents から「tweet_id」を結合条件にして参照



参照項目設定を持つエンティティ項目に対しては、IM-Repositoryの機能を利用したエンティティのデータ操作（登録・更新・削除）は行われません。

別テーブルから値を参照する場合、エンティティのテーブル定義で作成されたテーブルの1レコードに対して、別のテーブルのレコードが0か1の関係である必要があります。

エンティティのデータ1レコードに対して参照する別テーブルのデータが2レコード以上が紐づけられた場合、IM-Repositoryの機能を利用したエンティティデータ取得処理が正常に動作しなくなりますので注意してください。

参照先には、「エンティティ」、「同じデータベース内のテーブル」、または、テーブルのデータベース種別がテナントベースの場合は「共通マスタ」を指定できます。

参照項目を設定する

参照項目を設定する手順は以下の通りです。

1. 「[データ定義を確認する](#)」の手順をもとに、「データ定義」ダイアログを表示します。
2. 「データ定義」ダイアログの「テーブル定義の設定」ページを表示して「参照項目設定を追加」ボタンをクリックします。

データ定義 ×

テーブルの設定 **テーブル定義の設定** 検索条件の設定 追加内容確認

? テーブルに紐づくカラムを設定します。

カラム設定

No.	エンティティ項目	物理名	データ型	最大桁数	小数桁数	主キー	必須
1	ユーザコード	user_cd	文字列	100		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	ユーザ名	useruser_name	文字列	1000		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	パスワード	password	文字列	255		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ロケールID	locale_id	文字列	20		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	電話番号	telephone_number	文字列	50		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	メールアドレス	email_address	文字列	256		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

参照項目設定

参照項目設定を追加

No.	参照先 種別	エンティティ/テーブル	エンティティ項目/カラム名	エンティティ項目	設定	削除
? 参照項目設定はありません。						

戻る キャンセル 次へ

3. 参照先（エンティティ、テーブル、または、共通マスタ※）を選択します。

※共通マスタはテーブルのデータベース種別がテナントベースの場合のみ選択可能です。

エンティティ項目参照設定

参照設定を行います。

参照先を選択 *

エンティティを参照する
他のエンティティを参照先とする場合

テーブルを参照する
同じデータベース内のテーブルを参照する場合

共通マスタを参照する
共通マスタを持つユーザ・組織などを参照する場合

キャンセル 設定

4. 選択した参照先に応じて詳細を設定します。

参照先にエンティティを選択した場合

エンティティ項目参照設定

参照設定を行います。

参照先を選択 *

エンティティを選択する
他のエンティティを参照先とする場合

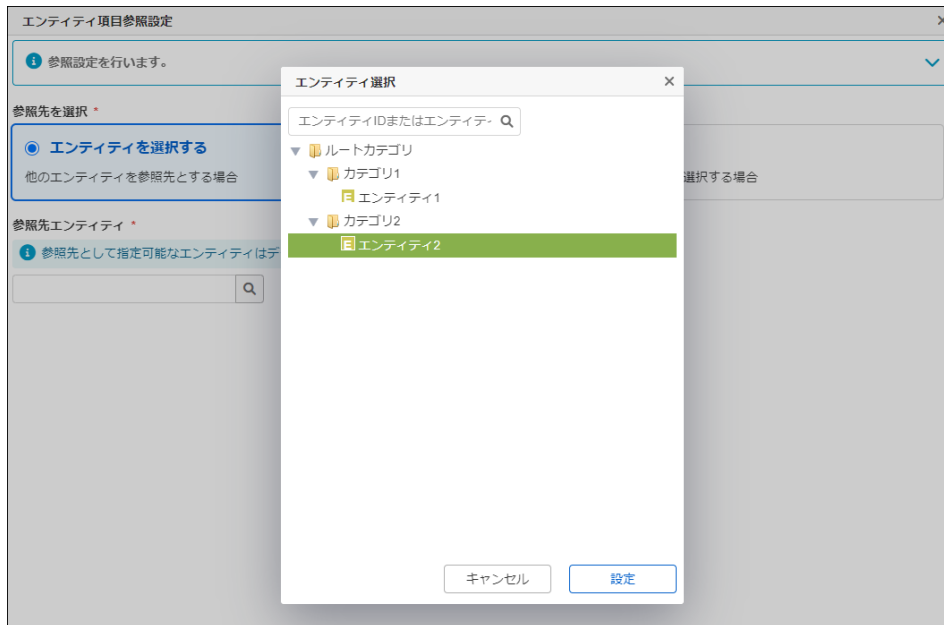
テーブルを選択する
同じデータベース内のテーブルを選択する場合

参照先エンティティ *

参照先として指定可能なエンティティはデータ定義で同じデータベースが設定されているエンティティです。

🔍

1. 参照先 エンティティを指定します。



「虫眼鏡」アイコンをクリックすると表示される「エンティティ選択」ダイアログから、参照先に設定するエンティティを選択します。

参照先にはデータ定義で同じデータベースが設定されているエンティティが指定できます。

2. 参照元・先の参照項目を指定します。



「参照元エンティティ項目」 リストボックスには、主キー以外のエンティティ項目がリストアップされます。

「参照先エンティティ項目」 リストボックスには、参照元エンティティ項目と同じ辞書項目、または、同じ辞書項目を参照先とする エリアスのエンティティ項目がリストアップされます。

複数の参照項目を設定する場合は「参照項目を追加」ボタンをクリックします。

3. 参照元・先の結合条件を指定します。

参照項目 *

⚠ 参照先として紐づけ可能なエンティティ項目は同じ辞書項目、または、同じ辞書項目を参照先とするエイリアスです。

参照項目を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先エンティティ項目	削除
1	ユーザ名	ユーザ名	⊗

結合条件 * ②

⚠ 結合可能なエンティティ項目は同じ Database データ型を持つ辞書項目、または、エイリアスです。

結合条件を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先エンティティ項目	抽出方法	削除
1				⊗

絞り込み条件 ③

絞り込み条件を追加

No.	参照先エンティティ項目	条件値	抽出方法	削除
④ 絞り込み条件はありません。				

結合項目として指定できる参照元・先の項目の条件は以下の通りです。

- 参照元エンティティ項目が参照項目ではないこと
- 参照元・先のエンティティ項目のデータ型が長い文字列型 または バイナリ型ではないこと
- 参照元・先のエンティティ項目のデータ型が一致していること、または日時と日付型（順不同）の組み合わせであること

参照先エンティティ項目を選択すると、エンティティ項目のデータ型に応じて抽出方法がリストアップされます。

- データ型が文字列、真偽値の場合
 - 一致
- データ型が数値の場合
 - 超過
 - 以上
 - 一致
 - 以下
 - 未満
- データ型が日時または日付の場合
 - 超過
 - 以上
 - 一致 ※参照元・先のデータ型が日付と日時の組み合わせ以外の場合
 - 以下
 - 未満

複数の参照項目を設定する場合は「結合項目を追加」ボタンをクリックします。

4. 参照先の絞り込み条件を指定します。

参照項目 *

⚠ 参照先として紐づけ可能なエンティティ項目は同じ辞書項目、または、同じ辞書項目を参照先とするエイリアスです。

参照項目を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先エンティティ項目	削除
1	ユーザ名	ユーザ名	⊗

結合条件 * ②

⚠ 結合可能なエンティティ項目は同じ Database データ型を持つ辞書項目、または、エイリアスです。

結合条件を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先エンティティ項目	抽出方法	削除
1	ユーザコード	ユーザコード	一致	⊗

絞り込み条件 ③

絞り込み条件を追加

No.	参照先エンティティ項目	条件値	抽出方法	削除
1				⊗

キャンセル 設定

絞り込み条件を設定する場合は「絞り込み条件を追加」ボタンをクリックします。

エンティティ項目のデータ型が長い文字列型、またはバイナリ型以外のエンティティ項目に対して絞り込み条件が指定できません。

選択したエンティティ項目のデータ型に応じて条件値リストボックスが表示されます。

- データ型が文字列の場合
 - アカウントコンテキスト
 - テナントID
 - ユーザ種別
 - ユーザコード
 - ロケール
 - エンコーディング
 - タイムゾーン
 - カレンダーID
 - テーマID
 - ホームURL
 - ログイン署名
 - 数値形式のID
 - 固定値（文字列）
- データ型が真偽値の場合
 - アカウントコンテキスト
 - 認証状態
- データ型が数値の場合
 - アカウントコンテキスト
 - 週の開始曜日
- データ型が日時または日付の場合
 - 環境情報
 - 実行日時
 - アカウントコンテキスト
 - ログイン日時
- データ型が時刻の場合は設定不可

条件値を選択すると、結合条件と同様にエンティティ項目のデータ型に応じて抽出方法がリストアップされます。

5. 設定ボタンを押下

操作を確定して画面をクローズします。

参照先にテーブルを選択した場合

エンティティ項目参照設定

参照設定を行います。

参照先を選択 *

エンティティを選択する
他のエンティティを参照先とする場合

テーブルを選択する
同じデータベース内のテーブルを選択する場合

参照先テーブル名 *

参照先として指定可能なテーブルは同じデータベース内に存在するテーブルです。

キャンセル 設定

1. 参照先テーブルを指定します。

エンティティ項目参照設定

参照設定を行います。

参照先を選択 *

エンティティを選択する
他のエンティティを参照先とする場合

テーブルを選択する
同じデータベース内のテーブルを選択する場合

参照先テーブル名 *

参照先として指定可能なテーブルは同じデータベース内に存在するテーブルです。

|

参照先には同じデータベース内に存在するテーブルが指定できます。

データベース種別（テナントデータベース、シェアードデータベース）を跨った参照はできません。

2. 参照元・先の参照項目を指定します。

エンティティ項目参照設定

参照設定を行います。

参照先を選択 *

エンティティを選択する
他のエンティティを参照先とする場合

テーブルを選択する
同じデータベース内のテーブルを選択する場合

参照先テーブル名 *

参照先として指定可能なテーブルは同じデータベース内に存在するテーブルです。

imm_user

参照項目 *

参照項目を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先カラム名	削除
1			⊗

結合条件 *②

結合条件を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先カラム名	抽出方法	削除
1				⊗

「参照元エンティティ項目」 リストボックスには、主キー以外のエンティティ項目がリストアップされます。

「参照先エンティティカラム」 リストボックスには、参照先テーブルのカラムがリストアップされます。

複数の参照項目を設定する場合は「参照項目を追加」ボタンをクリックします。

3. 結合条件を指定します。

参照項目 *

参照項目を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先カラム名	削除
1	ユーザ名	user_name	⊗

結合条件 *②

結合条件を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先カラム名	抽出方法	削除
1				⊗

絞り込み条件 ②

絞り込み条件を追加

No.	参照先カラム名	条件値	抽出方法	削除
絞り込み条件はありません。				

結合項目として指定できる参照元の項目の条件は以下の通りです。

- 参照元エンティティ項目は参照項目に指定していないこと
- データ型が長い文字列型 または バイナリ型ではないこと

参照先カラム名を選択すると、エンティティ項目のデータ型に応じて抽出方法がリストアップされます。

- データ型が文字列、真偽値の場合
 - 一致
- データ型が数値、日付、日時、時刻の場合
 - 超過
 - 以上
 - 一致
 - 以下
 - 未満

複数の参照項目を設定する場合は「結合項目を追加」ボタンをクリックします。

4. 参照先の絞り込み条件を指定します。

参照項目 *

参照項目を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先カラム名	削除
1	ユーザ名	user_name	⊗

結合条件 *②

結合条件を追加

No.	参照元エンティティ項目	参照先カラム名	抽出方法	削除
1	ユーザコード	user_cd	一致	⊗

絞り込み条件 ②

絞り込み条件を追加

No.	参照先カラム名	条件値	抽出方法	削除
1				⊗

キャンセル 設定

絞り込み条件を設定する場合は「絞り込み条件を追加」ボタンをクリックします。

条件値リストボックスには以下が表示されます。

- 環境情報
 - 実行日時
- アカウントコンテキスト
 - テナントID
 - ユーザ種別
 - ユーザコード
 - 認証状態

- ロケール
- エンコーディング
- タイムゾーン
- 週の開始曜日
- カレンダーID
- テーマID
- ホームURL
- ログイン署名
- ログイン日時
- 数値形式のID
- 固定値（文字列）

条件値の各データ型は、週の開始曜日は数値、実行日時・ログイン日時は日時、以外は文字列です。
絞り込み条件を設定するカラムのデータ型に合致する条件値を選択してください。
条件値を選択すると抽出方法がリストアップされます。

- 条件値が「週の開始曜日」の場合
 - 超過
 - 以上
 - 一致
 - 以下
 - 未満
- 条件値が「実行日時」、「ログイン日時」の場合
 - 超過
 - 以上
 - 以下
 - 未満
- 条件値が上記以外の場合
 - 一致

5. 設定ボタンを押下

操作を確定して画面をクローズします。

参照先に共通マスタを選択した場合

×
エンティティ項目参照設定

i 参照設定を行います。

参照先を選択 *

エンティティを参照する
他のエンティティを参照先とする場合

テーブルを参照する
同じデータベース内のテーブルを参照する場合

共通マスタを参照する
共通マスタを持つユーザー・組織などを参照する場合

参照先マスタ *

キャンセル
設定

1. 参照先マスタを指定します。

エンティティ項目参照設定

参照設定を行います。

参照先を選択 *

エンティティを参照する
他のエンティティを参照先とする場合

テーブルを参照する
同じデータベース内のテーブルを参照する場合

共通マスタを参照する
共通マスタを持つユーザ・組織などを参照する場合

参照先マスタ *

ユーザ
会社
組織
主所属組織

キャンセル 設定

参照先には ユーザ ・ 会社 ・ 組織 ・ 主所属組織 が指定できます。

2. マスタ情報を参照する項目を指定します。

エンティティ項目参照設定

参照設定を行います。

参照先を選択 *

エンティティを参照する
他のエンティティを参照先とする場合

テーブルを参照する
同じデータベース内のテーブルを参照する場合

共通マスタを参照する
共通マスタを持つユーザ・組織などを参照する場合

参照先マスタ *

ユーザ

参照項目 *

参照項目を追加

No.	参照元エンティティ項目	ユーザマスタ項目	削除
1			⊗

ユーザ情報 *

ユーザマスタ項目	参照元エンティティ項目
ユーザコード	

キャンセル 設定

「参照元エンティティ項目」 リストボックスには、主キー以外のエンティティ項目がリストアップされます。

「マスタ項目」 リストボックスには、参照元エンティティ項目と同じデータ型のマスタ項目がリストアップされます。

各参照先マスタで選択可能なマスタ項目は以下の通りです。

各マスタ項目のデータ型は、備考は「長い文字列」、以外はすべて「文字列」です。

- ユーザ
 - ユーザ名
 - フリガナ
 - 性別
 - 国コード
 - 郵便番号
 - 住所1
 - 住所2
 - 住所3
 - 電話番号
 - 内線番号

- FAX番号
- 内線FAX番号
- 携帯電話番号
- メールアドレス 1
- メールアドレス 2
- 携帯メールアドレス
- URL
- 備考
- 会社、組織、主所属組織
 - 組織名
 - 組織略称
 - 組織検索名
 - 国コード
 - 郵便番号
 - 住所 1
 - 住所 2
 - 住所 3
 - 電話番号
 - 内線番号
 - FAX番号
 - 内線FAX番号
 - メールアドレス 1
 - メールアドレス 2
 - URL
 - 備考

複数の参照項目を設定する場合は「参照項目を追加」ボタンをクリックします。

3. マスタ情報のキー項目の条件を指定します。

エンティティ項目参照設定

ユーザ

参照項目 *

参照項目を追加

No.	参照元エンティティ項目	ユーザマスタ項目	削除
1	ユーザ名	ユーザ名	⊗

ユーザ情報 * ⓘ

ユーザマスタ項目	参照元エンティティ項目
ユーザコード	

検索言語 * ⓘ

条件値: ローカル

検索基準日 * ⓘ

条件値: 実行日時

無効化された情報の参照 ⓘ

無効化された情報の参照する

キャンセル 設定

参照するマスタによりキー項目が決定します。各マスタのキー項目は以下の通りです。

- ユーザ：ユーザコード
- 会社：会社コード
- 組織：会社コード、組織セットコード、組織コード
- 主所属組織：ユーザコード

「参照元エンティティ項目」 リストボックスには、データ型が文字列のエンティティ項目がリストアップされます。

4. 検索言語を指定します。

エンティティ項目参照設定

ユーザ

参照項目 *

参照項目を追加

No.	参照元エンティティ項目	ユーザマスタ項目	削除
1	ユーザ名	ユーザ名	⊗

ユーザ情報 * ②

ユーザマスタ項目 参照元エンティティ項目

ユーザコード ユーザコード

検索言語 * ②

条件値 ロケール

検索基準日 * ②

条件値 実行日時

無効化された情報の参照 ②

無効化された情報の参照する

キャンセル 設定

マスタを持つ国際化情報に対する条件を指定します。

条件値にはデータ型が文字列のエンティティ項目、またはアカウントコンテキストの「ロケール」が選択可能です。

5. 検索基準日を指定します。

エンティティ項目参照設定

ユーザ

参照項目 *

参照項目を追加

No.	参照元エンティティ項目	ユーザマスタ項目	削除
1	ユーザ名	ユーザ名	⊗

ユーザ情報 * ②

ユーザマスタ項目 参照元エンティティ項目

ユーザコード ユーザコード

検索言語 * ②

条件値 ロケール

検索基準日 * ②

条件値 実行日時

無効化された情報の参照 ②

無効化された情報の参照する

キャンセル 設定

マスタを持つ期間に対する条件を指定します。

条件値にはデータ型が日付・日時のエンティティ項目、または環境情報の「実行日時」が選択可能です。

6. 無効化された情報の参照設定を指定します。

ユーザ情報 * ②

ユーザマスタ項目 参照元エンティティ項目

ユーザコード ユーザコード

検索言語 * ②

条件値 ロケール

検索基準日 * ②

条件値 実行日時

無効化された情報の参照 ②

無効化された情報の参照する

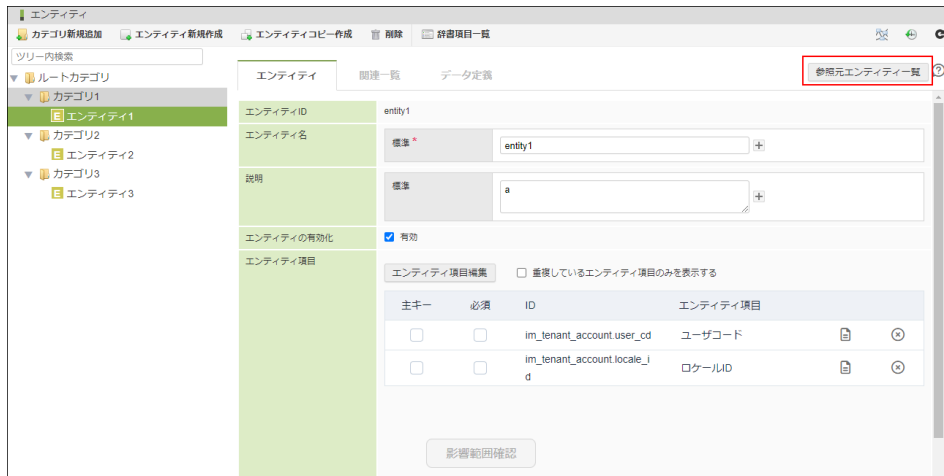
キャンセル 設定

7. 設定ボタンを押下
操作を確定して画面をクローズします。

参照元エンティティの確認

「参照元エンティティ一覧」画面では、エンティティがどのエンティティからデータ定義の参照項目設定によって参照されているかを確認できます。

1. 「エンティティを確認する」 - 「ツリー上で確認する」の手順をもとに、エンティティ情報を表示します。
2. 「参照元エンティティ一覧」ボタンをクリックすると、表示中のエンティティを参照するエンティティが一覧で表示されます。



データ型を変更する

2023 Autumn(Hollyhock) から、テーブルカラム作成時採用されるデータベースの物理データ型の一部を標準から変更できるようになりました。

変更可能なデータ型は以下の通りです。

- 文字列（但し、変更する物理データ型が最大長を持つこと）
- 数値（但し、変更する物理データ型が精度とスケールを持つこと）
- 日付
- 日時
- 時刻

データ型変更時の動作は実行環境に依存するため、動作を検証していただいた上でお客様の責任の下で行ってください。

データ型の変更方法

データ型を変更するには、データ型情報を定義したプロパティファイルを作成して、WEB-INF/classes/META-

INF/im_repositoryフォルダに配置する必要があります。

ファイル名は、mapping-datatype_データベース製品種別名.properties です。

データベース製品種別名には、使用するデータベース製品に応じて「postgresql」、「oracle」、または、「sqlserver」を指定します。

プロパティファイルには、変更するデータ型のデータベースの物理データ型と物理データ型に対応するJDBCタイプ（JDBC ドライバが返す java.sql.Types のint値）をそれぞれ設定します。

物理データ型はDDL生成時に、JDBCタイプはテーブル定義の差分抽出時に利用されます。

※物理データ型が異なる場合でも、JDBC ドライバが同じJDBCタイプを返す場合は、データ型の差分には抽出されません。

各 KEY 値は、以下の通りです。

KEY 値	説明
DATA_TYPE_TEXT	文字列の物理データ型
DATA_TYPE_NUMERIC	数値の物理データ型
DATA_TYPE_DATE	日付の物理データ型
DATA_TYPE_DATETIME	日時の物理データ型
DATA_TYPE_TIME	時刻の物理データ型
JDBC_TYPE_TEXT	文字列の物理データ型のJDBCタイプ
JDBC_TYPE_NUMERIC	数値の物理データ型のJDBCタイプ
JDBC_TYPE_DATE	日付の物理データ型のJDBCタイプ
JDBC_TYPE_DATETIME	日時の物理データ型のJDBCタイプ
JDBC_TYPE_TIME	時刻の物理データ型のJDBCタイプ

プロパティファイルの記載例

データベースがOracle、文字列の物理データ型を「VARCHAR2」に変更した場合のプロパティファイルの記載例です。

ファイル名 : mapping-datatype_oracle.properties

```
DATA_TYPE_TEXT = VARCHAR2
JDBC_TYPE_TEXT = 12
```

ここではIM-Repositoryでエンティティ操作ログを扱う画面の機能について説明します。

エンティティ操作ログ一覧を確認する

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「エンティティ操作ログ一覧」をクリックし、「エンティティ操作ログ一覧」画面を表示します。



2. エンティティ操作ログツリーから エンティティ をクリックします。



3. クリックした エンティティに紐づく エンティティ操作ログの一覧が表示されます。

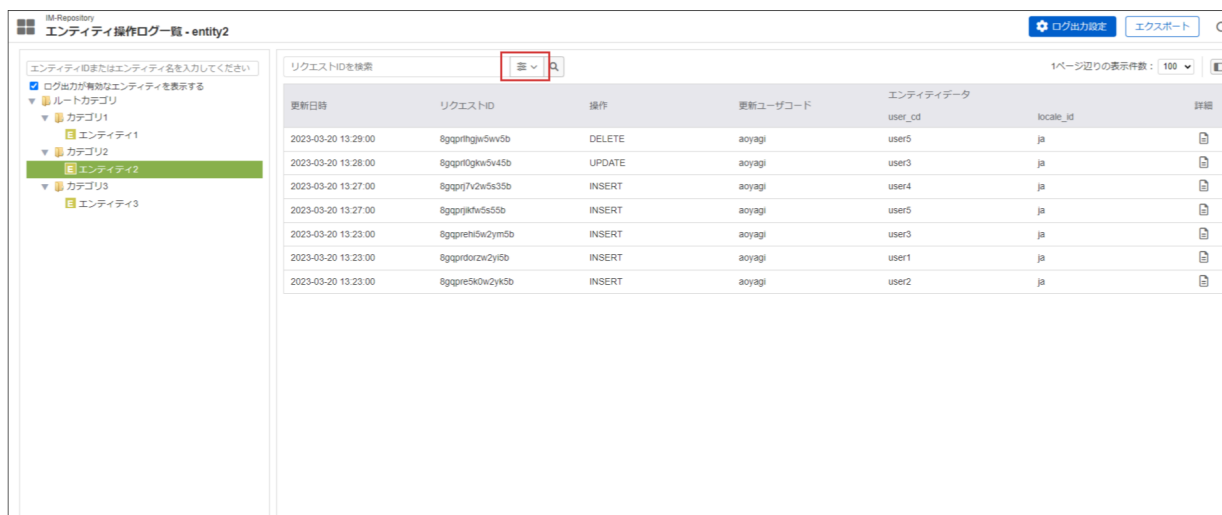
更新日時	リクエストID	操作	更新ユーザコード	エンティティデータ		詳細
				user_cd	locale_id	
2023-03-20 13:29:00	8gqprfhgfw5wv5b	DELETE	aoyagi	user5	ja	
2023-03-20 13:28:00	8gqprf0gkw5v45b	UPDATE	aoyagi	user3	ja	
2023-03-20 13:27:00	8gqprf7v2w5s35b	INSERT	aoyagi	user4	ja	
2023-03-20 13:27:00	8gqprfkw5s55b	INSERT	aoyagi	user5	ja	
2023-03-20 13:23:00	8gqpreh5w2ym5b	INSERT	aoyagi	user3	ja	
2023-03-20 13:23:00	8gqprdrorz2y5b	INSERT	aoyagi	user1	ja	
2023-03-20 13:23:00	8gqpre9k0w2yk5b	INSERT	aoyagi	user2	ja	

<画面項目>

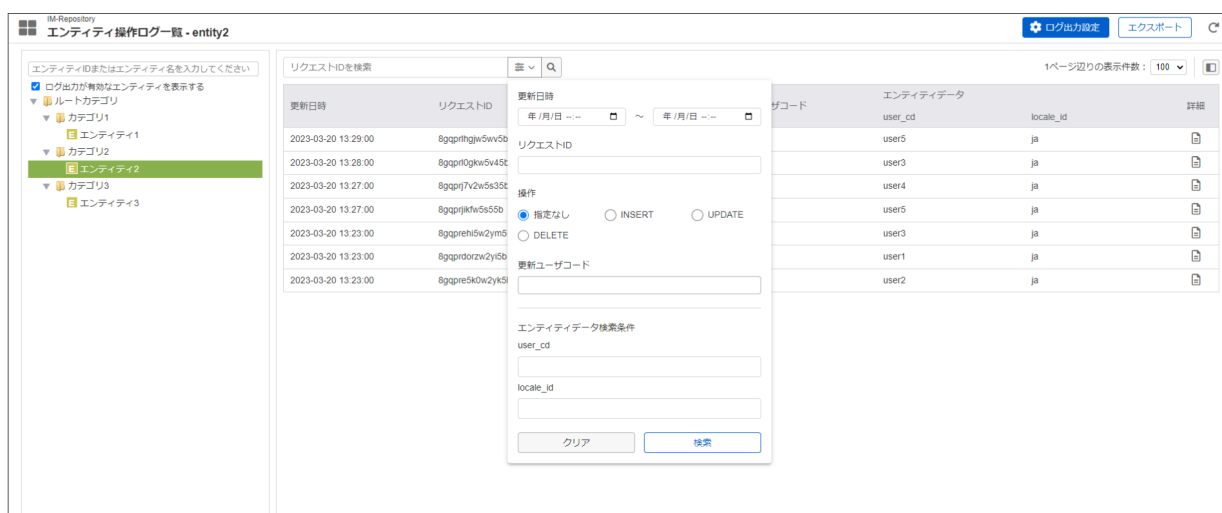
項目	説明
「ログ出力設定」ボタン	ログ出力設定を確認、変更します。
「エクスポート」ボタン	エンティティ操作ログをエクスポートします。
「更新」アイコン	ページを再読み込みします。
「詳細検索」アイコン	詳細検索を表示します。
「検索」アイコン	リクエストIDと一致するログを検索します。
「1ページ辺りの表示件数」プルダウン	エンティティログの表示件数を設定します。 設定可能は表示件数は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 100 ■ 200 ■ 500 ■ 1000
「ツリー表示切替」アイコン	エンティティツリーの表示・非表示を切り替えます。
エンティティ操作ログ一覧	エンティティ操作ログ一覧を表示します。

エンティティ操作ログを検索する

1. 「詳細検索」アイコンをクリックします。



2. 検索条件が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
更新日時	検索するエンティティ操作ログの更新日時の期間を入力します。
リクエストID	リクエストIDを入力します。
操作	検索するエンティティ操作ログの操作を選択します。
更新ユーザコード	エンティティ を更新したユーザコードを入力します。
エンティティデータ検索条件	選択した エンティティに定義されているプライマリキーを入力します。
「検索」ボタン	エンティティ操作ログを検索します。
「クリア」ボタン	入力された検索条件をクリアします。

i コラム

エンティティデータ検索条件について

エンティティデータ検索条件は エンティティ に設定されているプライマリーキーを指定します。
プライマリーキーに定義されているデータ型によって検索方法が異なります。

データ型	説明
文字列、数値型	検索したい値を入力します。
日付型	データと一致する日付を入力、またはカレンダーから選択します。
時刻型	検索したい値を「hh:mm:ss.sss」形式で入力します。
日時型	検索する日時が含まれている日時を入力、またはカレンダーから選択します。

1. 検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Entity Operation Log' interface. A modal window is displayed for creating a new record. The 'Operation' section has 'INSERT' selected. The search condition section has 'user_cd' and 'locale_id' fields. The '検索' (Search) button is highlighted with a red box.

2. 検索結果が表示されます。

The screenshot shows the search results table. The table has the following columns: 更新日時, リクエストID, 操作, 更新ユーザコード, and エンティティデータ (with sub-columns user_cd and locale_id). The data rows are as follows:

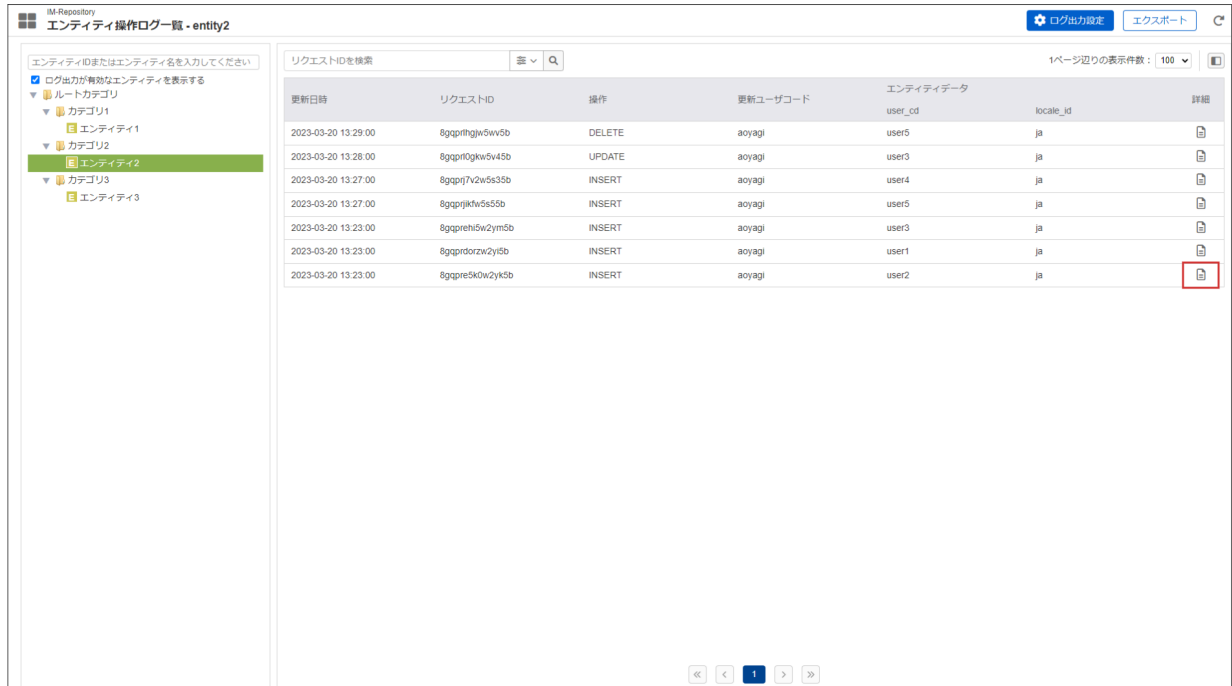
更新日時	リクエストID	操作	更新ユーザコード	エンティティデータ
2023-03-20 13:27:00	8gqprj7v2w5s35b	INSERT	aoayagi	user4, ja
2023-03-20 13:27:00	8gqprjkhw5s55b	INSERT	aoayagi	user5, ja
2023-03-20 13:23:00	8gqprdrorz2y5b	INSERT	aoayagi	user1, ja
2023-03-20 13:23:00	8gqpre5k0w2yk5b	INSERT	aoayagi	user2, ja
2023-03-20 13:23:00	8gqprehi5w2ym5b	INSERT	aoayagi	user3, ja

エンティティ操作ログの詳細を確認する

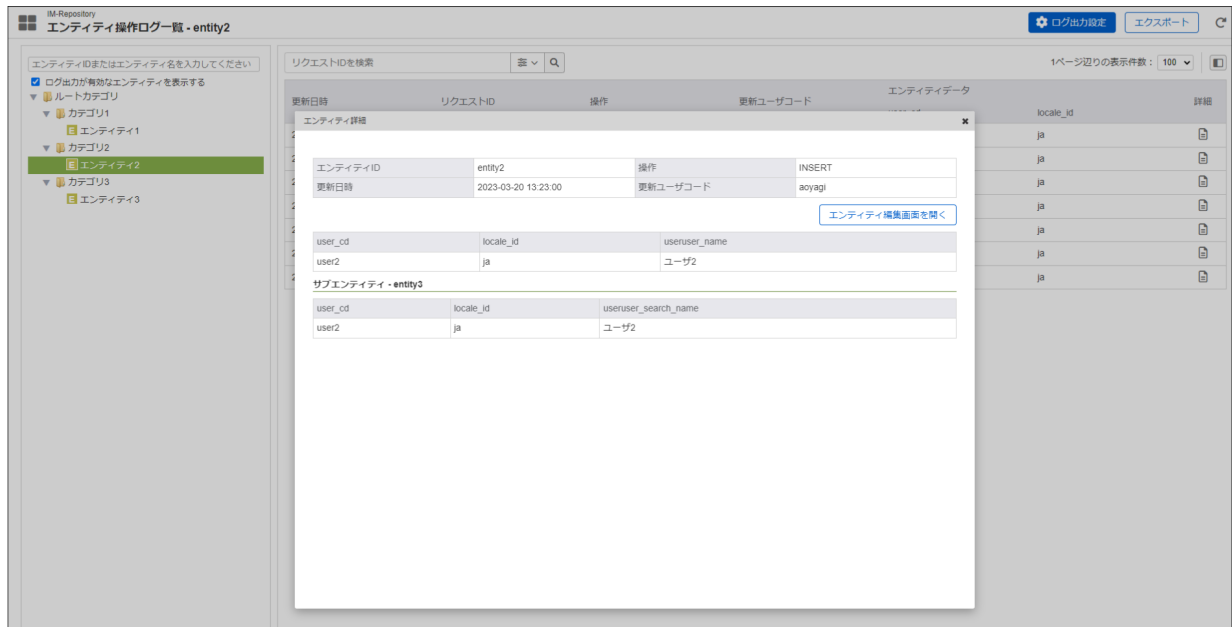
- ログ詳細を確認する

ログ詳細を確認する

1. 「エンティティ操作ログ一覧を確認する」の手順をもとに、エンティティ操作ログ一覧を表示します。
2. 一覧に表示されている「詳細」アイコンをクリックします。



3. 詳細が表示されます。

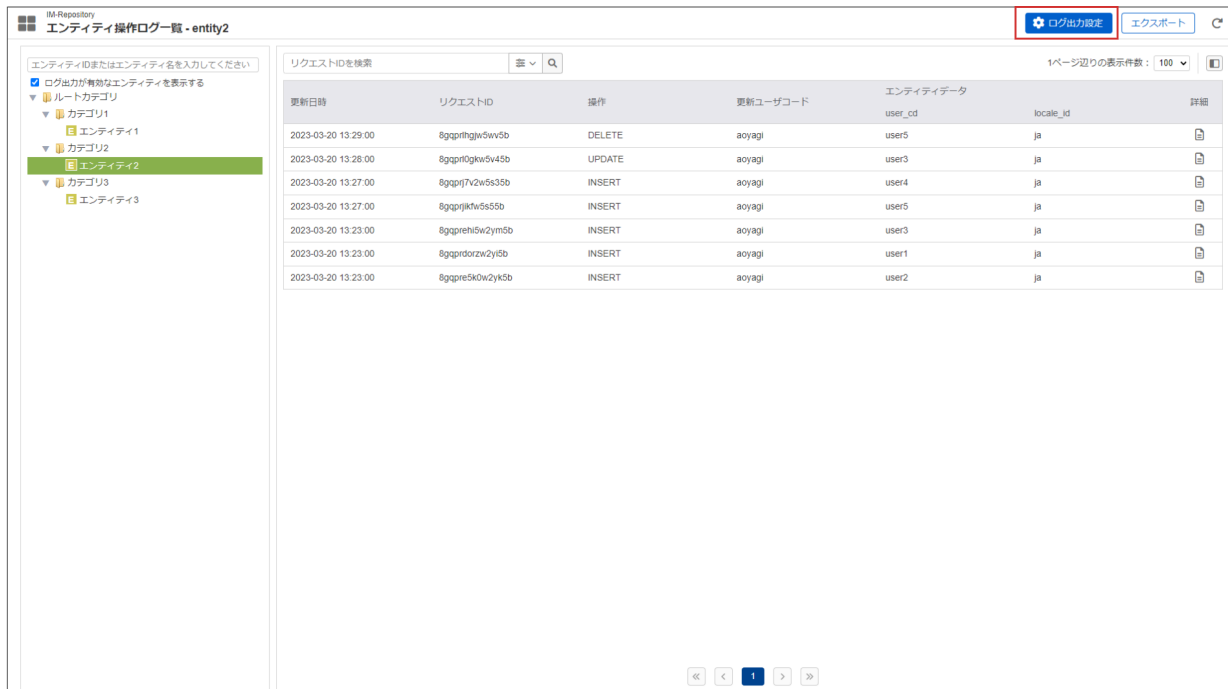


エンティティ操作ログのログ出力設定を確認する

- ログ出力設定を確認する
- ログ出力設定を変更する

ログ出力設定を確認する

- 「エンティティ操作ログ一覧を確認する」の手順をもとに、エンティティ操作ログ一覧を表示します。
- 画面上部に表示されている「ログ出力設定」ボタンをクリックします。



- ログ出力設定一覧が表示されます。

カテゴリ名	エンティティID	エンティティ名	ログ出力設定
ルートカテゴリ / カテゴリ1	entity1	エンティティ1	<input checked="" type="checkbox"/>
ルートカテゴリ / カテゴリ2	entity2	エンティティ2	<input checked="" type="checkbox"/>
ルートカテゴリ / カテゴリ3	entity3	エンティティ3	<input checked="" type="checkbox"/>

<画面項目>

項目	説明
カテゴリ名	エンティティが登録されているカテゴリ名を表示します。 カテゴリが複数階層となる場合は、スラッシュ区切りで表示します。
エンティティID	エンティティIDを表示します。
エンティティ名	エンティティ名を表示します。
ログ出力設定	現在のログ出力設定値を表示します。

ログ出力設定を変更する

- ログ出力設定一覧を表示しログ出力設定を変更したいエンティティのログ出力設定をクリックします。

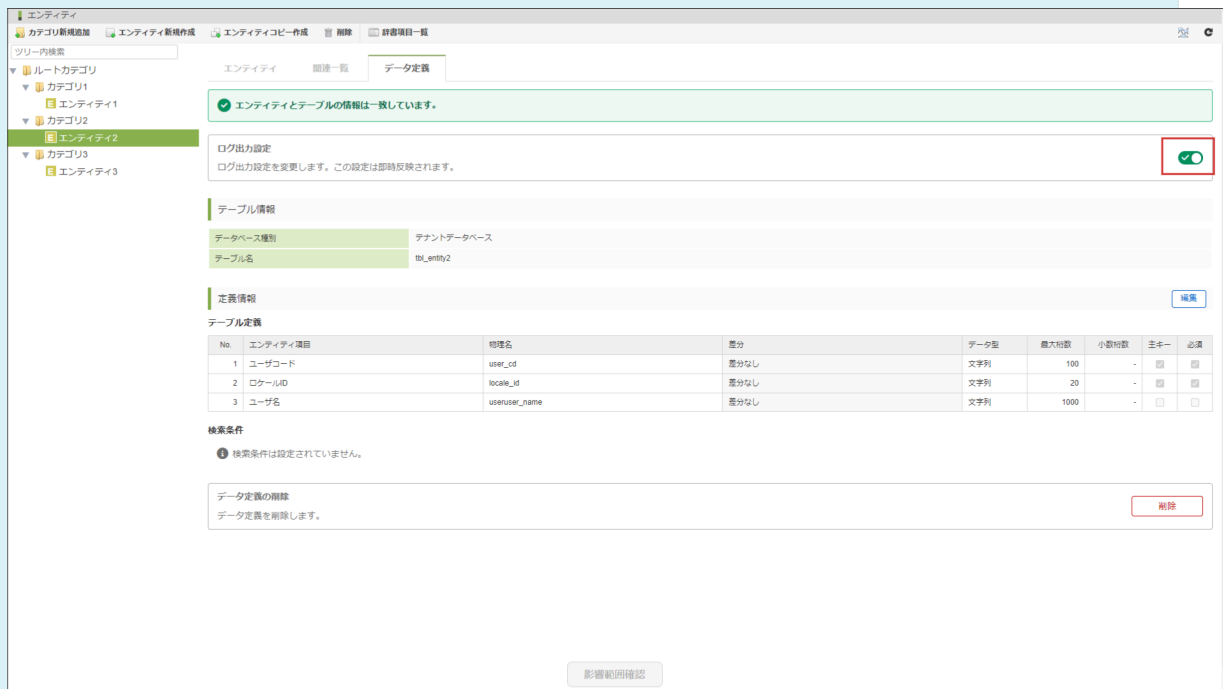
カテゴリ名	エンティティID	エンティティ名	ログ出力設定
ルートカテゴリ / カテゴリ1	entity1	エンティティ1	<input checked="" type="checkbox"/>
ルートカテゴリ / カテゴリ2	entity2	エンティティ2	<input checked="" type="checkbox"/>
ルートカテゴリ / カテゴリ3	entity3	エンティティ3	<input checked="" type="checkbox"/>

i コラム

ログ出力設定について

ログ出力設定は エンティティ一覧画面でも変更できます。

1. 「[エンティティを確認する](#)」の手順をもとに、エンティティ情報を表示します。
2. 「データ定義」タブをクリックし、「データ定義」画面を開きます。
3. ログ出力設定をクリックします。



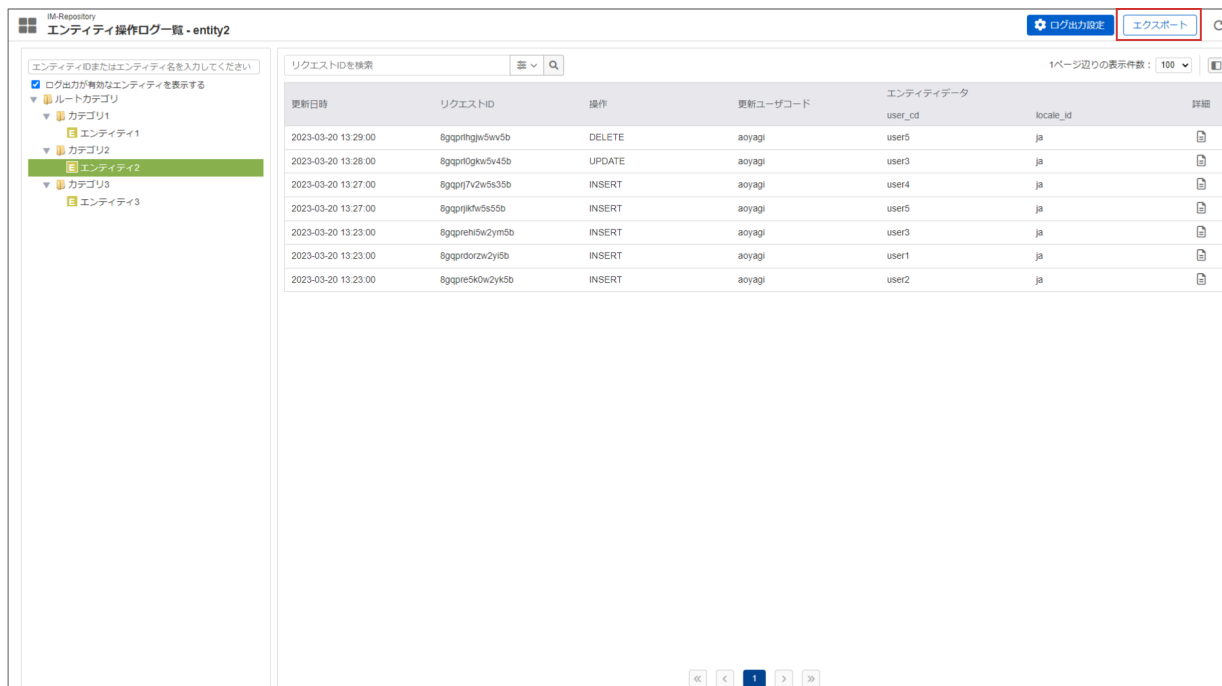
ログ出力設定はクリックした時点で反映されます。

エンティティ操作ログをエクスポートする。

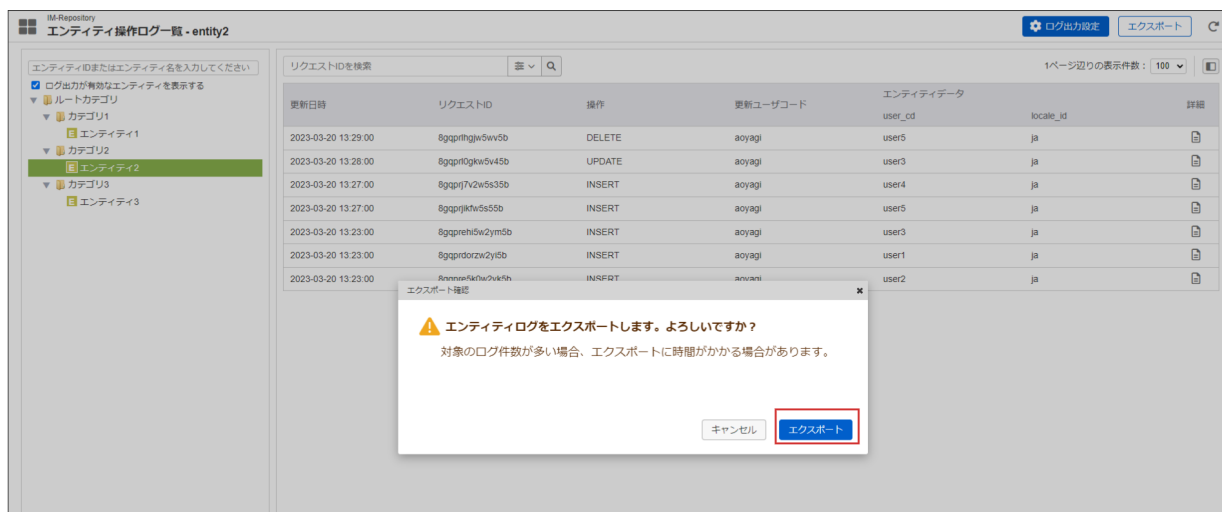
- 選択した エンティティの操作ログをエクスポートする。

選択した エンティティの操作ログをエクスポートする。

1. 「[エンティティ操作ログ一覧を確認する](#)」の手順をもとに、エンティティ操作ログ一覧を表示します。
2. ツールバーに表示されている「エクスポート」アイコンをクリックします。



3. 確認ダイアログで「エクスポート」ボタンをクリックします。



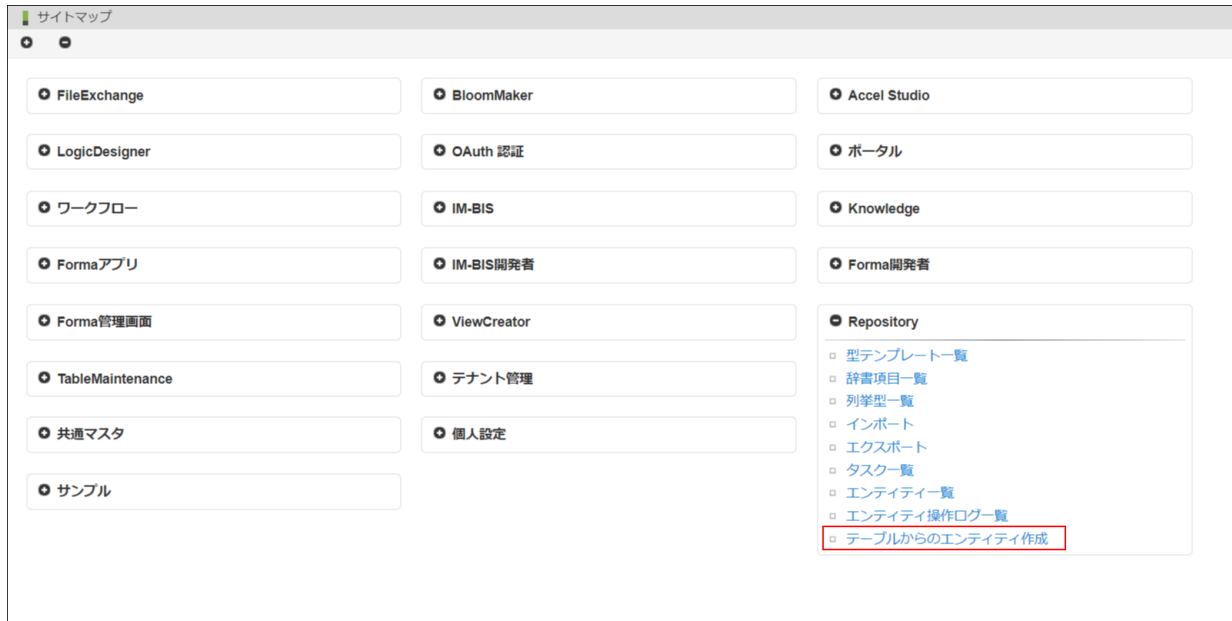
4. 「im-repository-{エンティティID}.json」ファイルがダウンロードされます。

ここではIM-Repositoryでテーブルからのエンティティ作成を扱う画面の機能について説明します。

テーブルから エンティティを作成する

テーブル選択

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「テーブルからのエンティティ作成」をクリックし、「テーブルからのエンティティ作成」画面を表示します。



2. 「テーブルからのエンティティ作成」画面の「テーブルの選択」が表示されます。



<画面項目（テーブルの選択）>

項目	説明
----	----

項目	説明
テーブル情報	<p>エンティティの元となるテーブルを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ データベース種別 テナントデータベース・シェアードデータベースのどちらを利用するかを選択します。この項目は必須項目です。■ 接続ID データベース種別でシェアードデータベースを選択した場合に表示されます。プルダウンから利用するデータベースの接続IDを選択します。シェアードデータベースを選択した場合、この項目は必須項目です。■ テーブル名 プルダウンから該当テーブルを選択します。この項目は必須項目です。
カラム情報の読み込み	<p>指定されたテーブルのカラム情報を読み込み、「テーブルからのエンティティ作成-エンティティ情報の設定」画面を表示します。</p>

エンティティ情報の設定

作成するエンティティの情報を設定します。

「エンティティ情報の設定」画面で選択したテーブルのカラム情報を元に「エンティティ項目」等を設定します。

IM-Repository
テーブルからのエンティティ作成
1 テーブルの選択
2 エンティティ情報の設定
3 エンティティ作成結果

テーブル情報

エンティティが連携するテーブル情報です。

データベース種別	テナントデータベース
テーブル名	b_m_account_b

エンティティ

エンティティ情報を設定します。

エンティティカテゴリ*

⊗ エンティティカテゴリは必須です。

エンティティID*

エンティティ名*

エンティティ情報とテーブルの差分表示

i データベース内のテーブル定義の変更を許容しない場合はエンティティ情報とテーブルの差分表示を無効化してください。

差分表示を無効化する。

エンティティ項目

各カラムに対応するエンティティ項目を設定します。

i エンティティ項目として取り扱わない場合は、チェックを外してください。

取得したカラム情報	主キー		必須	紐づける項目情報					
	カラム名	主キー		割り当て	項目種別	項目ID	項目名	データ型	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	user_cd	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.user_cd	ユーザコード	文字列	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	locale_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新規	辞書項目	b_m_account_b.locale_id	locale_id	文字列	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	encoding	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.encoding	エンコーディング	文字列	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	time_zone_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.time_zone_id	タイムゾーンID	文字列	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	calendar_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_calendar.calendar_id	カレンダーID	文字列	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	first_day_of_week	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_calendar.first_day_of_week	週の開始曜日	数値	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	password	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.password	パスワード	文字列	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	notes	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.notes	備考	文字列	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	valid_start_date	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.valid_start_date	有効開始日	日時	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	valid_end_date	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_shortcut.valid_end_date	有効終了日	日時	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	lock_date	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.lock_date	ロック日付	日時	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	login_failure_count	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.login_failure_count	ログイン失敗回数	数値	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	create_user_cd	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存	エイリアス	im_tenant.create_user_cd	作成者	文字列	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	create_date	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant.create_date	作成日	日時	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	record_user_cd	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存	エイリアス	im_tenant.record_user_cd	最終更新者	文字列	⚙
<input checked="" type="checkbox"/>	record_date	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant.record_date	最終更新日	日時	⚙

<画面項目（エンティティ情報の設定）>

項目	説明
テーブル情報	<ul style="list-style-type: none"> ■ データベース種別 「テーブルからのエンティティ作成- テーブルの選択」で設定したデータベース種別を表示します。 ■ 接続ID データベース種別がシェアードデータベースの場合に「テーブルからのエンティティ作成- テーブルの選択」で設定した接続IDを表示します。 ■ テーブル名 「テーブルからのエンティティ作成- テーブルの選択」で設定したテーブル名を表示します。

項目	説明
エンティティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ エンティティカテゴリ エンティティを作成する カテゴリを設定します。 この項目は必須項目です。 ■ エンティティID エンティティIDを入力します。 この項目は必須項目です。 ■ エンティティ名 エンティティ名を入力します。 この項目は必須項目です。 ■ エンティティ情報とテーブルの差分表示 エンティティ情報とテーブルの差分表示を行うかを選択します。
エンティティ項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ チェックボックス エンティティ項目として登録するかどうかを選択します。 ■ カラム名 カラム名を表示します。 ■ 主キー 主キーであるかどうかを表示します。 ■ 必須 必須であるかどうかを表示します。 ■ 割り当て 「新規」「既存」のいずれかを表示します。 読み込んだカラムのカラム名、データ型、桁数が一致する辞書項目が存在する場合、その辞書項目が割り当てられ「既存」と表示されます。 ■ 項目種別 「辞書項目」「エイリアス」のいずれかを表示します。 ■ 項目ID <ul style="list-style-type: none"> ■ 割り当てが「新規」の場合 辞書項目ID または エイリアスIDを入力します。 この項目は必須項目です。 ■ 割り当てが「既存」の場合 辞書項目ID または エイリアスIDを表示します。 ■ 項目名 <ul style="list-style-type: none"> ■ 割り当てが「新規」の場合 辞書項目名 または エイリアス名を入力します。 この項目は必須項目です。 ■ 割り当てが「既存」の場合 辞書項目名 または エイリアス名を表示します。 ■ データ型 読み込んだカラムのデータ型を元に対応するデータ型を判別し表示します。 データ型が判別できなかった場合は設定可能なデータ型をプルダウンで表示します。 この項目は必須項目です。 ■ 設定 辞書項目の設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 割り当てが「新規」、項目種別が「辞書項目」の場合 辞書項目を作成するための情報を入力します。 詳細は「辞書項目の新規作成」を参照してください。 ■ 割り当てが「新規」、項目種別が「エイリアス」の場合 エイリアスを作成するための情報を入力します。 詳細は「エイリアスの新規作成」を参照してください。 ■ 割り当てが「既存」の場合 辞書項目を表示します。 詳細は「既存の辞書項目を紐づける」を参照してください。

項目	説明
戻る	「テーブルからのエンティティ作成- エンティティ情報の設定」画面を表示します。
エンティティ作成	「テーブルからのエンティティ作成- エンティティ作成結果」画面を表示します。



コラム

エンティティ項目のデータ型に割り当てられるデータベース製品別のデータ型は以下の通りです。

データ型	Oracle	PostgreSQL	SQLServer
真偽値	NUMBER	BOOLEAN	BIT
数値	NUMBER	DECIMAL	DECIMAL
文字列	NVARCHAR2	VARCHAR	NVARCHAR
日付	DATE	DATE	DATE
時刻	DATE	TIME	TIME
日時	TIMESTAMP	TIMESTAMP	DATETIME2
長い文字列	CLOB	TEXT	NVARCHAR
バイナリ	BLOB	BYTEA	VARBINARY

※ 対応するデータ型の一部は設定で変更できます。詳細は「[データ型を変更する](#)」を参照してください。

辞書項目の新規作成

1. 割り当てが「新規」になっているエンティティ項目の「設定」アイコンをクリックします。

エンティティ項目

各カラムに対応するエンティティ項目を設定します。

エンティティ項目として取り扱わない場合は、チェックを外してください。

	取得したカラム情報			紐づける項目情報					
	カラム名	主キー	必須	割り当て	項目種別	項目ID	項目名	データ型	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	user_cd	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.user_cd	ユーザコード	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	locale_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新規	辞書項目	b_m_account_b.locale_id	locale_id	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	encoding	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.encoding	エンコーディング	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	time_zone_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.time_zone_id	タイムゾーンID	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	calendar_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_calendar.calendar_id	カレンダーID	文字列	

<画面項目（エンティティ項目）>

※既存の辞書項目が割り当てられているエンティティ項目の割り当てを新規作成する辞書項目へ変更することもできます。

2. 辞書項目情報が表示されます。

項目設定 ×

b_m_account_b.locale_id

辞書項目の作成方法を選択 ▾

辞書項目の新規作成

基本情報

辞書項目ID*

辞書項目名 **標準***

説明 **標準**

列挙型

初期値

辞書項目の有効化* 辞書項目の有効化する。

データ

<画面項目（辞書項目）>

項目	説明
辞書項目ID	辞書項目を一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
辞書項目名	辞書項目を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	辞書項目の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
列挙型	辞書項目が列挙値の場合に設定します。 列挙型を指定すると制約は「列挙型」、初期値は列挙値のプルダウンに変更します。 制約「列挙型」は、列挙型に定義している値のみを許容する制約です。
初期値	辞書項目の初期値を入力します。 列挙型以外の初期値は固定値のみが入力可能です。 列挙型の初期値はプルダウンから選択してください。
辞書項目の有効化	辞書項目の有効、無効を表示します。
データ	辞書項目を利用する際の識別子・データ型の設定です。 この用途は主にデータベースやアプリケーション等から利用される事を想定しています。
制約	辞書項目に対する制約を設定します。 この用途は主に入力内容に対するバリデーション等で利用される事を想定しています。

項目設定
b_m_account_b.locale_id

データ

Database設定			
データ型 *	文字列		
最大桁数	20	小数桁数	
物理名	locale_id		
論理名	標準		
コメント	標準		

Java設定			
データ型	String	変数名	localeId

Javascript設定			
データ型	String	変数名	localeId

IM-LogicDesigner設定			
データ型	string	変数名	localeId

<画面項目（データ）>

項目	説明
Database設定	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ型 データベースで使用された時のデータ型を表示します。 カラム名を元にデータ型が判別できなかった場合は設定可能なデータ型をプルダウンで表示します。 この項目は必須項目です。 ■ 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を表示します。 ■ 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を表示します。 ■ 物理名 データベースで使用された時の物理名を表示します。 ■ 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 ■ コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
Java設定	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ型 Javaで使用された時のデータ型を表示します。 ■ 変数名 Javaコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を表示します。
JavaScript設定	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ型 JavaScriptで使用された時のデータ型を表示します。 ■ 変数名 JavaScriptコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を表示します。

項目	説明
IM-LogicDesigner設定	<ul style="list-style-type: none"> データ型 IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を表示します。 変数名 IM-LogicDesignerから利用される場合の変数名を表示します。

制約

バイト数

<画面項目（制約）>

辞書項目に対する制約を設定します。
設定できる制約については以下を参照してください。

- 辞書項目の制約

i **コラム**

Java、JavaScript、IM-LogicDesignerのデータ型はDatabase データ型に対応して以下のように設定されます。

データ型	Java	JavaScript	IM-LogicDesigner
真偽値	Boolean	Boolean	boolean
数値	BigDecimal	Number	BigDecimal
文字列	String	String	string
日付	Date	Date	date
時刻	java.sql.Time	Date	date
日時	java.sql.Timestamp	date	imdatetime
長い文字列	String	String	string
バイナリ	byte[]	String	binary

エイリアスの新規作成

- 「辞書項目の作成方法を選択」ボタンをクリックし「エイリアスを新規作成」をクリックします。

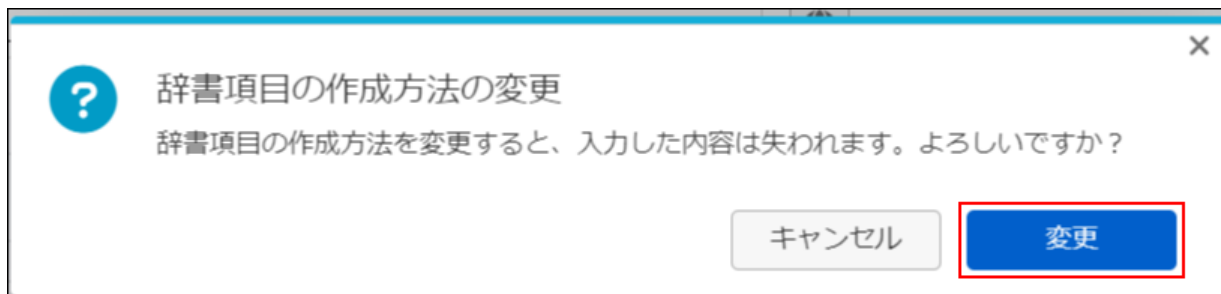
項目詳細
b_m_account_b.locale_id

辞書項目の新規作成 辞書項目の作成方法を選択 ▾

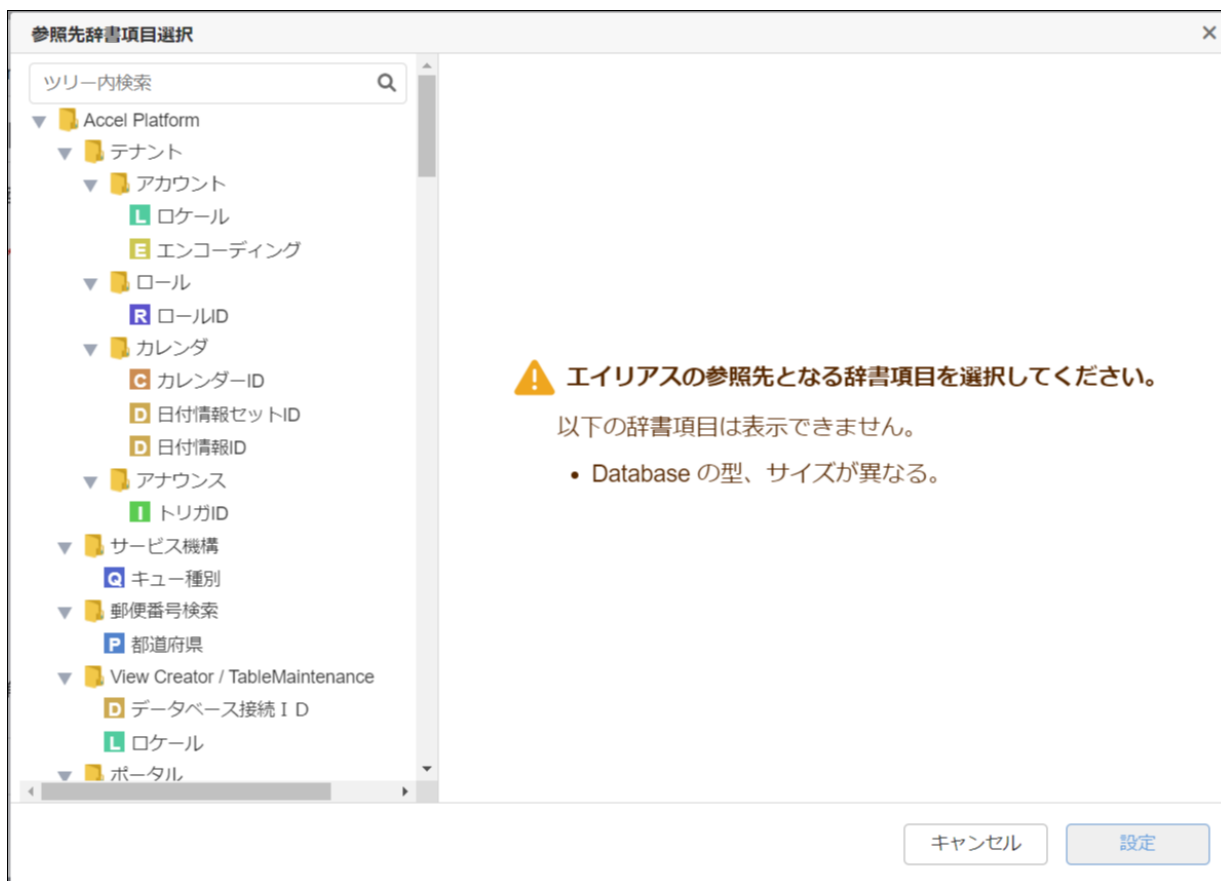
基本情報

辞書項目ID * 辞書項目を新規作成
エイリアスを新規作成

- 「辞書項目の作成方法を選択」ダイアログの「変更」ボタンをクリックします。



3. 「参照先辞書項目選択」ダイアログが表示されるので、参照先の辞書項目を選択し、「設定」ボタンをクリックします。



コラム

データ型、桁数が一致している辞書項目を選択することが可能です。
データ型が未確定の場合は、全ての辞書項目を選択することが可能です。

4. エイリアス情報が表示されます。

項目設定
×

alias_im_tenant_account.locale_id

エイリアスの新規作成

辞書項目の作成方法を選択 ↓

基本情報

エイリアスID*

エイリアス名 標準* 🌐

説明 標準 🌐

参照先辞書項目ID im_tenant_account.locale_id

データ

Database設定 ^

データ型*	文字列
-------	-----

キャンセル
設定

<画面項目（エイリアス）>

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
エイリアス名	エイリアスを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は 標準のみ 必須項目です。
説明	エイリアスの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
参照先辞書項目ID	エイリアスの元になった辞書項目IDを表示します。

項目設定
×

alias_im_tenant_account.locale_id

データ

Database設定 ^

データ型*	文字列		
最大桁数	20	小数桁数	
物理名	locale_id		
論理名	標準	<input type="text" value="Locale"/>	🌐
コメント	標準	<input type="text"/>	🌐

Java設定 ^

データ型	String	変数名	localeId
------	--------	-----	----------

Javascript設定 ^

データ型	String	変数名	localeId
------	--------	-----	----------

IM-LogicDesigner設定 ^

データ型	string	変数名	localeId
------	--------	-----	----------

キャンセル
設定

<画面項目（データ）>

参照先の辞書項目と同じ情報が表示されます。

項目	説明
Database設定	<ul style="list-style-type: none"> データ型 参照先の辞書項目のデータベースで使用された時のデータ型を表示します。 最大桁数 参照先の辞書項目のデータベースで使用された時の最大桁数を表示します。 小数桁数 参照先の辞書項目のデータベースで使用された時の小数桁数を表示します。 物理名 データベースで使用された時の物理名を表示します。 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
Java設定	<ul style="list-style-type: none"> データ型 参照先の辞書項目のJavaで使用された時のデータ型を表示します。 変数名 Javaコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を表示します。
JavaScript設定	<ul style="list-style-type: none"> データ型 参照先の辞書項目のJavaScriptで使用された時のデータ型を表示します。 変数名 JavaScriptコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を表示します。
IM-LogicDesigner設定	<ul style="list-style-type: none"> データ型 参照先の辞書項目のIM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を表示します。 変数名 IM-LogicDesignerから利用される場合の変数名を表示します。

制約

種類	列挙型
----	-----

<画面項目（制約）>

参照先の辞書項目と同じ制約が表示されます。

制約については以下を参照してください。

- 辞書項目の制約

既存の辞書項目を紐づける

1. 割り当てが「既存」になっているエンティティ項目の「設定」アイコンをクリックします。

エンティティ項目

各カラムに対応するエンティティ項目を設定します。

エンティティ項目として取り扱わない場合は、チェックを外してください。

取得したカラム情報			紐づける項目情報						
カラム名	主キー	必須	割り当て	項目種別	項目ID	項目名	データ型	設定	
<input checked="" type="checkbox"/>	user_cd	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.user_cd	ユーザコード	文字列	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	locale_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新規	辞書項目	b_m_account_b.locale_id	locale_id	文字列	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	encoding	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.encoding	エンコーディング	文字列	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	time_zone_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_account.time_zone_id	タイムゾーンID	文字列	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	calendar_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存	辞書項目	im_tenant_calendar.calendar_id	カレンダーID	文字列	<input type="checkbox"/>

2. 紐づけ可能辞書項目一覧が表示されるので、紐づけたい辞書項目を選択し、「設定」ボタンをクリックします。

項目設定
im_tenant_account.user_cd

既存の辞書項目情報 辞書項目の作成方法を選択

紐づけ可能な辞書項目が複数あります。選択してください。

カテゴリ	項目種別	項目ID	項目名	データ型	最大桁数
<input checked="" type="radio"/> Accel Platform / テナント / アカウント	辞書項目	im_tenant_account.user_cd	ユーザコード	文字列	100
<input type="radio"/> Accel Platform / OAuth クライアント	辞書項目	im_oauth_client.user_cd	ユーザコード	文字列	100

基本情報

辞書項目ID *

辞書項目名 標準 *

説明 標準

列挙型

エンティティ項目に紐づけが可能な辞書項目は読み込んだテーブルカラムのカラム名、データ型、桁数が一致する辞書項目のみです。
カラム名、データ型、桁数のいずれかが一致しない辞書項目は一覧に表示されません。

i コラム

既存の辞書項目が割り当てられているエンティティ項目に新しい辞書項目・エイリアスを割り当てる場合は「辞書項目の作成方法選択」から「辞書項目を新規作成」または「エイリアスを新規作成」を選択して割り当て行ってください。

項目設定
im_tenant_account.user_cd

既存の辞書項目情報 辞書項目の作成方法を選択

紐づけ可能な辞書項目が複数あります。選択してください。

カテゴリ	項目種別	項目ID	項目名
<input checked="" type="radio"/> Accel Platform / テナント / アカウント	辞書項目	im_tenant_account.user_cd	ユーザコード

エンティティ作成結果

作成したエンティティの情報が確認できます。

IM-Repository
テーブルからのエンティティ作成

1 テーブルの選択 / 2 エンティティ情報の設定 / 3 エンティティ作成結果

✓ テーブルからエンティティを作成しました。
詳細は一覧を確認してください。

作成したエンティティを表示する / 次のテーブルを選択する

テーブル情報	
データベース種別	テナントデータベース
テーブル名	b_m_account_b
エンティティ情報	
エンティティカテゴリ	Test
エンティティID	b_m_account_b
エンティティ名	b_m_account_b

辞書情報

No.	テーブル情報			辞書項目				
	カラム名	主キー	必須	項目種別	項目ID	項目名	データ型	詳細
1	user_cd	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.user_cd	ユーザコード	文字列	
2	locale_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	エイリアス	alias_im_tenant_account.locale_id	LocaleID	文字列	
3	encoding	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.encoding	エンコーディング	文字列	
4	time_zone_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.time_zone_id	タイムゾーンID	文字列	
5	calendar_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_calendar.calendar_id	カレンダーID	文字列	
6	first_day_of_week	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_calendar.first_day_of_week	週の開始曜日	数値	
7	password	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.password	パスワード	文字列	
8	notes	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.notes	備考	文字列	
9	valid_start_date	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.valid_start_date	有効開始日	日時	
10	valid_end_date	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_shortcut.valid_end_date	有効終了日	日時	
11	lock_date	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.lock_date	ロック日付	日時	
12	login_failure_count	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.login_failure_count	ログイン失敗回数	数値	
13	create_user_cd	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	エイリアス	im_tenant.create_user_cd	作成者	文字列	
14	create_date	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant.create_date	作成日	日時	
15	record_user_cd	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	エイリアス	im_tenant.record_user_cd	最終更新者	文字列	
16	record_date	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant.record_date	最終更新日	日時	

<画面項目（エンティティ作成結果）>

項目	説明
作成したエンティティを表示する	エンティティ一覧画面に遷移します。
次のテーブルを選択する	「テーブルからのエンティティ作成- テーブルの選択」に遷移します。
テーブル情報	<ul style="list-style-type: none"> データベース種別 「テーブルからのエンティティ作成- テーブルの選択」で設定したデータベース種別を表示します。 接続ID データベース種別がシェアードデータベースの場合に「テーブルからのエンティティ作成- テーブルの選択」で設定した接続IDを表示します。 テーブル名 「テーブルからのエンティティ作成- テーブルの選択」で設定したテーブル名を表示します。
エンティティ情報	<ul style="list-style-type: none"> エンティティカテゴリ 「テーブルからのエンティティ作成- エンティティ情報の設定」で設定したエンティティカテゴリを表示します。 エンティティID 「テーブルからのエンティティ作成- エンティティ情報の設定」で設定したエンティティIDを表示します。 エンティティ名 「テーブルからのエンティティ作成- エンティティ情報の設定」で設定したエンティティ名を表示します。

項目	説明
辞書情報	<ul style="list-style-type: none"> ■ カラム名 カラム名を表示します。 ■ 主キー 主キーであるかどうかを表示します。 ■ 必須 必須であるかどうかを表示します。 ■ 項目種別 「辞書項目」「エイリアス」のいずれかを表示します。 ■ 項目ID 辞書項目ID または エイリアスIDを表示します。 ■ 項目名 辞書項目名 または エイリアス名を表示します。 ■ データ型 データ型を表示します。 ■ 詳細 登録した辞書項目または エイリアス情報を表示します。

- エンティティ一覧を表示したい場合は「作成したエンティティを表示する」ボタン、続けて別のテーブルからエンティティを作成したい場合は「次のテーブルを選択する」ボタンをクリックします。

✔ テーブルからエンティティを作成しました。
詳細は一覧を確認してください。

作成したエンティティを表示する
次のテーブルを選択する

テーブル情報	
データベース種別	テナントデータベース
テーブル名	b_m_account_b
エンティティ情報	
エンティティカテゴリ	Test
エンティティID	b_m_account_b
エンティティ名	b_m_account_b

- 辞書項目や エイリアスを確認したい場合は辞書情報の「詳細」アイコンをクリックします。


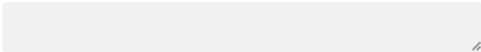

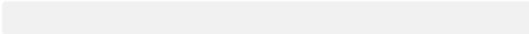
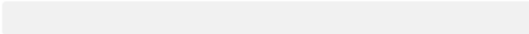
辞書情報								
No.	テーブル情報			辞書項目				
	カラム名	主キー	必須	項目種別	項目ID	項目名	データ型	詳細
1	user_cd	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.user_cd	ユーザコード	文字列	🔍
2	locale_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	エイリアス	alias_im_tenant_account.locale_id	LocaleID	文字列	🔍
3	encoding	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.encoding	エンコーディング	文字列	🔍
4	time_zone_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.time_zone_id	タイムゾーンID	文字列	🔍
5	calendar_id	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_calendar.calendar_id	カレンダーID	文字列	🔍
6	first_day_of_week	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_calendar.first_day_of_week	週の開始曜日	数値	🔍
7	password	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.password	パスワード	文字列	🔍
8	notes	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.notes	備考	文字列	🔍
9	valid_start_date	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.valid_start_date	有効開始日	日時	🔍
10	valid_end_date	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_shortcut.valid_end_date	有効終了日	日時	🔍
11	lock_date	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	辞書項目	im_tenant_account.lock_date	ロック日付	日時	🔍

- 「項目詳細」ダイアログが表示され、辞書項目や エイリアスの詳細情報を確認できます。

項目詳細 ×

im_tenant_account.user_cd

基本情報

辞書項目ID	im_tenant_account.user_cd
辞書項目名	標準 User code 
説明	標準  
列挙型	
初期値	

閉じる

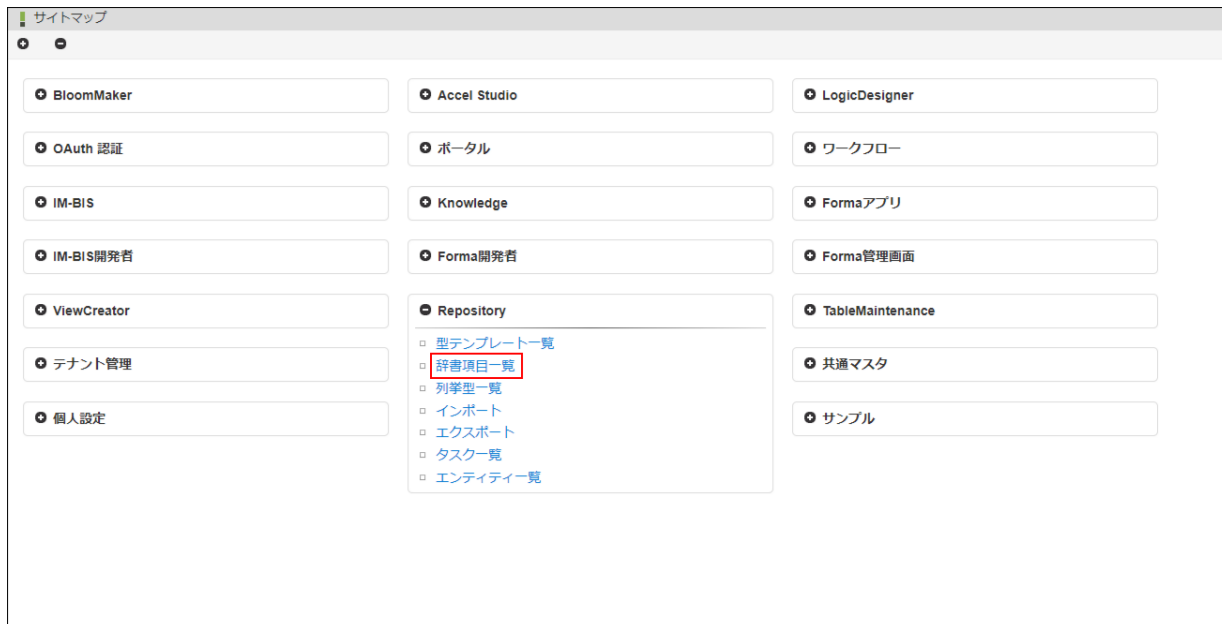
コラム

登録した 辞書項目または エイリアス情報は「テーブルからのエンティティ作成」カテゴリ- 「エンティティID」カテゴリ配下に作成されます。

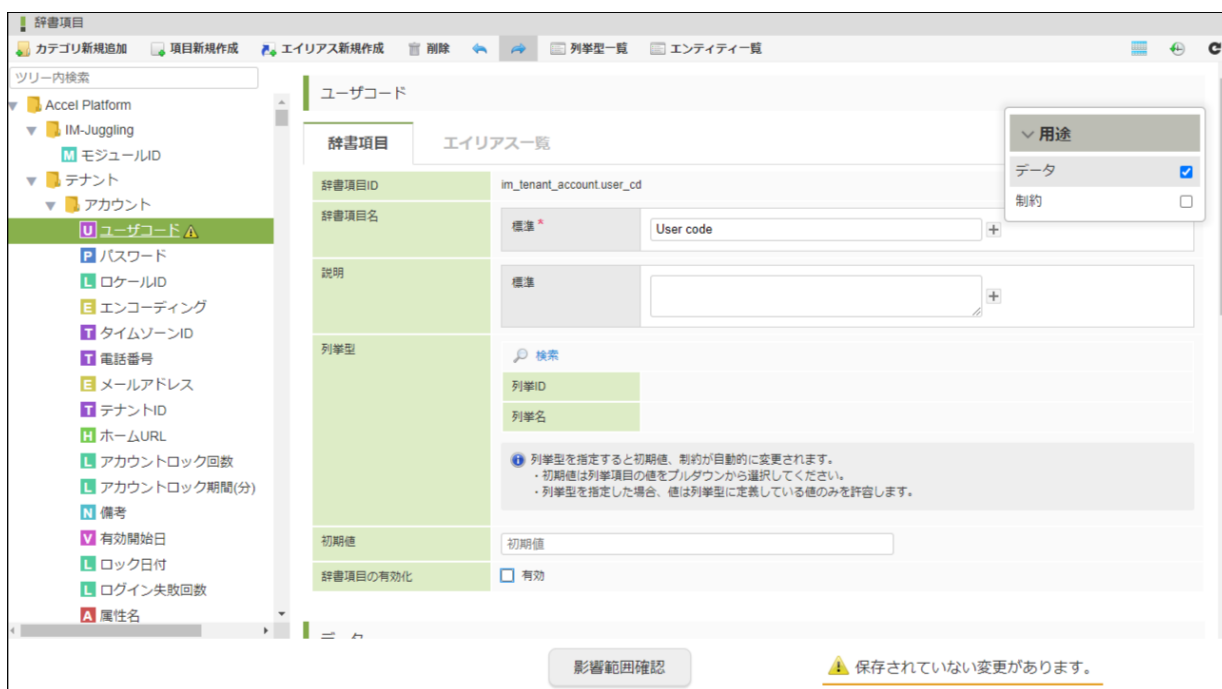
ここではIM-Repositoryで影響範囲を扱う画面の機能について説明します。

影響範囲一覧の確認

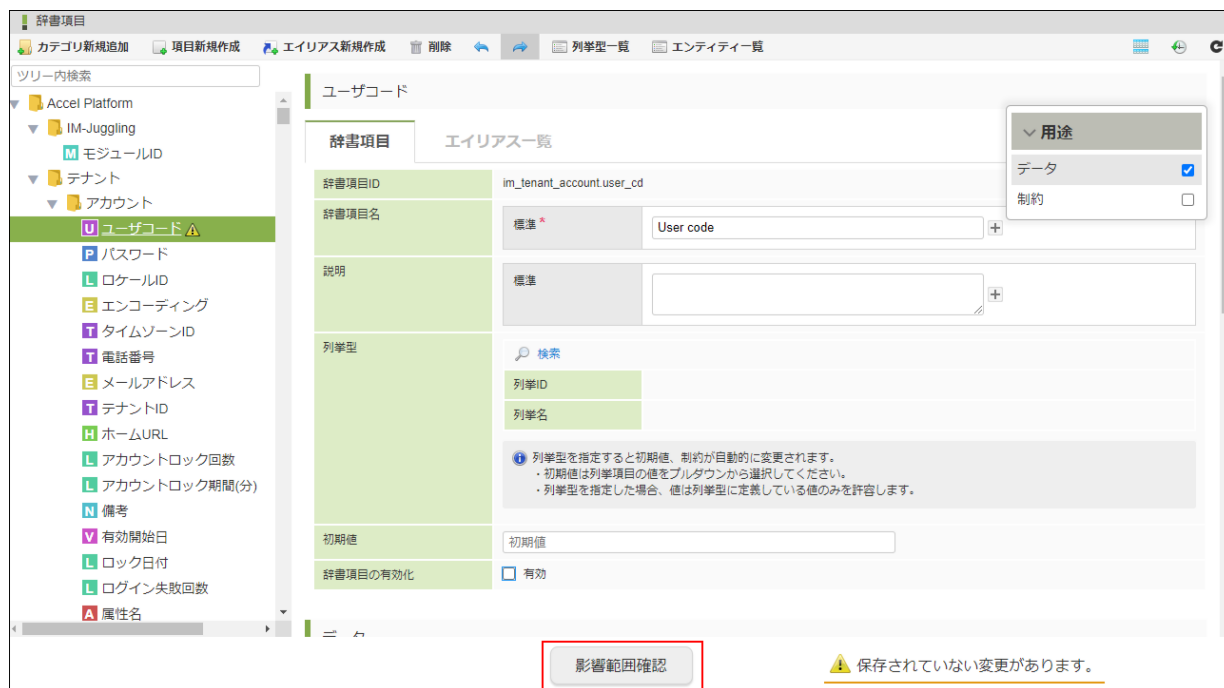
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



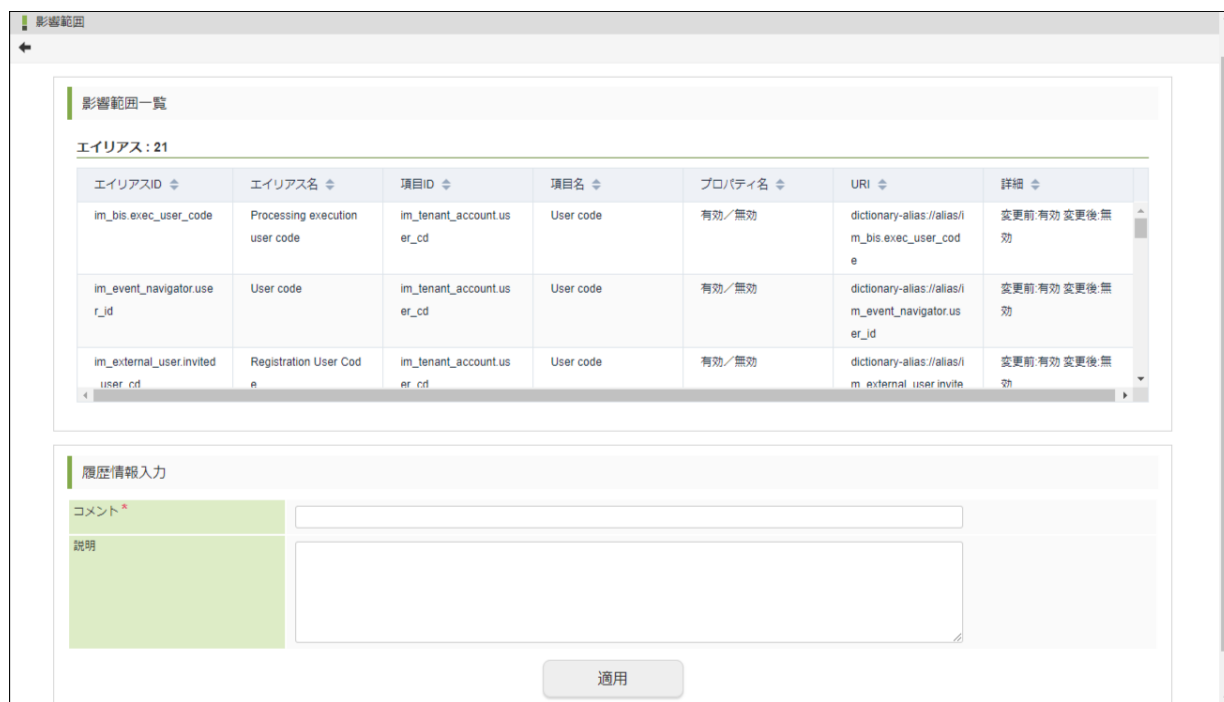
2. 項目一覧ツリーで新規作成、更新、または、削除を実行します。



3. 「影響範囲確認」ボタンをクリックします。



4. 「影響範囲一覧」画面が表示されます。



影響範囲の適用

1. 「影響範囲一覧の確認」の手順、または、辞書項目の各操作をもとに、「影響範囲一覧」画面を表示します。
2. 「影響範囲一覧」画面が表示されます。

影響範囲一覧

エイリアス: 21

エイリアスID	エイリアス名	項目ID	項目名	プロパティ名	URI	詳細
im_bis_exec_user_code	Processing execution user code	im_tenant_account.user_cd	User code	有効/無効	dictionary-alias//alias/im_bis_exec_user_code	変更前 有効 変更後 無効
im_event_navigator.user_id	User code	im_tenant_account.user_cd	User code	有効/無効	dictionary-alias//alias/im_event_navigator.user_id	変更前 有効 変更後 無効
im_external_user.invited.user_cd	Registration User Code	im_tenant_account.user_cd	User code	有効/無効	dictionary-alias//alias/im_external_user_invite	変更前 有効 変更後 無効

履歴情報入力

コメント *

説明

適用

項目	説明
影響範囲一覧	辞書項目の変更による他の機能への影響を表示します。
コメント	辞書項目の変更に対するコメントを入力します。 この項目は必須項目です。
説明	辞書項目の変更に対する説明を入力します。
「適用」ボタン	影響範囲の適用を行います。

3. 必要項目を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

影響範囲一覧

エイリアス: 21

エイリアスID	エイリアス名	項目ID	項目名	プロパティ名	URI	詳細
im_bis_exec_user_code	Processing execution user code	im_tenant_account.user_cd	User code	有効/無効	dictionary-alias//alias/im_bis_exec_user_code	変更前 有効 変更後 無効
im_event_navigator.user_id	User code	im_tenant_account.user_cd	User code	有効/無効	dictionary-alias//alias/im_event_navigator.user_id	変更前 有効 変更後 無効
im_external_user.invited.user_cd	Registration User Code	im_tenant_account.user_cd	User code	有効/無効	dictionary-alias//alias/im_external_user_invite	変更前 有効 変更後 無効

履歴情報入力

コメント *

説明

適用

4. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

影響範囲グループ

ここではIM-Repositoryで影響範囲一覧に表示される各影響範囲グループについて説明します。

ここでは影響範囲一覧に表示されるエイリアスの情報について説明します。

抽出条件

エイリアスが影響範囲として一覧に抽出される条件は以下の通りです。

1. エイリアスが参照する辞書項目において、以下の設定内容に変更があった場合
 - 列挙型
 - 初期値
 - 有効化
 - 用途に関する情報

表示内容

エイリアスID	エイリアス名	項目ID	項目名	プロパティ名	URI	詳細
im_bis_exec_user_code	Processing execution user code	im_tenant_account.user_cd	User code	有効/無効	dictionary-alias://alias/im_bis_exec_user_code	変更前:有効 変更後:無効
im_event_navigator.user_id	User code	im_tenant_account.user_cd	User code	有効/無効	dictionary-alias://alias/im_event_navigator.user_id	変更前:有効 変更後:無効
im_external_user.invited.user_cd	Registration User Code	im_tenant_account.user_cd	User code	有効/無効	dictionary-alias://alias/im_external_user_invited	変更前:有効 変更後:無効

項目	説明
エイリアスID	影響があるエイリアスのID
エイリアス名	影響があるエイリアスの名前
項目ID	変更があった辞書項目ID
項目名	変更があった辞書項目名
プロパティ名	変更があった辞書項目のプロパティ名
URI	エイリアスのURI 表現
詳細	変更前後の内容など

エンティティ の影響範囲情報

ここでは影響範囲一覧に表示されるエンティティの情報について説明します。

抽出条件

エンティティが影響範囲一覧に抽出される条件は以下の通りです。

- エンティティ項目である辞書項目/ エイリアスに設定変更があった場合
 ただし、変更内容が親カテゴリ、ソート順のみの場合は、影響範囲に抽出されません。

表示内容

エンティティID	エンティティ名	エンティティ項目ID	エンティティ項目名	プロパティ名	URI	詳細
role	ロール管理	im_tenant_role_role_name	役割名	有効/無効	entityset://entity/role	変更前 有効 変更後 無効

項目	説明
エンティティID	影響があるエンティティのID
エンティティ名	影響があるエンティティの名前
エンティティ項目ID	変更があった辞書項目ID
エンティティ項目名	変更があった辞書項目名
プロパティ名	変更があった辞書項目のプロパティ名
URI	エンティティのURI 表現
詳細	変更前後の内容など

IM-BloomMakerの影響範囲情報

ここでは影響範囲一覧に表示されるIM-BloomMakerの情報について説明します。

抽出条件

IM-BloomMakerのコンテンツ、エレメントセット、テンプレートが影響範囲として一覧に抽出される条件は以下の通りです。

IM-Repositoryの定義をインポートして変数を作成した場合、

- 参照先の辞書項目/ エイリアス、または参照先エンティティのエンティティ項目の辞書項目/ エイリアスにおいて、以下の設定変更があったとき
 - 列挙型
 - 初期値
 - 項目の有効化
 - 用途に関する情報
 - ただし、以下の用途の変更は参照元に影響がないため影響範囲に抽出されません。
 - データベースのデータ型が「文字列」「数値」以外の場合、最大桁数
 - データベースのデータ型が「数値」以外の場合、小数桁数
 - データベースの論理名 標準、多言語情報
 - データベースのコメント 標準、多言語情報
- 参照先のエンティティにおいて、以下の設定変更があったとき
 - エンティティの有効化
 - エンティティ項目
 - サブエンティティ項目がある場合、エンティティとサブエンティティの以下の関連情報
 - 関連ID
 - 多重度
 - 変数名
 - データ定義
 - ただし、以下の変更は影響範囲に抽出されません。
 - ログ出力設定

IM-BloomMakerでIM-Repositoryの定義をインポートする方法については、「[IM-BloomMaker for Accel Platform ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[IM-Repositoryから定義を追加する](#)」を参照してください。

表示内容

IM-BloomMakerに関連する影響範囲一覧に表示される内容は以下の通りです。

- コンテンツ にIM-Repositoryの定義をインポートして変数を作成した場合

The screenshot shows the '影響範囲' (Impact Scope) page with a table titled 'IM-BloomMaker コンテンツ : 1'. The table has four columns: 'コンテンツID', 'バージョン番号', 'コンテンツ名', and '変数パス'. One row is visible with the following data:

コンテンツID	バージョン番号	コンテンツ名	変数パス
sample_app01-crud	1	サンプルアプリ01 登録・編集・参照画面	Svariable/zipCode

項目	説明
コンテンツID	影響があるコンテンツのID
バージョン番号	影響があるコンテンツのバージョン番号
コンテンツ名	影響があるコンテンツの名前
変数パス	変数のツリー上の位置を表すパス

- エレメントセット にIM-Repositoryの定義をインポートして変数を作成した場合

The screenshot shows the '影響範囲' (Impact Scope) page with a table titled 'IM-BloomMaker エレメントセット : 1'. The table has three columns: 'エレメントセットID', 'エレメントセット名', and '変数パス'. One row is visible with the following data:

エレメントセットID	エレメントセット名	変数パス
sample_elementset_role_manage	Sample elementset role manage	Svariable/licenseKey

項目	説明
エレメントセットID	影響があるエレメントセットのID
エレメントセット名	影響があるエレメントセットの名
変数パス	変数のツリー上の位置を表すパス

- テンプレート にIM-Repositoryの定義をインポートして変数を作成した場合

The screenshot shows the '影響範囲' (Impact Scope) page with a table titled 'IM-BloomMaker テンプレート : 1'. The table has three columns: 'テンプレートID', 'テンプレート名', and '変数パス'. One row is visible with the following data:

テンプレートID	テンプレート名	変数パス
sample_template_user_manage	Sample template_user_manage	Svariable/usermobileNumber

項目	説明
テンプレートID	影響があるテンプレートのID
テンプレート名	影響があるテンプレートの名
変数パス	変数のツリー上の位置を表すパス

IM-BloomMakerが影響範囲として一覧に抽出されている場合、影響範囲の適用を実行するとタスクが作成されます。

「[タスクを確認する](#)」の手順でタスクの内容を確認し、必要に応じて処理を行ってください。

IM-LogicDesignerの影響範囲情報

ここでは影響範囲一覧に表示されるIM-LogicDesignerの情報について説明します。

抽出条件

IM-LogicDesignerのフローが影響範囲として一覧に抽出される条件は以下の通りです。

ロジックフローの入出力定義、変数にIM-Repository定義のエンティティが含まれる場合、または入出力定義にIM-Repository定義のエンティティが含まれる「ユーザ定義タスク」をフローに配置している場合、

1. 参照先エンティティのエンティティ項目において、辞書項目/エイリアスの以下の設定変更があったとき

- 列挙型
- 初期値
- 項目の有効化
- 用途に関する情報

ただし、以下の用途の変更は参照元に影響がないため影響範囲に抽出されません。

- データベースのデータ型が「文字列」「数値」以外の場合、最大桁数
- データベースのデータ型が「数値」以外の場合、小数桁数
- データベースの論理名 標準、多言語情報
- データベースのコメント 標準、多言語情報

2. 参照先のエンティティにおいて、以下の設定変更があったとき

- エンティティの有効化
- エンティティ項目
- サブエンティティ項目がある場合、エンティティとサブエンティティの以下の関連情報
 - 関連ID
 - 多重度
 - 変数名
- データ定義

ただし、以下の変更は影響範囲に抽出されません。

- ログ出力設定

IM-LogicDesignerでIM-Repositoryの定義をインポートする方法については、「[IM-LogicDesigner ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[入出力/変数/定数を設定する](#)」を参照してください。



注意

フローにIM-Repositoryタスクを配置していても、入出力定義、変数にIM-Repository定義のエンティティが含まれない場合は影響範囲に抽出されません。

表示内容

IM-LogicDesignerに関連する 影響範囲一覧に表示される内容は以下の通りです。

フロー定義ID	フロー定義名	バージョン番号	エンティティID	エンティティ名
sample_app01-register	サンプルアプリ01 登録処理	1	role	ロール管理

項目	説明
フローID	影響があるフローのID
フロー定義名	影響があるフローの定義名
バージョン番号	影響があるフローのバージョン番号
エンティティID	変更のあったエンティティID、または変更があったエンティティ項目が属するエンティティID
エンティティ名	変更のあったエンティティ名、または変更があったエンティティ項目が属するエンティティ名

Accel Studioの影響範囲情報

ここでは影響範囲一覧に表示されるAccel Studioの情報について説明します。

抽出条件

Accel Studioのアプリケーションが影響範囲として一覧に抽出される条件は以下の通りです。

アプリケーションに関連付けられたデータ定義のエンティティがある場合、

1. 関連付けられたエンティティのエンティティ項目において、辞書項目/ エイリアスの以下の設定変更があったとき
 - 列挙型
 - 初期値
 - 項目の有効化
 - 用途に関する情報
 - ただし、以下の用途の変更は参照元に影響がないため影響範囲に抽出されません。
 - データベースのデータ型が「文字列」「数値」以外の場合、最大桁数
 - データベースのデータ型が「数値」以外の場合、小数桁数
 - データベースの論理名 標準、多言語情報
 - データベースのコメント 標準、多言語情報
2. 関連付けられたエンティティにおいて、以下の設定変更があったとき
 - エンティティの有効化
 - エンティティ項目
 - サブエンティティ項目がある場合、エンティティとサブエンティティの以下の関連情報
 - 関連ID
 - 多重度
 - 変数名
 - データ定義
 - ただし、以下の変更は影響範囲に抽出されません。
 - ログ出力設定

表示内容

Accel Studioに関連する 影響範囲一覧に表示される内容は以下の通りです。

影響範囲一覧			
Accel Studio アプリケーション : 1			
アプリケーションID	アプリケーション名	エンティティID	エンティティ名
sample_app01	サンプルアプリ01	role	ロール管理

項目	説明
アプリケーションID	影響があるアプリケーションのID
アプリケーション名	影響があるアプリケーションの名前
エンティティID	変更があったエンティティID、または変更があったエンティティ項目が属するエンティティID
エンティティ名	変更があったエンティティ名、または変更があったエンティティ項目が属するエンティティ名

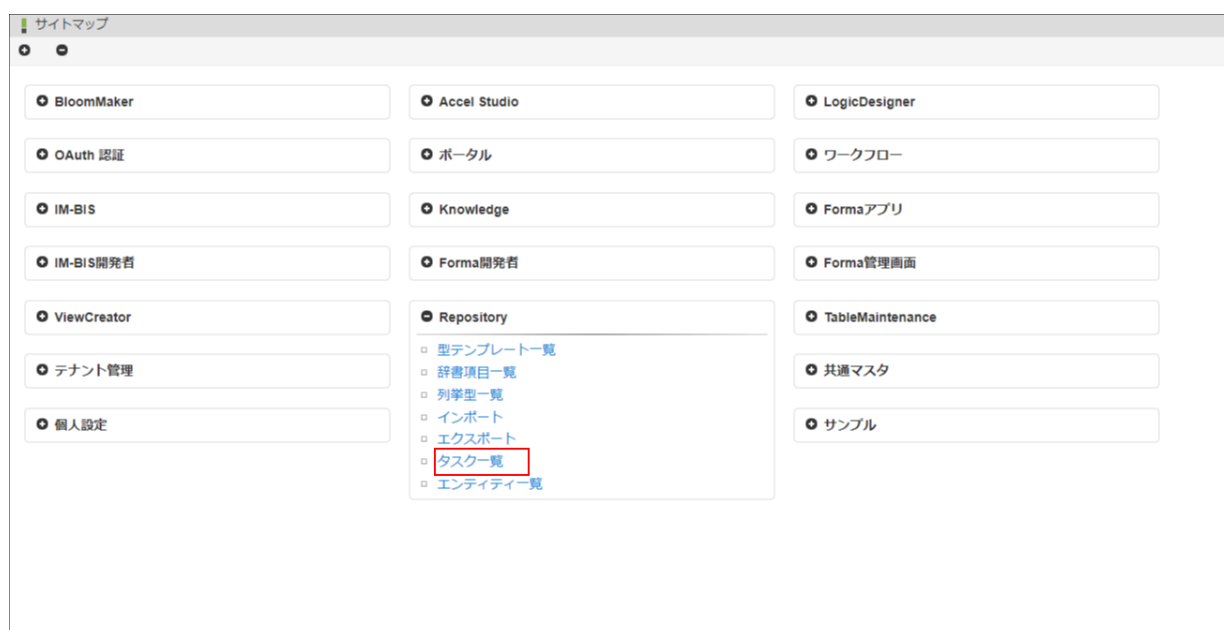
ここではIM-Repositoryでタスクを扱う画面の機能について説明します。

タスクを確認する

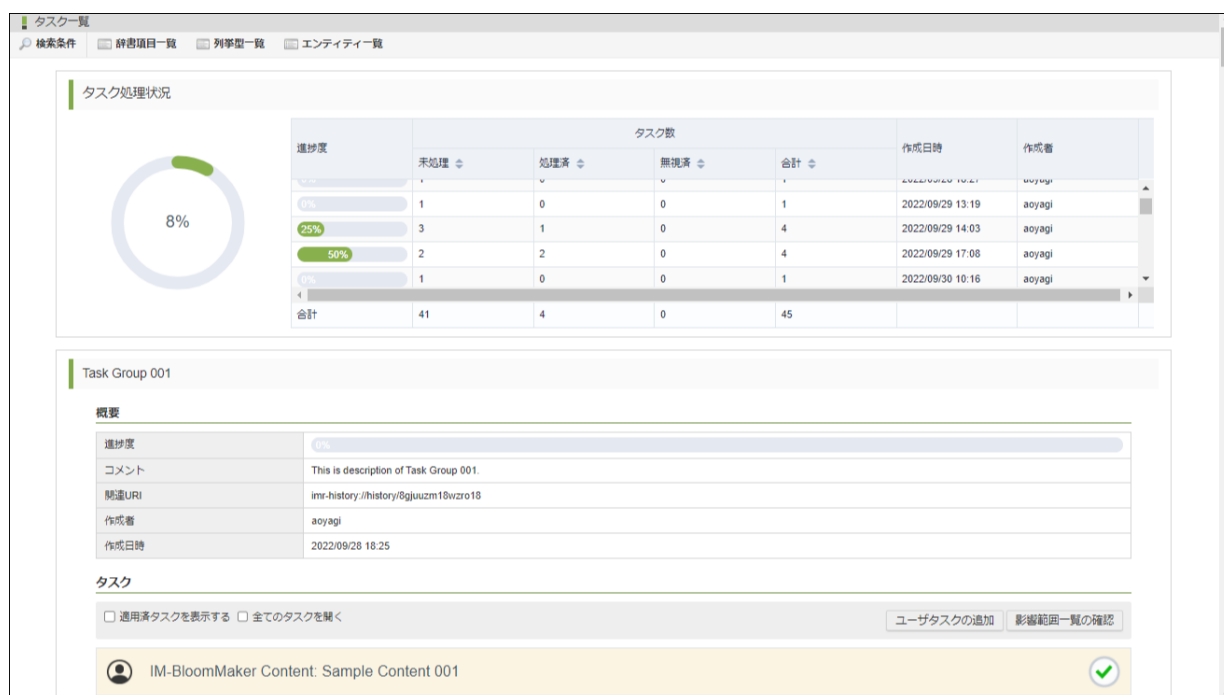
- タスク一覧を確認する
- タスクを検索する

タスク一覧を確認する

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「タスク一覧」をクリックし、「タスク一覧」画面を表示します。



2. 登録されているタスクの一覧が確認できます。



コラム

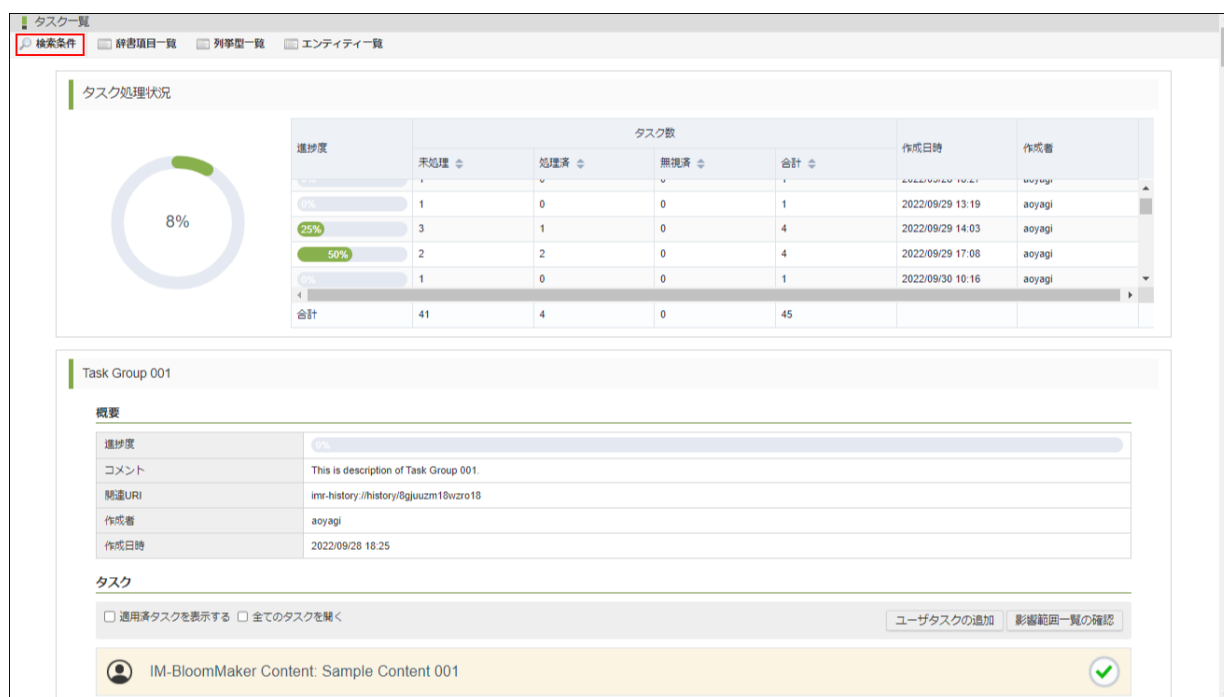
タスクの種類

タスクアプリケーション側が作成したサービスタスクとユーザが作成したユーザタスクがあります。

- サービスタスク
アプリケーション側で変更内容に対する設定変更等の反映が可能なタスクです。
- ユーザタスク
スクラッチ開発により作成されたアプリケーション等、アプリケーション側が動的に変更内容を反映することが出来ない場合に利用するタスクです。

タスクを検索する

1. ツールバーの「検索条件」をクリックします。



The screenshot shows the 'Task Management' (タスク一覧) interface. The 'Search Conditions' (検索条件) tab is selected. A search dialog box is open, showing the 'Search Conditions' (検索条件) section with a checkbox for 'Show applicable versions' (適用済バージョンの表示) and a date range for 'Created Date' (作成日時) from 11/11 to 11/11. The background interface displays a task processing status (タスク処理状況) with a progress gauge at 8% and a table of task counts (タスク数) categorized by progress status (未処理, 処理済, 無視済, 合計) and creation date (作成日時). Below the table, there is a 'Task Group 001' (Task Group 001) summary section and a 'Tasks' (タスク) section with checkboxes for 'Show applicable tasks' (適用済タスクを表示する) and 'Close all tasks' (全てのタスクを閉く).

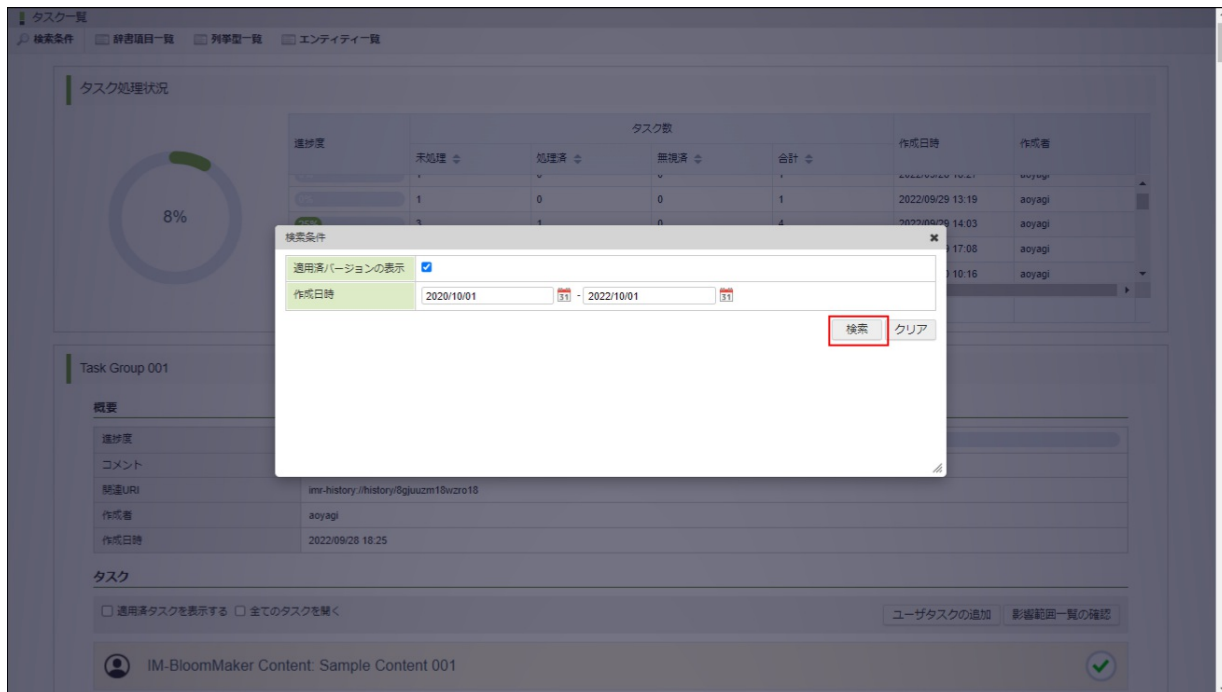
2. 検索条件ダイアログが表示されます。



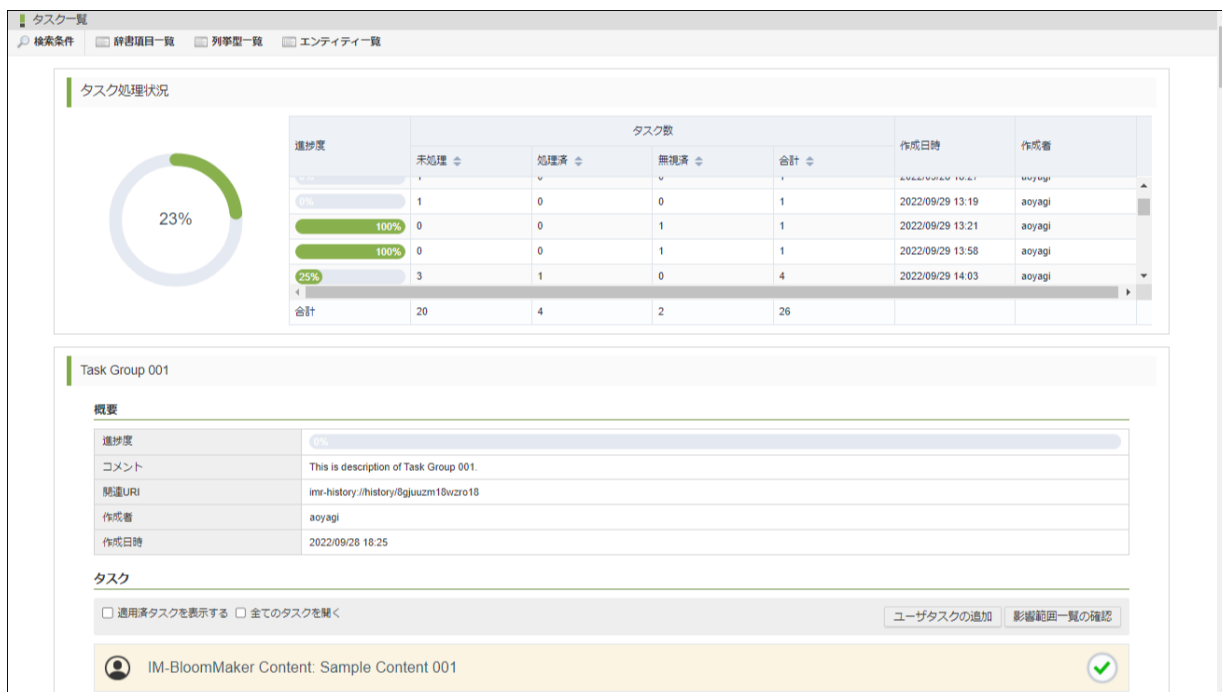
This screenshot is identical to the previous one, showing the 'Task Management' interface with the search dialog box open. The dialog box is positioned over the task count table, and the background interface elements remain the same.

項目	説明
適用済バージョンの表示	適用済みのタスクを表示するかを設定します。
作成日時	検索するタスクの作成日時の期間を入力します。
「検索」ボタン	タスクを検索します。
「クリア」ボタン	入力された検索条件をクリアします。

3. 検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックします。

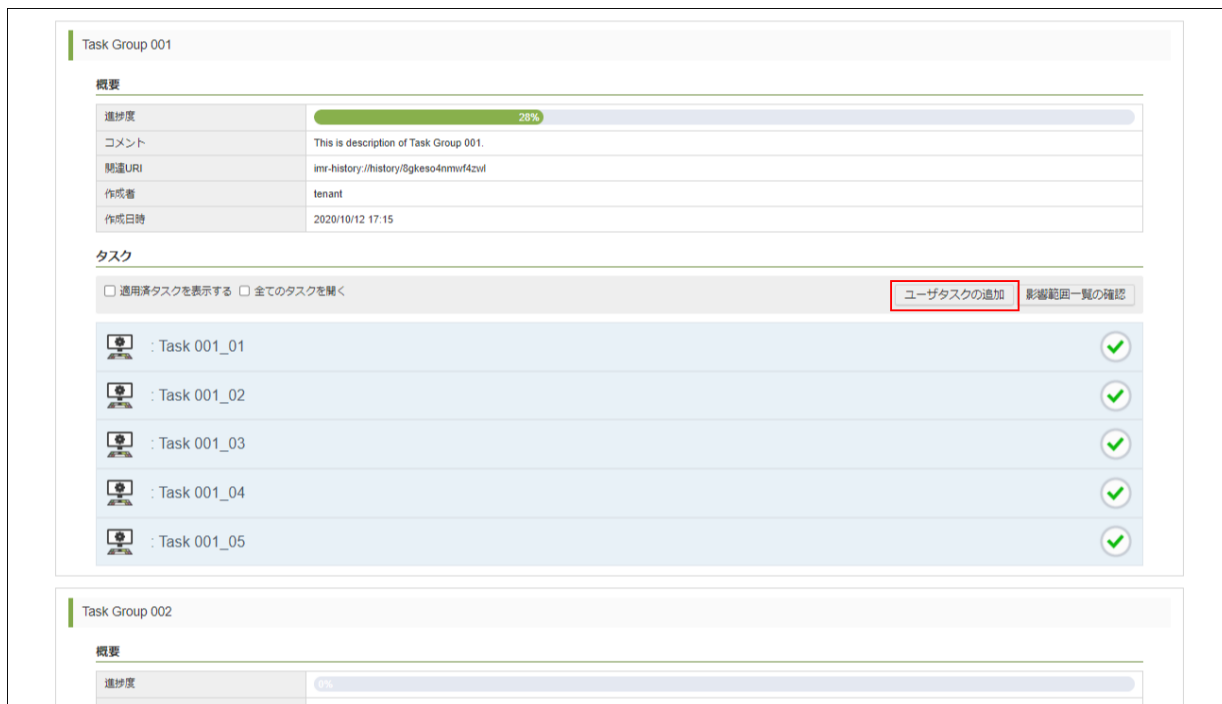


4. 検索結果が表示されます。

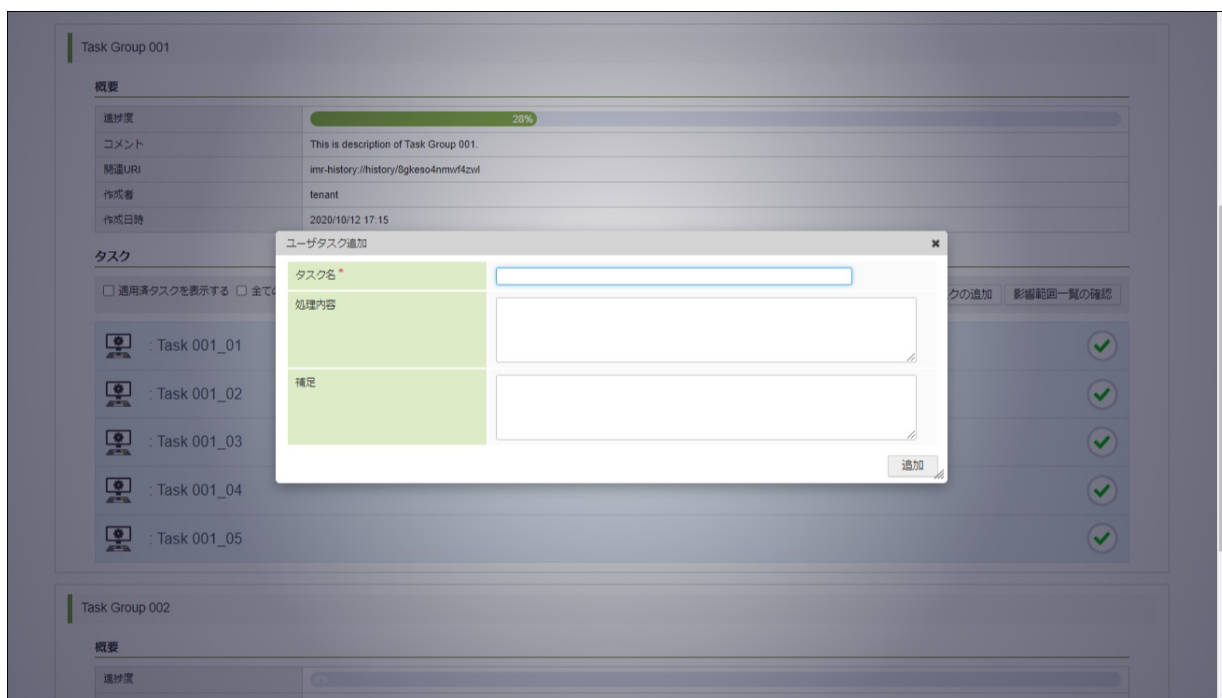


タスクを新規追加する

1. 「[タスクを確認する](#)」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. 登録されているタスクグループの「ユーザタスクの追加」ボタンをクリックします。



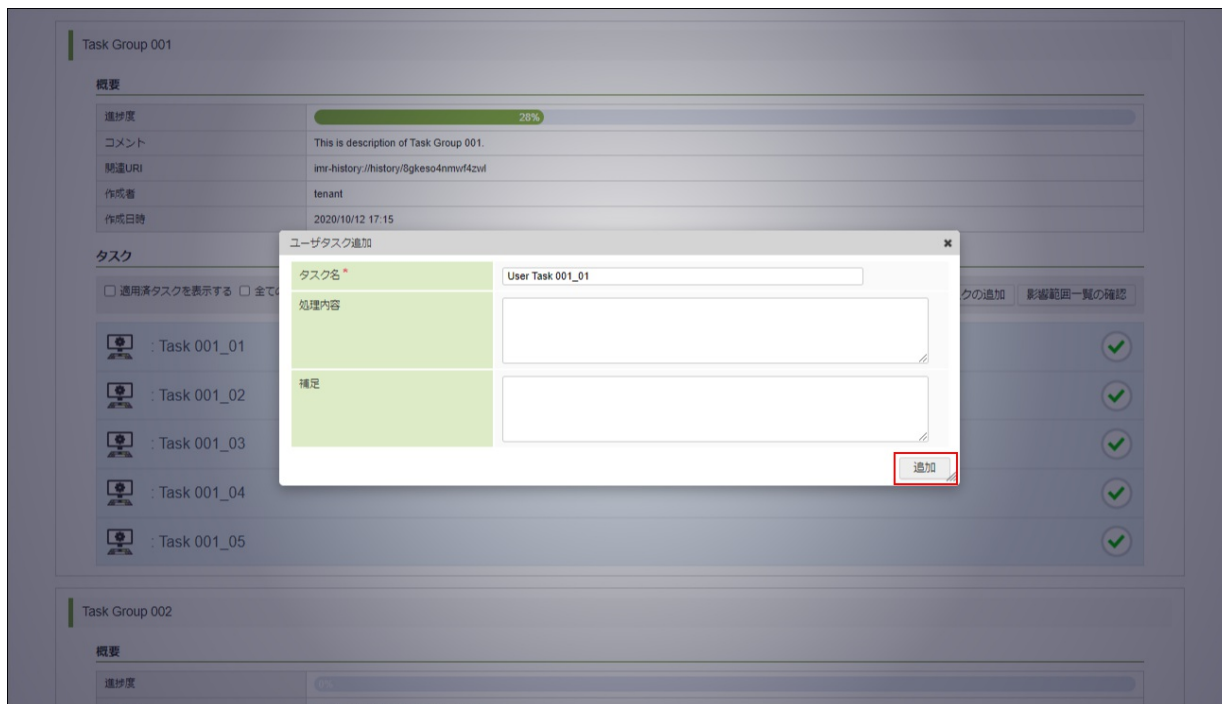
3. ユーザタスク追加ダイアログが表示されます。



<画面項目>

項目	説明
タスク名	タスクを表す名称を入力します。 この項目は必須項目です。
処理内容	タスクの処理内容を入力します。
補足	タスクの補足を入力します。
「追加」ボタン	タスクを追加します。

4. 必要項目を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



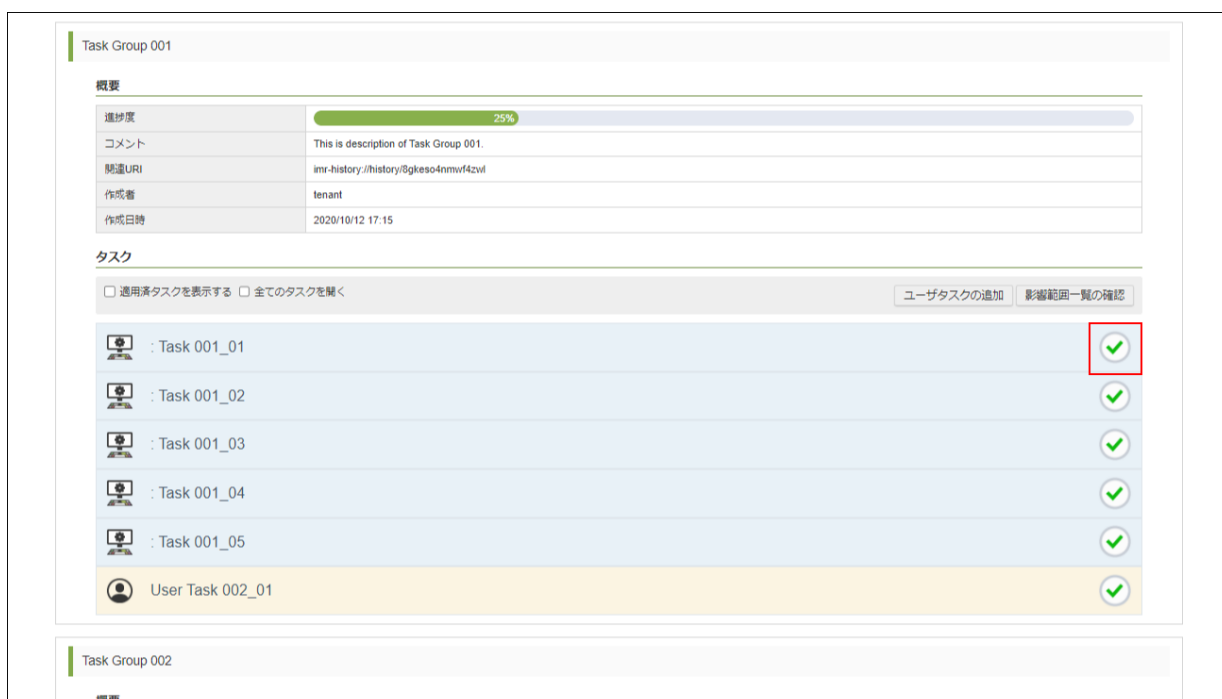
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

タスクを処理する

- タスクを適用する
- タスクを無視する
- タスクを削除する

タスクを適用する

1. 「[タスクを確認する](#)」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. タスク一覧から適用を行うタスクの「適用」アイコンをクリックします。



3. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

タスクを無視する

1. 「タスクを確認する」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. タスク一覧から無視を行うタスクをクリックします。

Task Group 002

概要

進捗度	50%
コメント	This is description of Task Group 002.
関連URI	imr-history//history@sgkeso4nmvf4zwm
作成者	tenant
作成日時	2020/10/15 17:11

タスク

適用済タスクを表示する 全てのタスクを開く

ユーザタスクの追加 影響範囲一覧の確認

	: Task 002_01	<input checked="" type="checkbox"/>
	: Task 002_02	<input checked="" type="checkbox"/>
	User Task 002_01	<input checked="" type="checkbox"/>

Task Group 003

概要

進捗度	0%
コメント	This is description of Task Group 003.
関連URI	imr-history//history@sgkeso4nmvf4zwm
作成者	tenant
作成日時	2020/10/18 20:50

3. タスク情報が表示されます。

Task Group 002

概要

進捗度	50%
コメント	This is description of Task Group 002.
関連URI	imr-history//history@sgkeso4nmvf4zwm
作成者	tenant
作成日時	2020/10/15 17:11

タスク

適用済タスクを表示する 全てのタスクを開く

ユーザタスクの追加 影響範囲一覧の確認

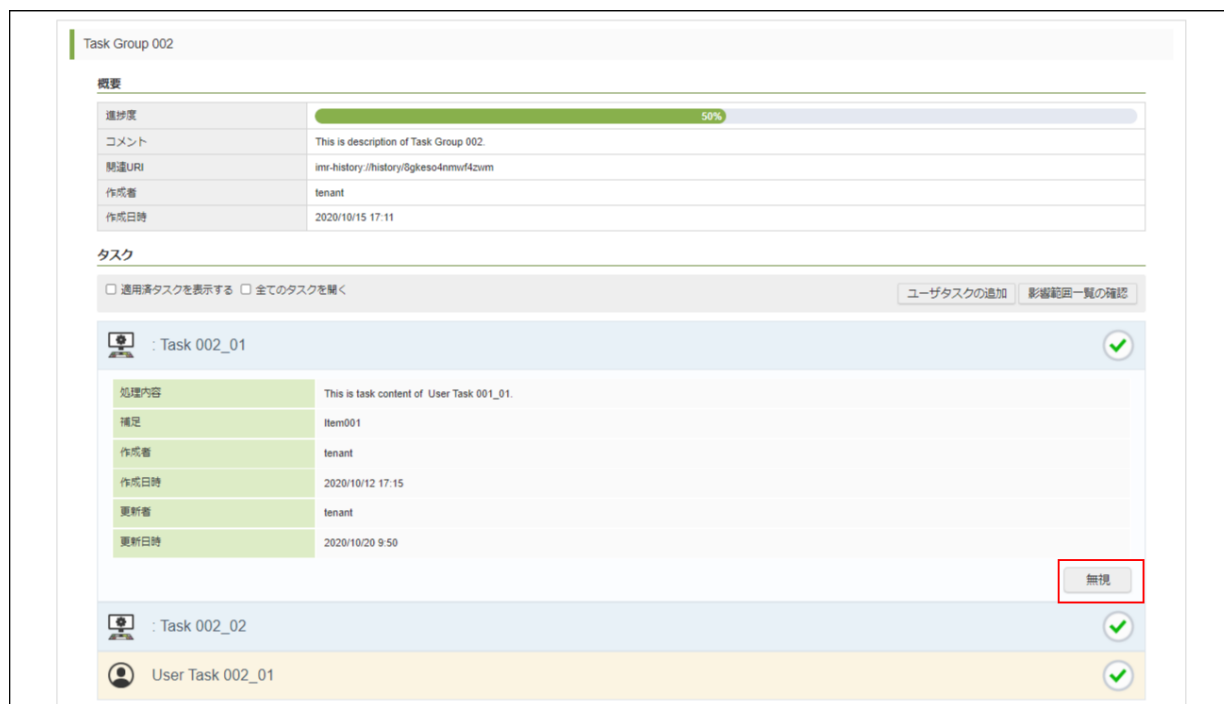
	: Task 002_01	<input checked="" type="checkbox"/>
	: Task 002_02	<input checked="" type="checkbox"/>
	User Task 002_01	<input checked="" type="checkbox"/>

Task 002_01 Details:

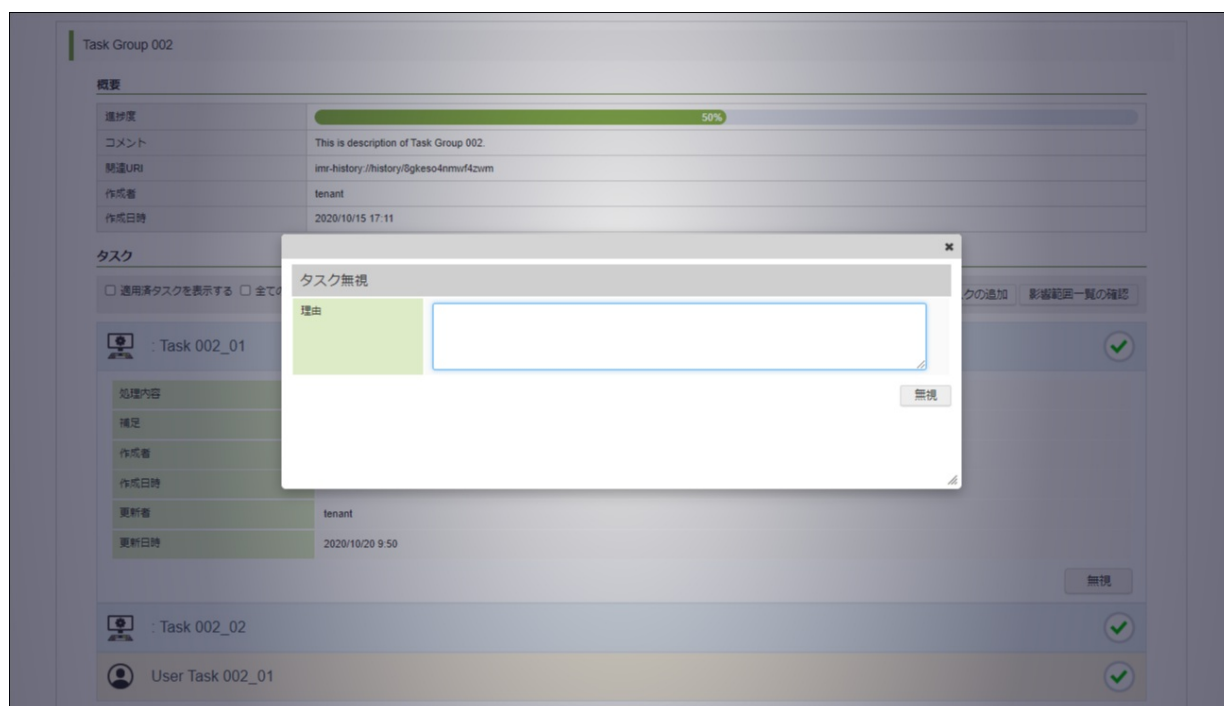
処理内容	This is task content of User Task 001_01.
補足	Item001
作成者	tenant
作成日時	2020/10/12 17:15
更新者	tenant
更新日時	2020/10/20 9:50

無視

4. 「無視」ボタンをクリックします。



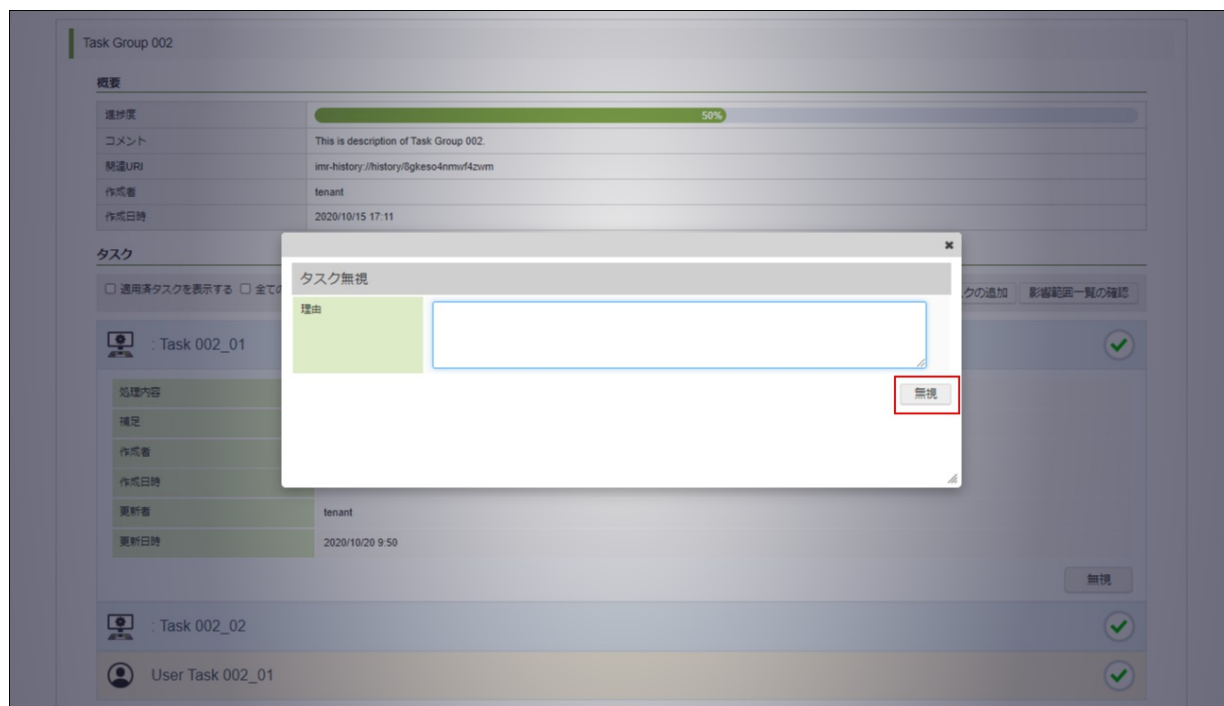
5. タスク無視ダイアログが表示されます。



<画面項目>

項目	説明
理由	タスクを無視する理由を入力します。
「無視」ボタン	タスクを無視で処理します。

6. 必要項目を入力し、「無視」をクリックします。



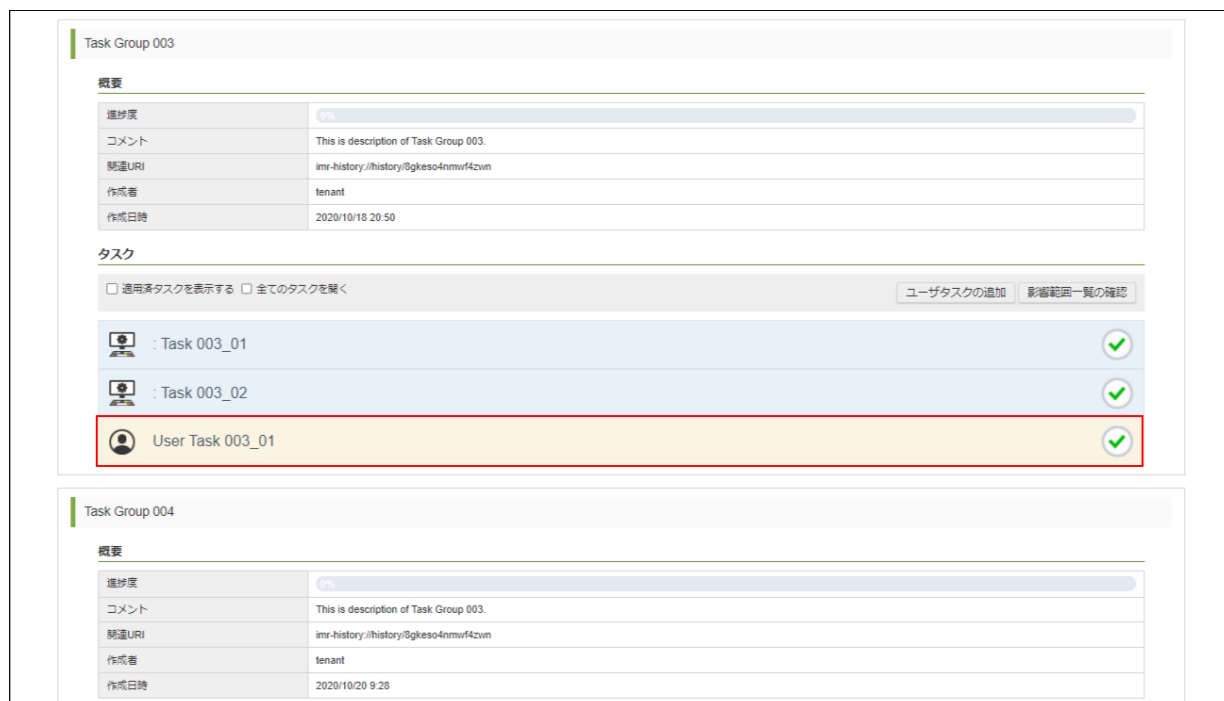
タスクを削除する



コラム

ユーザが登録したタスクのみ削除できます。

1. 「[タスクを確認する](#)」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. タスク一覧から削除を行うタスクをクリックします。



3. タスク情報が表示されます。




Task Group 003

概要

進捗度	0%
コメント	This is description of Task Group 003.
関連URI	imr-history://history@gkeso-4nmr/f4zwn
作成者	tenant
作成日時	2020/10/18 20:50

タスク

適用済タスクを表示する 全てのタスクを閉く ユーザタスクの追加 影響範囲一頁の確認

-  : Task 003_01 ✓
-  : Task 003_02 ✓
-  User Task 003_01 ✓

User Task 003_01

処理内容	This is task content of User Task 003_01.
補足	This is additional of User Task 003_01.
作成者	tenant
作成日時	2020/10/21 10:40
更新者	tenant
更新日時	2020/10/21 10:40

削除 無視

4. 「削除」ボタンをクリックします。




Task Group 003

概要

進捗度	0%
コメント	This is description of Task Group 003.
関連URI	imr-history://history@gkeso-4nmr/f4zwn
作成者	tenant
作成日時	2020/10/18 20:50

タスク

適用済タスクを表示する 全てのタスクを閉く ユーザタスクの追加 影響範囲一頁の確認

-  : Task 003_01 ✓
-  : Task 003_02 ✓
-  User Task 003_01 ✓

User Task 003_01

処理内容	This is task content of User Task 003_01.
補足	This is additional of User Task 003_01.
作成者	tenant
作成日時	2020/10/21 10:40
更新者	tenant
更新日時	2020/10/21 10:40

削除 無視

5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

履歴

ここではIM-Repositoryで履歴を扱う画面の機能について説明します。

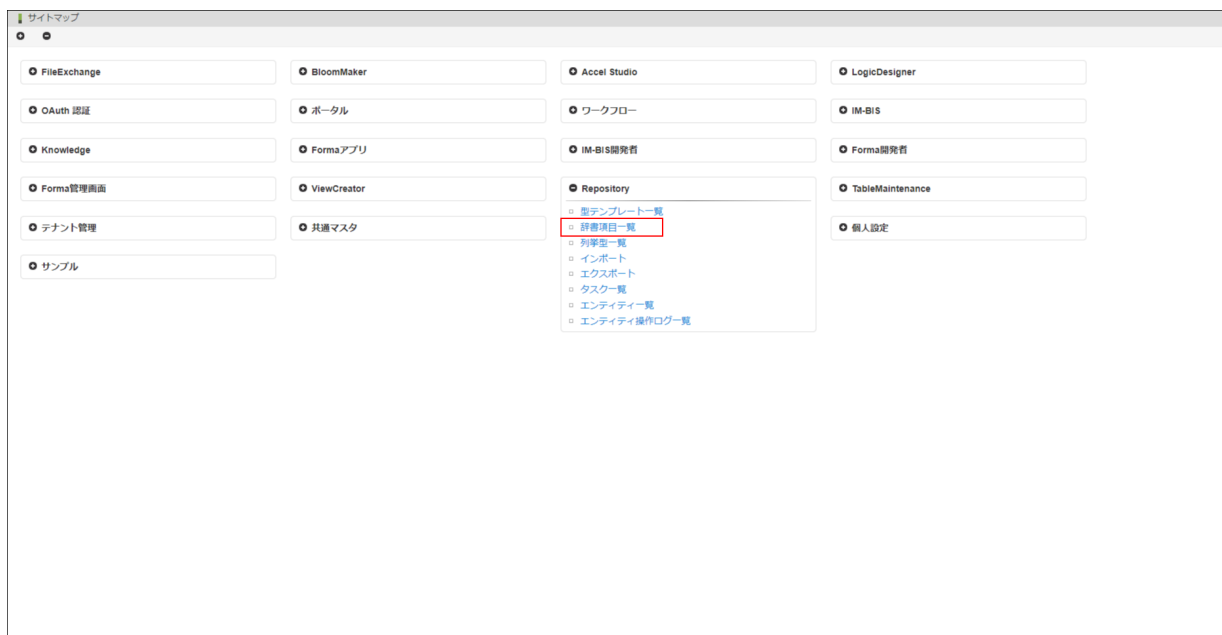
履歴一覧

辞書項目一覧

- 履歴詳細をツリー形式で表示する
- 履歴詳細をリスト形式で表示する

履歴詳細をツリー形式で表示する






- 「サイトマップ」→「Repository」→「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



- ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



- 履歴一覧で確認したい履歴の「詳細」アイコンをクリックします。

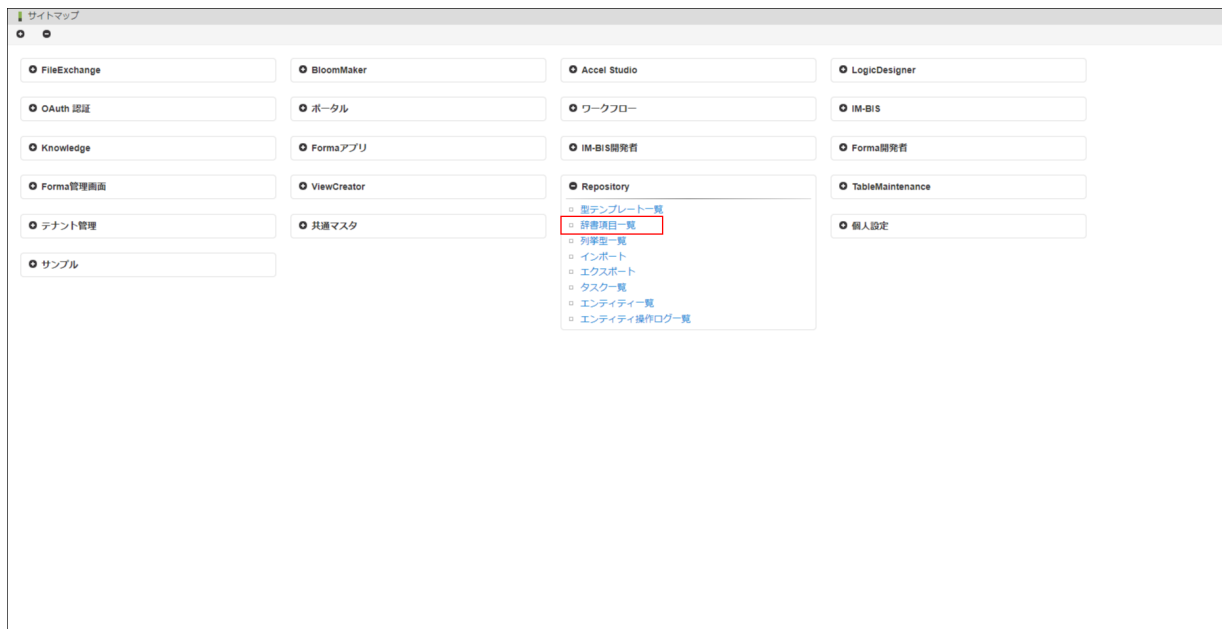
保存日付	コメント	保存ユーザー	詳細
2023/09/25 16:37	import	tenant	
2023/09/25 14:35	Update item	tenant	
2023/09/25 14:28	Add alias	tenant	
2023/09/25 14:25	Add item	tenant	
2023/09/25 14:23	Add category	tenant	

4. ツリー形式の履歴詳細が表示されます。



履歴詳細をリスト形式で表示する

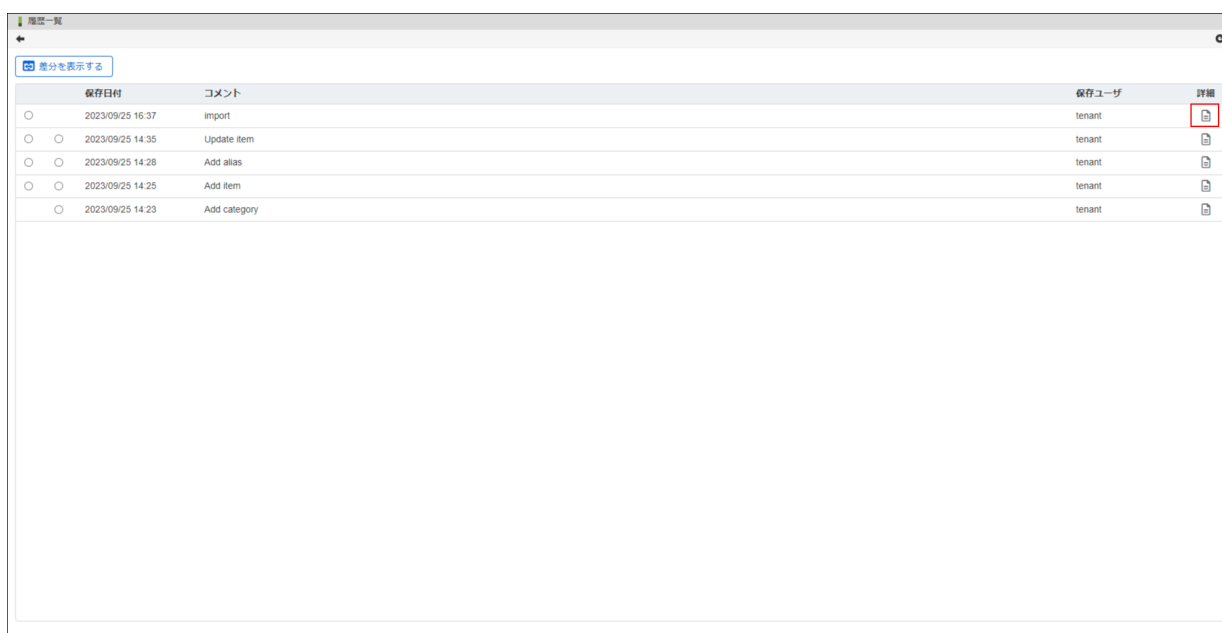
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



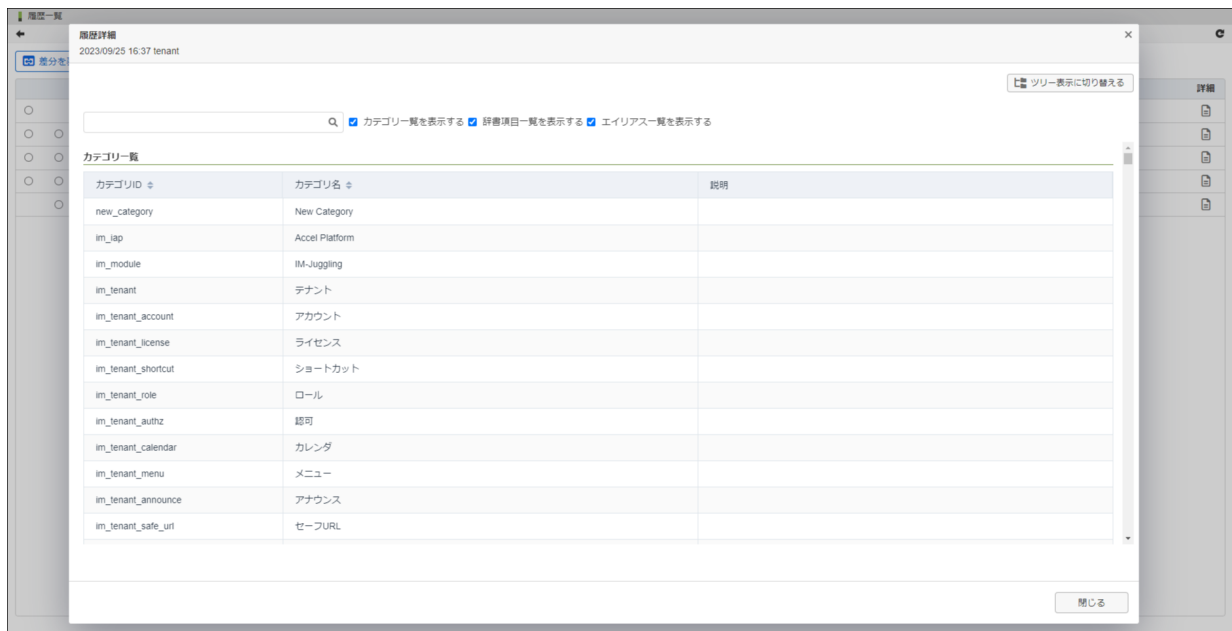
3. 履歴一覧で確認したい履歴の「詳細」アイコンをクリックします。



4. 履歴詳細の「リスト表示に切り替える」ボタンをクリックします。



5. リスト形式の履歴詳細が表示されます。

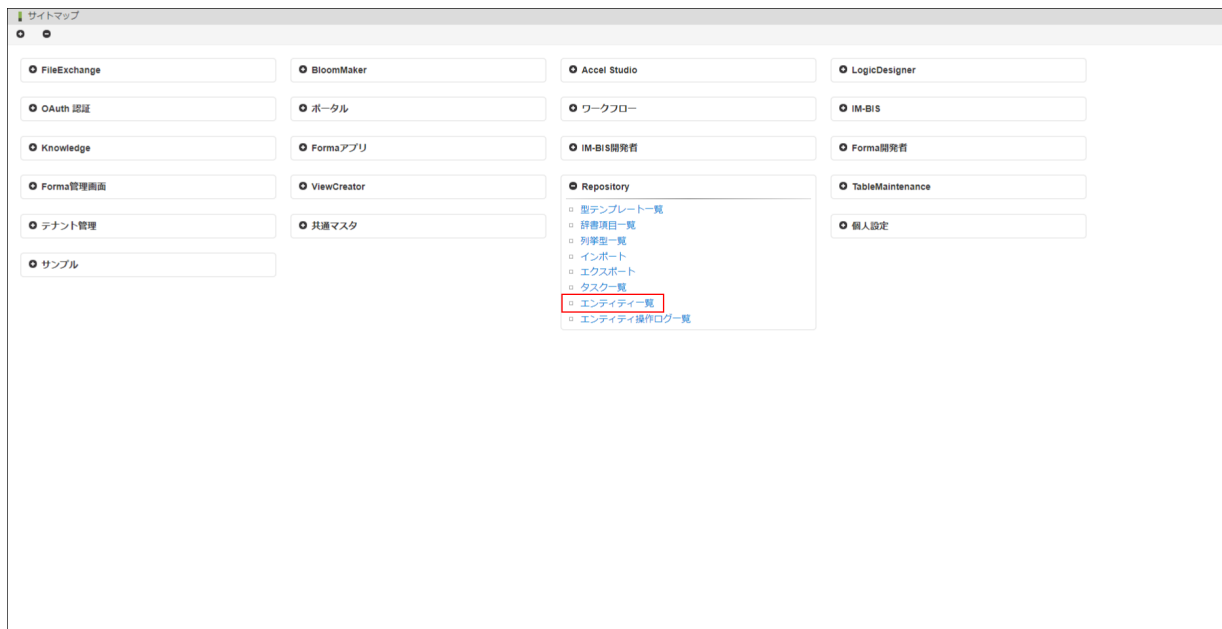


エンティティ一覧

- 履歴詳細をツリー形式で表示する
- 履歴詳細をリスト形式で表示する

履歴詳細をツリー形式で表示する

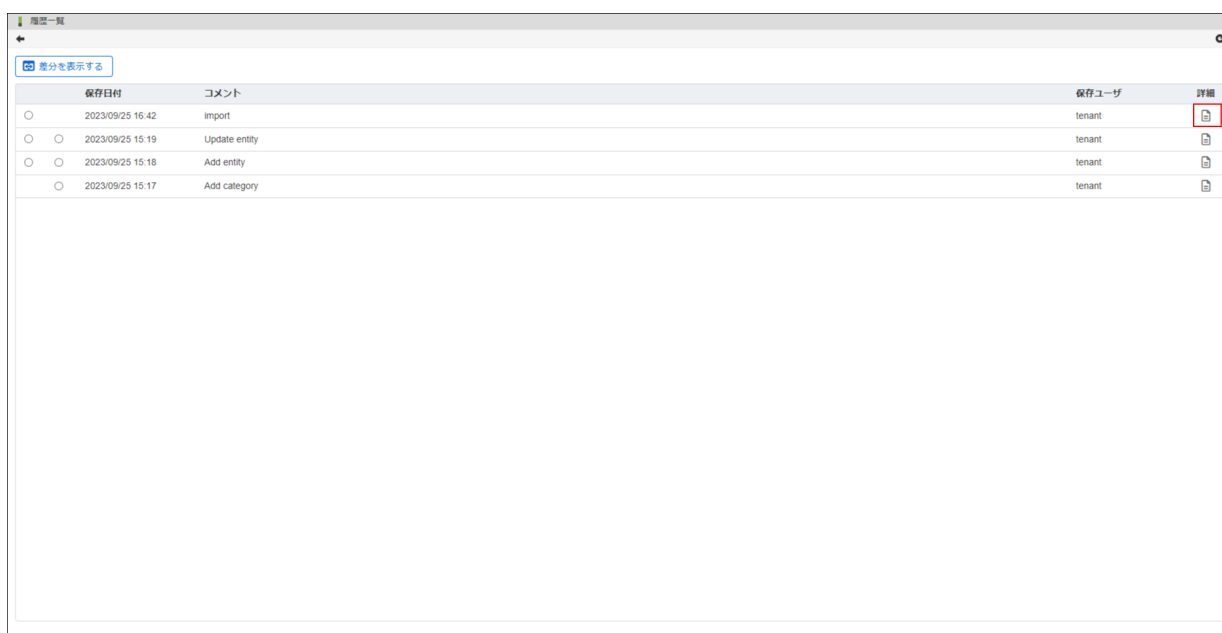
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 履歴一覧で確認したい履歴の「詳細」アイコンをクリックします。

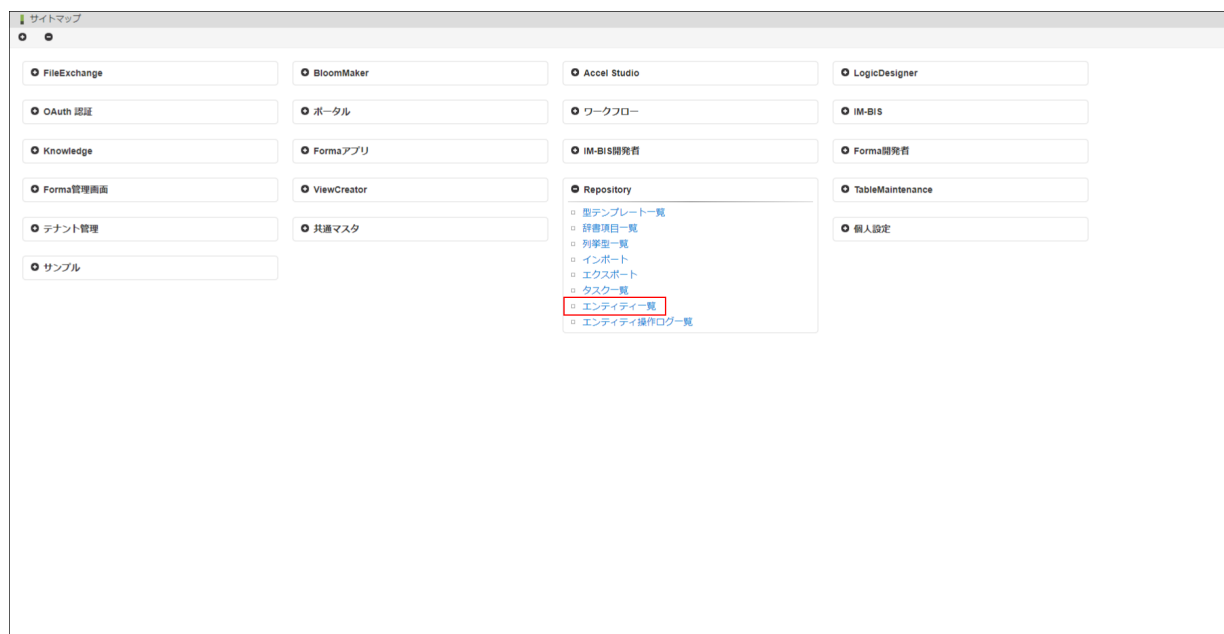


4. ツリー形式の履歴詳細が表示されます。



履歴詳細をリスト形式で表示する

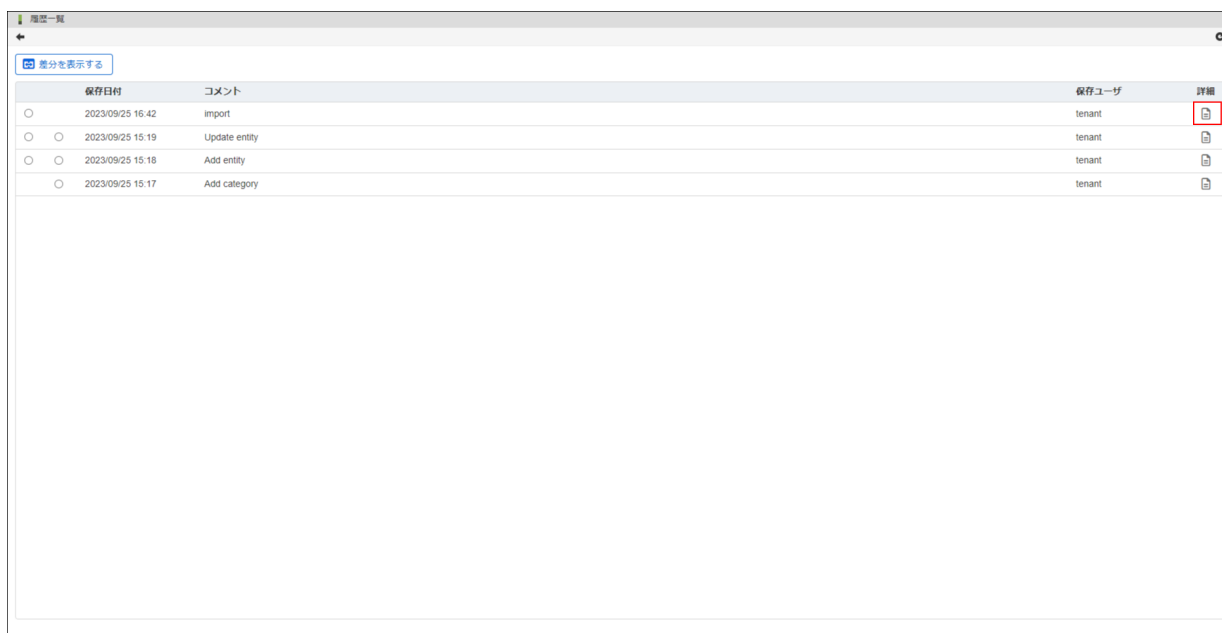
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



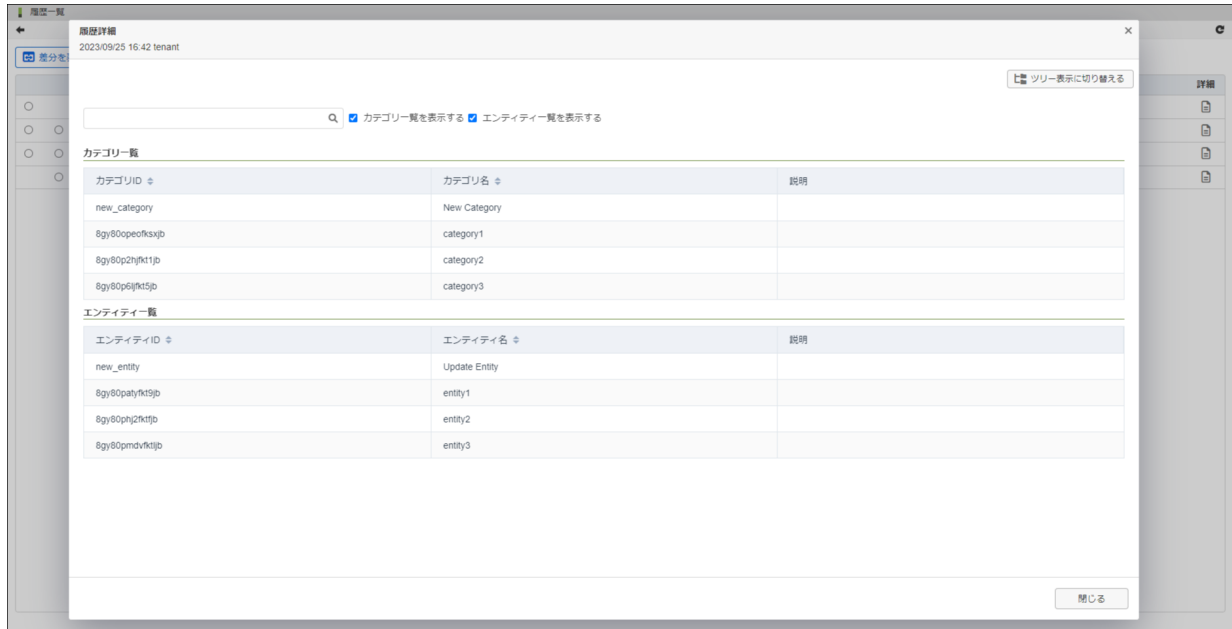
3. 履歴一覧で確認したい履歴の「詳細」アイコンをクリックします。



4. 履歴詳細の「リスト表示に切り替える」ボタンをクリックします。



5. リスト形式の履歴詳細が表示されます。



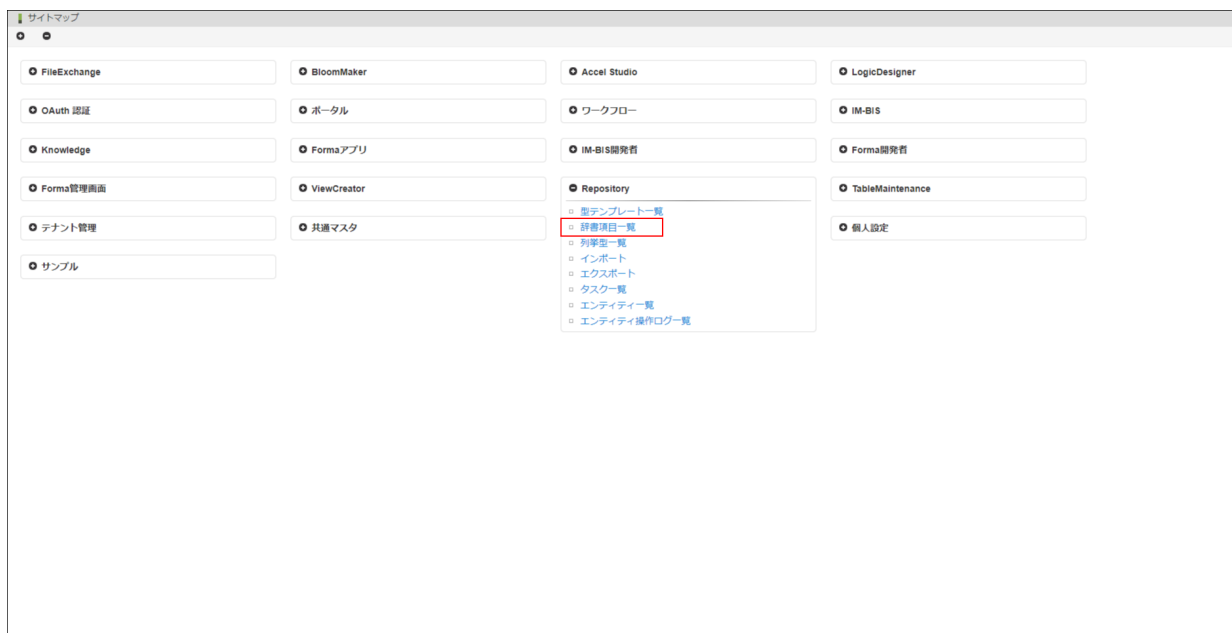
差分

差分を扱う画面の機能について説明します。

辞書項目一覧

特定の履歴の差分を表示する

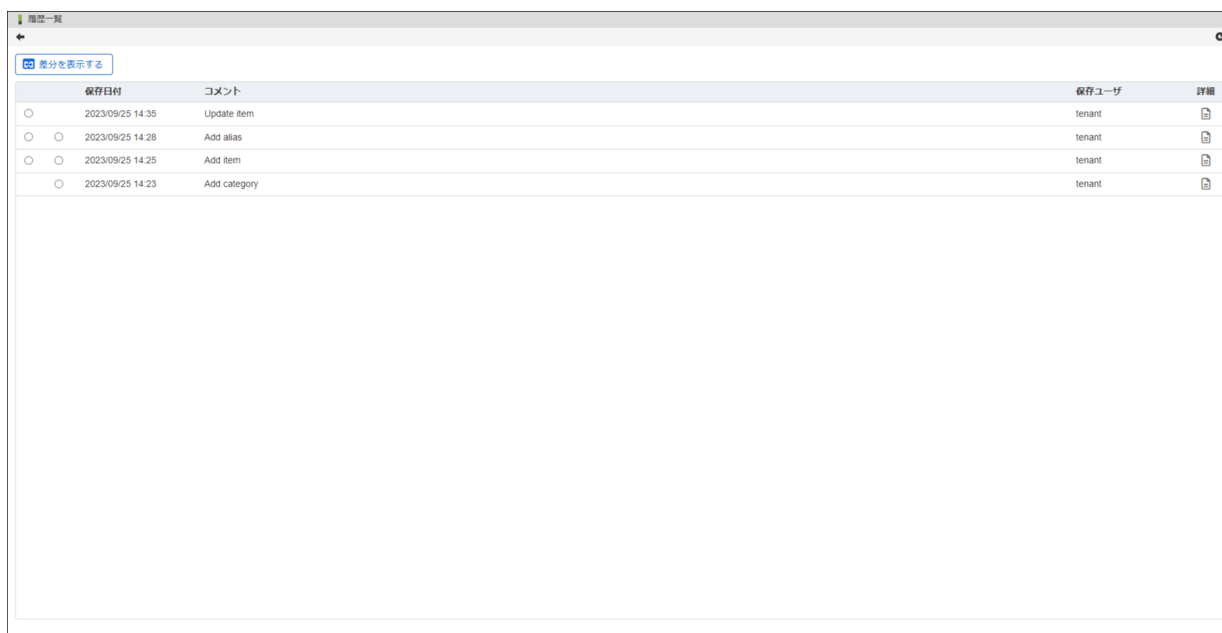
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



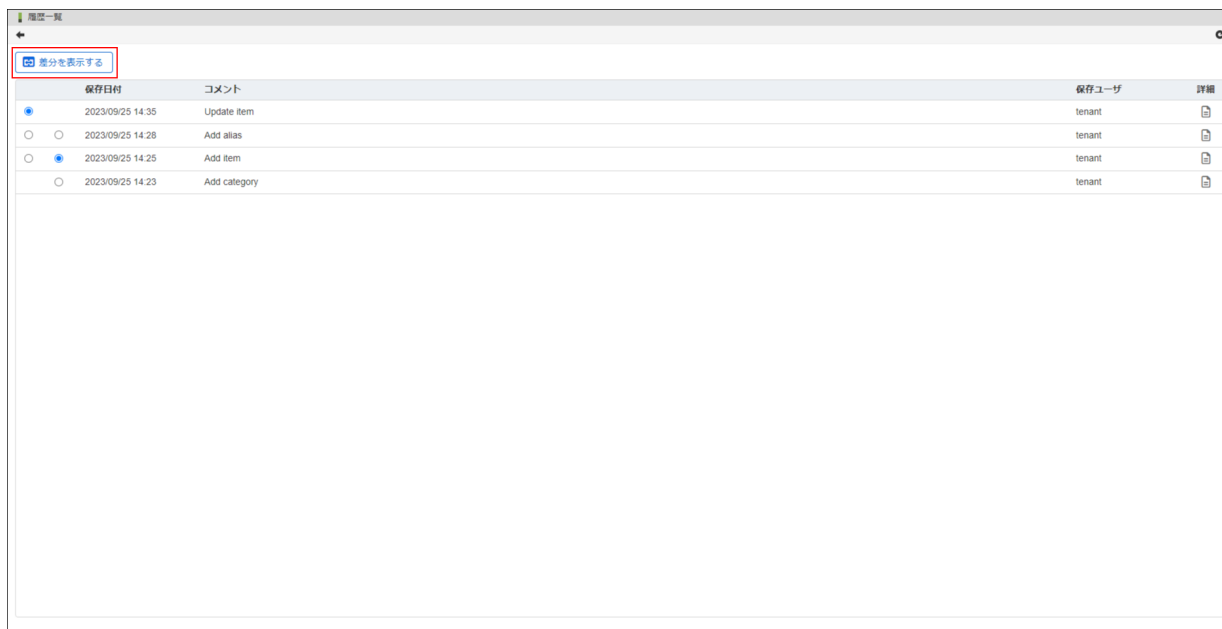
2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



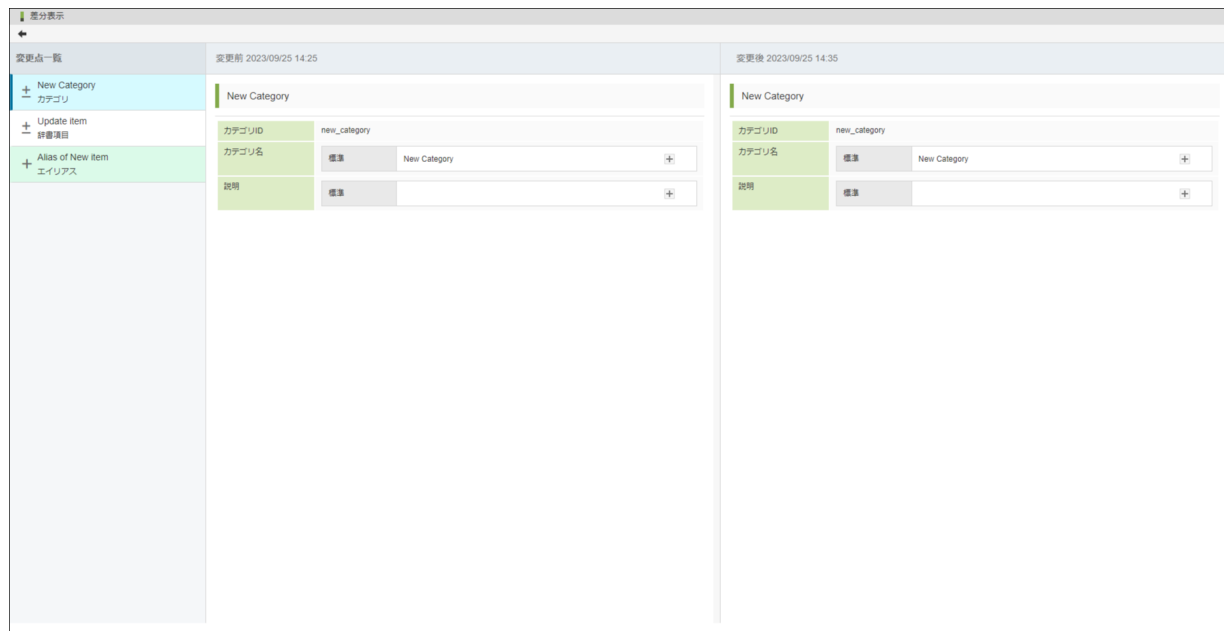
3. 履歴画面が表示されます。



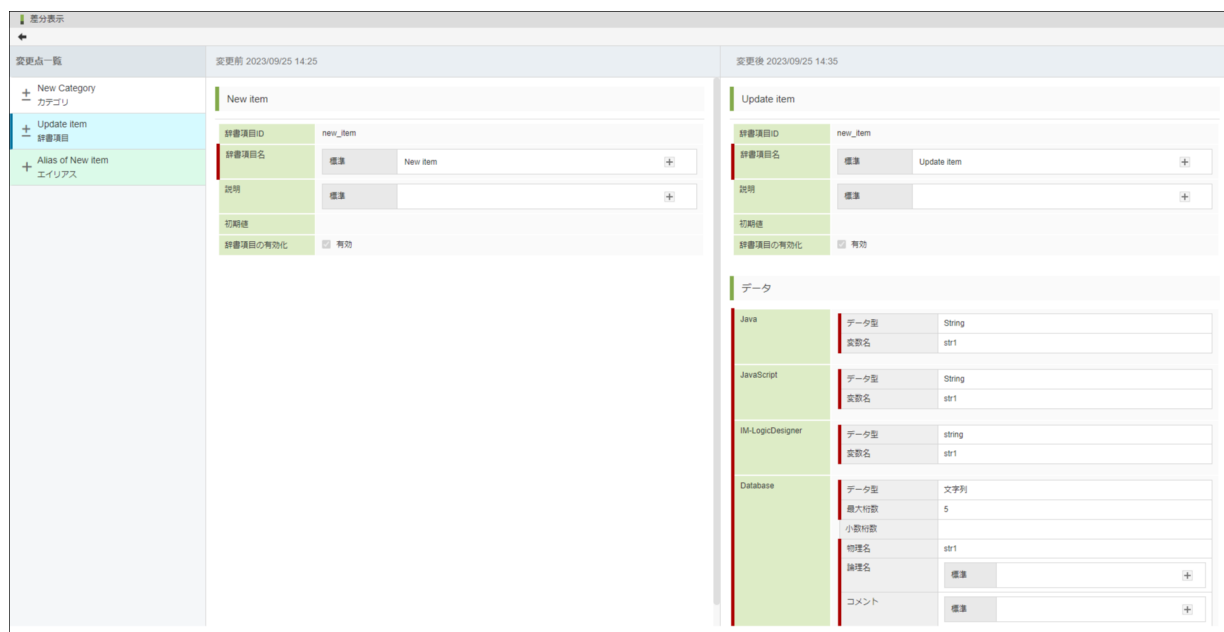
4. 差分を表示する二つの履歴を選択し、「差分を表示する」ボタンをクリックします。



5. 差分画面が表示されます。



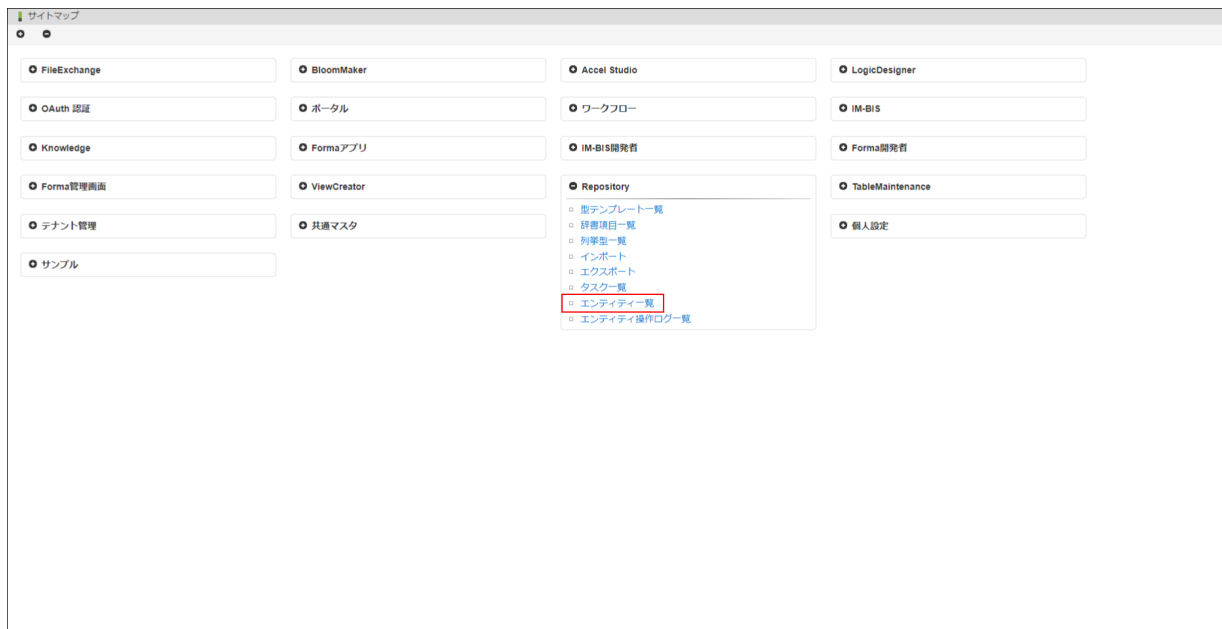
6. 変更点一覧から確認したい差分を選択します。



エンティティ一覧

特定の履歴の差分を表示する

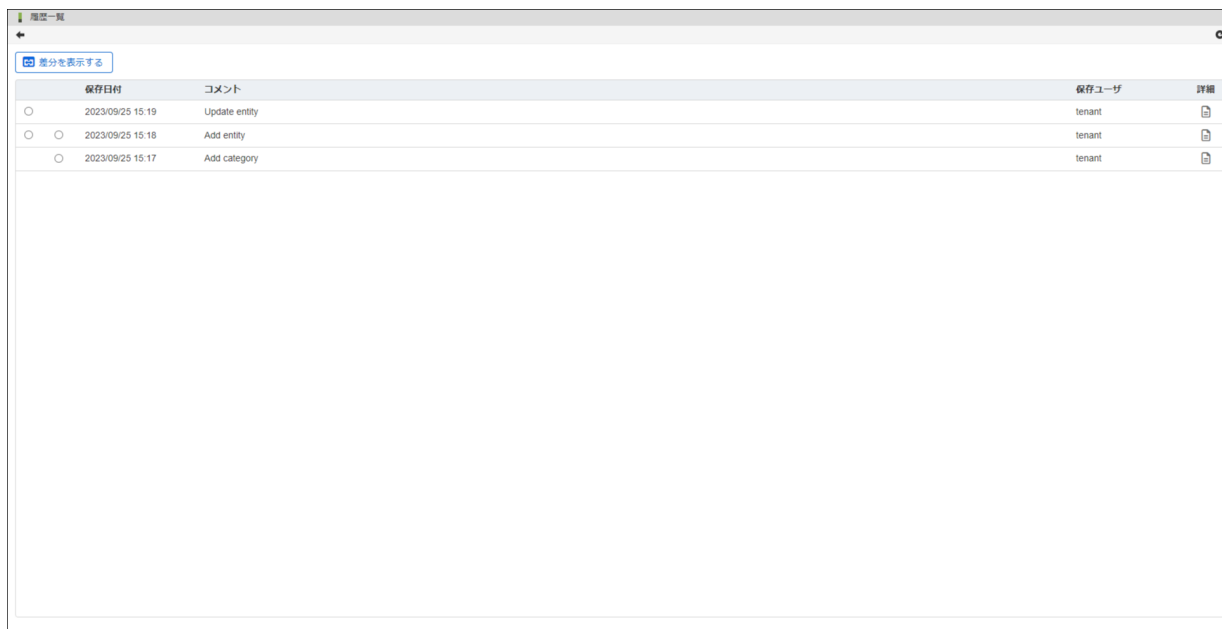
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「エンティティ一覧」をクリックし、「エンティティ一覧」画面を表示します。



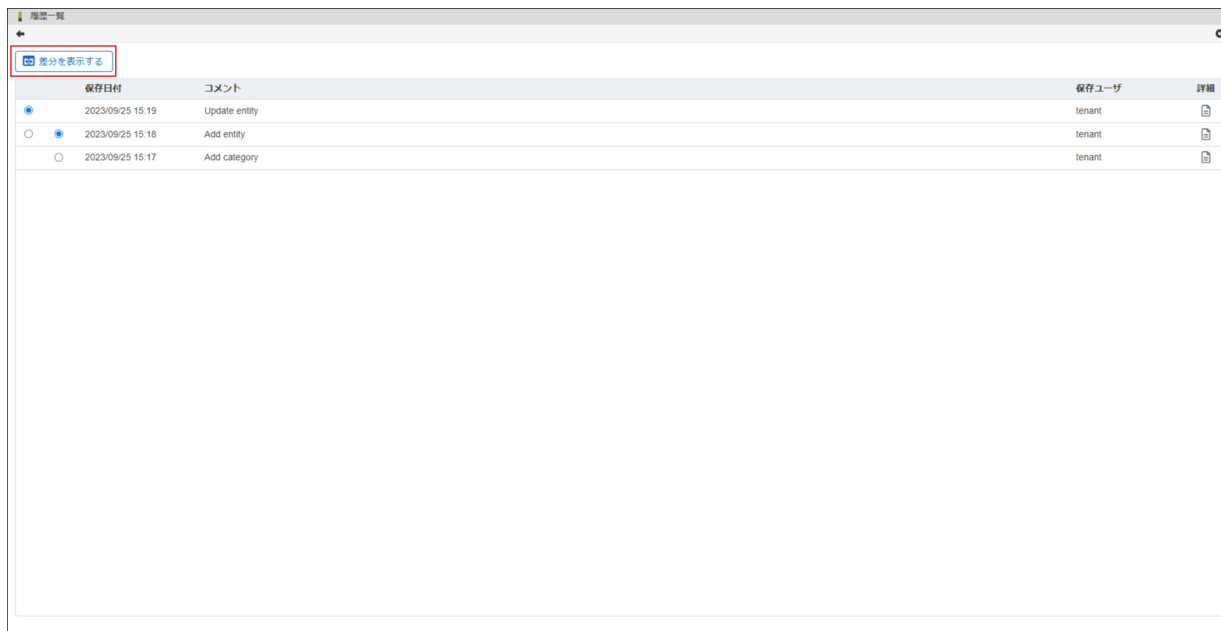
2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



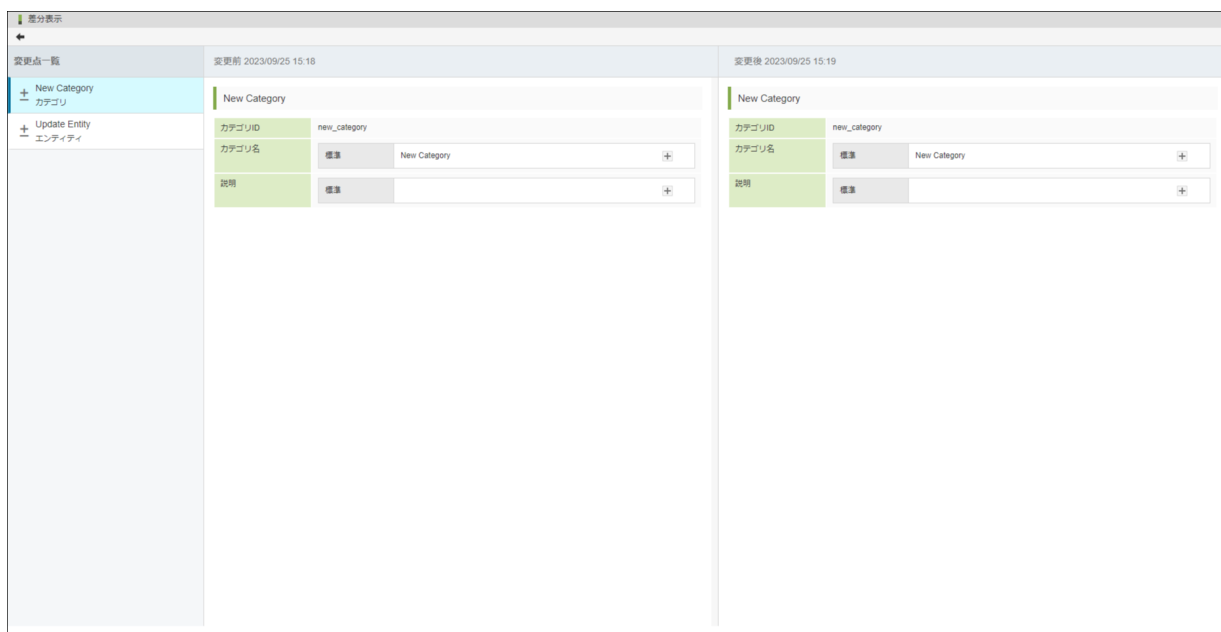
3. 履歴画面が表示されます。



4. 差分を表示する二つの履歴を選択し、「差分を表示する」ボタンをクリックします。



5. 差分画面が表示されます。



6. 変更点一覧から確認したい差分を選択します。

差分表示
変更前 2023/09/25 15:18
変更後 2023/09/25 15:19

- ± New Category
カテゴリ
- ± Update Entity
エンティティ

エンティティ
関連一覧
データ定義

エンティティID new_entity

エンティティ名

説明

エンティティの有効化 有効

主キー	必須	ID	エンティティ項目
エンティティ項目が存在しません。			

エンティティ
関連一覧
データ定義

エンティティID new_entity

エンティティ名

説明

エンティティの有効化 有効

主キー	必須	ID	エンティティ項目
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	new_item	Update item

ここではIM-Repositoryでインポート/エクスポートを扱う画面の機能について説明します。

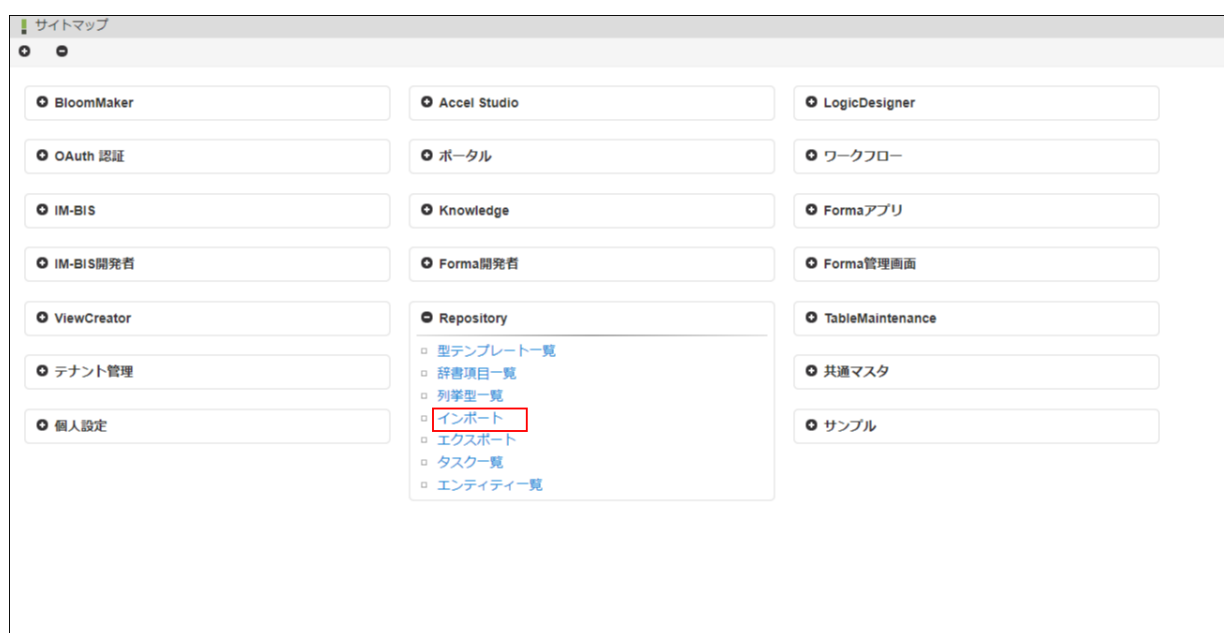
インポートを行う

この画面では辞書と列挙のインポートを行うことができます。

- 辞書のインポートを行う
- 列挙のインポートを行う
- エンティティのインポートを行う

辞書のインポートを行う

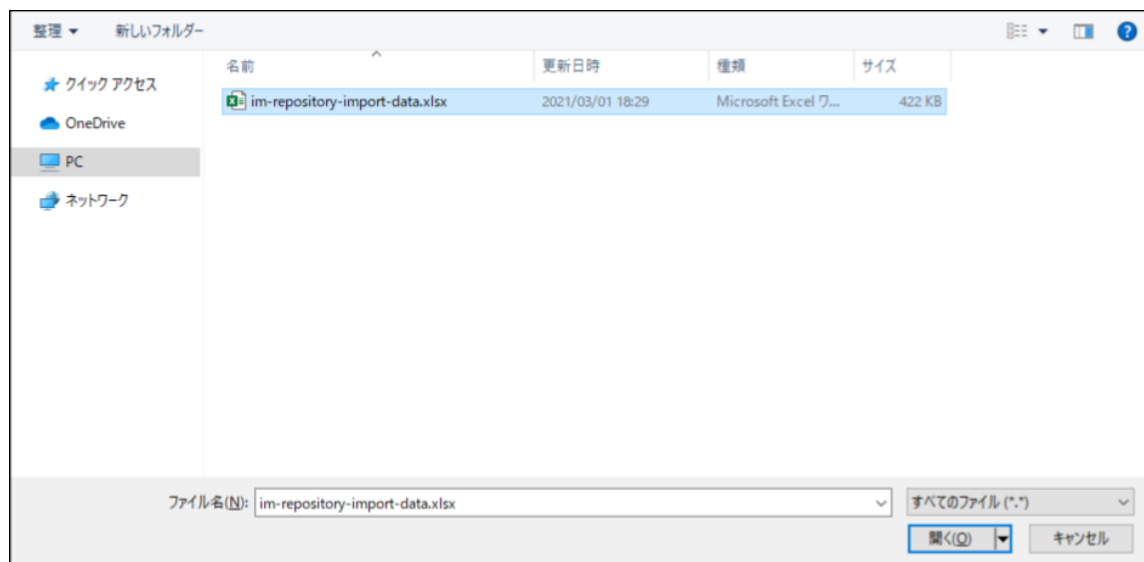
1. 「サイトマップ」→「Repository」→「インポート」をクリックし、「インポート」画面を表示します。



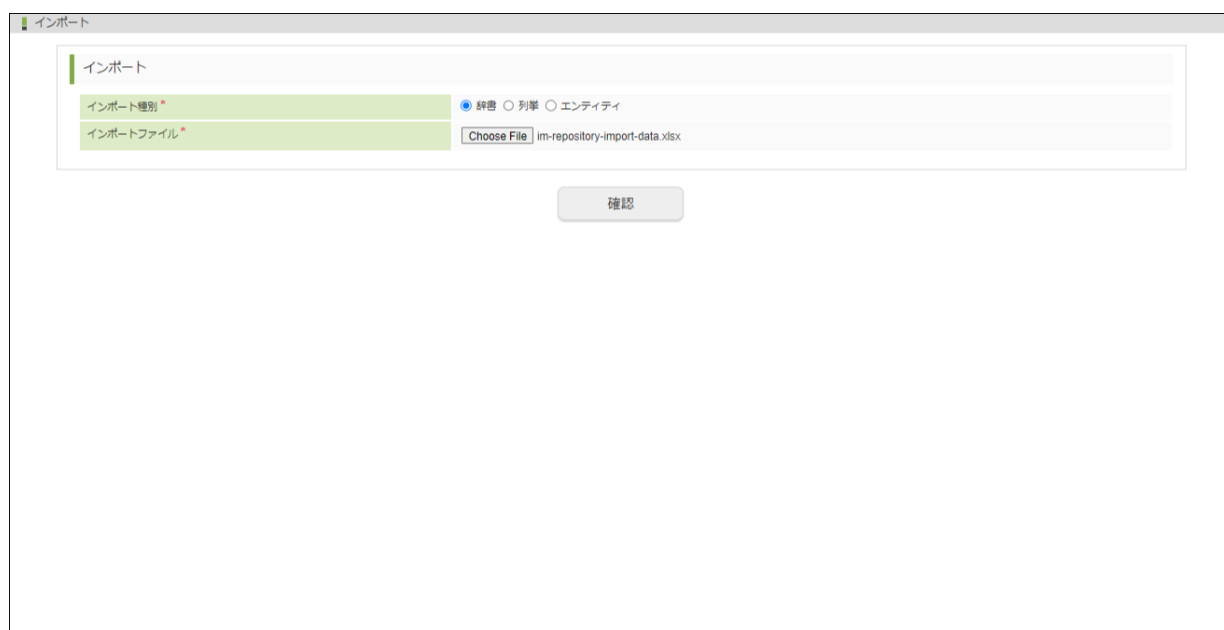
2. インポート種別で「辞書」を選択した上で、「ファイルを選択」ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログを開きます。



3. ダイアログからインポートするファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



4. 「確認」ボタンをクリックし、「インポート確認」画面を開きます。



5. 「実行」ボタンをクリックし、インポート内容が反映された「辞書項目一覧」画面が表示されます。



i コラム

intra-mart Accel Platformが利用している様々な用語（辞書データ）は、プロダクトファイルダウンロードサイトから入手し、取り込むことが可能です。

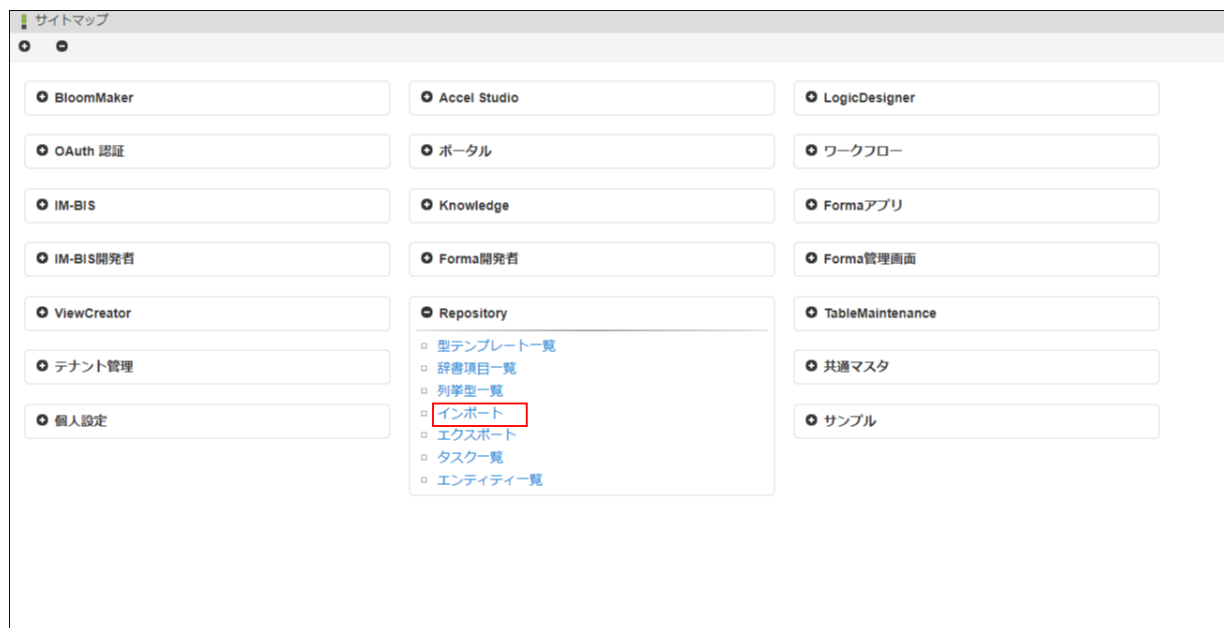
<https://www.intra-mart.jp/download/library/>

i コラム

インポート内容は **影響範囲一覧の確認** 後に、 **影響範囲の適用** を行うことにより保存されます。

列挙のインポートを行う

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「インポート」をクリックし、「インポート」画面を表示します。

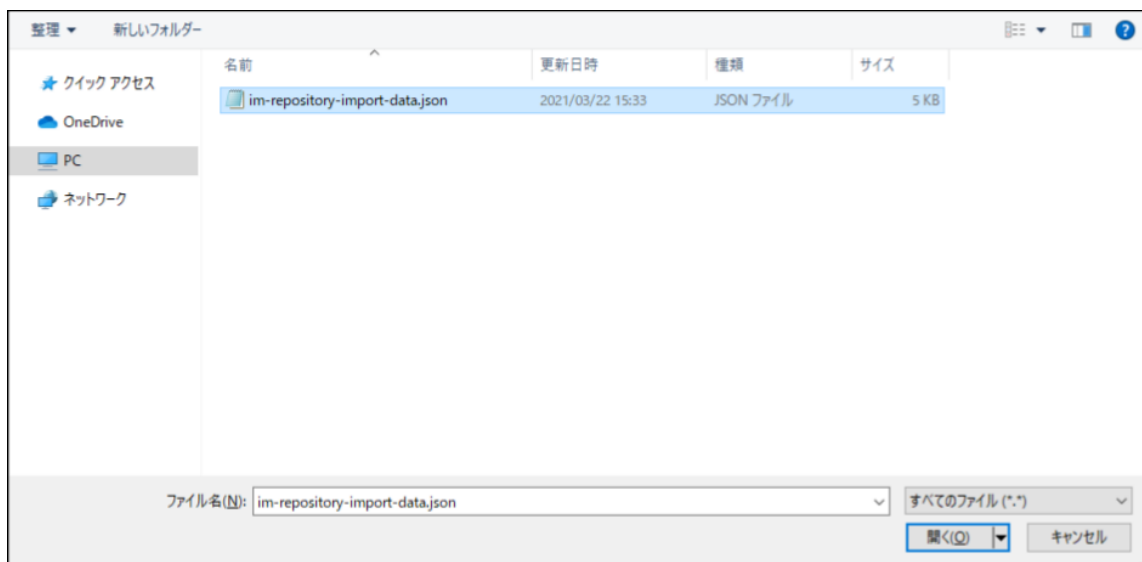


2. インポート種別で「列挙」を選択した上で、「ファイルを選択」ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログを開きます。

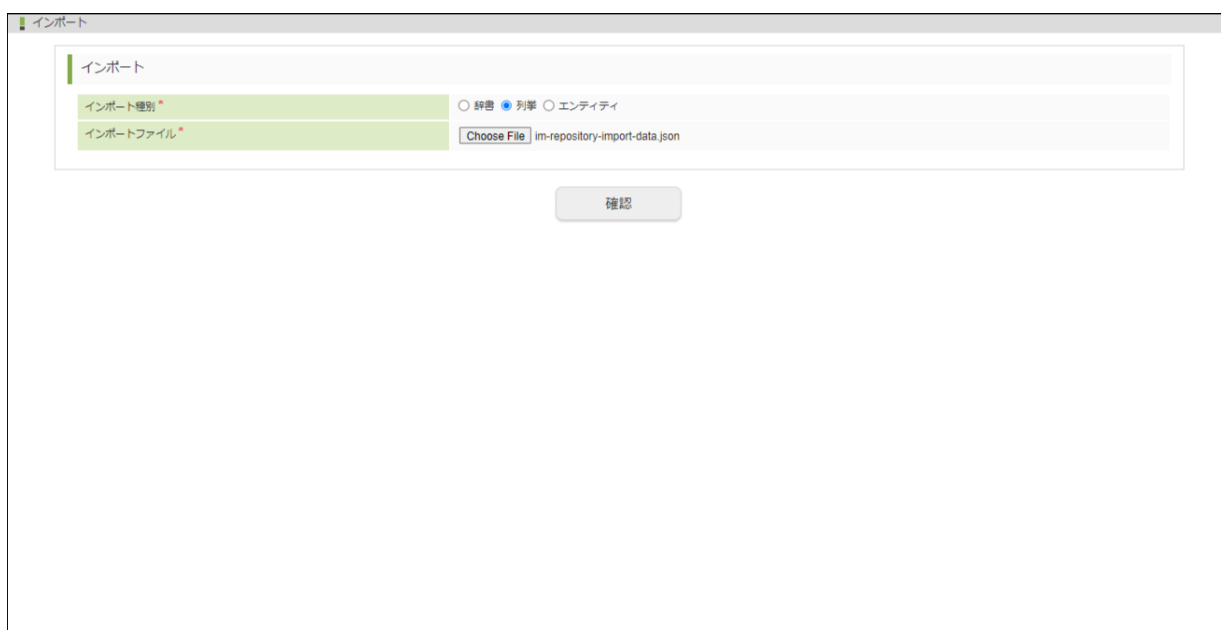
**i** コラム

選択できるのは JSON 形式のファイルだけです。フォーマットの詳細は **ファイルフォーマット (列挙)** を参照してください。

1. ダイアログからインポートするファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



2. 「確認」ボタンをクリックし、「影響範囲」画面を開きます。



3. コメントと、必要であれば説明を入力し、「適用」ボタンをクリックします。「適用確認」ダイアログで「決定」ボタンをクリックし、「タスク一覧」画面が表示されます。

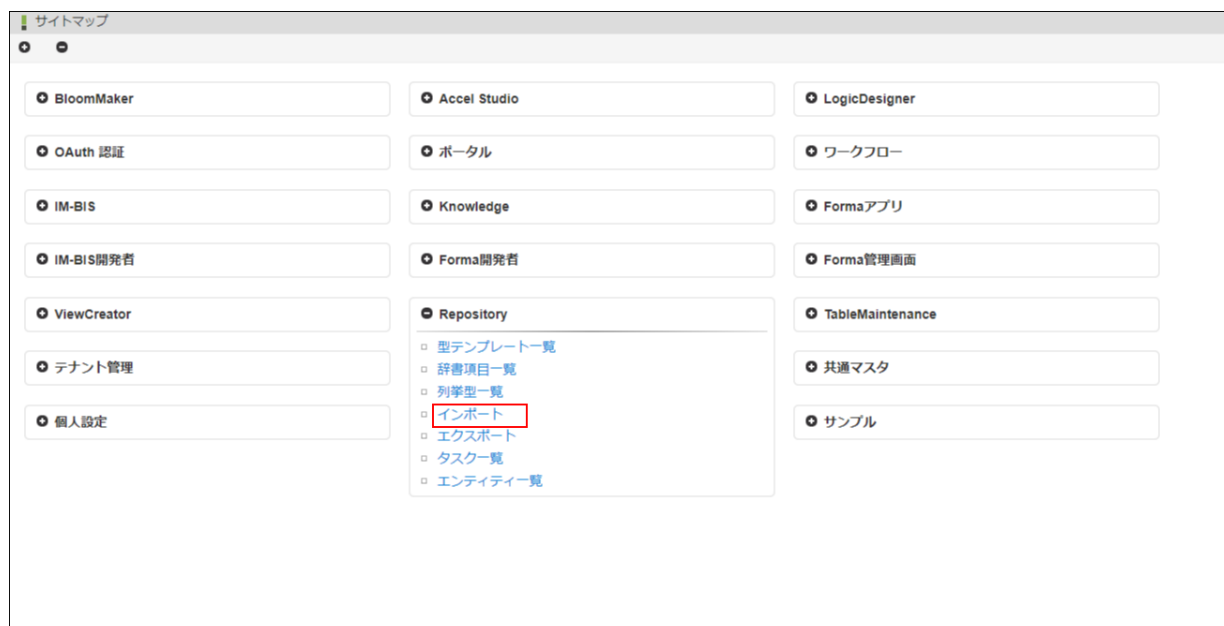


4. エラーなく「タスク一覧」画面が表示されれば列挙のインポートは成功です。



エンティティのインポートを行う

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「インポート」をクリックし、「インポート」画面を表示します。



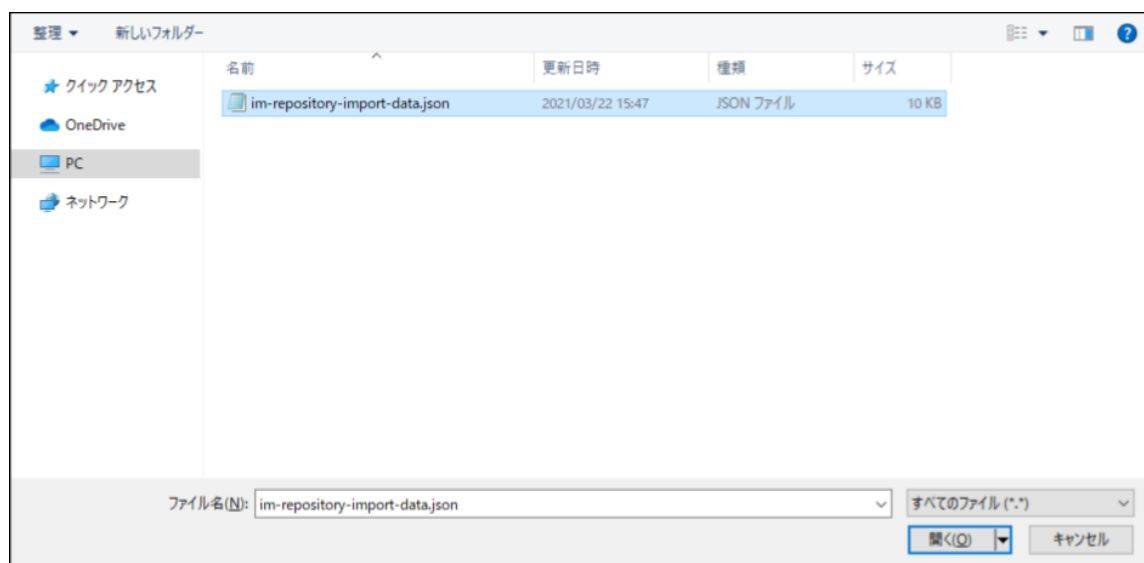
2. インポート種別で「エンティティ」を選択した上で、「ファイルを選択」ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログを開きます。



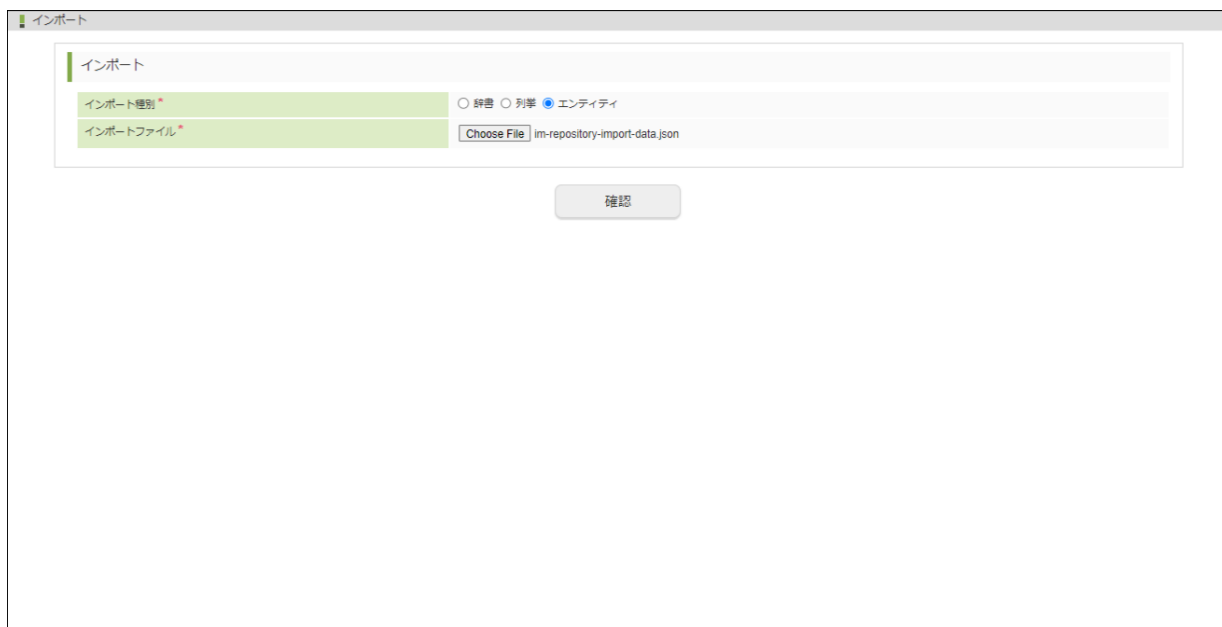
コラム

選択できるのは JSON 形式のファイルだけです。フォーマットの詳細は [ファイルフォーマット \(エンティティ\)](#) を参照してください。

1. ダイアログからインポートするファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



2. 「確認」ボタンをクリックし、「影響範囲」画面を開きます。



3. コメントと、必要であれば説明を入力し、「適用」ボタンをクリックします。「適用確認」ダイアログで「決定」ボタンをクリックし、「タスク一覧」画面が表示されます。



4. エラーなく「タスク一覧」画面が表示されればエンティティのインポートは成功です。



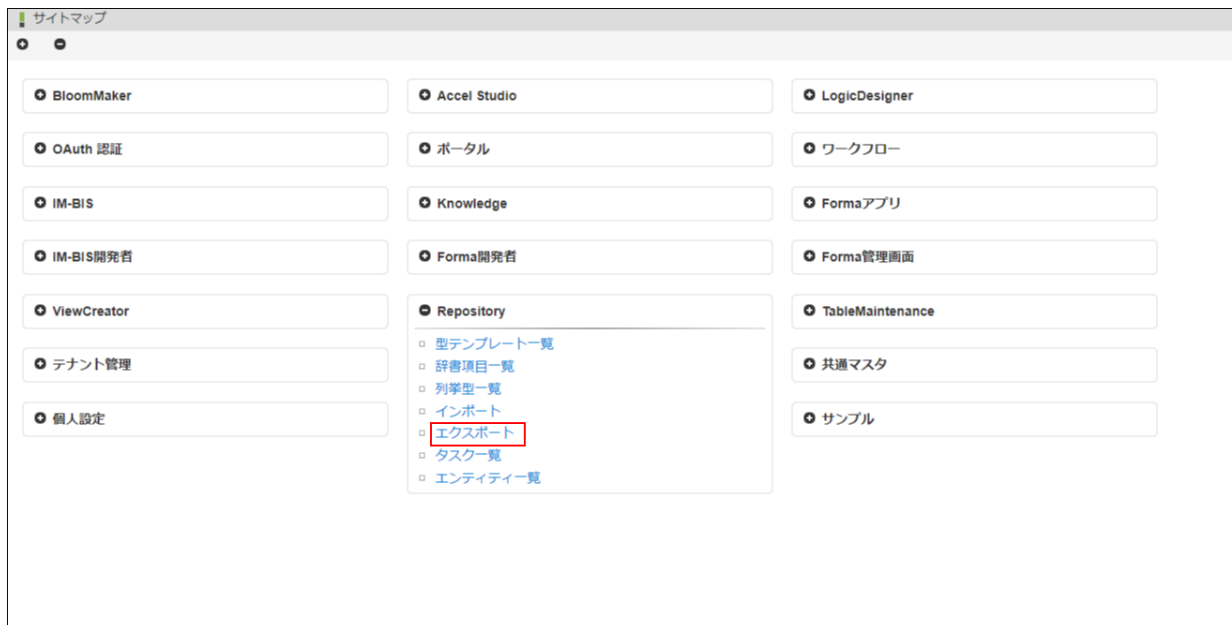
この画面では辞書と列挙のエクスポートを行うことができます。

- 辞書のエクスポートを行う
 - 現バージョンの全項目をエクスポートする
 - 履歴番号を指定してエクスポートする
- 列挙のエクスポートを行う
- エンティティのエクスポートを行う

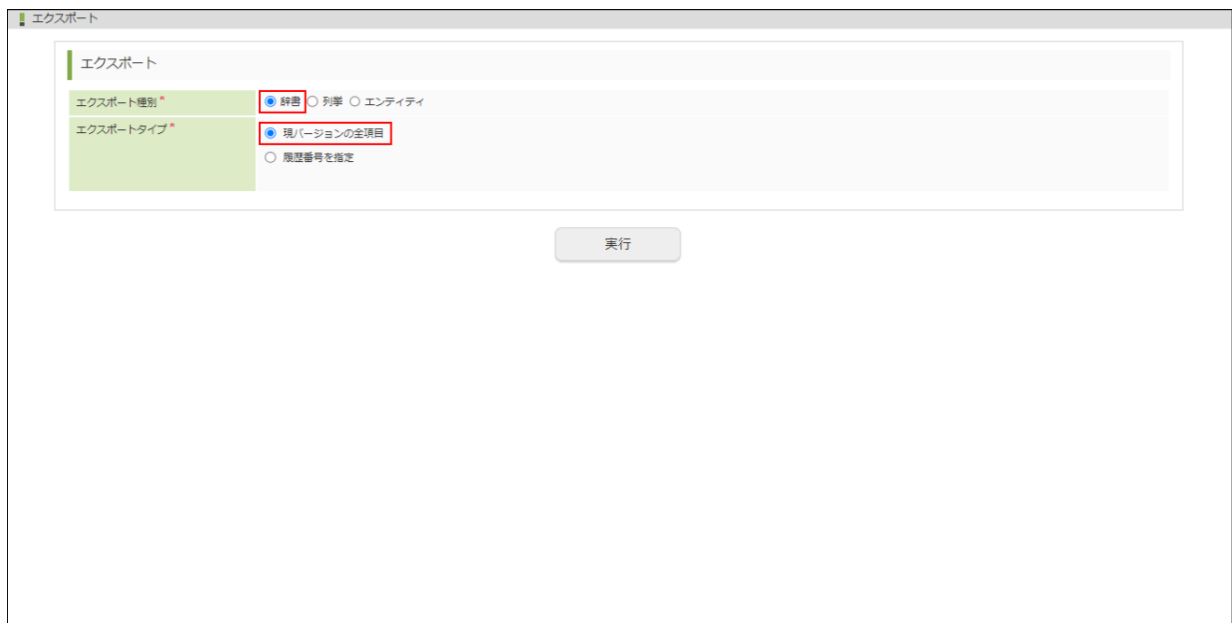
辞書のエクスポートを行う

現バージョンの全項目をエクスポートする

1. 「サイトマップ」→「Repository」→「エクスポート」をクリックし、「エクスポート」画面を表示します。



2. エクスポート種別のラジオボタン「辞書」と、エクスポートタイプのラジオボタン「現バージョンの全項目」にチェックが入っていることを確認します。



3. 「実行」ボタンをクリックし、エクスポートを実行します。

エクスポート

エクスポート種別 * 辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ * 現バージョンの全項目 履歴番号を指定

実行

4. 「im-repository-export-data.xlsx」ファイルがダウンロードされます。

履歴番号を指定してエクスポートする

1. エクスポート種別のラジオボタン「辞書」と、エクスポートタイプのラジオボタン「履歴番号を指定」をクリックし、履歴番号の入力欄を表示します。

エクスポート

エクスポート種別 * 辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ * 現バージョンの全項目 履歴番号を指定

実行

2. エクスポートしたい履歴の区間の履歴番号を入力します。

エクスポート

エクスポート種別 * 辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ * 現バージョンの全項目

履歴番号を指定 履歴番号 : 6 ~ 8

実行

3. 「実行」ボタンをクリックし、エクスポートを実行します。

エクスポート

エクスポート種別 * 辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ * 現バージョンの全項目

履歴番号を指定 履歴番号 : 6 ~ 8

実行

4. 「im-repository-export-data.xlsx」ファイルがダウンロードされます。

列挙のエクスポートを行う

1. エクスポート種別のラジオボタン「列挙」にチェックが入っていることを確認します。

エクスポート

エクスポート種別*

辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ*

現バージョンの全項目

履歴番号を指定

実行



コラム

列挙は辞書とは異なりバージョンの概念が存在しません。そのためエクスポートタイプを選択することでエクスポートする列挙のバージョンを指定することはできません。

- 「実行」ボタンをクリックし、エクスポートを実行します。

エクスポート

エクスポート種別*

辞書 列挙 エンティティ

エクスポートタイプ*

現バージョンの全項目

履歴番号を指定

実行

- 「im-repository-export-enumeration-data.json」ファイルがダウンロードされます。

エンティティのエクスポートを行う

- エクスポート種別のラジオボタン「エンティティ」にチェックが入っていることを確認します。



コラム

エンティティは辞書とは異なりバージョンの概念が存在しません。そのためエクスポートタイプを選択することでエクスポートするエンティティのバージョンを指定することはできません。

2. 「実行」ボタンをクリックし、エクスポートを実行します。

3. 「im-repository-export-entityset-data.json」ファイルがダウンロードされます。

ファイルフォーマット（列挙）

列挙のインポートファイルのファイルフォーマットを説明します。

- 列挙のインポートファイルは JSON 形式です。
- 列挙カテゴリ、列挙を配列の要素として記述します。
- 列挙カテゴリには以下のキーを指定します。
 - type
 - “CATEGORY” を指定します。
 - identify
 - 列挙カテゴリIDを指定します。
 - sortNumber

- ソート順を数値で指定します。
- name
 - 国際化項目
- description
 - 国際化項目
- children
 - 列挙カテゴリ、列挙を配列の要素として記述します。
- 列挙には以下のキーを指定します。
 - type
 - “ENUMERATION” を指定します。
 - identify
 - 列挙IDを指定します。
 - parentId
 - 親カテゴリIDを指定します。
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
 - name
 - 国際化項目
 - description
 - 国際化項目
 - enumerationItems
 - 列挙項目を配列の要素として記述します。
 - enabled
 - この列挙が有効か無効化を true または false で指定します。
- 列挙項目には以下のキーを指定します。
 - label
 - 国際化項目
 - value
 - 列挙項目の値を指定します。
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
- 国際化項目には以下のキーを指定します。
 - default
 - デフォルトの値を指定します。
 - ロケール名
 - ロケール名に該当する値を指定します。

ファイルの例


```
[
  {
    "type": "CATEGORY",
    "identify": "c1",
    "sortNumber": 2,
    "name": {
      "default": "bar"
    },
    "description": {
      "default": null
    },
    "children": [
      {
        "type": "ENUMERATION",
        "identify": "e1",
        "parentId": "c1",
        "sortNumber": 0,
        "name": {
          "default": "Sample Enumeration",
          "ja": "サンプル列挙名",
          "en": "Sample Enumeration Name",
          "zh_CN": "Sample Enumeration Name zh_CN"
        },
        "description": {
          "default": "This is a sample enumeration.",
          "ja": "これはサンプルの列挙です。",
          "en": "This is a sample enumeration.",
          "zh_CN": "This is a sample enumeration zh_CN."
        },
        "enumerationItems": [
          {
            "label": {
              "default": "Foo",
              "ja": "ふー",
              "en": "Foo",
              "zh_CN": "fff"
            },
            "value": "foo",
            "sortNumber": 0
          },
          {
            "label": {
              "default": "Bar"
            },
            "value": "bar",
            "sortNumber": 1
          },
          {
            "label": {
              "default": "Baz",
              "ja": "ばず",
              "en": "Baz",
              "zh_CN": "zzz"
            },
            "value": "bar",
            "sortNumber": 2
          }
        ],
        "enabled": true
      }
    ]
  }
]
```

エンティティのインポートファイルのファイルフォーマットを説明します。

- エンティティのインポートファイルは JSON 形式です。
- エンティティカテゴリ、エンティティ、関連情報、データ定義、表示セットを配列の要素として記述します。
- エンティティカテゴリには以下のキーを指定します。
 - parentId
 - 親カテゴリIDを指定します。
 - categoryId
 - エンティティカテゴリIDを指定します。
 - sortNumber
 - ソート番号を数値で指定します。
 - defaultName
 - 標準のカテゴリ名称を指定します。
 - defaultDescription
 - 備考（日本語）を指定します。
 - description
 - 標準の備考を指定します。
 - names
 - 国際化項目
 - descriptions
 - 国際化項目
 - reserved
 - 予約状態をtrue または falseで指定します。エンティティでは常に false です。
 - type
 - “entityset-entity-category” を指定します。
- エンティティには以下のキーを指定します。
 - id
 - エンティティIDを指定します。
 - parentId
 - 親カテゴリIDを指定します。
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
 - defaultName
 - エンティティ名（標準）を指定します。
 - defaultDescription
 - 備考（標準）を指定します。
 - name
 - エンティティ名（日本語）のを指定します。
 - description
 - 備考（日本語）を指定します。
 - names
 - 国際化項目
 - descriptions
 - 国際化項目
 - items
 - エンティティ項目を配列の要素として記述します。
 - enabled
 - このエンティティが有効か無効化を true または false で指定します。
 - type

- “entityset-entity-entity” を指定します。
- エンティティ項目には以下のキーを指定します。
 - id
 - エンティティ項目IDを指定します。
 - type
 - エンティティ項目の種別を指定します。
 - エンティティ項目が辞書項目の場合は “dictionary-item” を指定します。
 - エンティティ項目がエイリアスの場合は “dictionary-alias” を指定します。
 - エンティティ項目がサブエンティティの場合は “entityset-entity” を指定します。
 - primaryKey
 - このエンティティ項目がPK項目かどうかを true または false で指定します。
 - required
 - このエンティティ項目が必須項目かどうかを true または false で指定します。
 - array
 - このエンティティ項目が配列かどうかを true または false で指定します。
 - エンティティとサブエンティティの多重度が “1 : n” の場合は true を指定します。
 - エンティティとサブエンティティの多重度が “1 : 1” の場合は false を指定します。
 - variableName
 - エンティティ項目がサブエンティティとして定義されている場合、サブエンティティ変数名を指定します。
 - relationId
 - エンティティ項目がサブエンティティとして定義されている場合、関連IDを指定します。
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
- 関連情報には以下のキーを指定します。
 - relationId
 - 関連IDを指定します。
 - sourceEntityId
 - 関連元エンティティIDを指定します。
 - targetEntityId
 - 関連先エンティティIDを指定します。
 - multiplicity
 - この関連情報の多重度を指定します。
 - 多重度が “1 : 1” の場合は “one-to-one” を指定します。
 - 多重度が “1 : n” の場合は “one-to-many” を指定します。
 - 多重度が “n : 1” の場合は “many-to-one” を指定します。
 - 多重度が “n : n” の場合は “many-to-many” を指定します。
 - comments
 - コメントを指定します。
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
 - items
 - 関連項目を配列の要素として記述します。
- 関連項目には以下のキーを指定します。
 - relationId
 - 関連IDを指定します。
 - sourceId
 - 関連元エンティティ項目IDを指定します。
 - sourceType
 - 関連元エンティティ項目の種別を指定します。

- 関連元エンティティ項目が辞書項目の場合は“dictionary-item”を指定します。
- 関連元エンティティ項目がエイリアスの場合は“dictionary-alias”を指定します。
- targetId
 - 関連先エンティティ項目IDを指定します。
- targetType
 - 関連先エンティティ項目の種別を指定します。
 - 関連先エンティティ項目が辞書項目の場合は“dictionary-item”を指定します。
 - 関連先エンティティ項目がエイリアスの場合は“dictionary-alias”を指定します。
- sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
- データ定義には以下のキーを指定します。
 - entityId
 - エンティティIDを指定します。
 - databaseKind
 - データベース種別を指定します。
 - データベース種別がテナントデータベースの場合は“tenant”を指定します。
 - データベース種別がシェアードデータベースの場合は“shared”を指定します。
 - connectionId
 - シェアードデータベースの場合に接続IDを指定します。
 - tableName
 - テーブル名を指定します。
 - enableChangeLog
 - ログ出力設定を true または false で指定します。（ true : 出力する、false : 出力しない）
 - disableDifferenceTable
 - 差分表示の無効化設定を true または false で指定します。（ true : 無効化する、false : 無効化しない）
 - entitySearchDefinitions
 - 検索条件を指定します。
 - targetId
 - 検索条件となるエンティティ項目IDを指定します。
 - targetType
 - 検索条件となるエンティティ項目の種別を指定します。
 - エンティティ項目が辞書項目の場合は“dictionary-item”を指定します。
 - エンティティ項目がエイリアスの場合は“dictionary-alias”を指定します。
 - searchType
 - エンティティ項目のデータベースのデータ型に応じた検索条件を指定します。
 - 文字列型
 - 完全一致：“exact-match”
 - 前方一致：“forward-match”
 - 後方一致：“backward-match”
 - 部分一致：“partial-match”
 - 複数条件：“multiple-conditions”
 - 長い文字列型
 - 前方一致：“forward-match”
 - 後方一致：“backward-match”
 - 部分一致：“partial-match”
 - 数値型
 - 完全一致：“exact-match”
 - 以下：“less-than”
 - 以上：“greater-than”

- 範囲指定：“range”
 - 日付型、日時型、時刻型
 - 完全一致：“exact-match”
 - 以前：“before”
 - 以降：“after”
 - 範囲指定：“range”
 - 真偽型
 - 完全一致：“exact-match”
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
- externalReferenceDefinitions
 - 参照項目設定を指定します。参照先「referenceType」の設定値に応じて、一部の指定項目が異なります。
 - referenceType
 - 参照先を指定します。
 - 参照先がエンティティの場合は“entity”を指定します。
 - 参照先がテーブルの場合は“table”を指定します。
 - 参照先が共通マスタの場合は“im_master”を指定します。
 - referenceEntryId [参照先：エンティティ]
 - 参照先のエンティティIDを指定します。
 - referenceTableName [参照先：テーブル]
 - 参照先のテーブル名を指定します。
 - referenceMaster [参照先：共通マスタ]
 - 参照先の共通マスタを指定します。
 - ユーザ：“imm_user”
 - 会社：“imm_company”
 - 組織：“imm_department”
 - 主所属組織：“imm_department_ath”
 - items
 - 参照項目の設定をするエンティティ項目を指定します。
 - itemId
 - 参照元のエンティティ項目IDを指定します。
 - itemType
 - 参照元のエンティティ項目の種別を指定します。
 - エンティティ項目が辞書項目の場合は“dictionary-item”を指定します。
 - エンティティ項目がエイリアスの場合は“dictionary-alias”を指定します。
 - referenceEntryId [参照先：エンティティ]
 - 参照先のエンティティ項目IDを指定します。
 - referenceEntryType [参照先：エンティティ]
 - 参照先のエンティティ項目の種別を指定します。
 - エンティティ項目が辞書項目の場合は“dictionary-item”を指定します。
 - エンティティ項目がエイリアスの場合は“dictionary-alias”を指定します。
 - referenceColumnName [参照先：テーブル]
 - 参照先のテーブルのカラム名を指定します。
 - referenceMasterItem [参照先：共通マスタ]
 - 参照先共通マスタの項目名を指定します。
 - ユーザ
 - ユーザ名：user_name
 - フリガナ：user_search_name
 - 性別：sex

- 国コード : country_cd
 - 郵便番号 : zip_code
 - 住所 1 : address1
 - 住所 2 : address2
 - 住所 3 : address3
 - 電話番号 : telephone_number
 - 内線番号 : extension_number
 - FAX番号 : fax_number
 - 内線FAX番号 : extension_fax_number
 - 携帯電話番号 : mobile_number
 - メールアドレス 1 : email_address1
 - メールアドレス 2 : email_address2
 - 携帯メールアドレス : mobile_email_address
 - URL : url
 - 備考 : notes
 - 会社、組織、主所属組織
 - 組織名 : department_name
 - 組織略称 : department_short_name
 - 組織検索名 : department_search_name
 - 国コード : country_cd
 - 郵便番号 : zip_code
 - 住所 1 : address1
 - 住所 2 : address2
 - 住所 3 : address3
 - 電話番号 : telephone_number
 - 内線番号 : extension_number
 - FAX番号 : fax_number
 - 内線FAX番号 : extension_fax_number
 - メールアドレス 1 : email_address1
 - メールアドレス 2 : email_address2
 - URL : url
 - 備考 : notes
- sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
- filters
 - 結合条件、または絞り込み条件を指定します。
 - referenceEntryId [参照先 : エンティティ]
 - 条件を設定する参照先のエンティティ項目IDを指定します。
 - referenceEntryType [参照先 : エンティティ]
 - 条件を設定する参照先のエンティティ項目の種別を指定します。
 - エンティティ項目が辞書項目の場合は “dictionary-item” を指定します。
 - エンティティ項目がエイリアスの場合は “dictionary-alias” を指定します。
 - referenceColumnName [参照先 : テーブル]
 - 条件を設定する参照先のテーブルのカラム名を指定します。
 - referenceMasterItem [参照先 : 共通マスタ]
 - 条件を設定する参照先共通マスタの項目名を指定します。
参照するマスタにより filters に設定する条件の項目が決定します。
filters には各マスタのキー項目と共通項目の条件をそれぞれ指定する必要があります。
 - キー項目
 - ユーザ : user_cd

- 会社 : company_cd
- 組織 : company_cd、 department_set_cd、 department_cd
- 主所属組織 : user_cd

itemId / itemType にはデータ型が文字列の参照元エンティティ項目を指定します。

- 共通項目
 - 検索言語 : locale_id
 - 参照元エンティティ項目を検索言語に指定する場合は itemId / itemType にデータ型が文字列の参照元エンティティ項目を指定します。
 - アカウントコンテキストのロケールを指定する場合は valueType に “account-context”、 valueSourceに “locale” を指定します。
 - 検索基準日 : base_date
 - 参照元エンティティ項目を検索言語に指定する場合は itemId / itemType にデータ型が日付または日時の参照元エンティティ項目を指定します。
 - 環境情報の実行日時を指定する場合は valueType に “environment”、 valueSourceに “now” を指定します。
 - 無効化された情報の参照 : delete_flag
 - 論理削除された情報を参照しない場合は、 valueType に “string-constant”、 valueSourceに “0” を指定します。未指定時は、論理削除された情報含めて参照します。
- itemId
 - 結合条件の場合、参照元のエンティティ項目IDを指定します。データ型が長い文字列型 または バイナリ型 のエンティティ項目は指定できません。
- itemType
 - 結合条件の場合、参照元のエンティティ項目の種別を指定します。
 - エンティティ項目が辞書項目の場合は “dictionary-item” を指定します。
 - エンティティ項目がエイリアスの場合は “dictionary-alias” を指定します。
- filterType
 - 条件の抽出方法を指定します。指定可能な抽出方法はデータ型に依存します。参照先がエンティティ、またはテーブルの場合に指定します。
 - 文字列、真偽値
 - 一致 : “equal”
 - 数値、日付、日時、時刻
 - 一致 : “equal” ※参照元・先のデータ型が日付と日時の組み合わせ以外の場合に指定可
 - 未満 : “less-than”
 - 以下 : “less-equal”
 - 以上 : “greater-equal”
 - 超過 : “greater-than”
- valueType
 - 条件の種別を指定します。
 - 結合条件の場合は “entity-item” を指定します。
 - 絞り込み条件の場合
 - 環境情報 : “environment”
 - アカウントコンテキスト : “account-context”
 - 固定値 (文字列) : “string-constant”
- valueSource
 - 絞り込み条件の場合に、条件の種別に応じて条件値を指定します。各値のデータ型は、週の開始曜日は数値、実行日時・ログイン日時は日時、以外は文字列です。

- 環境情報
 - 実行日時：“now”
- アカウントコンテキスト
 - テナントID：“tenant-id”
 - ユーザ種別：“user-type”
 - ユーザコード：“user-cd”
 - 認証状態：“authenticated”
 - ロケール：“locale”
 - エンコーディング：“encoding”
 - タイムゾーン：“time-zone”
 - 週の開始曜日：“first-day-of-week”
 - カレンダーID：“calendar-id”
 - テーマID：“theme-id”
 - ホームURL：“home-url”
 - ログイン署名：“signature”
 - ログイン日時：“login-time”
 - 数値形式のID：“decimal-format-id”
- 固定値（文字列）：任意の値
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
- 表示セットには以下のキーを指定します。
 - displaysetId
 - 表示セットIDを指定します。
 - name
 - 表示セット名を指定します。
 - sortNumber
 - ソート順を数値で指定します。
 - entities
 - 表示セットに設定するエンティティIDを配列の要素として記述します。
- 国際化項目には以下のキーを指定します。
 - ロケールID
 - ロケールIDを指定します。
 - 名称
 - ロケールIDに応じた名称を指定します。

ファイルの例

```
{
  "categories": [
    {
      "parentId": null,
      "reserved": false,
      "sortNumber": 0,
      "categoryId": "category",
      "names": {
        "zh_CN": { "locale": "zh_CN", "value": "chinese name" },
        "en": { "locale": "en", "value": "english name" },
        "ja": { "locale": "ja", "value": "japanese name" }
      },
      "descriptions": {
        "zh_CN": { "locale": "zh_CN", "value": "chinese description" },
        "en": { "locale": "en", "value": "english description" },
        "ja": { "locale": "ja", "value": "japanese description" }
      },
      "defaultName": "カテゴリ",
      "defaultDescription": "備考"
    }
  ]
}
```



```

    "description": "備考",
    "type": "entityset-entity-category",
    "defaultDescription": "備考"
  }
],
"entities": [
  {
    "parentId": "category",
    "reserved": false,
    "sortNumber": 0,
    "id": "entity",
    "names": {
      "zh_CN": { "locale": "zh_CN", "value": "chinese name" },
      "en": { "locale": "en", "value": "english name" },
      "ja": { "locale": "ja", "value": "japanese name" }
    },
    "descriptions": {
      "zh_CN": { "locale": "zh_CN", "value": "chinese description" },
      "en": { "locale": "en", "value": "english description" },
      "ja": { "locale": "ja", "value": "japanese description" }
    },
    "enabled": true,
    "items": [
      {
        "id": "entity-item1",
        "type": "dictionary-item",
        "sortNumber": 0,
        "primaryKey": true,
        "required": true,
        "array": false,
        "variableName": null,
        "relationId": null
      },
      {
        "id": "entity-item2",
        "type": "dictionary-alias",
        "sortNumber": 1,
        "primaryKey": false,
        "required": true,
        "array": false,
        "variableName": null,
        "relationId": null
      }
    ],
    "defaultName": "エンティティ",
    "description": "備考",
    "name": "エンティティ",
    "type": "entityset-entity",
    "defaultDescription": "備考"
  }
],
"relations": [
  {
    "relationId": "relation1",
    "sourceEntityId": "entity",
    "targetEntityId": "entity",
    "multiplicity": "one-to-many",
    "comments": "関連情報のコメント",
    "sortNumber": 0,
    "items": [
      {
        "relationId": "relation1",
        "sourceId": "entity-item1",
        "sortNumber": 0,
        "sourceType": "dictionary-item",
        "targetId": "entity-item1",
        "targetType": "dictionary-alias"
      }
    ]
  }
]

```

```

    }
  ],
  "tableDefinitions": [
    {
      "entityId": "entity",
      "databaseKind": "tenant",
      "connectionId": null,
      "tableName": "entity_table",
      "entitySearchDefinitions": [
        {
          "targetId": "entity-item1",
          "targetType": "dictionary-item",
          "searchType": "exact-match",
          "sortNumber": 0
        },
        {
          "targetId": "entity-item2",
          "targetType": "dictionary-alias",
          "searchType": "exact-match",
          "sortNumber": 1
        }
      ],
      "enableChangeLog": false,
      "disableDifferenceTable": false,
      "externalReferenceDefinitions": [
        {
          "referenceType": "entity",
          "sortNumber": 0,
          "referenceEntityId": "entity",
          "items": [
            {
              "itemId": "entity-item1",
              "itemType": "dictionary-item",
              "referenceEntryId": "entity-item1",
              "referenceEntryType": "dictionary-item",
              "sortNumber": 0
            }
          ]
        },
        {
          "referenceEntryId": "entity-item1",
          "referenceEntryType": "dictionary-item",
          "filterType": "equal",
          "valueType": "entity-item",
          "valueSource": null,
          "itemId": "entity-item1",
          "itemType": "dictionary-item",
          "sortNumber": 0
        },
        {
          "referenceEntryId": "entity-item1",
          "referenceEntryType": "dictionary-item",
          "filterType": "equal",
          "valueType": "account-context",
          "valueSource": "user-cd",
          "itemId": null,
          "itemType": null,
          "sortNumber": 1
        }
      ]
    },
    {
      "referenceType": "table",
      "sortNumber": 1,
      "referenceTableName": "table_name",
      "items": [
        {
          "itemId": "entity-item2"
        }
      ]
    }
  ]
}

```

```

      "referenceColumnId": "column_name",
      "itemType": "dictionary-item",
      "referenceColumnName": "column_name",
      "sortNumber": 0
    }
  ],
  "filters": [
    {
      "referenceColumnName": "column_name",
      "filterType": "equal",
      "valueType": "entity-item",
      "valueSource": null,
      "itemId": "entity-item2",
      "itemType": "dictionary-item",
      "sortNumber": 0
    },
    {
      "referenceColumnName": "column_name",
      "filterType": "equal",
      "valueType": "string-constant",
      "valueSource": "fixed value",
      "itemId": null,
      "itemType": null,
      "sortNumber": 1
    }
  ]
},
{
  "referenceType": "im_master",
  "sortNumber": 2,
  "referenceMaster": "imm_user",
  "items": [
    {
      "itemId": "create_user_name",
      "itemType": "dictionary-item",
      "referenceMasterItem": "user_name",
      "sortNumber": 0
    }
  ],
  "filters": [
    {
      "referenceMasterItem": "user_cd",
      "valueType": "entity-item",
      "itemId": "im_tenant_account.user_cd",
      "itemType": "dictionary-item",
      "sortNumber": 0
    },
    {
      "referenceMasterItem": "base_date",
      "valueType": "environment",
      "valueSource": "now",
      "sortNumber": 1
    },
    {
      "referenceMasterItem": "locale_id",
      "valueType": "account-context",
      "valueSource": "locale",
      "sortNumber": 2
    },
    {
      "referenceMasterItem": "delete_flag",
      "valueType": "string-constant",
      "valueSource": "0",
      "sortNumber": 3
    }
  ]
}
]
}
]
}

```

```
,  
  ],  
  "displaysets": [  
    {  
      "displaysetId": "displayset1",  
      "name": "表示セット",  
      "sortNumber": 0,  
      "entities": ["entity"]  
    }  
  ]  
}
```